Reprinted by
Center for Chinese Research Materials
Association of Research A Libraries
1527 New Hampshire Avenue
Washington, D.C. 20036



474 after Part T. Hymowitz

淄湖大豆,研究

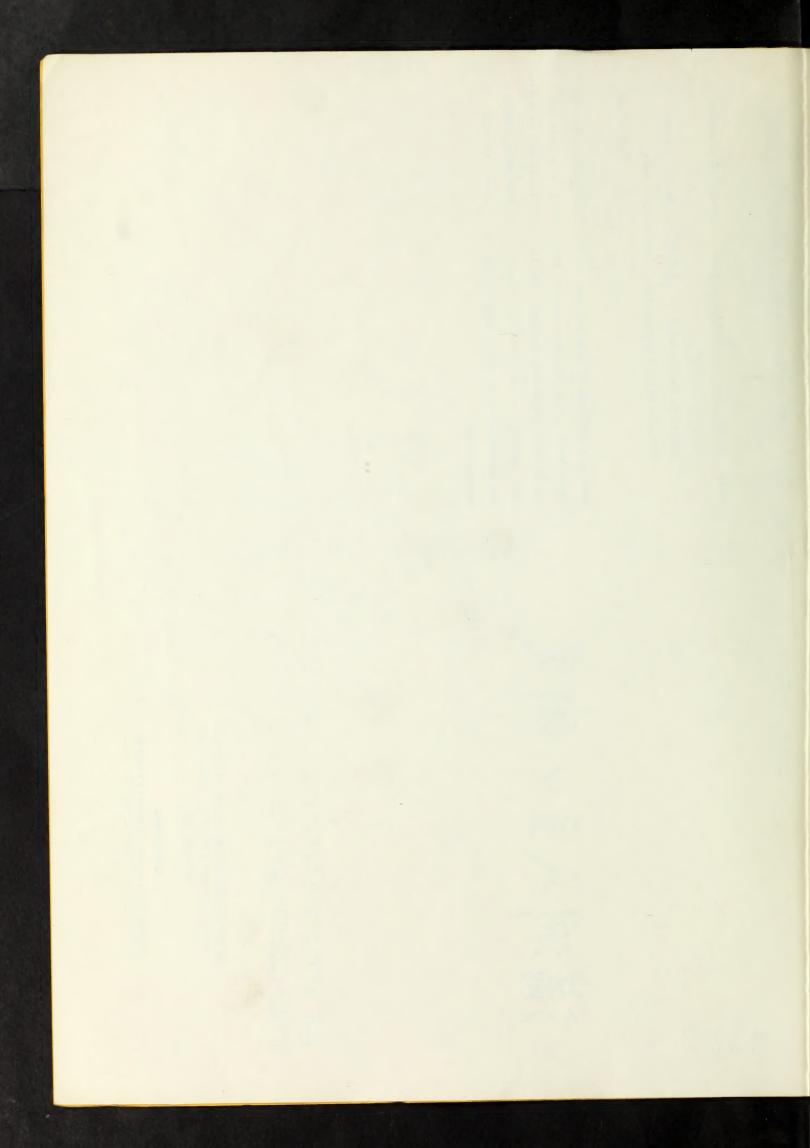
| Interpretation | Inte

CENTER FOR CHINESE RESEARCH MATERIALS
ASSOCIATION OF RESEARCH LIBRARIES
Washington, D.C.

COOPER-TRENT DIVINON / KEUFFELE ESSER CO.

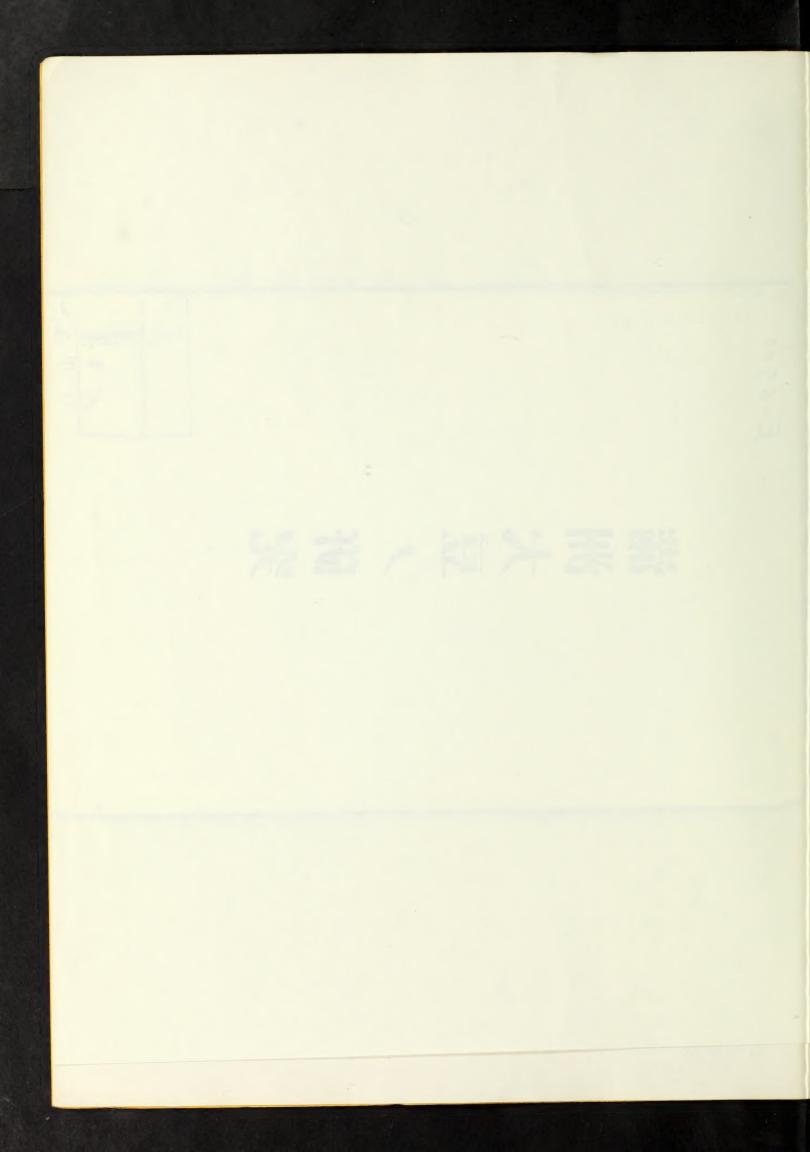
M457. Nan-chou ta-tou chi yen-chiu (A Study of Stybeans of Manchuria) 対対 大豆) 石市完 Compiled by Kameska Seiji 多田本美一. Fou-t'ou, South Manchuria Railroad Incorporation, October 1920. 156 p. This is a collection of three articles, written in the Japanese language, on the three aspects of soybean produced in Manchuria, its cultivation; its botanical and chemical analyses; and its production as well as marketing. Appended are regulations and notices relating to storage, packing and transportation of soybean, issued by the South Manchuria Railroad

Incorporation.



満洲大豆ノ研究

2



67633



貓。但

大豆論フリシ以永著名ノモノ少シ、吾人之ヲ深ク遺破トシ特ニ各講師ノ承諾ヲ求メラ該講習會ニ於ケ天豆論アリシ以永著名ノモノ少シ、吾人之ヲ深ク遺破トシ特ニ各講師ノ承諾ヲ求メラ該講習會ニ於ケ研究改良、人類ノ福祉ヲ増進スルコト至大ナレハナリ続ルニ之カ研究書トシテハ墓ニ駒井學士ノ前別シ來ルモノ多シ、蓋と滿朔ニ於ケル大豆、荷捌物産ノ大宗ニシテ、世界的商品タレハナリ而シテソノハ吾人ノ歐謝措ク能ハサル所ナリ、然ルニ一度此ノ幕世間ニ母ハル+學究ノ徒施然トシテ顯講ヲ希望ノ本慢トスル所ニシテ且又勸業課ョリ多年荷淵大豆ノ經済事情ヲ研究セラルル攝待氏ノ臨講セラレッ當ラシメ研領医ニ年アリ即・該試験場ヨリ中本、足立兩氏ニ請フテ造詣ノ一媼ヲ聯クヲ得タルハ吾人トシタリ、及主領ニハ農事試験場アリテ夙ニ満別大豆ノ品種改良ヲ企盡シ有数ノ卑者ヲ以テ其ノ任ニヲ職トセル者ノタメニ大豆ノ栽培、鑑定及經済ニ関スル基本的學理ヲ平易ニ理解セシュルヲ以ラ目的今辺地関事務所主催トナリテ滿朔大豆ニ関スル講習會ヲ及主衛ニ関キ主トシテ混合保管大豆ノ核宜

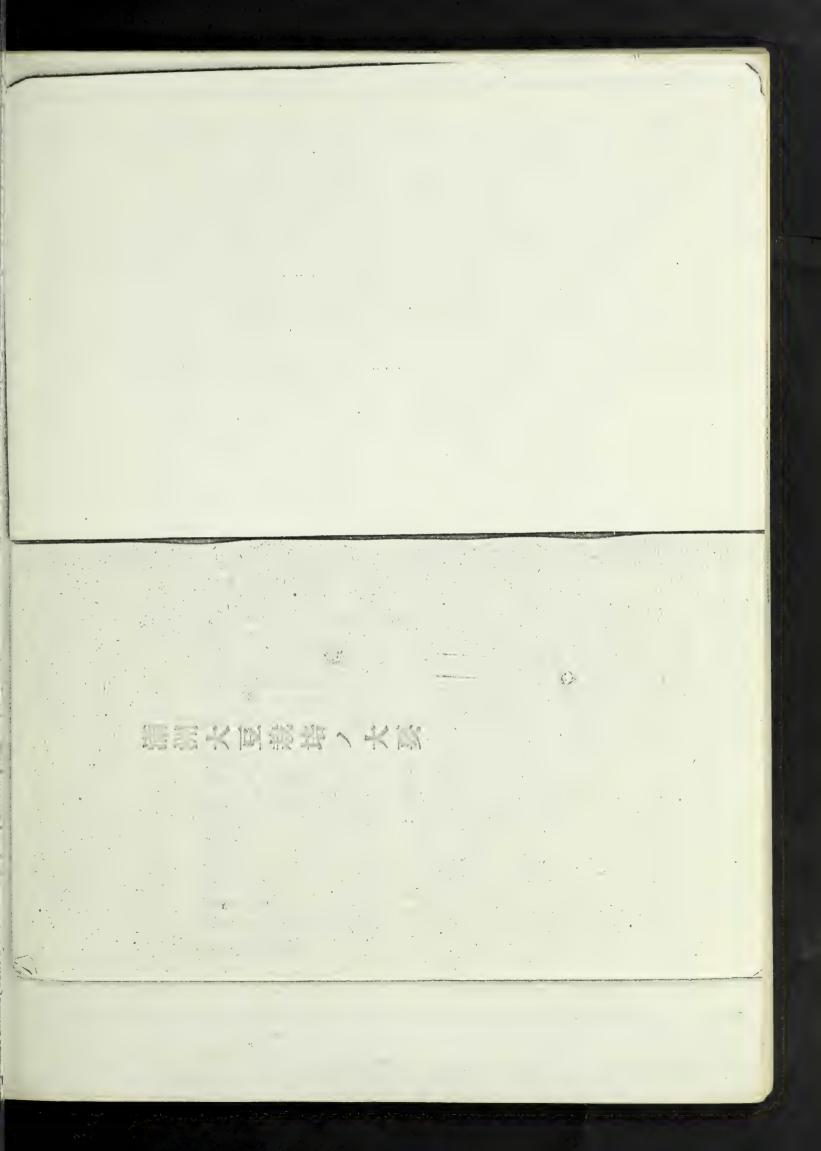
昨年十二月大豆混合保管買施以來既二一年今後在《大豆界多珠八秋二茲》子

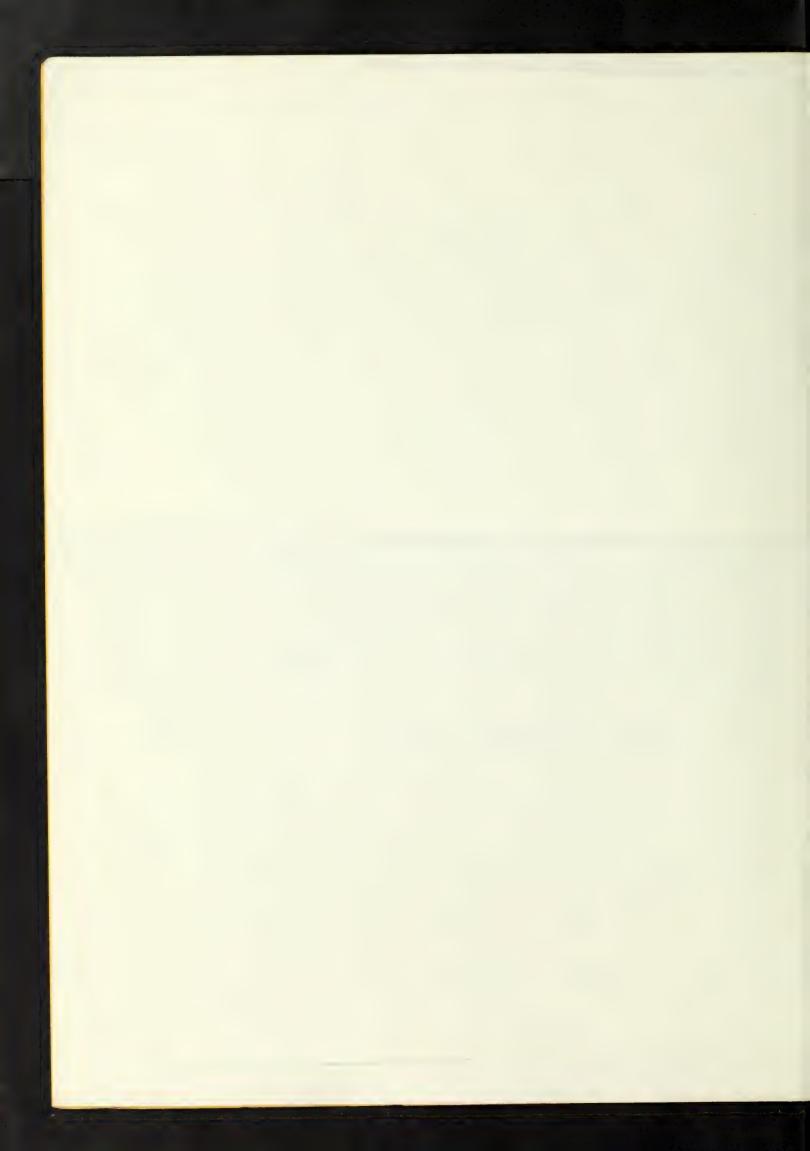
1

舞 伽

代 錄 第三篇 滿洲大豆經濟事情 襲學士 攝 帶 初 郞 二〇五第二篇 滿洲大豆經濟事情 農學士 中 本 保 三 三五第一篇 滿洲大豆,雞定 觀學士 中 本 保 三 三五第一篇 滿洲大豆,栽培 息學士 足 立 啓 次

目 夾





第一篇 游洲大豆~栽培

第一章 世界ニ於ケル大豆栽培ノ沿革

第二章 協例/土質及土性

諾一節 斑洲土壌~化型的性質

第二節 豬洲土壤~理學的性質

貧三節 號洲土墩下大豆栽培

第三章 氣象上ョリ観タル開酬ノ大豆栽培

短 拉 四 班

語二節 降水量

第三節 其〉他〉紅象要索

第四章 大豆 / 植物學上 / 特性

は 日 登

捻川塩 獣

總川福 花

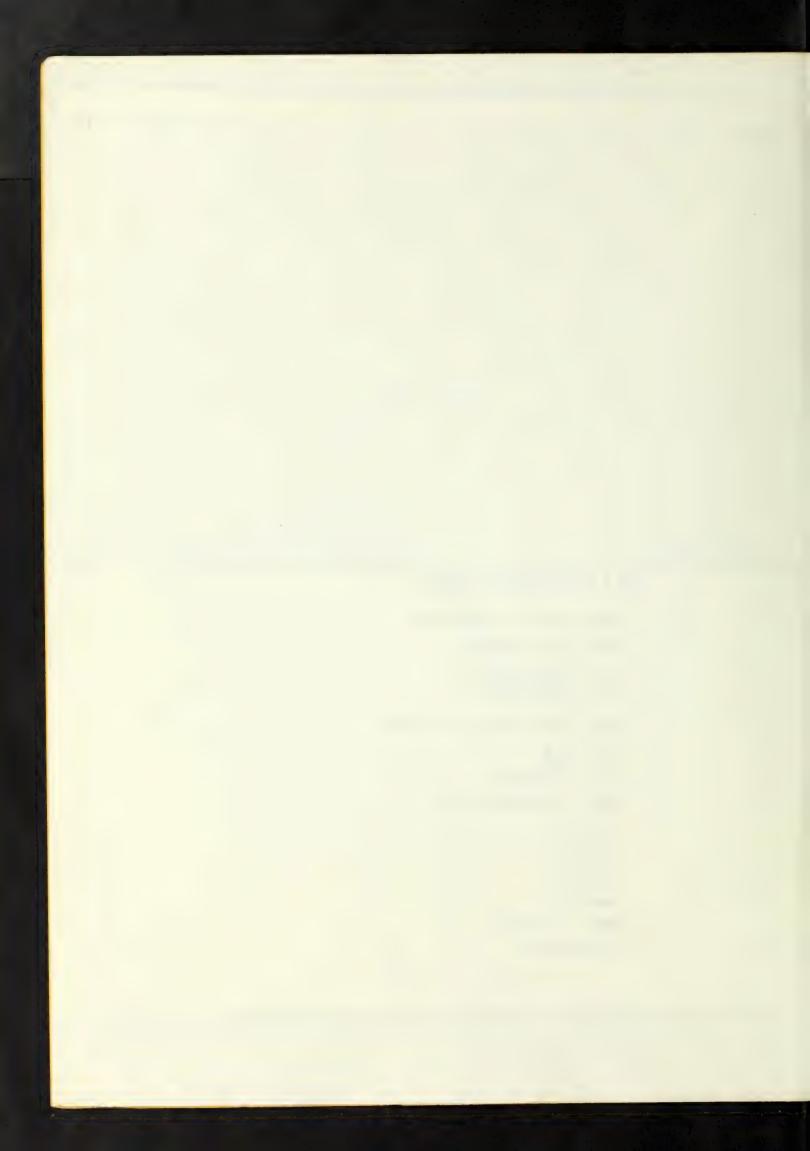
幕凹節 炭

第五郎 子 翼

商大街 粉 駅

第五章 大豆~栽培法

第一篇 搞洲大豆人栽培



```
第一篇 流洲大豆~栽培
```

路一節 肥 料

路二節 鸽作法

路三部 播 種

第一項 将隋法

第二屆 游戏员

福里堡 遊園區

韓四項 建種三對スル支那人ノ觀念

薛四郎 哇哈及栋問

諸五節 除草及間引

第六節 中耕及培土

第七郎 收 透

苗八部 收 阴

諾九節 闞 製

算十節 塅 量

第十一四 华 版

第六章 備捌っ於ケル大豆栽培ノ將來

第一章 世界二於ケル大豆栽培ノ沿革

大豆ノ原産地、日本、支那交趾、支那、瓜哇、南洋等デアルト云ハレテ居ルガ其ノ中何レノ國ニ最

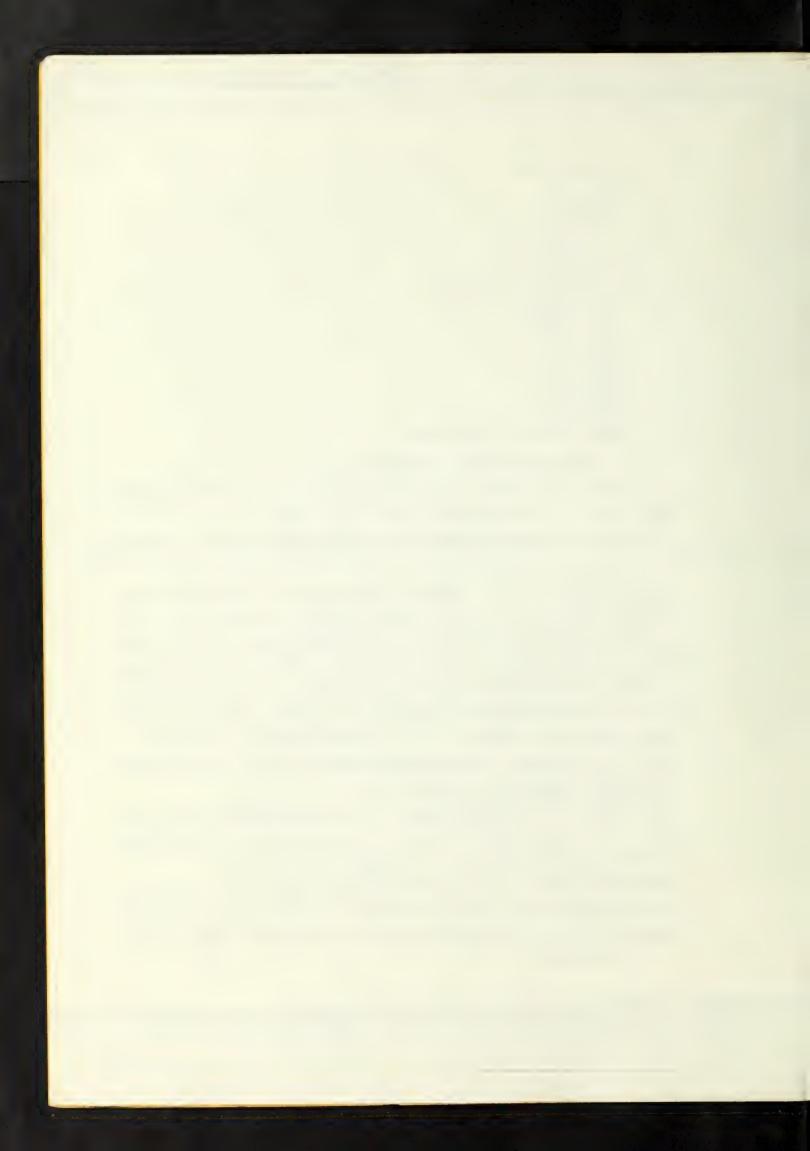
そ初メニ發見セラレタカハ學者ノ問ニ匠々タル説がアッテー定シテ居ナイo

日本及支那二於ケル氣候土質、大豆栽培」逾應シタル為ノ其ノ栽培が極メラ容易ニシラ従ッラ昔カ

本版然トシテソノ用途ヲ懲張シ一九○八年三井物産會社ノ英國ニ對スル試質、大豆及豆粕、價値ヲ愈ソ市場ニ於ラ取引セラルルニ過ギナカッタノデアル。日清戰役ノ後我ガ國ニ大豆及粕ノ粒スセラルル加へタノデアルガ當時尚大豆需要ノ範圍、支那內地ニ止マリ四十有條年ノ間大豆ノ運命、僅カニ二三テリノ後山東ヨリ需洲、各地ニ移住セル土民ガ殘粕、肥料的價値アルヲ知ッテ粕ノ用途、頗ル多キヲ韓出スルコトニ成功シテ以來油、之レヲ食料又、點經用ニ供シリノ殘滓即テ大豆粕、家畜ノ飼料ニ充ウカラ約七十二三年前即于道光ノ末期ニ至ッテ始メラ大麻油及胡麻油ノ搾油法ニ則り大豆ヨリ油分ラノ中部地方ヨリ移入セラレタモノラシィ。始メ、、唯農民が食料品トシテ自給自作ニテ居タノデアルガラ可ナリ多クノ生産品ヲ磨ゲラ居タ。

セラレタガ多ク、観賞的ニ栽培セラレタルモノデ所謂經濟的ノ栽培、優メテ新シイ。 輸入セラレタノハ十八世紀ノ後宇期ニテ英國ニハー七九○年始メテ這入ツタラシイ。其ノ後時々輸入大豆ノ歐洲ニ對スル輸入、東洋諸國ノ昔時貿易振ハザリン關係上比較的近代ノ事ニ屬スル。始メテ

ダク商館ラ「コペンハーゲン」「設ケ浦鹽ヨリ盛二大豆ノ輸入ヲ計リ、佛國ニテモ支那人が商館ヲ建設テモ大豆ノ乳牛ニ對スル飼料トレテ道常ナルヲ發見シ東洋ヨリ大豆ノ輸入ニ勉メタ丁抹モ亦英國ト同最近ニ至リ英國ハ大豆商館迄ニ油房ヲ設ケ其ノ製品ヲ歐洲大陸ニ輸出シタノデアル。次デ語典ニ於



第一篇 窥洲大豆~糕塔

超		₩.	斑粒冠	金麗素	森	製	芸	ΞĤ		狱	H	K	総	+	膜化鏡	開陸	新布	和	+1	傷	松	全頭類	塩	默
無		丰	n-zco			- 1			1	HER	1			-<2<			1] - 4 E)-K<11			-
₩	SER.	轰	1-11/00	0-1;0E	C.	144	0-	HNE	C	-148	()-IIIK	E	-#01	CHII-H	C	0411-0	()• <u>Z</u> ijij	()-OKK	O-1114K		-
類		黨	E-E00	0-1110	0-	111	0-	101	0	-IKI	(・ボヨイ	7	-Z110	H-1 HO	0)-1 KO	()-< 4 %	0	1304	0-01K		
4		茶	1-1(00	0-100	0-	ZHO	0-	400	0	EON	0	04 Z •0	E	**	至-1片〇	0	HIHO	C	H10	0	IIIAO-C	11400		-
K	图	招	1-100	0-112	OH	011	0-	IRK	0	1144	C	-KKI	p	·##	11-17#0	C	-140	0	- ::दर	C	HO18	0-04E		-
觀	斑	湖	1-1400	0-10<	0-	12:	0-1	ZIK.	0	031	C	-401%	H	H<1	2 -K10	0	HIKE	0	一大公司	0	210 4	O-Onli		-

ノ通リデアル。

今南部鉄道沿線ニがケル土壌ノ化學的分析ラ示シラ南部洲農耕地ノ大體ノ地カ優労如何ヲ何ヘバズ

第一節 滿洲土壤 / 化學的性質

線沿線「放テい古生唇、大古唇、中古唇」園スル地方アルモ其ノ分布い極メテ少ナイ。

是等ノ農排地、多ク、第四紀新暦ニシテ地味肥沃協洲農産物ノ主ナル生産地デアルが關東州及安奉

ソノ支脈ニョリテ山岳起伏と耕地比較的乏シキモ西部、松花江及澄河ノ構成セル坦々タル大平野ニシ テ席洲ノ農産物、即チ此ノ平野ノ賜デアル。

功セントシクツアルハ注目ニ値スル。

地アルラ閉カナイ。

北米合衆國デハース二九年「ニューイングランド」」於ラナットル氏が大豆ノ比ノ國ニ適スルコトラ 實驗シ緊勵シタケレドモ當時、東洋ヨリ得タル珍植物トシラ儘カニ花園ニ植エラレ飲命ヲ保ッテ居々 三過ギナイ。一八五四年ニナッテ南部諸州ニウシク裁培セラレタガ大ナル發展ヲ見ズー八八五年以後 慶事試験場又、種苗商其ノ他農民ノ注意ヲ喚と漸次大豆ノ栽培、微張セラレ現今ニ至リ大豆栽培ニ成

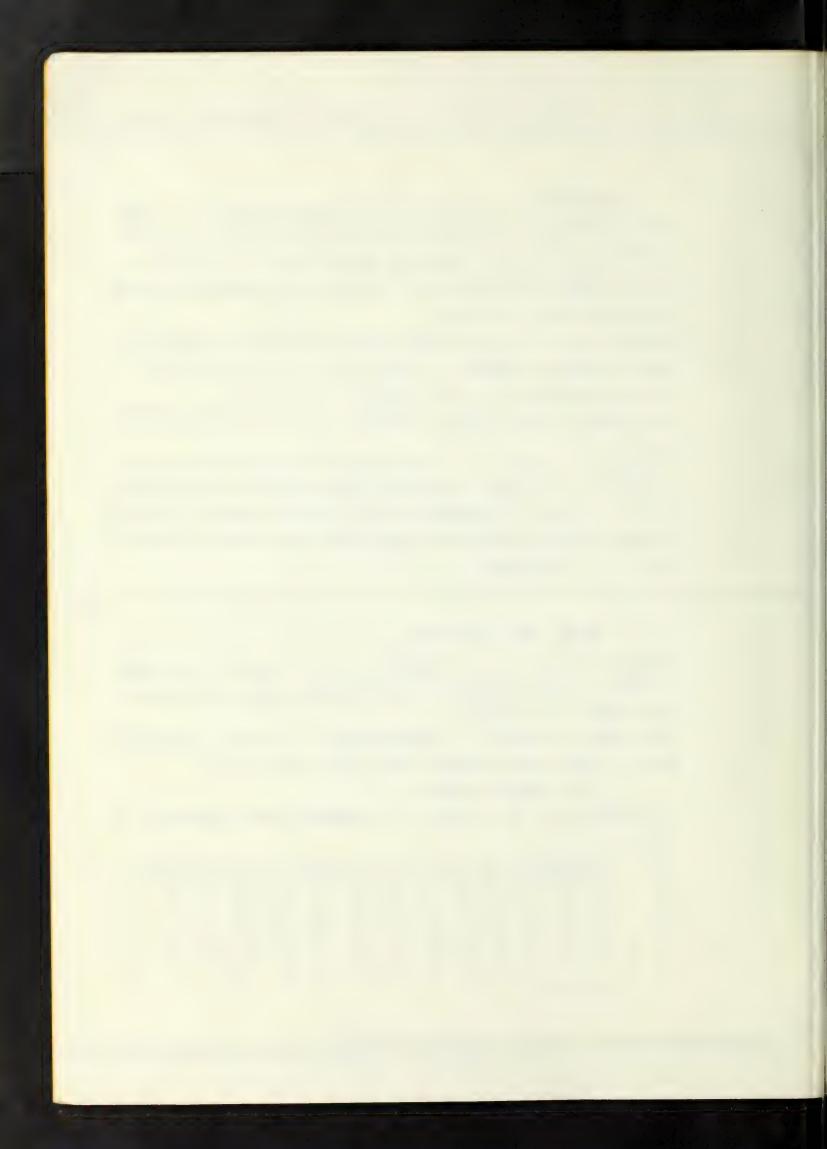
要スルニ歐洲ニ於ケル大豆ノ栽培、目ザマシイ成績ラ塾グルコトガ出來、現今ニ於テモ大ナル栽培

不明デアル。勾牙利二於テモ多少栽培セラレタが成績、詳デナイ。塊大利二於テハ約四十年前「ハー ベルランド」二依クラ試作セラレタガ一般的ニハ栽培ヲ見ナカッタノデアル。

大豆製品ノ輸入ラ防止スルコトニ努ノタ。 **ೢ 西部露園「於テハ「オスウキンスキー」ノ試作ニョリ稍見ルバキ結果ヲ得タガソノ後ノ栽培ニ就テハ**

シラ大豆ノ取引ヲ緊勵シタノデアル。獨逸ニ於ラハ更ニ進ンデ専問技術家ヲ蕭洲ニ造ハシラ大豆栽培 及ソノ南的開係ヲ調査セシメ一九一二年ドクトルヒンツエ及シュルツエ南氏ノ説ニ佐ヒ「ザクセン」並 ニ「チェリングン」地方ニ試作シタガソノ結果、良好ト迄、行カナカックノデァル。「ホーヘンハイム」 農科大學試作ノ結果モ亦不幸ニシテ不成功ニ餘シタノデ專ラ輸入法ラ攻究シ關稅ヲ引キ下ゲ以テ英國

第一篇 薬洲大豆~栽培



第一篇 搞洲大豆~栽培 45 1.500 O-1111 O-1112 O-221 O-220 O-22 1O-224 2-五井O 22 0-11HO 1-821 Ħ 0.000 0.201 11-HCO 0-10m 0-088 0-088 O-10EH 233 0·2<!! R-281 R-030 1-1140 1-मामः 0-0:14 0.000 0.210 0-10C 0-04# 0-1172 0-<집필 E. C-KZ111 11-1166 11-440 04150 O-<1E 0.011 0-गदा। 52 322 11-000 0-14E 0-144 0-H114 0-11(1) O-HEII K-2111 E-1110 0-120 0-414 0-1174 0-(1111 0-1HE 0-110 O-用口式 搬 Ž. E-000 0.4:05 O-HKK 图书经训 III-ZKO 0.040 0-1144 0.041 0-044 老 \mathbb{K} 11-1100 0.1115 0-1144 〇・三八五 C-1#K 0-404 K-120 西・北京〇 0-1110 0.400 0.0110 0.0:0 63 额 11-11/00 C-171 0-11001 0-111111 0-11117 0-(17) Mark E-1#0 0-1110 0.84% 0.04% D-110% 噩 11-100 0-1E4 0-1011 0-11118 0.11:0 0.141 まっせれん 国・大阪〇 0-1110 1-000 原 220-0 0.0411 因 N-K00 C-144 0-044 0-15र 0-1#1 0.1144 E-11:0 0-10# 淮 夏・大川 O-IIZH 0-0HE 0-0%1 0-101 点 M-400 0-1HK O-HIR 0:11:0 0-272 *** 图-1140 0-140 100 0.111 CHO-0 0.0Z4 翼 11-240 0-1311 0-1KY 14-040 O-EE# C-11E 0-311 K-11011 O-Euri 14110 0-2111 0.04%

数卷

型型	₹ 7	全架業	袋 蹬	祖里	官途	在床	李生	陸化鐵	超限商化	₩ H	梅 競	國 類
社	堂	0-123	0-1%	0-1111	O-74111	0-414	本・人七八	图-讲代式	O-:14E	0-455	0.1110	_
=	₩	240.05 注 0.01 1 0.11 1 0.11	0-1116	G-110	C-140	0-1(00	4-4110	∺•4 <u>₹</u> 0	0 -11#0	O-<#O	0-1110	-

ガラ鎖物質ニ至リテハ極メラ豊富ニシテ殊ニ加里ノ合量ニ至ッテハ内地ノ比デナイ。以上ノ表ニョリテ明カナルガ如ク全土ヲ通ッテ一般ニ有機物少ク従ッテ窒素ノ量ニ乏シイ、然シナ

白旗、湯尚子、牛家屯等ニだテい鹽類多ク所謂「アルカリ」土壌ト辞スペキ地方モ點在シテ居ルガ苗

明金七月り記して変えたとしたこととは、これのことには、

ファトが出來かっかコトプに被的ニ云へ、高朔ノ土壌、化學的ニハ樹シラ豐穣ナルモノト云朔全土ョり見レバ極メラ狹少ニシラ一般的ニ云へ、高朔ノ土壌、化學的ニハ樹シラ豐穣ナルモノト云

附「アルカリ」土壌ニテハ大豆ノ生育、極メラ思ィ某ノ原因ノ主ナルモノハ衣ノニデアル。

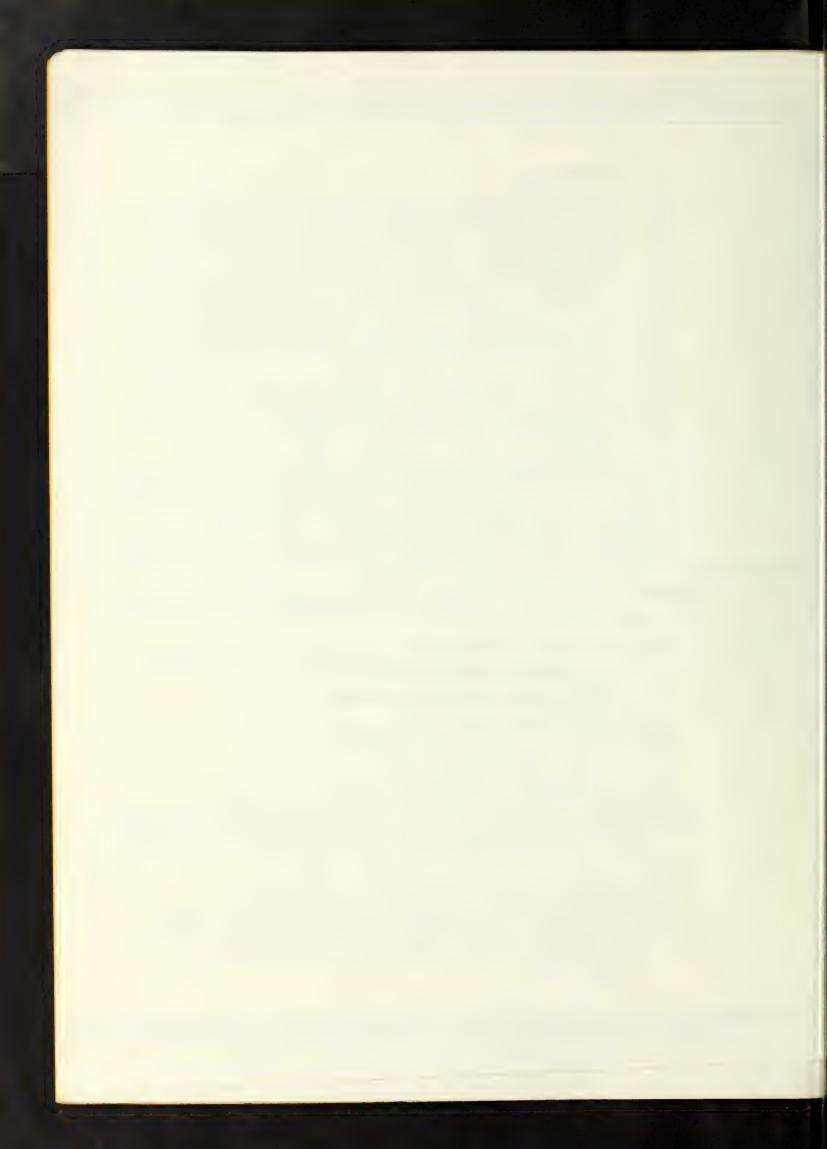
- 1 「アルカリ」蹬類ノ為メニ根部細胞ノ腐蝕セラルルコト
- a 土壌中溶液ノ濃度高+高ノ根部ノ細胞ハ原形質分離ラナスコト
- る 大豆ニ必要ナル根智菌ノ發育ヲ妨ゲルコト

是等ノ原因ノ為メニ「アルカリ」地ニテハ大豆ノ栽培ハ見込ガナイ。

第二節 滿洲土壤,理學的住實

リデアル。 スルノ必要ガアル。今及主衛農事試驗場」がテ分析セル各地ノ土蝦組織的成分ニツキテ見ルニ次ノ通宵、又理學的性質・相俟テ以テ多量ナル生産ヲ替ムモノデアルガ放ニ土壌ノ理學性ノ善惡如何ヲ研究請納土壌ノ化孕的性質、上逃ノ如ク沿線一帶ヲ通ジテ良好デアルガ如何二化學性、富ムモ作物ノ生

第一篇 箱制大豆(栽培 文 東 1-211 九公式 1-220 1-240 四三式 4-021 19年1五 2-11七 11-42元 21-30人 六1元七 地名 石 磯 類 土 四-11和11-1 非 1--0・五0・13-0・0-13-0・00・03・03・0・0・0・0 1 0・五 20・0 五以 項 日 原土百分中 網 土 百 分 中



		标1	賀 耀系	人 互 ~ 栽 採								K		
*	X	蹇	_	100-000	111-06-101	13-701	111-1414	4-700	XC#-3F	H-国长代	i E-iiRii	114-1:01	HR-KOD	B1-443
雜		草	_	100,000	0-044	0-#IK	1-#0%	11-145	图-11字篇	H-041	144-13年代	E4-4011	24.440	< \$4014<
49		玉	11-740	八个:1元〇	11-XO11	片-고구말	K•K#1	य-०वद	14-041	12-441	11-11#0	मार-१८॥	₹2-2411	五十三四日
K	照	田	0.40.1	ポペッポ く	0-40%	O-KE1	04C+1	1]-梯图代	11-21111	こくれら	11K-011K	nk-Ozn	록 1 - 복 구 록	ペライ の
201	阻	凝	_	100-000	0-04H	1-041	1-01<8	C:11f-O	10:34	14-17110	गर-द्या0	KZ-7.10	दय- <u>च</u> णद	< 11-4:0
411		H	_	100:000	-	_	O-1141	0-100	0년[1	11・大川県	11-800	<৸.য়য়০	दर-१८वर	₹ #• ≣ 011
K	H	43	-	100-000	-	_	#4C-0	0-1184	1-425	11-미꾸고	网络-图《中	संदर-111स	दर-दाम	R#-K111
類		П	_	100-000	0-11411	0-1122	O-112K	O+ ∑ +C	E-100	과- 범선성	第六部 0次	गरनागर	दरदार	<k-7<11< th=""></k-7<11<>
端	133	4	_	100-000	0-1114	0-11110	1-#04	1-884	47/11-11	111-#11#	11집~1111구	H4-N国<	R<-011	· <1-#0#
瀨		篮	_	100-000	0-712	0.441	1-271	11-450	11-五代六	स्नामा	ph/-1411	#1-551	RK-COM	大学-1 第五
松		K	_	100-000	-	0-1面1	0-110	1-#12	11-11011	く・カギカ	101-101111	HE-HOH	よな・フロオ	रग-रहा
83		100		100-000	O-KHM	G-(11)	1-140	1-9830	1• <ez< th=""><th>11-244</th><th>图1-11分岩</th><th>11-1국미</th><th>२भ-वरस</th><th>人には近く</th></ez<>	11-244	图1-11分岩	11-1국미	२ भ-वरस	人には近く
藍		四	_	100-000	0· (司)K	0-174	0.4 <e< th=""><th>CHH-O</th><th>1441</th><th>1年・大十四</th><th>विद्या - दिव</th><th>至4-111人</th><th>34.40:</th><th>44.201</th></e<>	CHH-O	1441	1年・大十四	विद्या - दिव	至4-111人	34.40:	44.201
毘	H	紐	_	100-000	1-O##	1-44O	11-01#	11-%011	₹ -0%<	₹-≒かく	N7-01:	五字1月1	大半1110	RH-1RH
4	##	15.5 15.5 15.5 15.5 15.5 15.5 15.5 15.5	_	100-000	-	Chark	0-K4M	1-444	1-882	11-1114	4-MEO	大学・(の)	१८- १८८	दग-दश
或		恭	_	100-000	0-0311	1]-常置门	0.441	OHRE	O-REM	101-स्म	114-041	#필-미국 1	२८ -गाम	<म-यशा

以上ノ洗滌分析ニョリテ明カナル如ク一般ニ土粒小サク枯著力强キヲ以テ一度降雨ニ思へ、忽チニ

シラ軍粘ト化シソノ乾クャ俗モ岩石ノ如クナルヲ以テ植生こハ餘リ適セナイ。

性質ヲ有スル土壌、植物ノ生育上餘り敷迎セラレナイの換言スレバ諸洲ノ土壌、穏ッテ理學的性質ガ良ソノ上土壌ノ孔袋、小サク空氣及水ノ透通、不十分ニシテ毛管引力、極メラ遅後デアルの斯ノ如キ

クナイ、即チ理學性ニヹシイノデアル。

第三節 筛别ノ土墩ト大豆栽培

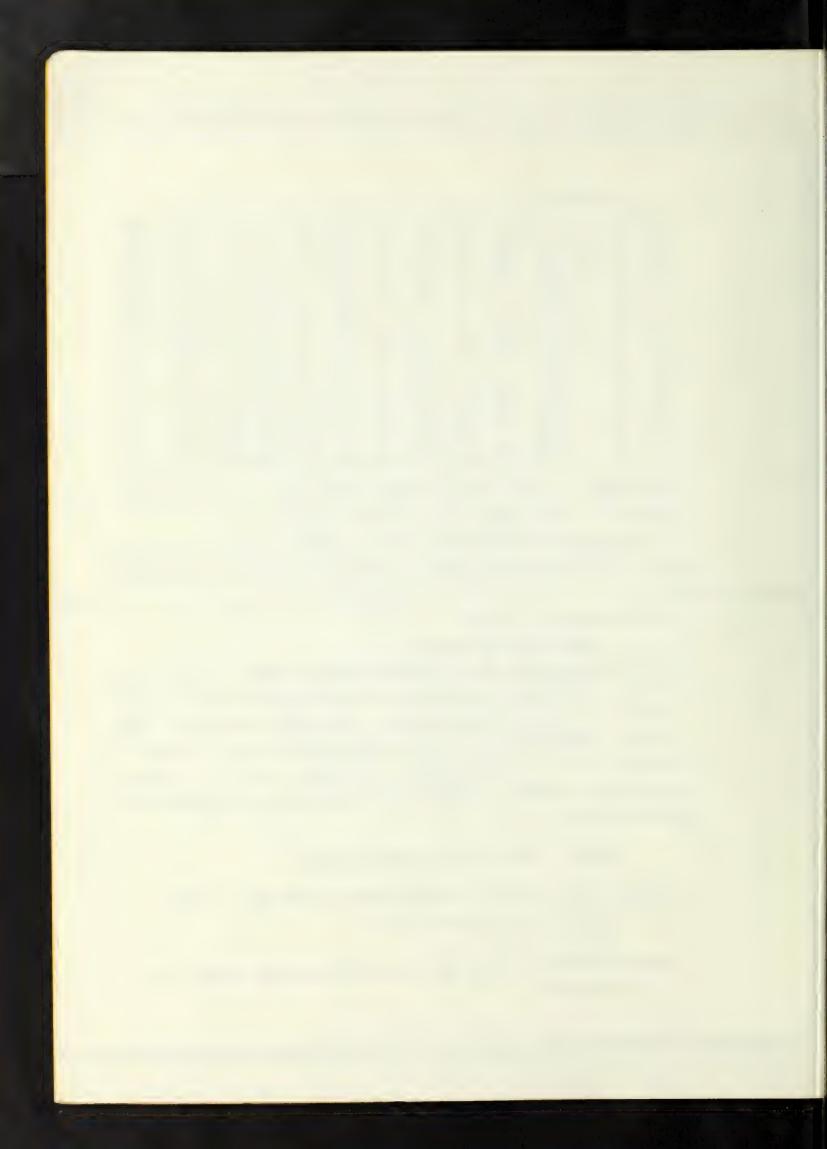
各塁、内地ノ各地ニ比シ涯色ナキヲ以テ化の合塁のニハ前朔ノ土壌、大豆作ニ取ツテ剤ニ良好ナル性質ヲ素固定作用ニョリテ循ハルガ故ニ窒素ノ合量ウイノ、取テ大豆作ニい差支ガナイ。ソノ上銀物質ノアルガ為ノ骸シテ治線一般有機物ニ乏シク殊ニ強紊ニ缺乏シテ居ルガ此ノ飲陷、直チニ大豆獨特ノ第ノ表培ニ適シナイ。然シナガラ大豆、根瘤菌ノ作用ニョリチ良ク空氣中ノ窒素ヲ固定利用スルノ性質アルャヲ見ルニ大豆、元來腺土又、砂質漿土ヲ愛スルモノデアルガ結朔ノ土壌、理學的ニハ餘リ大豆は洲土壌ノ理化學性質、前述ノ様デアルガ然ラバ斯クノ如キ土壌ト大豆栽培トノ間ニ如何ナル關係

第三章 氣象上ョリ観タル流洲ノ大豆栽培

コトガ多イ、故二先び氣象ノ大生ヲ知ルノ必要ガアルの農業ト氣象トノ關係、密接不離ニシテ特ニ作物生育期間ニ於ケル氣象ノ如何ニョリテ豊凶ノ定マル

第一語 凝 題

第一篇 窮朔大豆-銭培・南間緯度ニアル内地各地ノ氣温トラ比較と篩洲ニ於ケル氣温ノ一般ラ鏡ハント思フ。今請測各地ト略同緯度ニアル内地各地ノ氣温トラ比較と篩洲ニ於ケル氣温ノ一般ラ鏡ハント思フ。



(累年平均氣溫表)

-		16.4		,	-				c	1			cr;)			-	н	
#		型	が一人	庭 四八	III K	送	डा क	門の政	310分	RIO#	氏玉〇分	副	康四八分	द्या	皮四六 分	司川岩	以四人分	द्याग	段四七 分
E. F.		4 45	×	捌	44	∰	Ħ	额	п	如	糕	₩	Ж	醤	42	政	榊	粕	щ
1		H	I	II -%			1]•7	1	2.4	I	11-4	I	1 [0]-1]	ĵ	11 -1	1	14:4	Î	10-2
11		E	Ĩ	14-14			1-7	I	4.5	Ī	1]-]i]	I	10-2	Ĩ	11-11	Î	11]-4	I.	८ -४
111		Ħ		1-10			E-1	I	0.43		0.4	I	14		O-<	I	#-4	I	夏-11]
盟		H		₹.₹			द ा		<-1		4-1		<-!!		**		44-0		· 10-10
벼		===		14:11			171-0		1片点		11-8		计语言		10-3		1百-1		10-1
4<		=		110-11			1848		1]]-1		13(-1)		111-0		120		14-0		1#·O
4		E		1111-2			尽人		[[四]		110-11		1]2-1]		1<-11		1111-4		*144
K		1		加克州			111-8		1]10		1]1]-%		1][[][-]]		1] [-]		111-7		110-0
*		Ħ		110-0			18-8		1<-11		1<-11		180%		14-2		1 2-1		1 E -11)
+		Ħ		111-4			14-0		10-4		114		₹-0		11-71		K-0		4-0
+	1	Ħ		¥•0			4-7		1-1		まく	Ī	1-0		ম-গ	Ī	图-#		0-%
+	1]	×	I	1-14			图·湖	Î	K•#		0-id	Î	10-0	·T	O-H	Ī	12-1	Î	K-1
	計			10-11			11-71		<-11		₹•1		4-7		<-11		图-1		K-0

1~場合

- 1 十月ョリ四月二至ル期間八大連八常二企華山ヨリ氣溫低イ
- 3 五月ョリ九月二至と所謂作物生育期間へ企華山ョリ氣温富イ

日と場合

- 1 十月ョリ三月ニ至ル期間、管口、常ニ青森ョリ氣温低イ
- o 四月ョリ九月二至八農期間、營口、青森ョリ氣溫高イ

る人場合

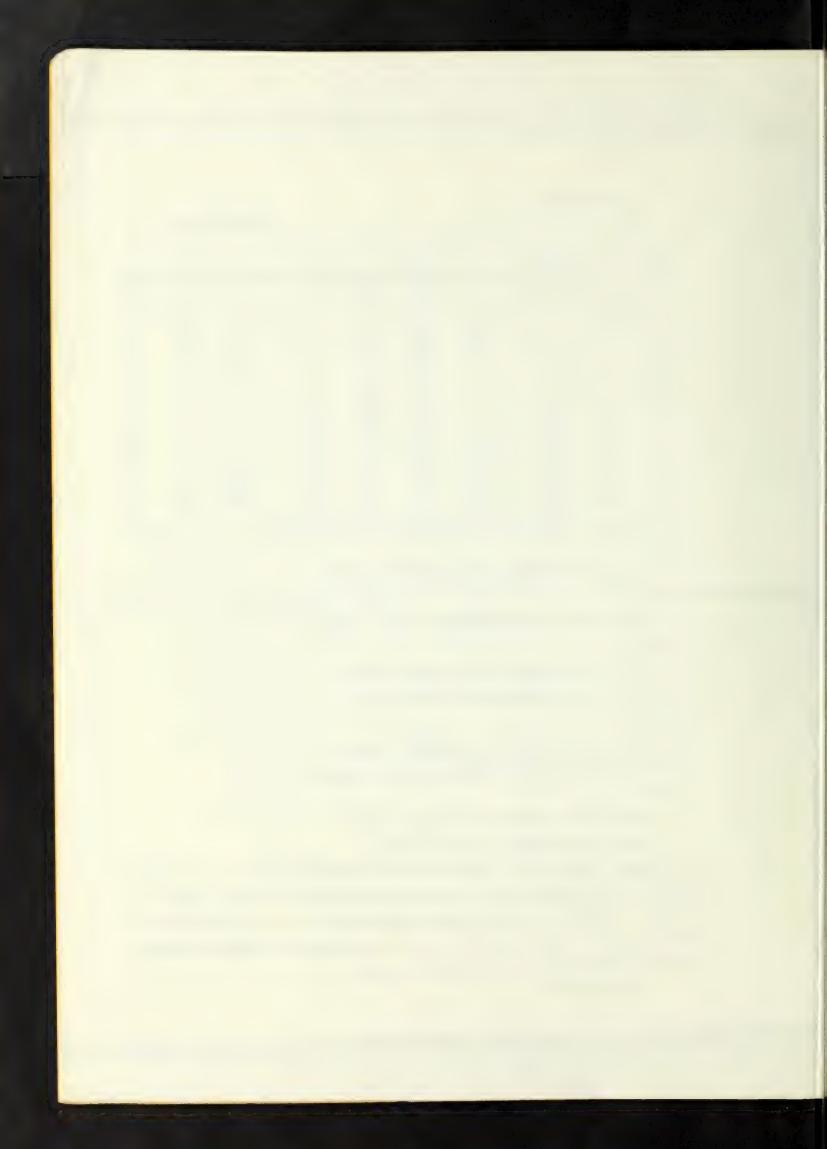
- 1 九月ョリ三月ニ至火期間、常ニ奉天、函館ョリ氣温低イ
- 3 四月ョリ八月二至人間即于農期間、奉天、函館ョリ家温高イ

与角イト

- 1 十月ョリ三月ニ至と期間、長春、常ニ旭川ョリ氣温低イ
- **3 四月ョリ九月即于農期間、長春、旭川ョリ氣温高イ**

朝鮮大豆ノ満洲ニ栽培ニ道をザグハ之ンニ諸因スルノデアル。 露朔ニ於子栽培スルノ困難ナルハ之レガ為メデアル。比較的生育期間ノ永き本邦内地ノ各種大豆拉ニ較的選きト、秋期塞氣ノ供ニ至ル事實トハ作物ノ生育期間ヲ縮少スルモノニシテ成熟日數永き作物ノ同緯度ナル内地各地ノ氣温ヨリ高温ヲ示シ満洲ノ農作物上最モ有刑ナルガ春期ニ於ケル氣温ノ上昇比以上指摘シタル結果ヨヲ見ルトキハ満洲ノ氣温ハ作物生育期間即チ四ー五月ヨリ九ー十月迄ハ常ニ

苯一篇 搞洲大豆~栽培



九月ノ中旬ョリ十月ニスル・陰天少ク快晴相額キ雨量多ヵラザルヲ以ラ大豆ノ結實十みニ行ハレ牧

七八兩月ニ過多ナル、遺域トスル處デアル、之レニ反シテ四五兩月ノ播種時ニ雨ノ過少ナル、稍生育 ヲ妨グル傾向アレドモ多クハ六月ョリ七月ニステリ慈雨ノ頻繁ニ至ルヲ以テ此ノ期ニ於テ大豆ハ十分 ナル發育ラナス為メ大ナル陰害ヲ與ヘナイ。

要スルニ年雨量ニ於テハ六〇〇乃至七〇〇粍ニ上り作物ノ生育ニ決シラ不足ハナイガ唯武ノみ布ノ

テ乾燥スル肥馬ノ餤ト化スルノデアル。ソレヨリ十二月迄ハ銑レモ雨量ニ乏シィ。

緯度ノ處ヨリ降水量少ク六月ハ地方ニヨリ大同小異アレドモ七、八月ニスレパ低ニ雨量ヲ宵加ツ所謂 **露洲ノ雨期トナル。九月ヨリ十月ニスレバ内地ノ各地ニ比シ急ニ雨量ヲ彼ジテ多クハ快晴ノ愆ク極メ**

此ノ表ニ於ケル同緯度ニ位スル地點ノ降水量ヲ見ルニ一月ョリ五月迄、腐洲各地、銑レモ内地ノ同

1411-14 11011-0 IEC-R 1114-0 一年代。年 K 0-7年 1114-4 1120 K 11111-2 I EO-K 1080 1017-7 H 1111-1 1118-11 114-11 11111-2 北 1011-4 Ħ 144.4 4111-4 1224 **40-11** 144-2 KR-11 一直回ぐ + Ħ 1111-0 144-2 E4-0 1C4-< 미국・필 1120 111(-1) 108-11 + 野 1 2-1 主法・八 110-1 1101-1 11111-1 元五・八 IJE-i 10K-# 11 黑 **R**•1 1(0-Z 四八 14:4-11 44.1I 10-14 **I**-11 24.4 站 だっまっま 17वरा न्द KEK-O 1741114-11 1440-11 !'IMI|-1 0.440,1 4112-1

H Ed	地名大	規	名 華 山	物 口	新 菜	老 天	图 每	型 禁	超川
1 ,	H	14-11	4 년 -11	· 5.4	1111-2	E-<	光光	₩-1]	KE-#
11	=	4.2	HO-11	大·川	. 11101	१८-११	H-+	< *#	<u> </u>
111	E	1₹-71	10#·K	110-11	<1.11	180)	4CE-1	114-4	常 约1
E	=	11111-0	11[2-1	114-5	#K-2	114-11	1(4.11)	1[16-1]	五四・人
Hel	=	E4-0	14-4141	7 - 周星-代	O-14#	141-13	40-1	属人名	{CE-11
etanta da l	ould taken	unio-richio v	and all the complete is a	· A million/floor	and the state of t	· and winds are	+ 17 (1/1 u/10 u/10 u/10 u		as A was gettings a Ma
145	E	E<-1	144-1	42.0	1	1	1	1112-11	ا و بالا

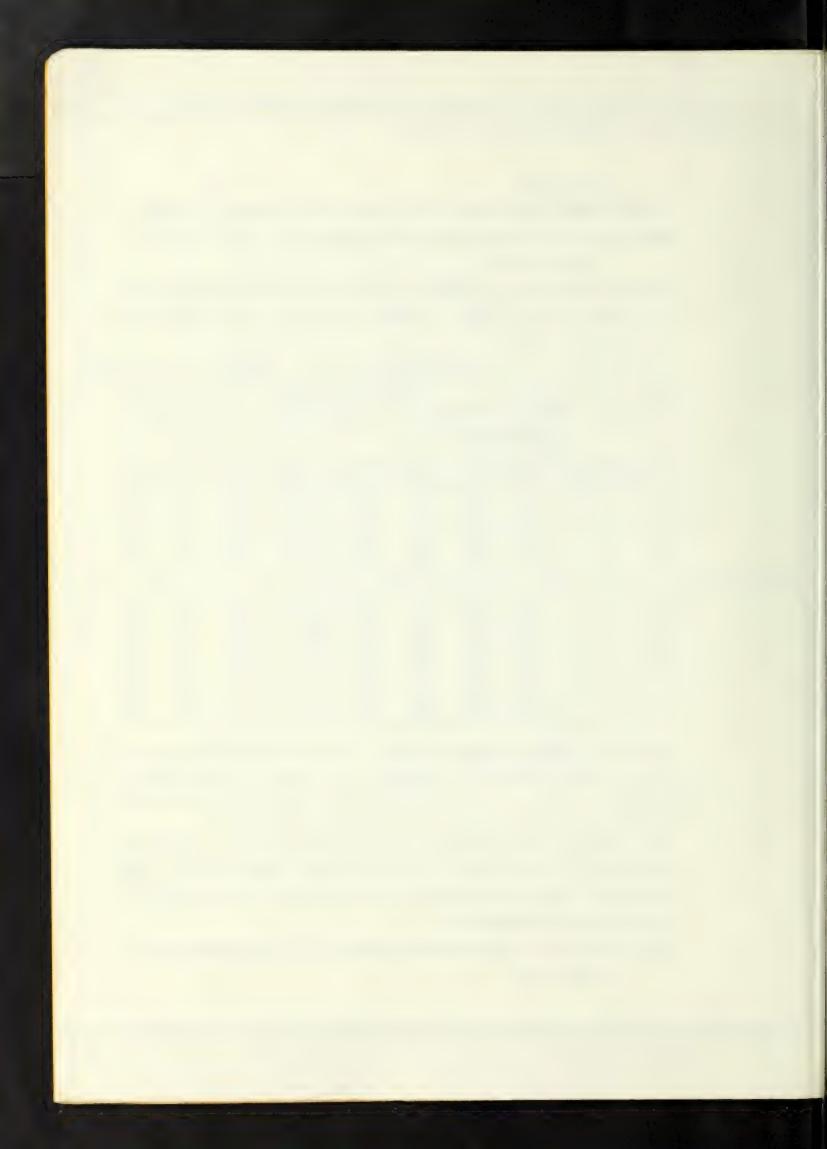
各地ト同緯度ニアル内	地谷地ノ降水量及其・	子	表~問~關係	7比較スレ	パ次ノ熊デア	70
雄光	显表(累牟平均) 牦					
地名大	題の華田な	TI 160 155	整 天 国	ALE MAN	岩 蜀	_

衆象要素ノ内除水量、氣温ニズデ重要ナルモノデソノ量ノ多少、分布ノ如何ハ農業經營上等関認ス ルコトが出來ナイ。萬一降水,頻繁ニシテ且ツ雨量ノ多イ時、作物、必ズナ徒長シテ収穫ノ完全ヲ期 スルコトガ不可能ナル、明デアル。

たレニ反シテ過少ナリシトキモ亦被牧ヲ惹キ起ス基トナル、大豆ハ元來多濕ヲ好マズ發芽ョリ開花 前後迄、雨畳、箱多キラ欲スルモノナレドモ、瞬後、快晴多ク温度低キヲ喜プモノデアル左ニ箇別ノ

由來大豆ノ栽培タルャ温帶地方ニ道スルモノニシテ北緯三十度ョリ四十五度ノ間ニシテ熱譜又ハ寒 骨地方、道當ナラパ之レヲ以テ見ルモ備朔ノ氣温、大豆栽培ニ適セルモノト云フコトが出來ル。

第二節 降水量



日光ではいてきた。ここがはい

アル所以デアル。 徳時二至レパ殆で雨ナキノ衆態ナルヲ以テ種質ノ品質ヲ損セザル特點ヲ有スル。是レ協洲大豆ノ韓假

第三節 其ノ他ノ氣象要素

一秋季收獲時一當り子蒸發量ノ多イ事、預賞ノ乾燥ラ十分ナラシノ品質ノ向上へ勿論貯蔵」耐へ得べ果ヲ猶サナイガ夏季及秋期」於ケル蒸發ノ旺盛ナル事、大豆ノ生育及成熟」良好ナル結果ヲ與フ。殊ノ上ョヲ見ルニ非期福確時ニ蒸發量ノ過多ナル、降雨ノ少イ事質ト相俟ッテ發芽生長ノ上ニ徐ヲ好結奪ノ一四二三●六粍旭川ノ七八四●五粍等デアッテ一般ニ内地ョリ面ル其ノ量ガ多イ、之レヲ大豆栽培啓ロニテ、一五二六●九粍青森ニテ、八八五●五粍奉天ニテ、一五五四●三粍函館ニテ、九二六●九粍長満別一常ノ地、濕度多ク、低キヲ以テ蒸發量、面ル大ナルヲ常トスル、大連ニテ、年一五一六●七粍

除件トナルノデアル。此ノ蒸發量ノ多キ事質二件ツテ日数時数モ内地ョリ盗カニ多ク是レモ亦大豆作二取ッテハ有利ナル

第四章 大豆 / 植物學上 / 特性

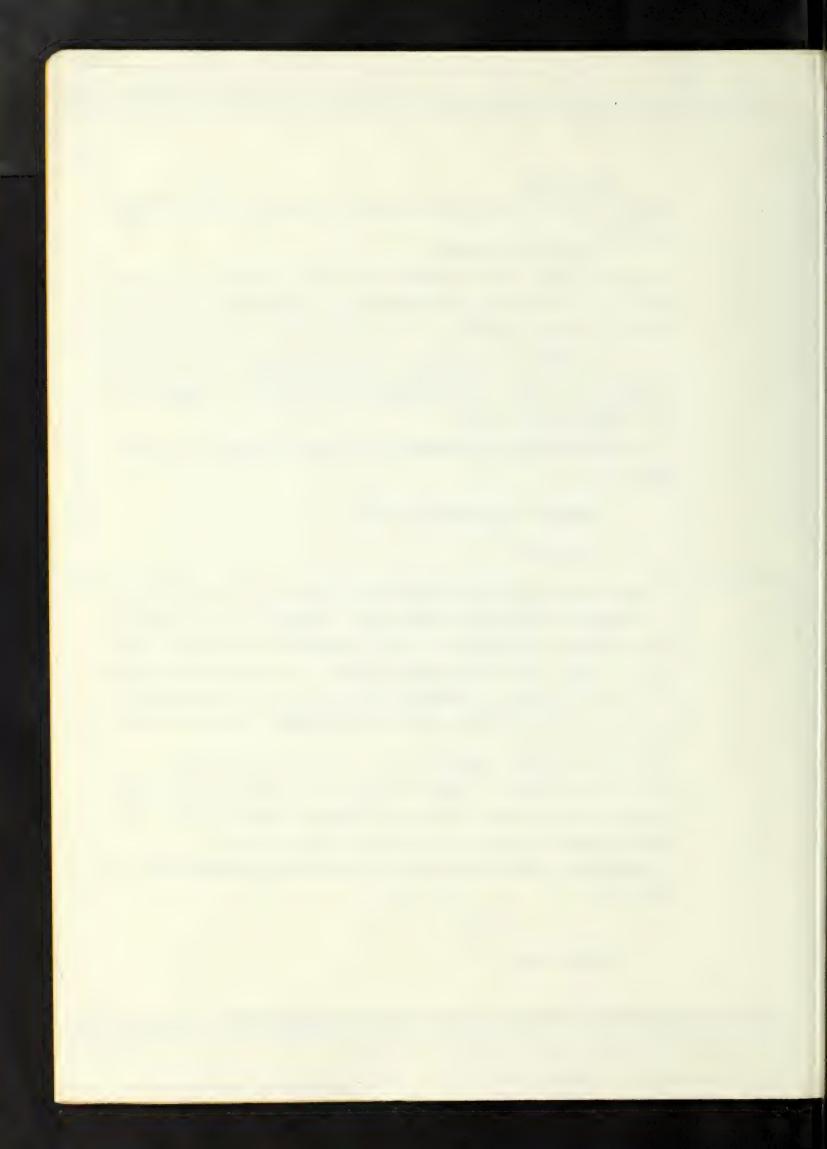
既 | 指 製

見事ナル穀物ヲ收穫シ得ルノデアル。

y 続うサル場合い之レニ反スル。ルコトガアル。此ノ外栽培距離「依ッテモ草委」差ヲ生ツ畦幅及株間共ニ大ナルトキハ枝稍開張スルハほ長シ蛮及枝い多クハ織弱トナッテ倒伏シ易クナルモノデアル。時トシテハ並ノ尖端ノ藍性ラ帶ビルモノハ之レニ反スル。然シナガラ此等ノ形質ハ四圍ノ狀態ニョリラ著シク異ナリ窒素肥料ノ多イ時等アリテ多種多様デアルガ其ノ核宜ナルモノニ至ッテハ各節間短ク莢ノ著生ハ極メラ常ナルガ直立スリ、枝ノ織弱ナルモノ、頭直ナルモノアリ草変ノ直立スルモノ開張スルモノアリ、或ハ緑直ナルモノッ曽組大豆ハ核性ニシラ高サッ尺五寸万至四尺二伸長スレドモ品種ニョリテ一定セズ枝ニ多少ノ別ア

先端し形状、鋭尖ノモノト鈍圓ノモノトノ二種ニ分レルガリノ老、極メテルデアル。テ毛ノ全クナイ品種モ存シテ居ル。其ノ毛茸ノ色、白ガ普通デ族楊、褐色等ノモノモナイデハナイ、ニ異ツテ居ル。普通、族様色デアルガ紫色ノモノモ相當ニ多イ、此ノ嫩茲ニハ毛茸ヲ有スルガ時トシ大豆ノ子葉、菜豆類ト同ジク数芽後地上ニ現ハレルモノニシラ其ノ時ノ嫩莖ノ色ハ品種ニヨリ大イ

ノ通りデアル。今次主衛試験場ニラ試験シテ居州軍ナル品種ノ藍、丈、節數、技數、ত重及ビ總軍等ヲ整ケルト次



品種名項目	堂 丈	管 数	枝 數	茧 亩	報 语	海	函
率天白眉	110-KO	1404	E•1	三十九四	10.44 \$4		
及主衛白眉	1101< 1	1#°#	111-14	111-1114	1 ا • ۱ ا		
白花盥子	11.0%	1 40-ht	111- 1	1.41	K*11114		
四粒茧	11-四州	1144	E11)	III•OE	11101112		
四平街白花	110长四	1≍•1	11[-]1]	11[-1]42	11017		
開原白花	111-11111	11<-1	图•11	ۥ10	14044		
李天黑腳	三十九六	14:4	图*11	M+1111	1 11(+1 1)d		
四中街黑腳	111- 1-1	1べ・:	E-E	三十十八	11054		
小 黑 醇	1 *1<1<	14.0	11]=11]	[• ⊀ iii	***		
及主衛丸形黑質	110-7273	1 4・国	四。阳	111-014	1 1 •11/11		

総1122 総

(室」於ケルト同様デアル。アル、薬柄ノ長サニモ亦差ノアルコト勿論デアル。薬ノ表裏兩面ニハ毛茸ヲ衛生シラ居ルガ其ノ性質小薬ョリ稍大イ、薬ノ形ニハ大、小アルノ外品種ニョリ圓形ヲ帶ベルミノト、稍長形ノモノトノ別ガ大豆ノ薬、三小薬ナルガ普通デ時トシラ五ツ薬ョリナルモノモアル、三小薬ノ内頃小薬、ソノ形側

深川語 花

イ、花色

ケ緑莖ご紫花ヲ苦ケルモノモアル。シラ紫花ヲ生ゼルモノハ森莖デアル、続レドモ中ニハ赤莖デ白花ヲ苦やの禁花も生ゼルモノハ赤莖ニシテ白花ヲ生ゼルモノハ森莖デアル、続レドモ中ニハ赤莖デ白花ヲ苦花色ト莖色トノ間ニハ小豆、莢豆、豌豆等ニ於ケルガ如ク兩者ノ間ニ相關關係ノ存スルモノノ如ク紙ニ素色セルモノアリ之レヲ詳シク觀察スルト數種トナル、各部著色ノ具合ハ(ロ、構造)ノ部ニ酸ルの大別シテ白色及紫色ノニトス、紫色ノ内ニハ種々ノ程度アリテ花瓣ノ一部ニ著色セルアリ、大宇部

り、標造

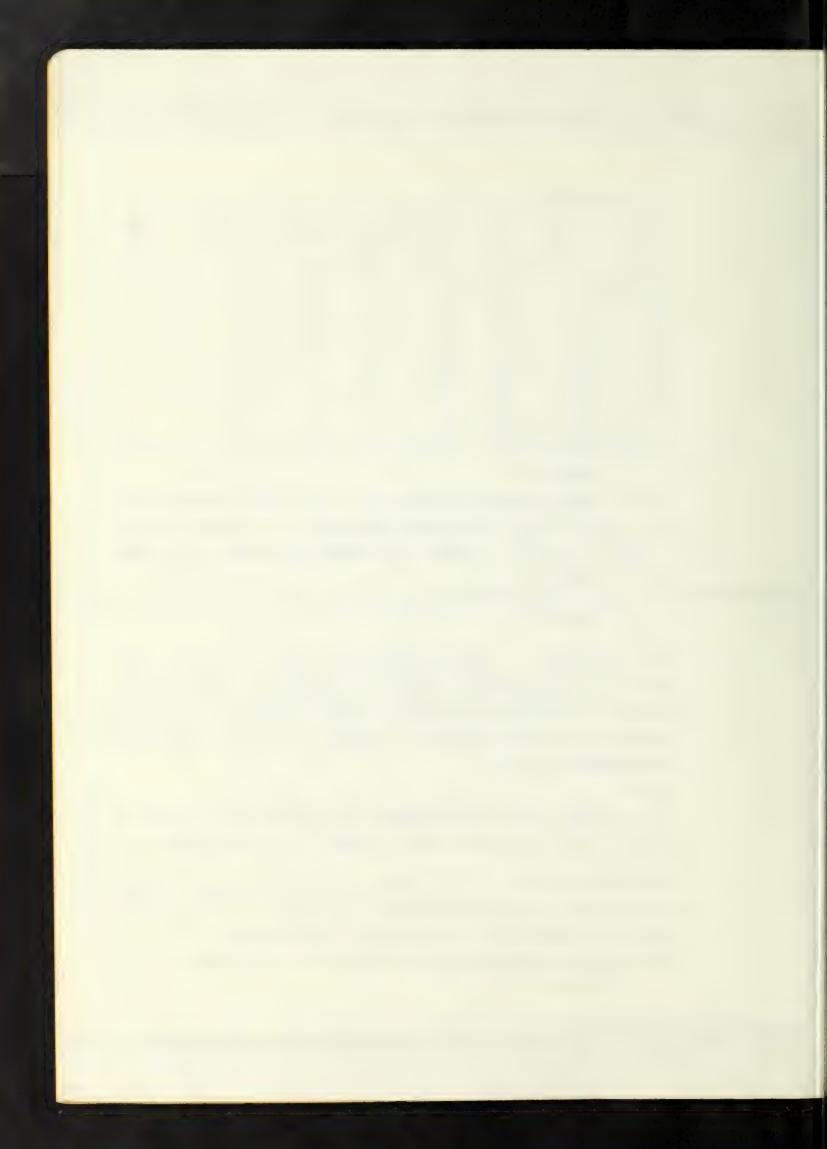
體次ノ通りデアル。豆等二比スルト甚ダルニシラ其ノ詳細ナル點ヲ見ルコトガ困難デアルガ之レヲ存解的二觀察スルト大主トシラ花、葉脱ョリ祖出シラ短き花博上二簇生と時トシラハ單獨二葉既二生ズル、花ハル豆、莢

生ズル花ニラハ菊ノ基部ニ苞ヲ有スルバカリデ薬柄ノ基都ニハ苞ノナイノガ常デアル。具ヘテ居ル。時トシテハ小柄ノ中央ニ苞ヲ有シ基部ハ之レヲ具ヘテ居ラスモノモアル。薬骸ニ單獨ニ即チ各花(飲小ナル小柄ニヨリテ支ヘラレ葵ノ基部ニハ一對ノ苞ヲ有シ小柄ノ基部ニモ一片ノ苞ヲ

- 第、其ノ形錐形ニシラ五裂と旗舞ノ後方ニ位スル二醇片、年、相合セルガ如き訳ラ呈シ、ノミナラ

第一篇 蹒跚大豆~栽培

元



ズ他ノ尊片ヨリモ領旗イガタメニ族許ヲ支持スルニ道シテ居ルの雄狩へ殆ンド間形デ先端ニ刻目ヲ有 **と悲昂、凸出シテ倍使國属ノ杤ニ類似ツテ居ル翼鑚ハ篦狀ニシテ港諮詢ク延で其ノ一側ハ凸起シテ居 と又別ニ少シク凸起スルペアリテ其ノ内面、田窩ラ作リ龍昏緑、耳袋状ニシテ葉部細ク延長シ外方ニ** 面シテ小凸起ラ有シ翼録ノ団窩ニ欲入セラル。

雌蕋、一本雄蕋、十本デアルガ雌蕋、扁平ニシテ子房細長~花柱、短クシテ一方ニ曲)柱頭、花柱 ノ尖端ニ位シ北ノ表面扁平ニシテソノ下線ニ短キ毛茸7有ス花ノ十分開ク時ハ旗蘚ハ下方ニ죺下シテ

殆ンド水平ノ位置フ取り翼鉄、左右二開イテ龍骨蘚フ露出セシメル。 大豆ノ閉花期、普通一日ニシテ長クモニ霊佼以内ニ於テ蘇蘇、再ビ直立シテ翼鱗ヲ抱キ忽チ萎湧ス

ともろがとろっ

今左二及主衛試験場ニ試作セル主ナル品種ノ花ノ各部ニ於ケル色ヲ示セパ次ノ通リデアル。

		\	_	句		准页色	花柱色	于真色	標	朝	抗禁包	198	8)		道			îă.		67			窟	27×10 -5	H.
ı	11/2	HEN.	44			461000	the strain	حب استاد ا ،	THR	_	1-4-316. dra	14h			4	1	<u>-</u>	*	**		4	H	α	922	- 444
١	*	K		M C	戊	扭	·π	如	#	۲	伍	.D.	er.	怒	北京	#	×	爲	2.4	燃	렇셨	翘	£#	5.3	£#
1	裘	Ж		能	1	412	411	伍	#5	ζ .	故 自	47. W	#	芯	北京	怒	100	期	報	抗	Ħ	征	紅	51	梨
١	÷	1	T A		邓	411	411	垣	福	۲	垣	47	*	焧	紫	掘	Ē	23	芸	烁	# 1/4 11.50	d d	*	#('3	T.
		欧		-111	171	Œ	和	祖	糯	4	中	松	摇	4	П	4	П	4	II	4	п	4	1	-1	

		~ : Ux									~		-	
副	赵彭	4I	-TI	-00	粒	和	該該	-AII	垣	該 黄	中	和	和	
E	平街鼠路	-111	中	-11	#3	न्य	郑 梁	24	郑 海	超 報	Œ	24	47	
*	天馬師	न्य	-111	Ψ	#3	ā	郑 蓝	和	和	411	400	न्य	-111	
E	平街白花	<u>√</u> ш	中	-111	慧	ά	法 前	包	該該	於 莊	垣	Æ	扭	
*	天自谓	和	Ή	虹	糯	Œ	24	2.7 4 K	12 14	認報	44	24	談 祭	
公.	主动自用	中	Ψ	和	红	和	報	**	郑 福	第 第	赤紫	赤葉	200	
会主	語丸形界質	-02	-011	伍	裁	白	※ 黄	和	茂 莊	該 鼓	411	** 24 E	※ 粒	

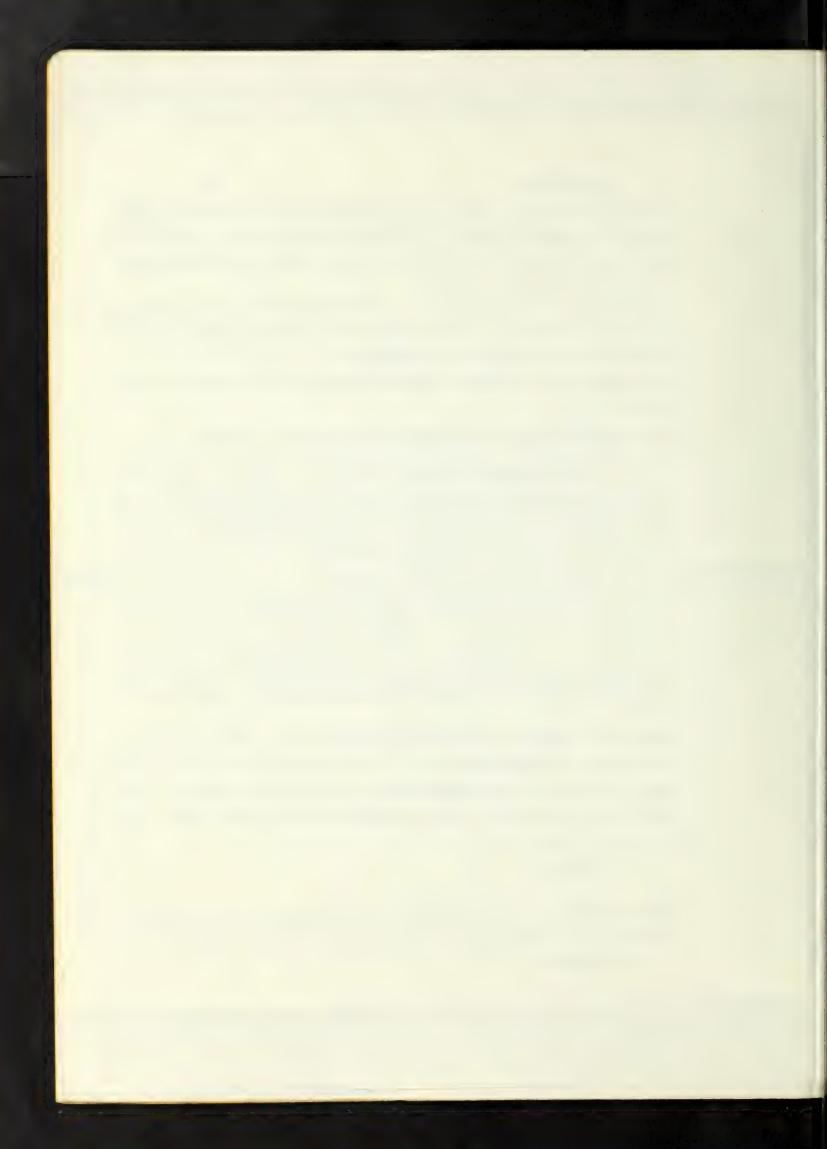
ハ、授粉

花冠ノ菊片間ョリを部露出とザル極メラルナル音ノ時二次テハ葯、交互二長短ノ差アリテ柱頭ハ葯 **3り稍高キ位置ニアルモ花冠ガ大部外尊上ニ現ハレルニ至レバ葯ハ柱頭ノ周邊ニ集マリ版錠シテ花粉** ヲ放散スル、即チ此ノ期間ニ於ラ花絲及雌蕋、龍骨難ニ包ァレ居ルヲ以テ翼縛ヲ下方ニ壓スレバ此等 ノ龍骨鞍ト共ニ垂下シ柱頭ヲ露出スルモ此ノ時ニハ既ニ柱頭ニ花粉ノ附著シテ居ルノヲ認メル、是レ 大豆ノ自花投精ラ行フ所以デアル。

第四節 莢

图 7

| 表色こい種々ノ階級アリテー定シ難イが責及終初ヨリ黒楊ナルヲ普通トスル。然レドモ其ノ菜面上 ノ毛茸ノ色ニョリテ大イニ変色ノ異か場合ガアル、薬面上ノ毛茸ノ色ハ白、黄、褐ノ三色ニシテ品種



ニョッテ毛ノ密度及其ノ長サニ差アルコト勿論デアル。

ロ、 形態

アル。 等二件フテ髪化スルモノニシラ大粒ニシテ球形ナルモノハ然ラザルモノニ比シ厚ク多クハ七、八粍デモノハ然ラザルモノニ比シ変幅大デアル。普通一二粍内外デアル、又変ノ厚サモ共ノ粒ノ大小、形状普通トスル。淡幅、路米粒ノ大小、並二形状二比例スルモノニシテ珠ノ粒ノ大ナルモノ又ハ扁平ナル一葉中二包含セラルル子質ノ粒数数二卦ノ大小ニョリテ変長二差ヲ生ズルモノナルガ五〇粍内外ラ

い、一株笛ノ炭数

予居と。 数、品種ニョリ差アルモ少キ、五〇変多クモ五○○変ヲ超ユルコト都ニニ五○変ヲ普通トスルト云フ
ボテ一株ニ四○○変ヲ著生スルコトアリト報ジ、更ニ<u>カツドハウス及テーラー</u>爾氏ニョレバ一株常変表乃至二○○淡評通、五○万至七○莢デアル。ビバー及モールス兩氏ハ「アーリントン」製事試験場ニ
須温土塊ノ關係又、品種ニョリテ一株ノ変数ハ一様ナラザルモ、當場ノ調査ニョレバ多キハ一五○

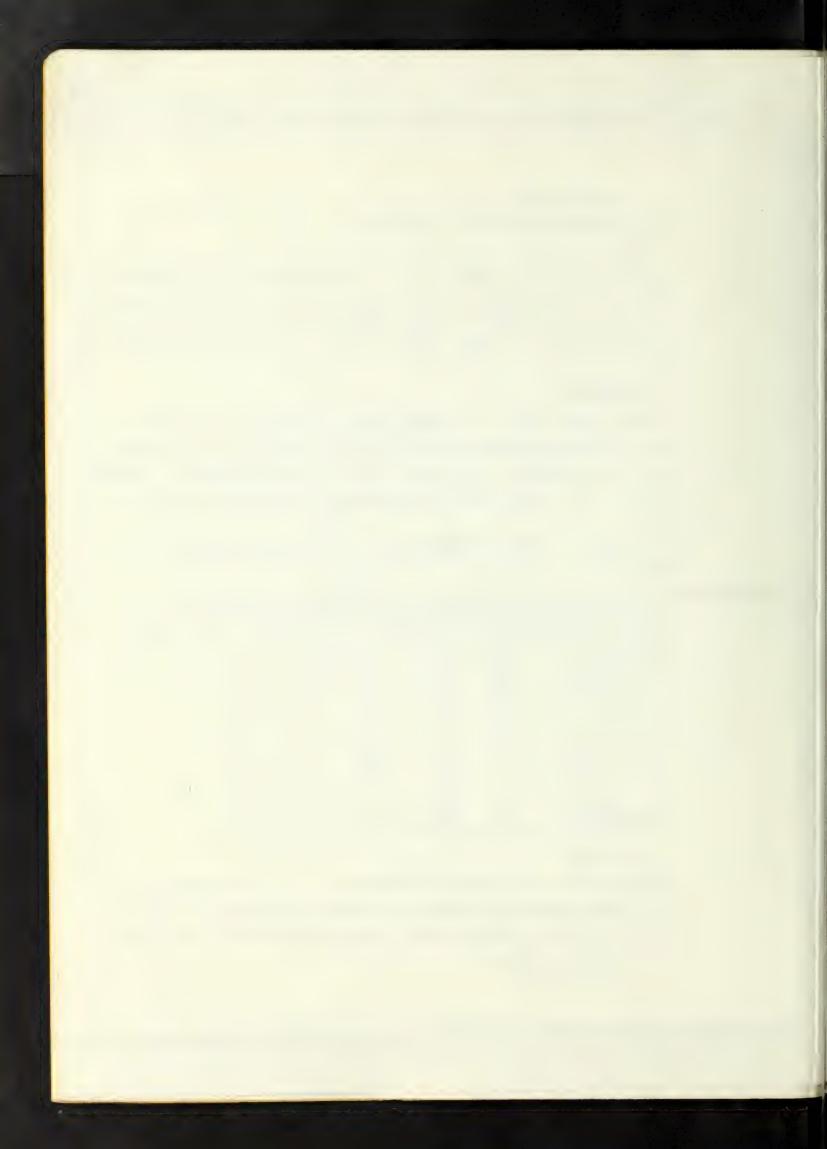
ノ通りデアル。是レニ依ツテ見レバ協調ノ大豆、結莢数箱少1様デアル。今主ナル品種ノ各粒莢ノ調査ラ示セバズ

	4-1	_		14	17 " W		*19"	,
12	# 菜 弘	1	紫		254			
_	E	1	11	111	E	1/100	墨	#6
松		4C+E	四1-34	1.1+1	0-1	H42+1		
以		村•四	1142-111	1 1<+11	0.1	- MT-1		
百	花鹽子	E.E	11才。村	144	0.1)# I •r<		
国	松鼓	111+14	।।।स•स	1111 •140	1+1	H41•4<		
日日	不街白花	M+O	114:44	· 11K•0	0+11	40•₹		
噩	原白花	K•0	114:43	1171 (+31	0.1	₹		
表	天黒勝	11]+}4	11%•1	1140종	0.0	₩ 7•0		
囯	平街黑赋	⊀• 0	111111-40	F [44]+[1]	0-11	44411		
+	湖 謹	10[-11]	115-4	E1+1	O+11	⊀ ⊀•m		
交	王欲丸形黒竹	2 1 € 12 € 12 € 12 € 12 € 12 € 12 € 12 €	110-0	113-79-1	1 •42	4 <11(*11)	•	

こ、一莢中ノ粒数

待チソノ開係ラモ究ムル必要ガアルの二過ぎナイ、開びテ一変中ノ粒数ノ多少い品種ニョリ造フ様ナル傾向ヲ有シテ居ル、尚他日ノ研究ニ党セルニ四粒莢、餐育良好ナル個體ニ於テ麼々見タルモ五粒莢、大正二年以來唯一同之レヲ認メタル普通二粒乃至三粒ニシテ都ニ四粒極メテ務ニ五粒ヲ著生スルコトガアル、常及主省試驗場ニ於テ關

第一篇 搞洲大豆~熊培



第一篇 搞洲大豆ノ栽培

11111

(1・ベベ)

(4441)

-	لنصل والبط النحم

- (11.](11)
- 엥 白 花 瞠 子 (こうした)
- 엥 交主衛白眉 (11•₹1)
- **四苯天白眉** (1140)

葉丈

の

及主領

な
形

黒

質

- (川-代四) 읭 四平街白花

篮

莹 丈

莹 丈 (141) 3 粒 4 内地種

イ、早熟種

ロ、 中 熱種

**氏ノ
み類」
基キテ
及主
智
農
事
試
験
場
っ
表
培
シ
テ
尼
ア
主
ナ
ア
大
互
フ
置
け
ス
ル
ト
永
ノ
通
リ
デ
ア
ル
o**

- **、、晩熟種 十月中旬以後ニ成熟スルモノ**
- ロ、中熱種 九月下旬ョリ十月中旬迄二成熟スルモノ
- イ、早熟種 九月中旬迄二成熟スルモノ
- 別ッヲ適當トスル様デアル。

臨例、一般二早ク秋治ノ來ル為メ早熟ノモノラ可トスルガ故二北極道礼観地方ト同ジク次ノ標準二

熊 郭	全育期間	位	茶	弄	海	网	清	緊	生育期間	镃	類	華	粒	附
本 報 報 相 相 報 報 報 報 報 報 報 報 報 報 報 報 報 報 報		九九月月月月	· 中	旬旬			最晚期	G 1991	以 上 出 (日 (日 (日 (日 (日 (日 (日 (日 (日 (+	四十	Œ		

ニ分類シタ。

モノ、晩熟デアル、此ノ關係、略ポ小豆及菜豆ト同少様デアル。 ビバー及モールス氏が「アーリントン」農事試験場ニラ試作シタル結果ニョッラ大豆ノ熱期ラ次ノ様

第六節 熱 品種ノ特性ニョリラ大差アルモ概シテ云へい草文ト比例と草文領キモノハ早熟ニシテ之レニ反スル

億カニー品種ニツキ五粒変ヲ認メタルが鬼ニ角五粒変い極メラ都ニ著生スルモノナルコト以上研究ノ

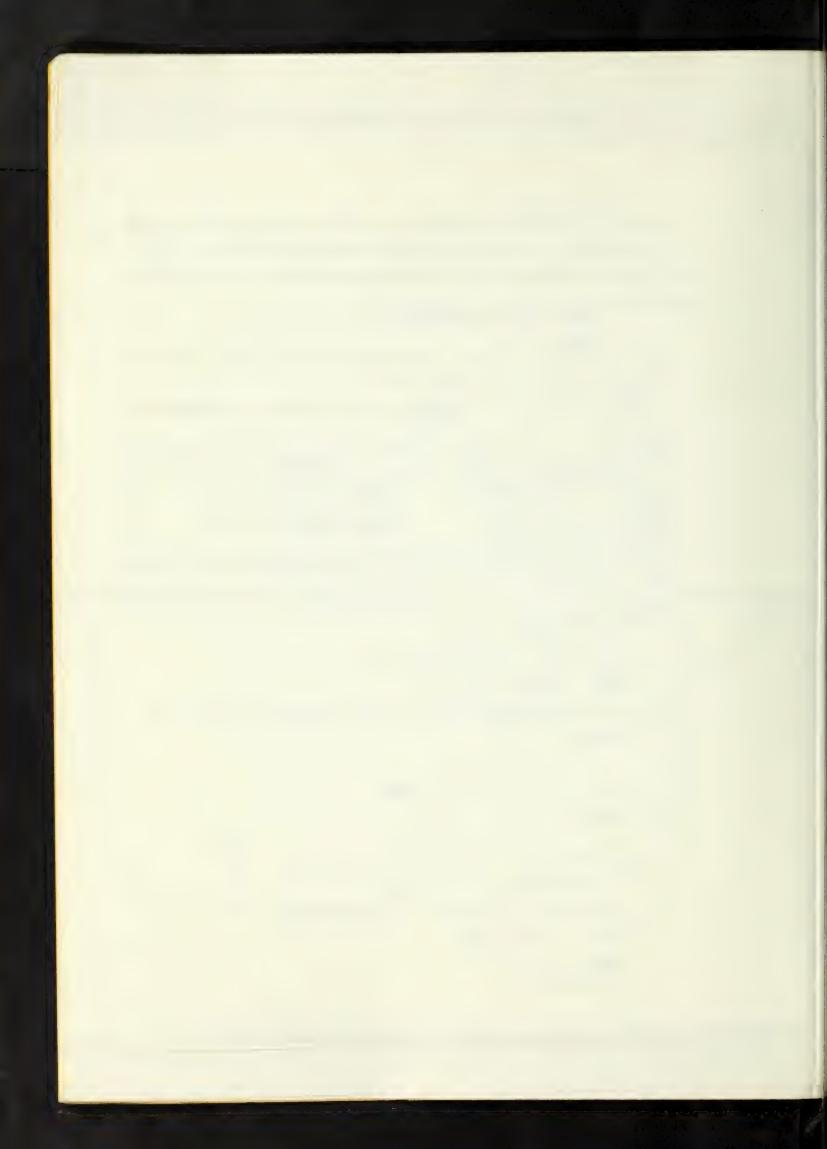
第五節 子實(鑑定ノ都講師ノ説明ニ説が)

例ニョリテ明カデアル。

外國二於ケル一淡中二於ケル粒數ノ調查ヲ見ルニウッドハウス及テーラー氏、印度二於テ四粒淡以 上う合えル淡り質験セザルが如クシャウ氏い末が五粒淡ノ存在セルヲ見ズト云ツテ居ル、ピバー氏ハ

- 第一篇 藐洲大豆,栽培

1111



採!	谜 词	第大	立ノ我	如			•	118
					並			蓝 丈
Ξ	歪	E.	Ħ	177	(111-1111)	(4)	率 天 背 皮	(ミ・0代)
(3)	奉	K	黑	篮	(三十九六)	(5)	四平街黑ő	(11-11)
(3)	株	Ł	Ħ	H	(三元1)			

第五章 大豆ノ栽培法

地理的劇房ニョリテ大豆ノ栽培法ハ少シク異り幹線鉱道ノ南部ト北部トニョリテ多少趣キヲ異ニシ テ居心。ハ一般ニ秋又ハ早春水解前ニ當リテ土薬ヲ圃場ニ點々逃艘ツ置キ播種前之レヲ圃場一圓ニ撒

在シ地中二切き込ミ侏儒ラ行フラ普通トシラ居と。 孫種ノ時期、地方ニョリテ多少異ルモ四月下旬ョリ五月中旬ニ行フが最モ多ク福殖後二週間ニッテ

要孝スル、 發芽ノ後二、三週間ヲ程テ第一同ノ除草中排並ニ培土ヲ行ヒ、其ノ後二、三週間宛ヲ程テ近

ニ第二回第三回ノ除草、中耕、培土ヲ行フ。時トシテハ第四回ノ除草ヲ行フニトモアル。 、七月中旬ヨリ関花と出シ、九月中旬ニスレバ下薬、衝大武藝ッテ落薬と始ム九月中旬ヨリ十月上旬 マデニ收穫とラレル落葉シテ莢部三獨特ノ皮熱色ヲ呈スル時ハ莖ハ地上約一寸位ノ處ヨリ刈り取リソ **ノ陸開上ニテ四、五日間乾燥シ後馬車ニテ特ニ設ケタル調製場ニ選ビボリ一様ニ観グ、ソノ上ニ石頭像**

子ヲ數百度同轉セシメ良ク既粒シ、然ル後一箇所二集メラ風力ニョリテ精選と塵芥及じ砂ヲ別チ貯蔵

場ニ連織シテ随時市場ニ出スノデアル。

跳 [据] 居

一、肥料ノ南原

從來上民ノ大豆二月ヒタル肥料六凡テ土蒸ニシテ我國内地ニテ一般作物ニ供用スル所謂金肥ノ類ハ 少シェ用ヒナイ、企肥ヲ使用セザルハ獨リ大豆ノミニハ限ラズ他ノ作物ニテェ同様デアル、即チ肥料

問題ニ對シテハ無頓著ノ様ニ祭セラレル。

作物唯一ノ肥料タル土蓋ノ原料、地方ニョリ一様ナラザルモ多ク、動物ノ排泄物、作物ノ藍程類及 土壌トラ混ジョク腐熟セシメテ製造スルモノデアルガ以上ノモノノ混合割合い地方ニョリ又製造家ニ ョリテ異ルい論う俟タナイ。所ニョリテハ人薫ノミニテ製シタル人土蔵トモ見ルべき場合又、豚合ノ

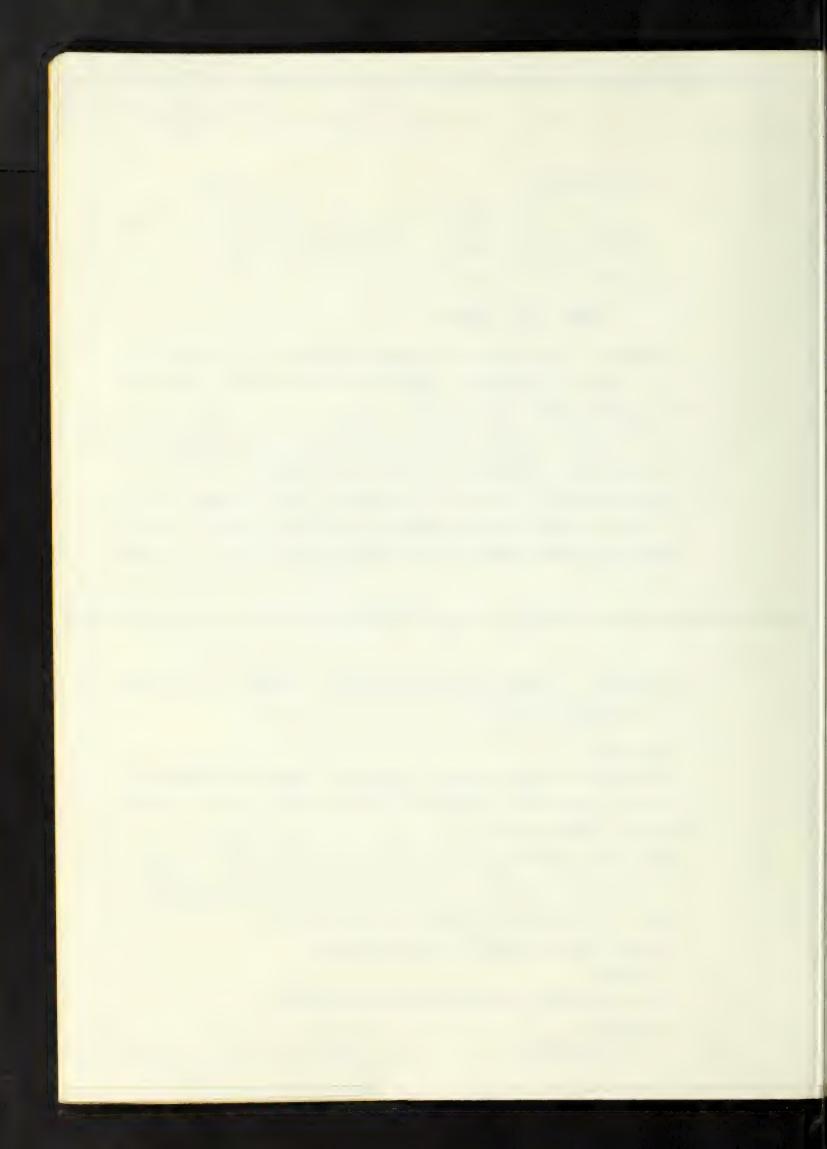
構造等ニョリテ侍ニ豚土薫ト命名スルヲ至當トスペキモノ等ナイデハナイ。

左一参考トシテ上意ノ製造ヲ分類スルトキハ凡ソ左ノ五種トナル。

イ、合外混土法

畜各ヨソ排泄物ヲ機出セル際ニ土壌ヲ混ジテ土薬ヲ製造スル方法デアル。

p、含内毯土法



第一篇 资酬大豆~数培

1145

畜各二排泄物ノ堆在とか場合二辛シテ其ノ変ラ破ノ程度二土機ヲ超フ方法デアル。

へ、坑内混土法

於ラ上腹ヲ混ズル方法デアル。畜舎ノ附近又、門ノ側等ニ糞坑ヲ作リ人糞又、凡テノ汚物ヲコノ中ニ投入シ意・閑散ナル時期ニ

こ、各外歴土法

如夕相互ニ旗ミ重ネ凍結前ニ切り返シテ行フ方法デアル。地下約一尺掘り下ゲ脱粒セル穀類ヲ堆就シ更ニソノ上ニ其ノ厚サニ等シキ土壌ヲ結截スルカクノ

4、積 糵 法

ソノ上ニ社、重チ塁莽随肥期ニ至リテ切り返シテ行フェノニテ甚が粗放ナルモノデアル。門前又、畜舎ノ側ニ三尺以上ノ高サニ土壌ヲ推積シ人畜ノ排泄物又、汚物ノ類ヲソノ生産ノ都度

二、施肥期

十万至十二畦ヲ隔テラ亦堆積スルコト前ノ如クシ此ノ作業ヲ繰り返シテ稔ニ土糞ノ運搬ヲアスルモノリテ馬車ニラ土蒸ヲ運搬と畦ニ沿と約十歩宛隔テテ少量堆積と其ノ一畦ニ對シ土糞ノ運搬終ルトキハ在來ノ方法ヲ見ルニ秋季圃場ニ土糞ヲ運搬スル處アルモ、多クハ早茶末ダ地表ノ氷解セザル時ニ當

アル。
デアル。カクノ如ク閩場ニ堆積セラレタル土薬、大豆ノ播種前又、播種ト同時ニ施配セラルルモノデ

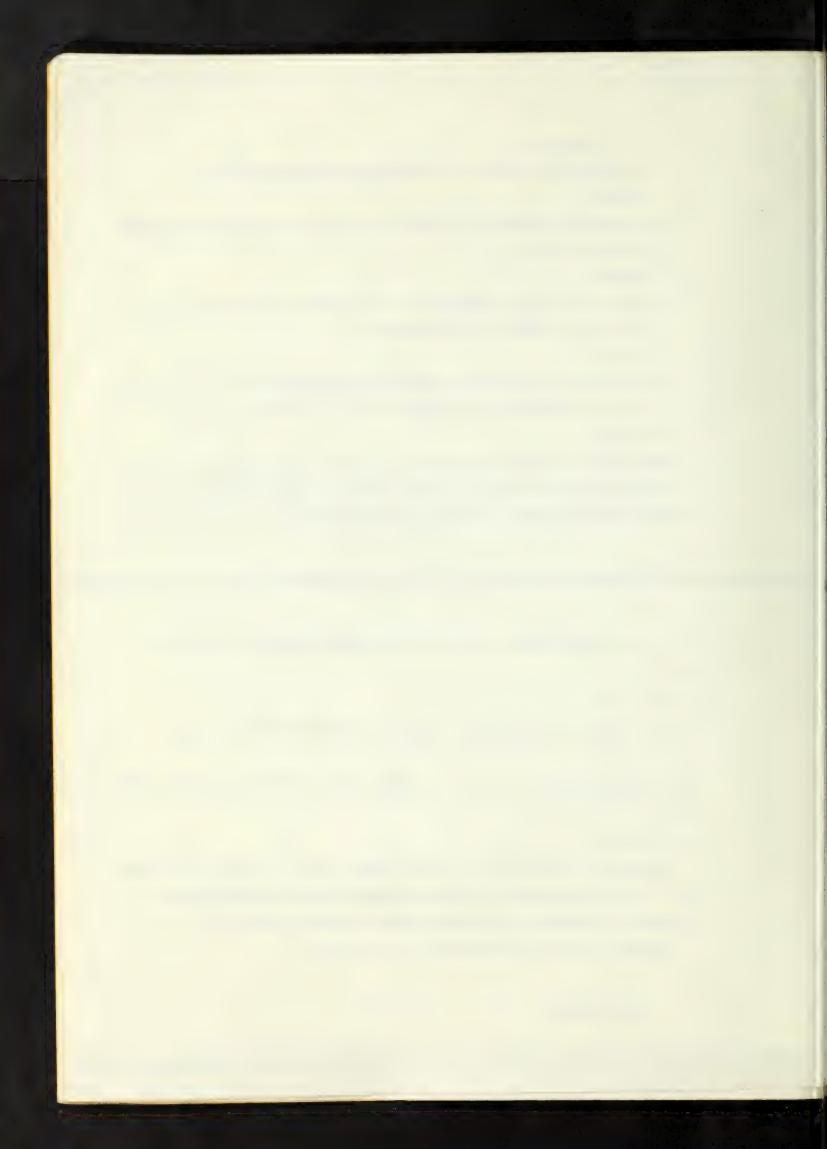
三、施肥法

主トシテ機変ナレドモ勢力ノ多キ場合こい流糞(内地ノ如ク條溝内二施肥スルコト)ヲ行フコトモ

恋撮〉法ニ依ラネパナラス。 根葉、有效窒素分ヲ消失スルコト大ナルモノナレパ肥料ノ效果ヲシラ十分大ナラシムル高メニハ將來アル。

四、施 肥 量

今席朔谷地ノ大豆ニ對スル肥料ノ關係ヲ表示スレパ次ノ通リデアル。 逸陽附近ニテハ輸出ノ關係ニョリテ大豆ニ施肥スル場合アルモ施肥モザルヲ普通トスル。 肥スル、而シテ本窓額附近及開原、四平街地方最モ施肥县多ク、及主菌、長幸地方ハ比較的少ナイ、大石橋以南ニテハ大豆ニ施肥スルコト殆ンドナク、逸陽ヨリ北部ハー、二ノ例外アレドモ多クハ施



ノ貴ニ優ル様デアル、加里ニハ無機態又ハ有機態ノモノアルガ軍ニ加里トシラ表ハシラ 差 支アル ア燐酸ノ性質ニ至リラハ僅ニ一種類ヲみ折シタバカリデアルガ多み溶解性燐酸ノ合量ハ不溶解性燐酸以上ノ三型素成み中窒素、主トシテ有機態窒素ョリナリ「アンモニア」態窒素、甚ダ少イノデアル。

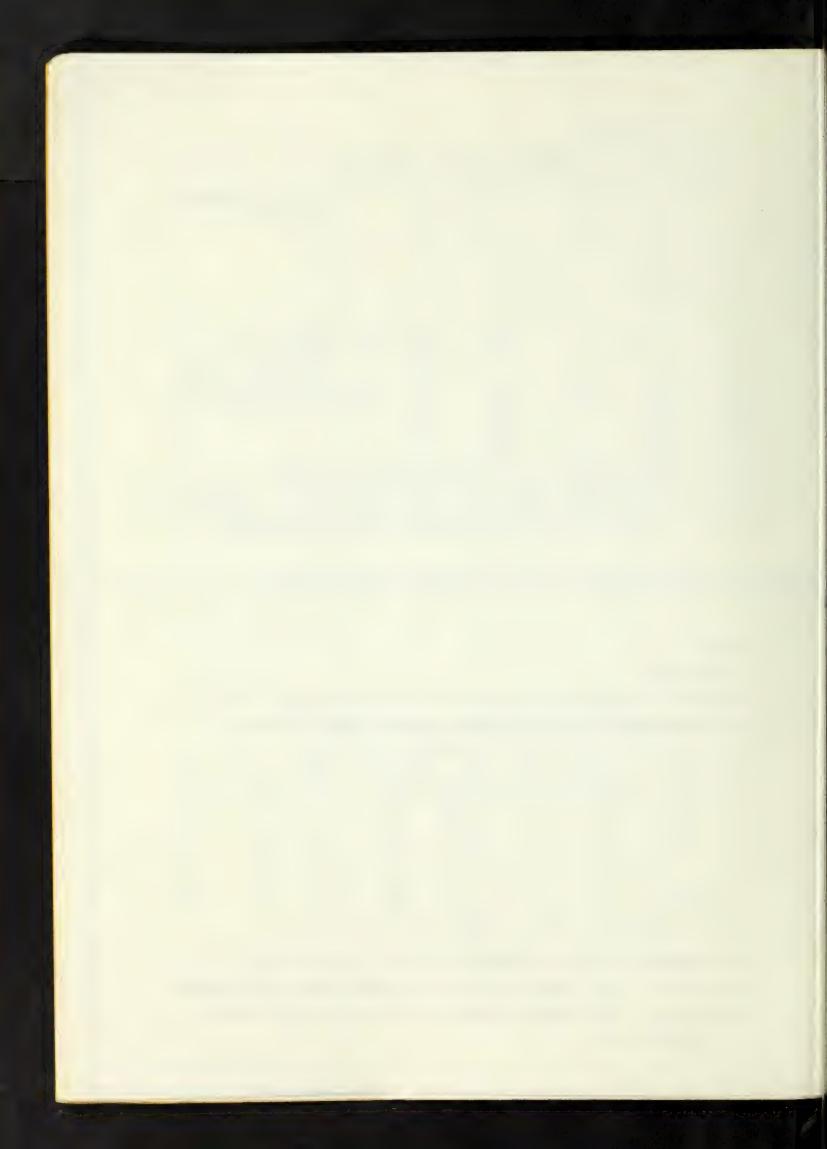
塘	*	/ 35	新縣	数 整	岩 田	相	名分本分	器器	群 腔	村 里
母		玉	O+111	०•समः	O•III	40 観	短	O•11KE	٠ ١٠٠١١	○◆団九ス
瓦	周	压	O-114E	HOIII•O	0.5	四置	河	O+K14	Ostrite	O•IIIKH
00: 4m:	枏	拉	0-111	0.541	O•#4	40 II	EG	0.1KII	0.1411	O-thinti
福		K	O+1E	0.1KE	1.0	em mx	禁	O•IIIII‡	O-HHHII	0.1111111111111111111111111111111111111
X	五	糯	O•#41	0.1110	0•40	中国	型	O+111HO	O-EHO	O+H11#
4	K	扫	O•K114	0.114	O•4	110 推	副	O•HICO	0.11100	O•HOC
激		<u> 53</u>	0.211	0・ス化七	O•K	2×				

左二及主衛農事試験場」於ヶ仔桁シタル結果7罄ゲ以ヶ谷地土薫ノ三要素ノ塩ヲ比較スレバ上蒸、製造法ノ晁ルニ從ッテ其ノ性仔ニ業異アルモノニシテソノ平均成分ヲ知ルコト、困難ナルガ

カドトラの

保ニョルモノニシラ南方、主トシラ王蜀黍、高粱ヲ主要作物トシ北方、大豆ヲ以ラ主要作物トスルカ以上ノ表ヲ見ルニ開原以南ニテ、王蜀黍、高粱、栗ニ施肥シ大豆ニ施肥セザル、蓋シ主要作物ノ關

塘	各班	H	臣	菜	段當施肥料	超目	出法	旗	E	뒫	華	籍	松
弘		1	+	>	87		_				_	大豆ニハ施即亦う玉蜀黍、	高粱、栗等三越肥少
倒		丟	匿		-		_				-	同と上	7 N
斑	E.	垣	E		_							臣 4	
₹ <u>5</u>	阳	拉	E		_		-				_	匣 4	
糊		N	E		_	٠	_				_	匯 4	
\times	五	類	3				_				_	匯 4	
100		П	匡				-				_	匯 4	•
潮		E3	無肥丈	へ栖田	200	景	料	趋	潭	红	Ξ.	不定ナリ高災及災ニ旅	肥ッ大豆三對シテハ
¥	溪	£	選	副	₹ 00	撒茲又	へ選進	E				大豆及高粱二	福昭ツ駅ニス福朗を
额		沒	4	*	_		_				-	こい匠々ニシ大百二ヶ施即	テー定とズー化高級及駅
		原	選	田	K00	益	料	經		Εij	Е.	大百二施肥シ	高致及梁ニハば即と
囯	14	#	E		KWO	臣		12				ाह म	
交	111	独	TC .		Dilido	匠		E				E 1	
其		茶	E		ECO	IE		IE				匣 山	



~0

時、完全肥料ト云フュトが出來ル。割合ニ多キヲ以テ其ノ肥效大イ。加里モ可ナリノ肥效ヲ磐ゲ得ルニョリ土薬、速效性案素ヲ幾分術フ次ギ加里ガ最モ多イ、窒素、前述ノ如ク有機態窒素ョリ成リ其ノ性質渥效性ニシテ燐酸、可溶性燐酸三氢要素平均合有品、窒素○●三五○、加里○●五二五、燐酸○●四五○ニシテ窒素最モ少ク燐酸之レニ

六上・霊取扱ニ闘シ路承注意スペキ事項、上雲取扱ニ闘シ路承注闘シ野姫ラペカラザルモノデアル。、上ムヲ得ナイ、土甕ナルモノハ諸洲ノ現在ニ照シラ必要ůタペカラザルモノデアル。関係ヲ有スル諸洲ノ如ク障草トシラ窯程類ヲ用フルコト団難ナル地方ニテハ土壌ヲ以テ之レニ代ヘル上薬ハカクノ如ク官技肥料トシラ完全ニ近1外間技ノ效果トシテ土壌ノ理學的性質ノ改良ニ至大ノ

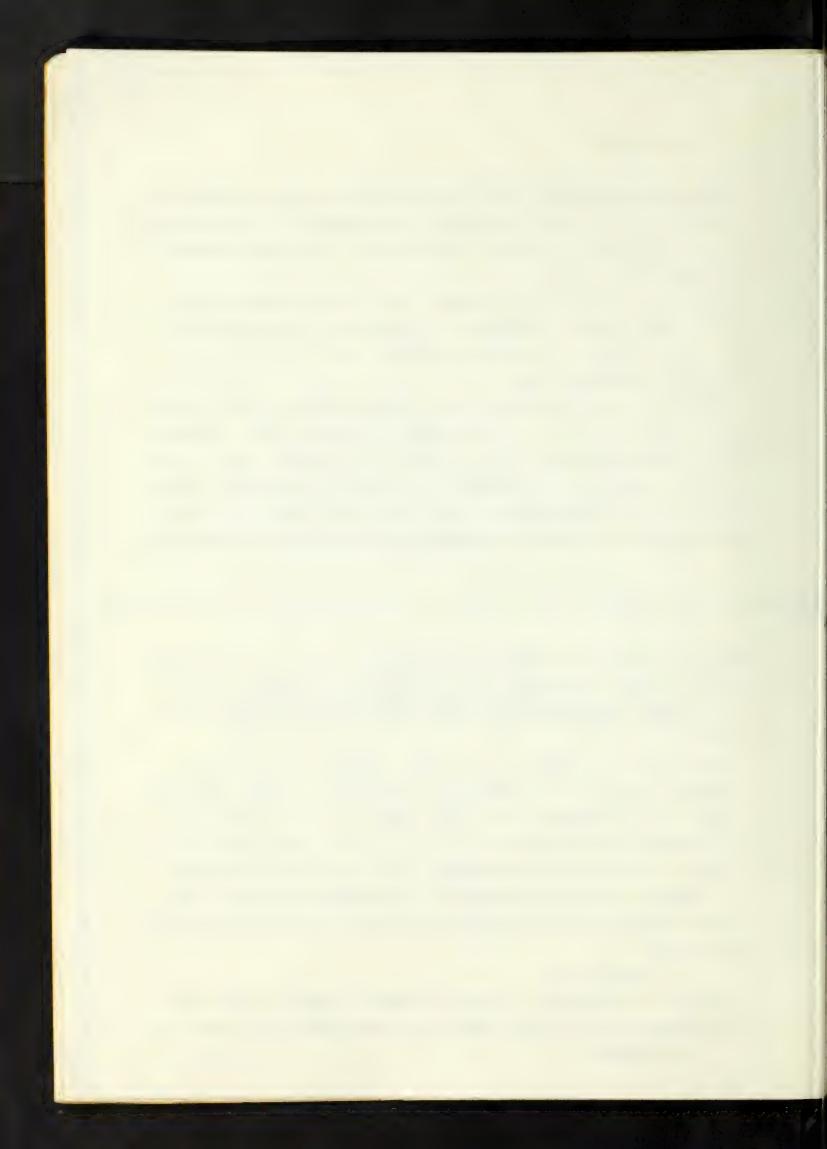
完全ナル土糞小屋ノ作ラルル遠イ路來ハサラ宮キ現今二於5最モ行と易き方法ハ日光ノ直射及風ラ造みノ利用上ョリ云フトキハ甚ダ不合理ナルコトラ知ラネパナラスの続ラパ如何ニセパョイカト云フニー大ノ存スルコトラ韶メルノデアル、陽面ニ堆積スルコトハ支那人ノ唱フルガ如キ利金アルガ肥料成強カナレバ早茶土糞ノ運搬ニ便利ナリト云フニアルの続シナガラ之レヲ肥料型上ョリ見ルトキハ一得トスル所ハ陽面ハ光ト熱トヲ受クルコト大ナル為メみ解盛ニ行ハレ遠ニ魔熱スル利アルノ外茶期配水能來支那人ノ行フラ居ル土蒸ノ貯蔵場ヲ見ルニ多クハ陽面直射ノ多キ南方ヲ選ンデ居ルの共ノ理由

デアル。ル、第二回二般出シ タ土薫モ同所ニ第一回ノ 上部又、側部二堆積シ 同様ニ土又、薬稈類ニテ 覆フノ混土法ニョリテ生産シタル土薫ヲ堆積シ其ノ上ヲ土機又、薬稈類ニテ覆と雨路ノ浸入ヲ 防 グ 様 ニス酶シ得ル地ヲトシテ地下一尺バカリ掘リ下ゲョク鎮壓シ出來得ペクンバソノ上ニ各内覆土法又、坑內

毎デアルト考へと。 用二供スルトモ流失ノ恐レ少ナケレ、間場二堆積シテ雨雪二曝露センヨリハ之レヲ動き込ミ置ク方利ルコトガ肝受デアル。土薬ハ多クノ場合速效性肥料デナイ為メ秋期連搬シタル時、秋期施シテ窒素ノヌ理由ガアルトハ云へ出來得以限り運搬期ト施肥期トヲ同時ニシ有效肥分ノ損失ヲ來サザル様ニ勉メい未ダ間場ノ凍結シテ泥土ノ車輪ニ附著セザルトキニ行ハレ是レハ主トシテ労力ノ關係ヨリ止ムヲ得ニ運搬シタルモノニテモ施肥期迄ニハ相當ニ永イ日数ノ間間場ニ晒サレテアル、早季間場ニ運搬スル付施肥ニ闘シテ注意スベキコトハ、従來ノ方法ヲ見ルニ秋期運搬シタルモノハ翌幸福種期迄、本期切返シハ「アンモニア」ノ飛散スル恐レアルニヨリ成ルベク無風量天ノ日ヲ選ブヲ可トスル。

第二節 翰 作 法

まノ栽培面積極メテ催少デアル、今之レヲ植物學上ョリ見ルニ荳科及禾本科ノニ種ニシテ土人ハ之等満洲ニ栽培セラルル農作物中主ナルモノヲ見ルニ大豆、高粱、栗、玉蜀黍等ニシテ其ノ他ノ作物ハ



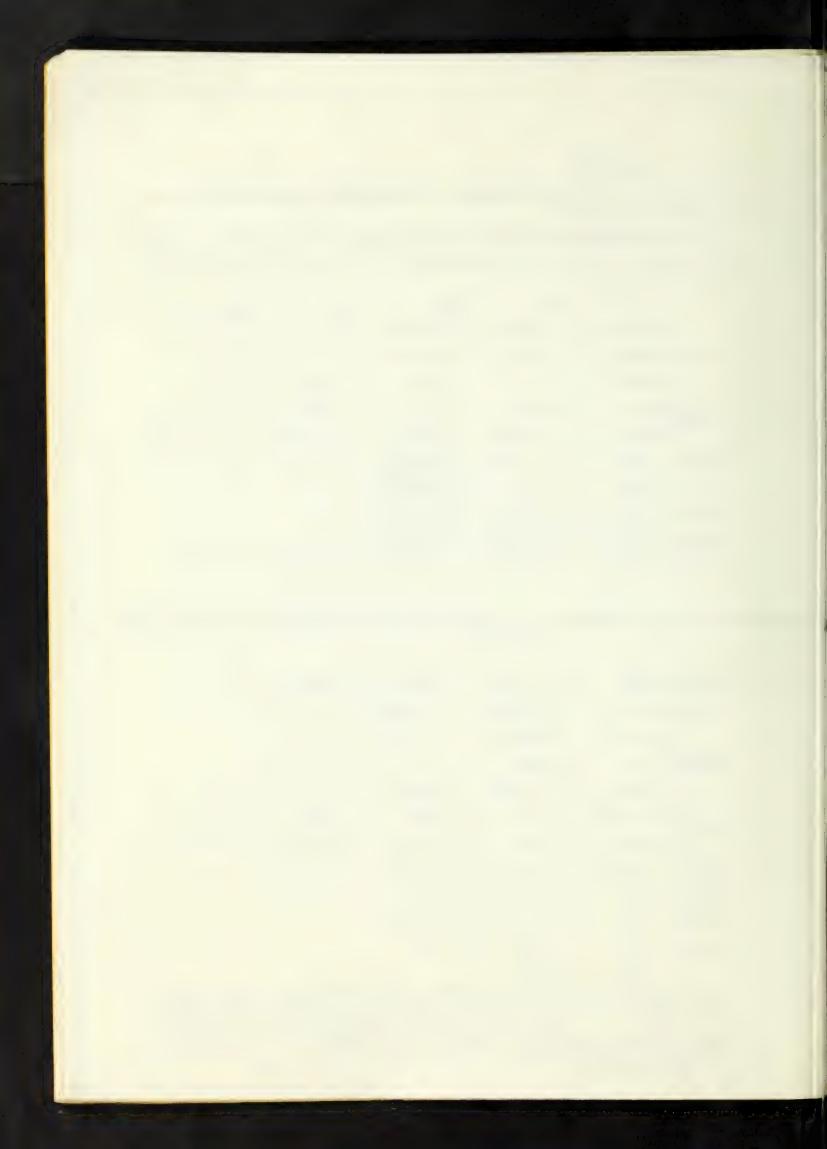
法三地力ノ維持二勉メテ居ル。性質全ヶ相区とル作物ヲ適宜二配合ゝ治熱各地トモ夫々特種ノ輸作法ヲ行と以テ即料ノ經済ヲ計ルト性質全ヶ相区とル作物ヲ適宜二配合ゝ治熱各地トモ夫々特種ノ輸作法ヲ行と以テ即料ノ經済ヲ計ルト

ヲ示セパ次ノ通リデアル。溯ノ如キ原植質ニ乏シキ土場こハ大豆、蒲朔ノ農業ト離ルベカラザル作物デアル。今各地ノ輸作状況元次大豆ノ如キ直科植物、空氣中ノ窒素ヲ固定利用シ其ノ後地ニハ多益ノ窒素ヲ殘留スルニョリ滿

+ 家宅 (高 聚 (•												
牛条屯 ⟨高 檠(超叉(無) 高 檠(脸 图) 大 豆(無 图) 大石槁(高 粱(同) 大 豆(無 图) 高 粱(餡 图) 蓋 平(高 粱(同) 聚 (同) {注 蜀黍(膽配) 熊岳城(高 粱(同) 聚 (顧 图) {注 蜀黍(醯配) (玉蜀黍(同) 又 豆(無 配) 离 粱(同) 聚 (齒 图) 克房店(玉蜀黍(同) 高 粱(同) 聚 (函 图)								1年		经	114		統目	1件		統出	4年	
牛条屯 ⟨高 檠(超叉(無) 高 檠(脸 图) 大 豆(無 图) 大石槁(高 粱(同) 大 豆(無 图) 高 粱(餡 图) 蓋 平(高 粱(同) 聚 (同) {注 蜀黍(膽配) 熊岳城(高 粱(同) 聚 (顧 图) {注 蜀黍(醯配) (玉蜀黍(同) 又 豆(無 配) 离 粱(同) 聚 (齒 图) 克房店(玉蜀黍(同) 高 粱(同) 聚 (函 图)			(HI	3条、超	屋)	垣	隊(超	員)	X	1月(熊	則)						
牛条屯 ⟨高 檠(超叉(無) 高 檠(脸 图) 大 豆(無 图) 大石槁(高 粱(同) 大 豆(無 图) 高 粱(餡 图) 蓋 平(高 粱(同) 聚 (同) {注 蜀黍(膽配) 熊岳城(高 粱(同) 聚 (顧 图) {注 蜀黍(醯配) (玉蜀黍(同) 又 豆(無 配) 离 粱(同) 聚 (齒 图) 克房店(玉蜀黍(同) 高 粱(同) 聚 (函 图)	4	¥	零	H	到茶(同)	胀)	恒	梁(超	副)						
牛条屯 高、築(超叉、無) 高、築(超 配) 大 豆(無 配) 大石榕(高、梁(同) 大 豆(無 配) 高、粱(施 配) 蓋 平(高 粱(同) 聚 (同) {注 蜀黍(隨 配) 熊岳城(高 粱(同) 聚 (超 配) {江 蜀黍(論 配)			(HE	3条(四	.)	踩	(恒)	恒	鉄(配)	κ	豆(業	副)			
牛条屯 高、築(超叉、無) 高、築(超 配) 大 豆(無 配) 大石榕(高、梁(同) 大 豆(無 配) 高、粱(施 配) 蓋 平(高 粱(同) 聚 (同) {注 蜀黍(隨 配) 熊岳城(高 粱(同) 聚 (超 配) {江 蜀黍(論 配)	905	T cuts	.11=	(Hi	四条(同)	恒	鍅(區)	採	(国)	К	豆(無	麗)			
牛条屯 高、築(超叉、無) 高、築(超 配) 大 豆(無 配) 大石榕(高、梁(同) 大 豆(無 配) 高、粱(施 配) 蓋 平(高 粱(同) 聚 (同) {注 蜀黍(隨 配) 熊岳城(高 粱(同) 聚 (超 配) {江 蜀黍(論 配)	F		ETT.	HH	3条(回	_)	$_{K}$	豆(無	副)	ÞE	粱(同)	*	(矯	副)			•
中家屯 高粱(超叉、無) 高粱(超配) 大豆(無 图) 大石橋(高 粱(同) 大豆(無 图) 高 粱(超 图) 高 粱(超 图) 煮 菜(高 叉(制 □) 菜 (同) 菜(同) 【注 蜀或(触 图)																		
◆宗也 高號(施叉、無) 高號(施配) 大豆(無思) 大石橋(高粱(同) 大豆(無配) 高粱(施思)	111		片(恒	総(區)	詸	(匡)									
中 奈 竜 (*	石	瘧{	恒	宣)滋)	X	五(無	邑)									
	47	50	()	恒	跳(類R	くく無)	恒	跳(選	副)									
And the second s	7	3/16	# (恒	緊(超	殿)				*	(第)	配)	×	豆(熊	周)	恒	談(道	配)

粮	阏{扂	鍅(回)	眯	(選	配)	+	豆(無	副)	河	跳、猫	딢)			
粉	天(高	餘(同)		豆(無	熙)	眯	(能)	へ、施思)					
	(*	豆(強	配)	迤	尉(選	麗)	眯	無)	展)						
本资	大 SS語 大 大	1五(同	,)	恒	跳(喧)	胀	(国)						
	(*	豆(国)	脒	(其)	副)	恒	以(選	副)						
क्ष	海{海	(単)	火 (選)	K	1四(国)	超	宣)総)	X	豆(無	副)			
494	(恒	以(超	副)	κ	1四(同)	国中	黨)組	殿)	恒	餘(選	副)	X	豆(無	配)
噩	原(大	日(超	肥)	恒	熊)縊	殿)	眯	(業	冠)						
盟氏	宇街[大	国(国)	恒	謎(宣)	眯	(国)						
交生	H嶺(大	回间)	PE	然(宣)	184	(IE)						
tubi	李 (大 大	国(国)	PE	窓(回)	眯	(宣)						
779	1×	回(同)	恒	談(回)									

熊岳城以北奉天以南、隔年施肥ノ割合ニテ奉天以北八三年一同ノ割合デアル、是レ南方へ開墾後長年イテ見ルニ注意スペキーツノ事質ヲ發見スルノデアル、即ヶ南方金州、瓦房店方面、殆ンド毎年施肥シ以上、沿線各地ニ於ケル主要作物翰作法ノ大更デアル。斯クノ如キ翰作法ニ於ケル施肥ノ採況二就



ル量、餘り二劣ラナイカラデアルの(土腹ノ分析表参照)レニ反シラ北方、未ダ土地比較的肥沃ナルガ南方二比シ一時ノ施肥量多キ窩メ年々土地ニ還元セラル月ヲ經タル等ノ關係ニョリ土地府齋トナリ施肥セザレバ十分ナル收穫ヲ得ルコト能ハザルニョル、之

第三部 裕 預

第一項降強法

應スルラ常トスル。
發芽シタル後、鋤頭ニラ約一尺ノ距離ニ穴ヲ穿チ之レニ大豆四、五粒宛ヲ點番シ同時ニ之レニ超土鎮ク玉蜀黍ノ間作トシラ栽培セラルルモノデ此ノ場合ニハ玉蜀黍ヲ四、五尺ノ株問トシテ蔣種シ王蜀黍南部ト北部トニョリラ大豆ノ播種法ハ多少趣キヲ異ニシテ居ル南方臭水子附近ニアリテハ大豆ハ多

テ孺ヲ作リテソノ内ニ手ニテ種子ヲ番下ン復土鎮壓スルノデアルのノ場合、型ニラ前年ノ亀ヲ中央ョリ左右ニ割リ新ૃ明ヲ作リ此ノ新福ノ中央ニ類子ト稱スル一種ノ型ニ熊岳城附近ニアリテハ前同樣玉蜀黍ノ間作トスルコトアレドモ往々大豆ノミヲ播クコトガアル、コ

> 番種後木製ノ「ローラー」ニテ鎖壓スルヲ普通トスル。 傷ョリ排起セル土壌ラ一方ニノミ反轉セシメ其ノ上ニ種子ヲ番下シ他ノůノ一半ヲ以テ其ノ上ニ復土強協以北ニアリテハ多クハ反地ニョリテ料型> 審雇スル、反地トハ型碗子ト辞スル接上板ラ附> 沓

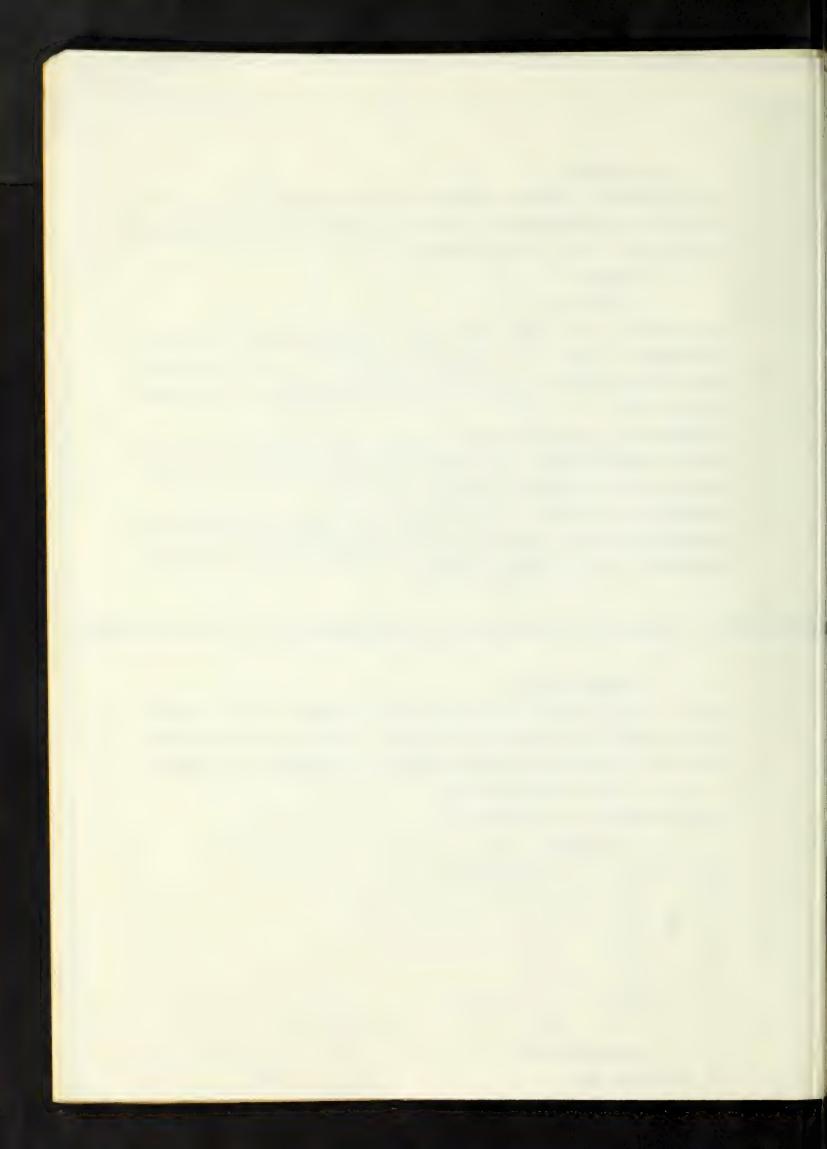
第二項 搭 祖 虽

スレドモ誘洲ニテハ各地トモ塾レモ番種量が多イのい多イ、大豆ノ如キ内地ニ於テハ反當大粒ノ場合、四开小粒ノトキ、三开内外ヲ以ラ普通ノ番種量ト一常ノ地、素期都種ノ時期ニ當リ多クハ乾燥シテ發芽ヲ妨グルコト大ナル為一般作物ヲ通ジテ番種量地方ニョリテ晃ルハ勿論、品種ニョリ種子ノ良否等ニョリテ大イニ差ノアルモノデアル、由來滿洲

今流別各地ノ福種量ヲ見ルニ大體次ノ様デアル。

국		\$4	12	7 种醇	油種	闰	霉	节
以	水	4	11[#	王昭家~問作	ナルなメ生ト
10:	枏	菜	111			升升	単語・場合は、上	
樹		= 1	4			#		
*	K	題	用			#		
		短	E			7		
噩		風	45			#		
国	#	章	45	#	Ħ	4□		
交	411	通	用			#		
基		苯	Ħ	#	Ħ	#		

第三項 格 種 期



第一篇 镇洲大豆~栽培

11145

期ヲ罪ニシテ尼ル。 須候ノ寒暖、乾濕其ノ他勢力等ノ關係ニョリテ多少ノ湿速アルガ此等ノ外ニ習慣ニョリテモ多少時

治線各地二就テソノ溶種期ヲ見ルニ略ポ次ノ通リデアル。

픺		47	以		₹ :	泽	經
具	水	4	표	Н	4	P	四月上旬乃至中旬:玉蜀黍・楞種シ其ノ熒芽ノ後大豆・摎種ス
10:	柏	郑	Ħ	Ħ	2 -	1	玉蜀黍長も早り之レニ大ギ栗、高粱将種とラレ大豆ハ最も迎り搭種とラレル
想		538	用	甲虫	1	10	高数最も早り播種セラレ大豆の最も連ィ
本	K	競	Ħ	用上	· ±	印	栗子先ニ都種ツ高粱及大豆、略同時ニ番種セラル
数		19	用	Ħ	4	4	果、大豆子先キニシ高粱ハ少シク晩り搭種ス
噩		冱	Ħ	H	4	Ð	喧
囯	4	海	五四	ЛЛ	1-1	旬旬	大豆子先キニ摺種スルチ幣通トン高製之レニ次ギ要ハ最も辺イ
交	111	验	IE.		·		
意味		茶	IE				I s

衛種ヲ早クシテ居ルノデアルの選クマデ塞ク融氷ニ長時日ヲ有スルト秋治ノ早來スル為メ作物ノ生育期間南方ニ比と短そ為メー殺ニ促ノ表ニョリテ見ルニ前方、比較的播種期源ク北方、稍々早そ傾向ヲ有シテ居ル、コレ北方、茶季

而シラ治線ヲ通少概シラ主要作物ヲ先キニ将種スル智慎ヲ有シテ居ル様デアル、即ヶ南方ニ於テハ

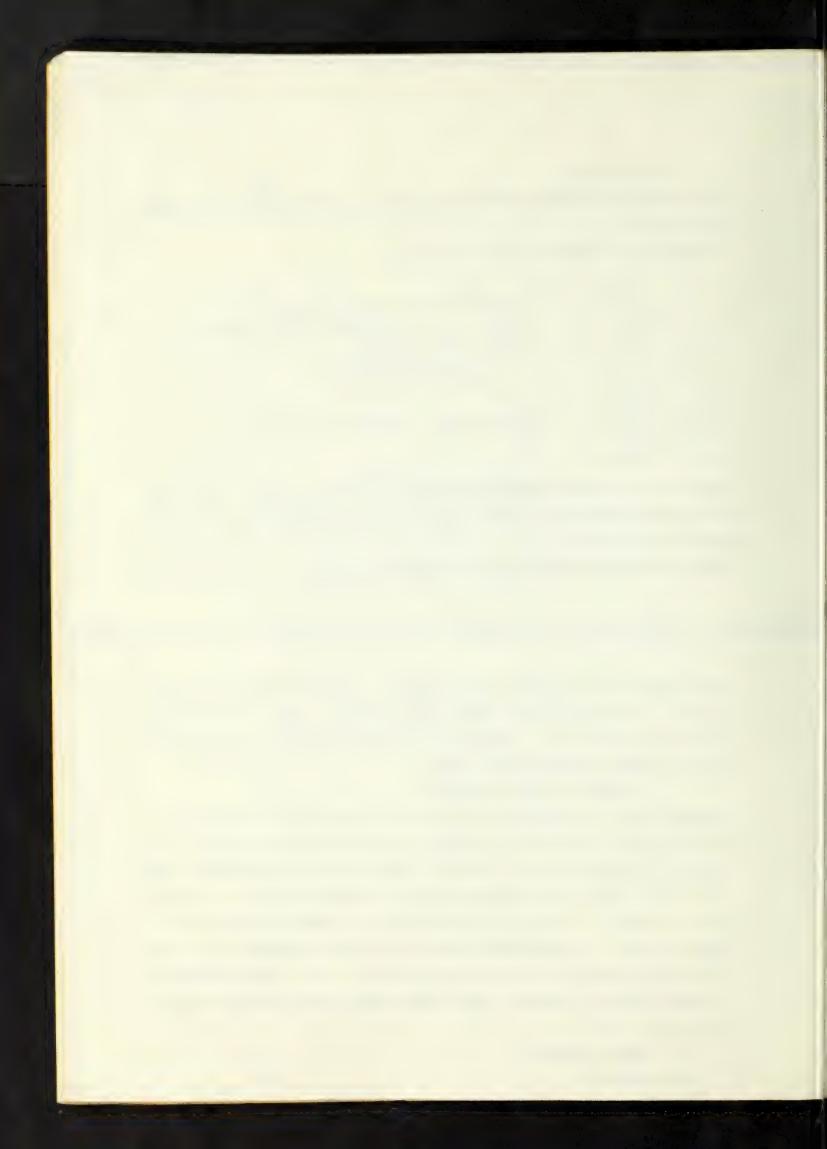
作物ヨリ猩レ降雨ヲ俟チテ播種スルヲ例トシテ居ルで以上、極メラ大略ノみ類ニシテ年ニョリ素季乾燥ノ甚ダシイ時、大豆ノ如キ大ナル種子ノ作物、他ノ先キニ都種シテ居ル北方ニ來ルト大豆ガ主作物デアル關係上大豆ヲ先キニ都種シテ居ル、然シナガラ王蜀黍ガ主要作物ナルガ為メ王蜀黍ヲ先キニ播種シ遊陽附近ニテハ高家ガ主要作物ナルニョリ高家ヲ

質四頃 選種一對スル支那人ノ観念

ヨリ改良大豆ヲ無償配布セル結果役等、優良預子ノ價値ヲ衝次認メラ來々様デ今後、選種ノ觀念モ愈良好ナル部分ヲ別ニ刈り取ッテ補子用ニ供スルカ又、粒選ヲ行フコトモアル、最近及主衛農事試廢場デ晩競時ニ於テ粒揃ヒノヨイ所ヲ選ビ翌年ノ種子用トシ又、特ニ熱心ナル所謂篤農家ニアリテハ結實粹ニ保ツコト、因難デアル、現今ニ於ラハ少シク預子ノ貴重ナルコトヲ自覺セル農民ヲ生シテ來タノナルコトニ伐ルコト少クナイ、故ニ茲ニ根本的ノ改良ヲ加ヘテ此ノ闘製法ヲ改善シナケレ、種子ヲ杭ル是レ、主トシテ農業ニ關スル觀念ノ乏シイ為メデアルガ此ノ混リ補子ヲ生ズル原因、調製法ノ粗放豆、假介同一品種ナリト云フテモ之レヲ詳細ニ研究スレ、極メテ多クノ混リ種子ナルヲ認メルノデア
 20

徳向上シテ來がコトト思いとか。

第四節 哇帽及林問



ヲ異ニスルコトガアル、普通ハー尺八寸又ハニ尺ニシラ株間ハ内地ノモノニ比と著シク狡イ。氣候上貫ノ關係ニョリ畦幅ニハ多少ノ差ヲ生ズルモノデアルガ又間場ヲ排ス型ノ種類ニョリテ畦幅

相互ノ間ノ關係ヲ比較スレバ。 番ヲナスモ共ノ他ノ地方、條番ニテ株間二、三寸ナルヲ普通トスル、左ニ各地ノ株間及畦幅ヲ表示シテルノデァル臭水子及熊岳城ノ附近ニテ、玉蜀黍ノ間作トナス為メ株間、七、八寸万至一尺位ニシテ點是レ苯期稀種ノ際早飽シテ下種セル種子ノ發芽步台少キ為ニ稀種量多ク従ッテ株間、自う狭小トナ

塘	名	H	畫	回	茶	E	5	析
具	¥	1	一尺六寸	<u>二尺</u>	ナイス	オーニス		
<u>55</u>	成五	單	11	民	110	गा म	王智楽ト間作ノ場合ハ臭・	水子→同談
慰		±8	ニススす	-11氏	111	nı 🛨	監督ノトキハ株間 尺位	ニシテー株十五粒―二十粒
*	K	逕	IE		E			7 75 1 7 1000 7 11 700
400		海	1 12	ス ヤ	IE			
噩		原	二尺六	よる	IE			
旦	H	笹	一尺七八	ザーニ尺	EI'	H F		
茲	44	渔	1 尺	ス ヤ	111	加卡		
耳其		茶	一尺七、	スサ	1]*	n p	条 薜	

第五節 除草及間引

ヲ使用スルャ極メテ巧デアル動頭ハ外國ノ「ホー」ニ酢似シテ居ルが質用的ニハ「ホー」ヨリ盗カニ除草、鋤頭ト称スル除草器ヲ以テ畦間ヲ歩ミツッ雑草ヲ根元ヨリ削リ去ルモノニシテ支那人ノコレ

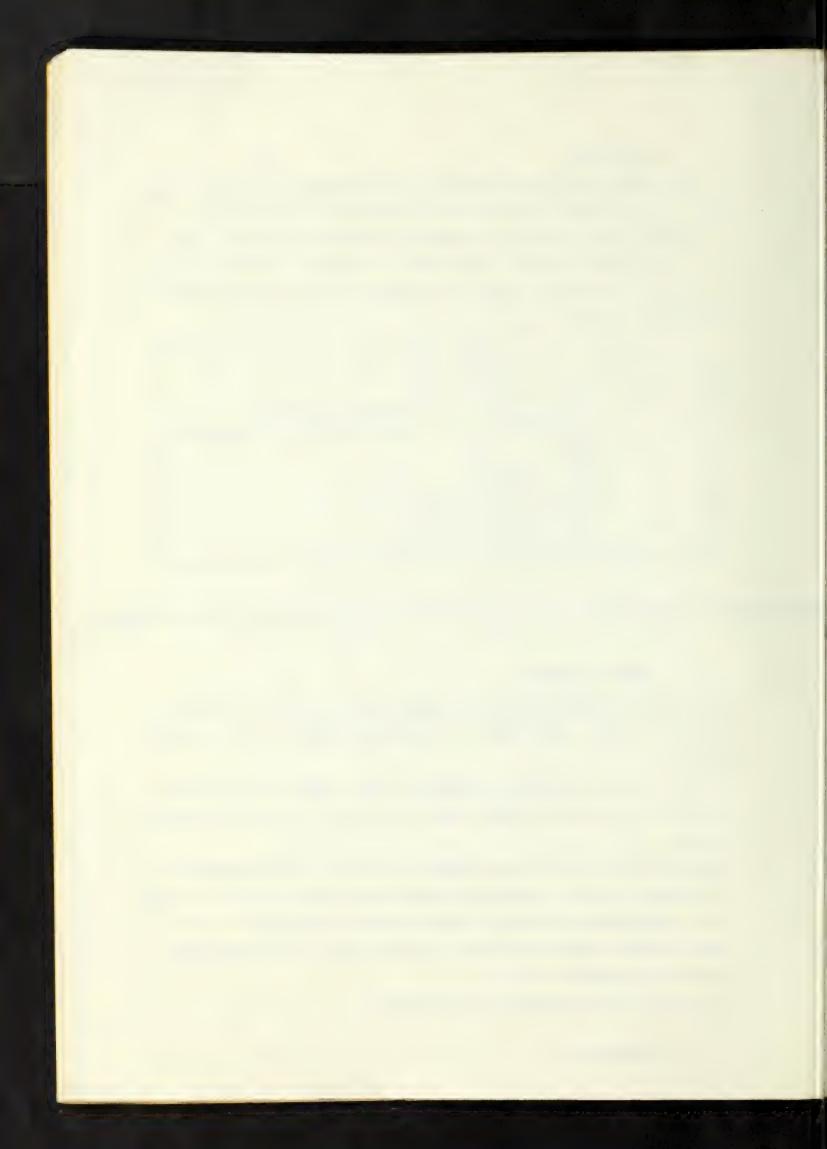
ル、劉頭ノ柄ラ「ホー」ノ柄ノ如き材質固き木デ作りタル細形ノ柄トスレ扱へタナラバー層使用と易柄ト及トノ角度、極メラ少サク及、鋭イ為メ除草用ニ、便利デアルガ唯柄ノ太過ギル事、缺點デア便利ノ様デアル。

イ事・思フ。ル、勁頭ノ柄ラ「ホー」ノ柄ノ如き材質固き木デ作リタル細形ノ柄トスレ投へタナラパ一層使用と易

時一當ツ子點々文高キ雑草ノ生ズル場合、尚一同手ニテ引キ扱クカ又、鎌子刈り取ルコトガアル。第一同ノ除草ヲ行ヒ其ノ後二、三週間死ヲ盗キテ第二回及第三回ノ除草ヲ行フノデアル時トシテ開花除草ノ時期、地方ニョリ又雑草ノ多少土地ノ狀況等ニョッテ差アルガ一般ニハ發芽後二週間ニシテ

水所アル場合ニハ更二間引スルコトモアル。

左二各地二於ケル除草ノ時期及同数ヲ示スト次ノ通リデアル。



	ē	為									1				1				7	
碧	#		每	7	1	E)	N. S.		11	Ð	15 E	3	1]	田	\$ T	R	囯	回	掩	图
具	长	1	벼	H	je.	· 🖈	45	H	#	2	42	E	4	F	1				I	
ᇷ	府	採	14	Ħ	=	印	4	Я	4	T)	4	, II	je	旬						
想		55	45	Ħ.	ન^=	10	15	H	r	Ð	,		,	~						
X	×	題	45	П	4	4	45	Щ	14	E										
\$		验	45	П	4	fī)	÷<	Я	je.	±	4	П	귶	ŢŢ						
篮		原	4<	Н	4	17	÷	H	fen	10	47	11	=	fit 1						1
目	H	街	45	Н	4	印	45	H	je.	印	4	1	- -	仙	7		.00			
核	111	海	六五	ЛЛ	1		45	Я	je_	13	42	H	#	£1 £	Z.	I J	<u>+</u>	1 10		
域		茶	六五六五	плил	LFLF	如何如何		ЯЯ	上山	to to	4	J J	프	机化	7	В Л	#	旬旬		
						,				4		•	_	~			TI	4177		

寫六節 中排及垮土

ラ其ノ同數、除草ト同ジク三同ヲ普通トスル。中排、普通除草ト同時ニ行と除草ノ際作物根部ノ周圍ヲ深サ約五、六分ニ脳軟ナラシムルモノニシ中排、普通除草ト同時ニ行と除草ノ際作物根部ノ周圍ヲ深サ約五、六分ニ脳軟ナラシムルモノニシ

れっ培土ノ時期、除草、中排ノ後直チニ行フコトモアルガニ、三日ノ後ニ行フコトモアル、後者ノ場合製漆内ヲ以上ノ如キ刺子ヲ居ニテ曳カシムルモノニシテ滯内ノ土、左右ニ分と作物根ノ周園ヲ覆土ス坊土、刺子ト称シテ侍ニ製シタル型先アルモ普通、型ノ兩角ヲ飲キソノ用ニ供スル、培土ノ方法、

土ノ同数、除草及培土ノ同数ト同一デアル。雑草、己」枯死シ土壌ノ風化作用も亦良好ナル為メナルベク後者ノ方法ニョルラ得策トスル、ソノ培

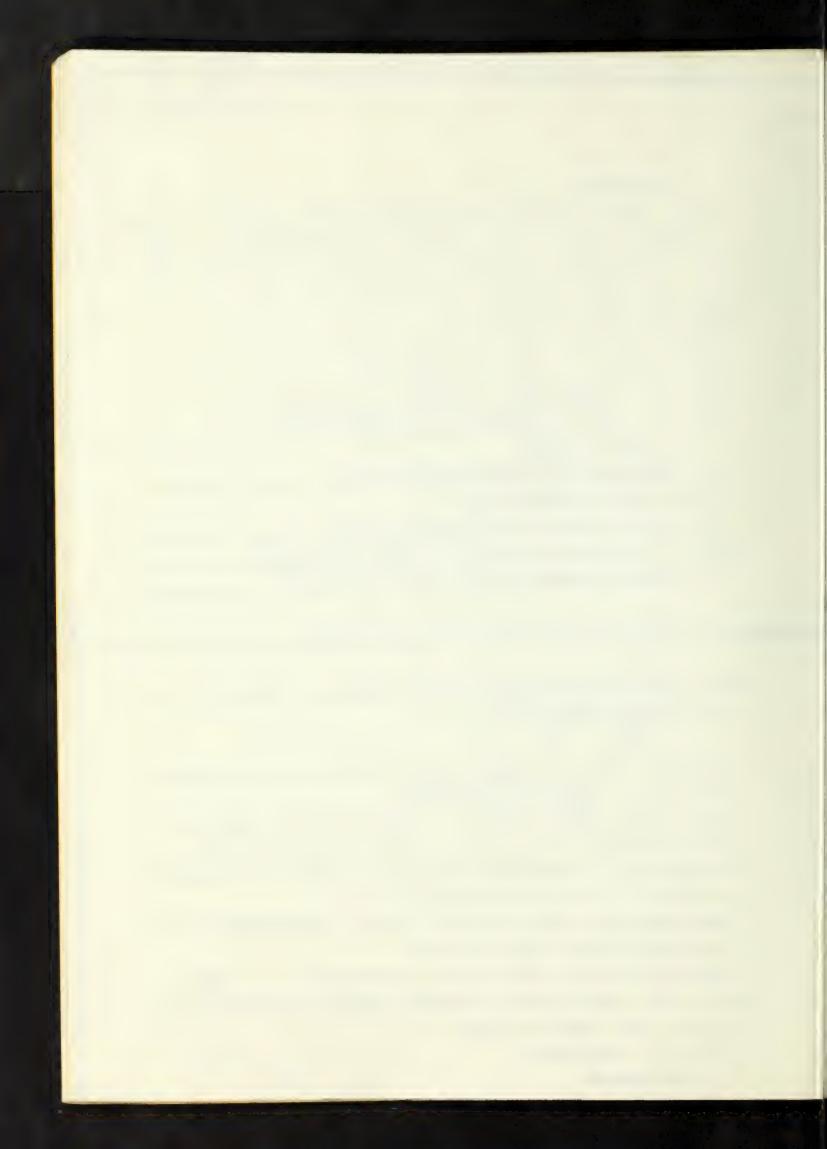
第七節 收 態

ノ色ヲ表ハシ來ルヲ以ラ全部落薬シ絵レバ收蔵ニ著手スル。大豆ノ菜ノ莨麹シラ秋治ニ遭フゃ衝火落薬シ始メル、而シラ落薬ノ頃ニナレバ各茨ニ其ノ品種特有

作ノ大ナル天薫ノーットシテ忘ルルコトノ出來ヲ要素デアル。メ同上ニ四、五日間ソノママ放置シ耶ヲ追執竝ニ乾燥ニ勉メル、此ノ收穫時ニ雨ノナイ事・滿洲大豆タル大豆・壟ノ方向ニ直角ニ鱧上ニ樹臥併列スル、刈り取り後、最早秋天高夕降水ノ患、室モナキ窩收穫、鎌ニテ地上都一寸位ノ處ヨり刈り取ルモノニシテ三雄又、四鹽ヲ刈リツツ前進ス、刈り取り

アルノデアル、今谷地ノ收獲期フ示セパ次ノ様デアル。生ズルコトガアル、一般三南部、北部地方二比シ秋期塞治ノ比較的違ク來ル為メ收穫モ稍違イ傾向が收穫ノ時期、品種ノ特性ニョリテ早晚アル、勿論デアルガ又天候ノ如何ニョッテ大二收獲時二差ラ

臭 水 子 十月上旬乃至中旬



坎一篇 猫洲大豆~我培

图11

20:	府	郑	十月上旬
-----	---	---	------

第八節 收 納

粒スルガ普通デアル。 ラシラ僅少ナラシメル為デアル、既穀場ニ運搬シタルモノ、屋根形二堆積と置き農関ノトキ之レラ脱運搬ス、蓋シ早朝、比較的濕度高す為メ大豆莖ヲ移動運搬スルモ茨ノ破裂シテ既粒スルコト少ク損失同上二億臥併列シテ乾線セル莖、敷箇所ニ少量免堆積シ置き後早朝局車二散載シテ之レヲ既穀場ニ

第九節 調 製

大豆ノ闘製、特二設ケタル脱穀場」於ヶ行フコトハ各地ヲ通ジテ同一デアル、既穀場ハ各農家ノ住

限震場ニテ長初二脱霞スルモノ、粒ノ比較的大ナル大豆ニシラ大豆ニ次ギ高粱最後二粒ノ小ナル栗ラナイ、続レドモ斯クノ如クシテ作り上ゲタル既穀場、未ダ尚多少ノ龜製韭ノ他ノ鉄路アルラ以テ此ノい窓ニ、「コンクリート」ノ如キ固キ股穀場ヲ得ルノデアル、ソノ大サハ大小届々ニシテ一定シテ居ハウシク撒水シテ然ル後局力ニヨリテ石頭破子ヲ維横ニ引カシメ此ノ作業ヲ数日間時々繰リ返ストキメ作物ノ收穫ニ先チ除草地均等ヲ行ヒ平坦トナシ石頭破子ヲ以ラソノ上ヲ丁寧ニ鎮壓シ混みノ少キ時スル農家ニテハ尾銀内ニ設ケルヲ常トシテ居ル、何レノ場合ニ於テモ脱穀場トナサントスル土地、致宅・財活ニテ作業ニ便利ナル地點ヲ選ビ設ケルカ又、附近ノ間場内ニ設ケルコトモアル、廣キ庭ヲ有

開製スルガ普通デアル。

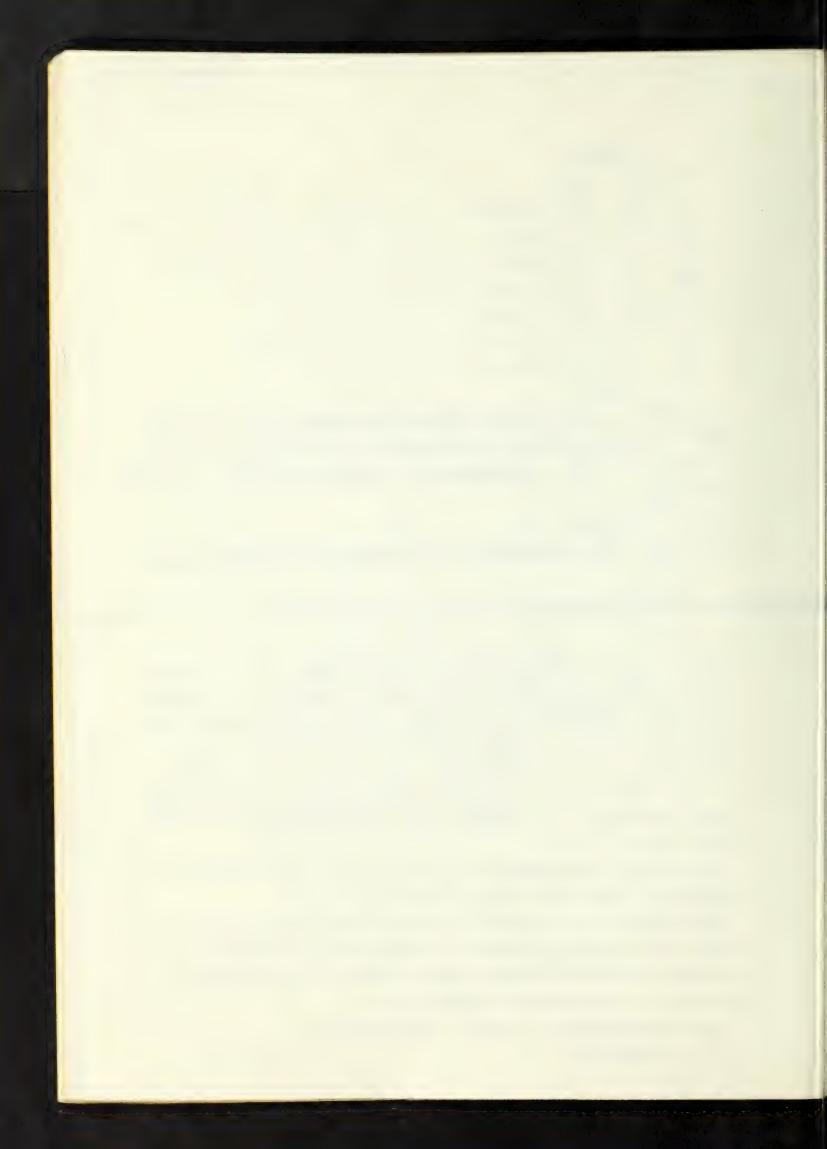
最早架ノ調製時ニナレバ比ノ脱穀場「極メテ固キ一枚ノ板張ト化ッ治ニ立派ナルモノトナル、カカ

ル既穀場ノ協洲ニ發達シタル理由ハ秋雨ノ少ナイ事ガ原因タルコトハ疑ナイ。

表ョリ離脱せば並い木叉子及作料子ヲ以テ集ノ残留セル粒、實板ニテー、二箇所二集ノ木揚根ニテ空内外トナシ非ノ上ヲ小形ノ馬叉、罷一頭乃至二頭ニテ石頭破子ヲ曳カシノ其ノ問度々益ヲ反傳と粒ノ先ッ大豆ヲ既粒セントスル時、收納推就セル大豆ヲ盗料共ニ此ノ場内ニ団形ニ獅グ厚サ約六、七寸

中高ク能ネ上グは、変及陰弥集ノ他ノ唇トラ風電スルノデアル。

今少レク此ノ世界的色彩了帯ベル、調製法ニッキテ所見ヲ迩ペテ見タイ。



ルガ種々ノ利害ノアルヲ認メルノデアル。ル現代カラハ古代農業ノ遺物トシラ取扱ハレラ居ル、諸洲ノ調製法ハ此ノ法ニ比較スレバ箱優ツラ居シタル作物ヲ地上ニ併ベテソノ上ヲ單ニ動物ヲ歩マセ以テ粒ノ離脱ヲ行フテ居ルノデアルガ進歩シタ歐洲、南少キ山間地方ニテハ諸洲ニ極メテ酢似シテ居ル調製法ヲ行フテ居ル地方ガアル、即予収穫

イ、流朔在來調製法ノ利

- コ 調製用器具、機械ニ大ナル費用ヲ要セザルコト
- a 作業便利ナル場所ニ随時調製場ヲ設ケ得ルコト
- 3 秋期降雨殆ンドナキ窩メ戸外ニテ容易ニ調製シ得ルコト

P、 流別在來調製法/害

- 1 如何二留意シテ謂製スルモ穀物二土砂ヲ混ズル割合多キコト
- a 昆品種ノ混合スル患極メテ大ナルコト
- 3 巧程大ナラザルコト
- 4 品種ノ統一又ハ一定等育種事業ノ進歩ラ妨ゲルコト

ヨルコトモ多少ノ原因ラナシテ居ルが此ノ調製法ノ粗放ナルコトが主ナル原因デアル、將來モ永々斯以上、調製法得失ノ主ナルモノデアルガ從來滿洲雜穀類ノ品質ノ劣惡ナリシ理由、栽培法ノ如何ニ

メ、又、異品種ノ混合スル様デ、前年ノ炎、聖ナル水泡ト化サネバナラス。改良ヲ行フテ居ルガ如何ニ種子ソノモノノ特性ヲ改良シテモ調敦法ノ當ヲ得ズシテ夾雑物ヲ多カラシタノ如キ調製法ヲ機額スルコトハ大ニ考ヘネバナラス、及主銜農事試驗場ニ於テハ種々ノ作物ノ品種

第十節 收 虽

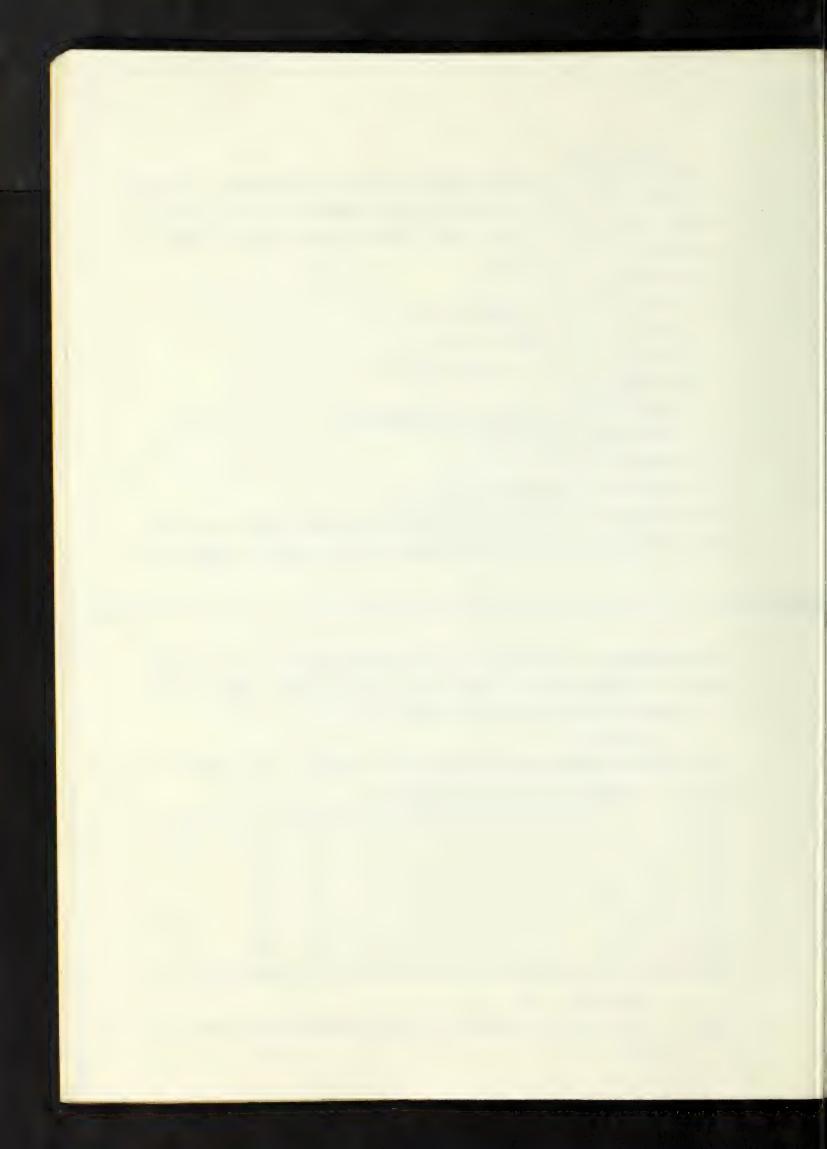
蓆洲」がケル大豆ノ型位收量ノ参考ニ供スレパ次ノ通リデアル。大正二年及主衛農事試験場ノ設立常時ョリ大正八年ニ至ル、七箇年間ニ亙ル平均反當收量ラ示シテ

ng	福		#_	到	大正二年	大正三年	大正四年	大正五年	大正六年	大正七年	大正八年	H	松
*	Ж		4II	田	H —	11-011	1.0公司	1.03.0	1-1144	1-0114	O·<<<>><		1-11代力
4	411	Ħ	ÆΠ	噩	_	1-式代格	1-1E#	0.418	1-110<	1-11-12	O・ <o<<< th=""><th></th><th>1-1120</th></o<<<>		1-1120
区	¥	淮	Ē	拉	1-71110	1-424	1-110	0.311	1-11110	1-1[3]	0-404		1-144
田田	展		Ā	拓	1-1401	1-17110	1-120	0-R4K	1-1166	1-248	0-13-0		1-145
图	A	筢	話	誓	-	1-2400	O-KK	1-117	1-1120	1-0118	0-1142		1-188
4	主弦	怀	治日	# EX		1-808	1-148	0-로미	भगवास	1-2014	0- <ee< th=""><th></th><th>1-1102</th></ee<>		1-1102
*	K			监	_	1-424	1-1707	1-00%	14141	1-2<1	Q-44E		1-1120

此ノ表ニ依ッテ粲ズルニ及主衛附近ニ於ケル大豆ノ反當ノ收益、普通一石二斗内外ナルコトガ解ル

第十一節 貯 凝

限粒ヲ終リタル大豆、麻袋ニスレテ市場ニ機出スルコトガ多イガ貯蔵と置き時期ヲ見テ市場ニ出ス



コトモ相當二多イ。

貯骸法ニハニ種アリーハ屋内貯蔵法ニシテ他ハ屋外貯蔵法デアル。

一、昆内贮痰法

二種ガアル。麻袋二大豆ラスレラ坑上又、土間二菱3宮+其ノ上二貯蔵スルコトト回ラ作りヶ貯蔵スルコトトノ

11、尾外貯藏法

イ、固

防グノ用ニ供スル。 部ョリ上部ニ行クニ従ッテソノ直徑ヲ増シ最項部、蓆子叉、栗稈ニラ傘択ノ屋根ヲ作リテ雨露フニ粗ミテ床ヲ作リ其ノ上ニ裔稈類ヲ高サ七、八寸ニ莊ミ重未混氣ヲ防グ裝置ヲナス、此ノ圓、下ッソノ中ニ大豆ヲ貯酸スル方法ニシテ之レヲ設クル位置、屋敷内高媒ナル場所ヲ選ビ木材ヲ団形基モ普通ニ行ハレル方法ニシテ福約一尺五寸位ノ帶狀ヲナセル蓆干ヲ適宜ノ大サニ圓形ニ常キッ

は、出業子

窓ヲ附ケ茲ョリ梯子ヲカケヲ穀物ノ出入ヲ行フ屋敷内ノ高燥地ヲ選ンデ設ケルコトハ圓ト同様デリ菓ヲ濕氣ヲ防グ用ニ充ラテ居ル、中央ョリ稍々上部ニ二尺乃至三尺ノ方形又ハ類形ノ一箇ノホ土壁ト、圓筒形ニ木柱ヲ立ラ高祭稈ニテ其ノ側壁又、屋根ヲ作ソ側壁ハソノ内外ョリ泥土ニテ塗

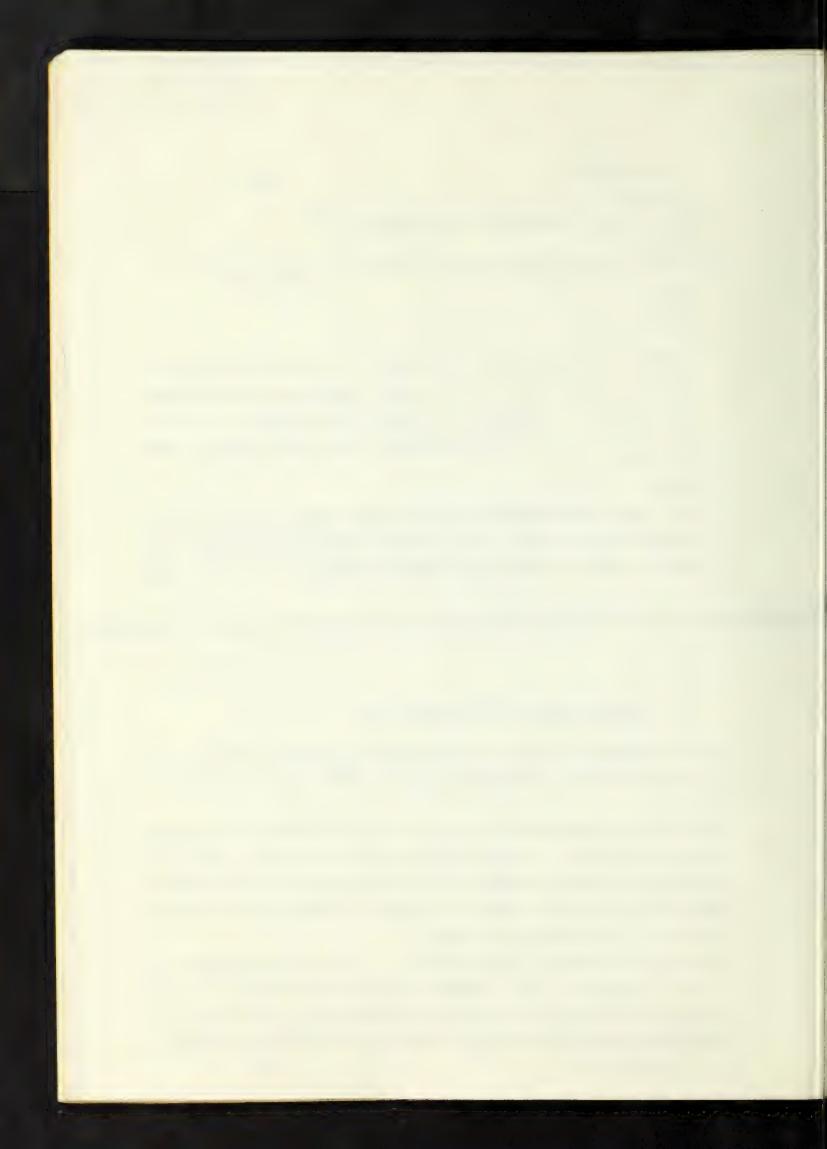
N70

第六章 滿洲ニ於ケル大豆栽培ノ將來

ル。これ先び以子農 業ノ基本タル ペキ土壌ノ性質ヲ良變シ 地力ノ維持向 上ニ努力スルコト最モ肝霊デア高朔土壌ノ理學的性質ノ改善ト同時二化學的成分ノ關和ニ努メ將來金々農業ノ充實ヲ計ラントスル

テキタノデアル、続う、化型的広分ニ至ッテ、四同の生産のイ高洲ニがラハ意ノ如ク之レヲ施用スルコト不可能ニシラ竟ニ土薬ノ形態トシテ之レヲ施用シ斯クノ如キ不良ナル理學性ノ改良、既肥ノ使用ニ依ッテ大ニ核和セラルルモノデアルガ古來既肥ノ及収量ニ如何程ノ損害ヲ與ヘタカハ末ダ確タル調査ナキモ蓋シ莫大ノモノガアルダラウト思ハレルの満洲ニ農業ノ生レテ以來数百星指ヲ經タル今日ニ至ルマデ此ノ不良ナル理學性ノ為メニ作物ノ品質

松花江流域竝ニ遊河上流~開墾、長足ノ進歩ラナッ大豆ノ栽培、此ノ方面ニ炊ラ滋培シ大豆ノ用途モ業~闘和ヲモ計ルヲ以ラ高梁、栗ノ如き作物、大豆作ニ負フ利益洗シラ少クナイ。幸ニモ近來ニ至リシテ以來未ダ一世紀ヲ出デナイ、続レドモ滿朔農排地ノ地力、大豆ニ依ツラ窒素みノ不足ヲ行ヒ三要大豆ノ後地、窒素ヲ土摂中ニ残シ、地力ヲ益々良髪セシムルモノデァルガ縮洲ニ大豆大栽培ノ胚胎



ラシムルト共二東洋ノ利益ヲ愈々増進センコト泊ニ希望ニ耐ヘヌ次弟デアル。メソノ生産長ノ増加ヲ計ルト共ニ品質ノ向上ニ智恵シ金々原*将來ヲ展問シテ世界整濟發達ノ階様タル關係ヲ有シテ居ル、請溯ノ曠野症々トシテ茲ニ起居スル幾千萬ノ民、將來益々此ノ作物ノ栽培ニ努溯ノ農業ト大豆作ト、之レヲ地力維持上ヨリ見ルモ將タ又肥料經濟上ョリ見ルモ決シテ離ルベカラザ消長ニ大關係ヲ齎シ延イテ、世界取引市場ノ上ニ尠ラザル影響ヲ蒙ラスルニ至ッタノデアル。即于滿亦特種ナル油み利用ノ方法関ケテ以來在外輸出類ル多キヲ加へ滿洲ニ於ケル大豆作ノ豐凶、經濟界ノ

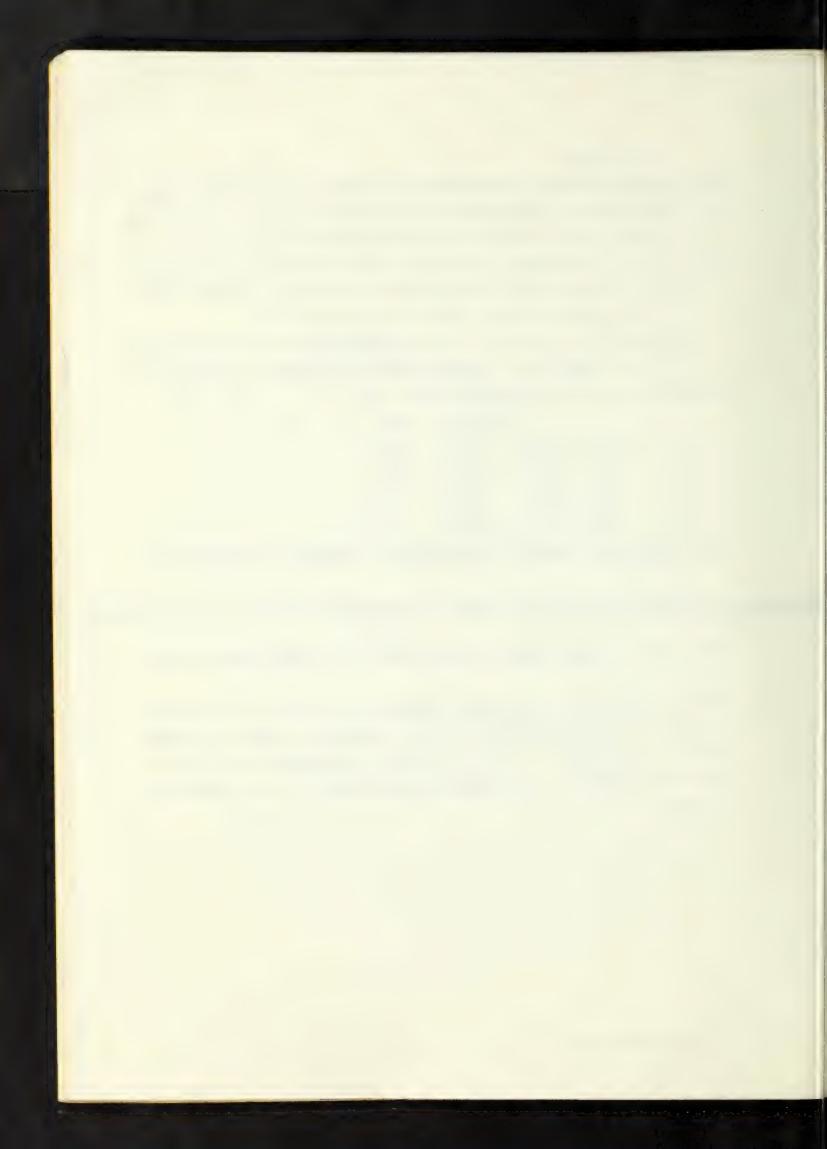
種ト比較栽培ヲ行ハシメタルニ次ノ如キ結果ヲ納メタノデアル。ヨリ大正八年ニ亙リ改良種子普及ノ為メ日支特定ノ農家數月ニ種子ノ無償配給ラナン農家所持ノ在來及主衛農事試驗場ニ於テハ茲ニ見ル所アリ大正二年試驗場設立以來大豆ノ改良ニ從事シ大正五年度

						反常故立日本對	百分比較
K	出	五	华{跳	区深	種種	O・北 で よこよ よこれ	100
X	띰	45	牟{蛭	直流		〇・大五四〇・七五五	100
K	끰	4	年(%	溢	種種	-1 日	100
κ	用	K	年 (政	瓦來	種種	0・大二二	100

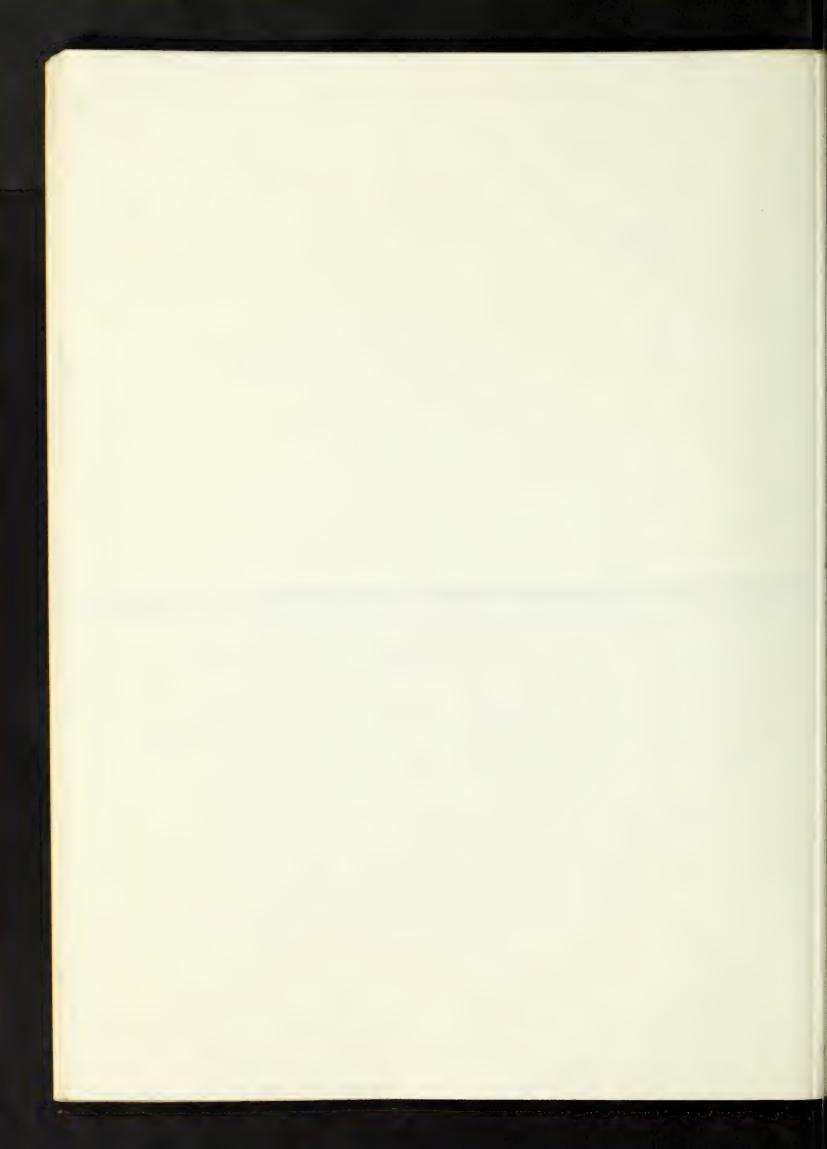
即于改良種、在來種ョリ收最多キュト約一割二分價格二於テモ日本桝一石二件約二十錢乃至五十錢

1。」差アルラ以テカカル優良種ノ普及シタル上、農家ノ増牧ラナスト共二大豆産額ノ増加ラ見ルャ経ナー差アルラ以テカカル優良種ノ普及シタル上、農家ノ増牧ラナスト共二大豆産額ノ増加ラ見ルャ経ナ

まプト信づか。 う否人ノ希望二叶フ系統ヲ得タナラパ大互作將來ノ為メニ否滿湖農業界ノ為メニ進步ノ一階段ラ作ル試験中デアル。本年秋ノ收穫ニョリラ油分多ク而モ増收ヲ見ルベキ品種ヲ決定スル等デアル。幸ニシ多キ品種ヲ得ンガ為メ補系分離ノ關査繼額中ニラ本年ハ巳ニ分離ノ關查ヲ了と補系十四型ノ收量比較以上ノ外ニ更二大正四年度ョリハ開原及長春ヨリ優良種子ヲ取り寄せ此ノ内ョリ油分多ク且ッ收量



三三米四十二级



第二篇 滿洲大豆ノ鑑定

第一章 大豆 / 構造

第一部 版 說

語二語 干 業

育三部 子 孝

derpe sale derme 11 delle

辞四節 子 根

首五語 千 葉

請不能 種 皮

第二章 硫洲大豆ノ矛類

第三章 大豆 件性

路166 大小

第二部 形 联

語三語 色

跨四部 光 译

醇元節 既 色

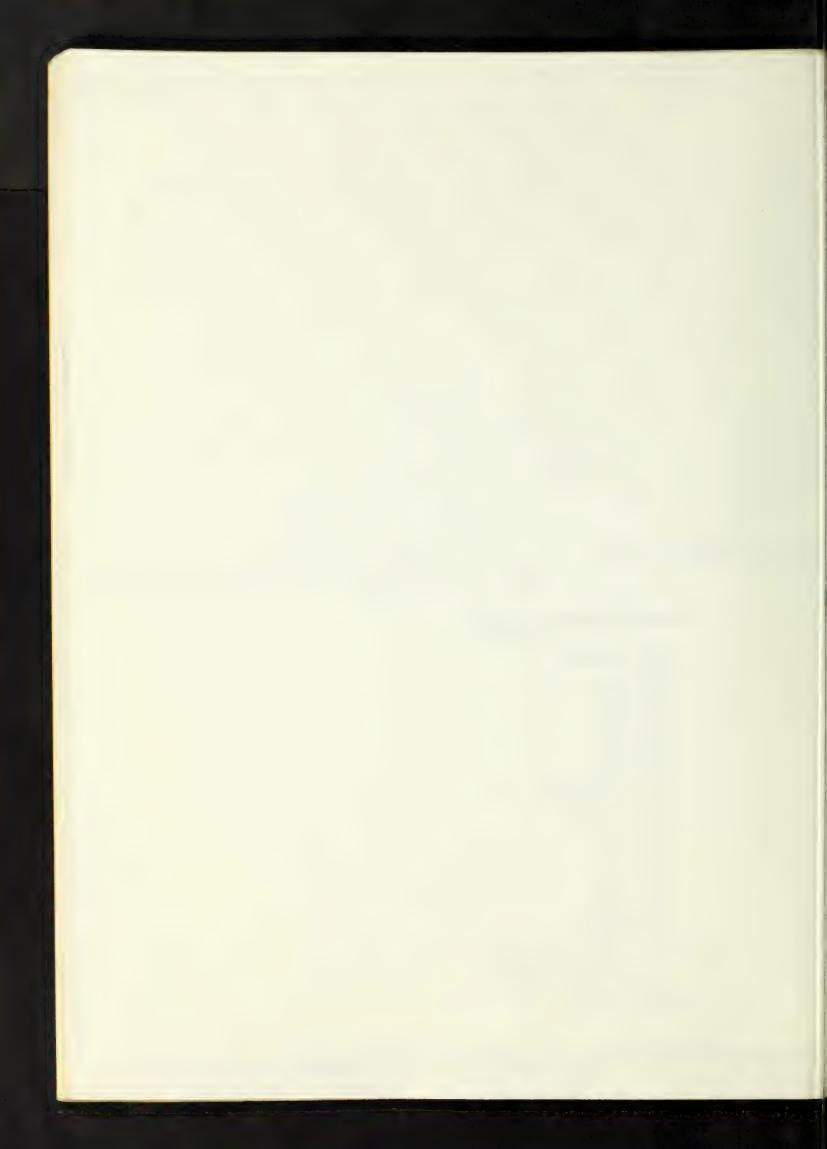
貸六節 子葉ノ色

討七郎 稲皮及鞴皮ノ色

第四章 大豆,成分及化學的性質

は一節大豆ノ普通成分及其ノ分析法

第二篇 大豆 / 鑑定



州川

HII

第五章 大豆粒ノ品質盤定

松一招 開拓一街區

第二篇 大豆 / 整定

家四節 埃水化物 第三部 胎 明明二部 强自宜

第一品 部系を~油板

第二項 試料~採集法

蒜三角 指定人標準

深口沿 形 联

深川语 一升電点

海田語 包 跳

100 SECTION 400 75

高豆醇 乾 娛

徐大郎 副 型

房上部 經定/成绩

路大草 協訓」がケル大豆等級一就キテ

第一節 現今二枚ケル商品ノ等級

藤二郎 将来ニカケル商品ノ学級

前三郎 混合保管卜等数

第一章 大豆~構造

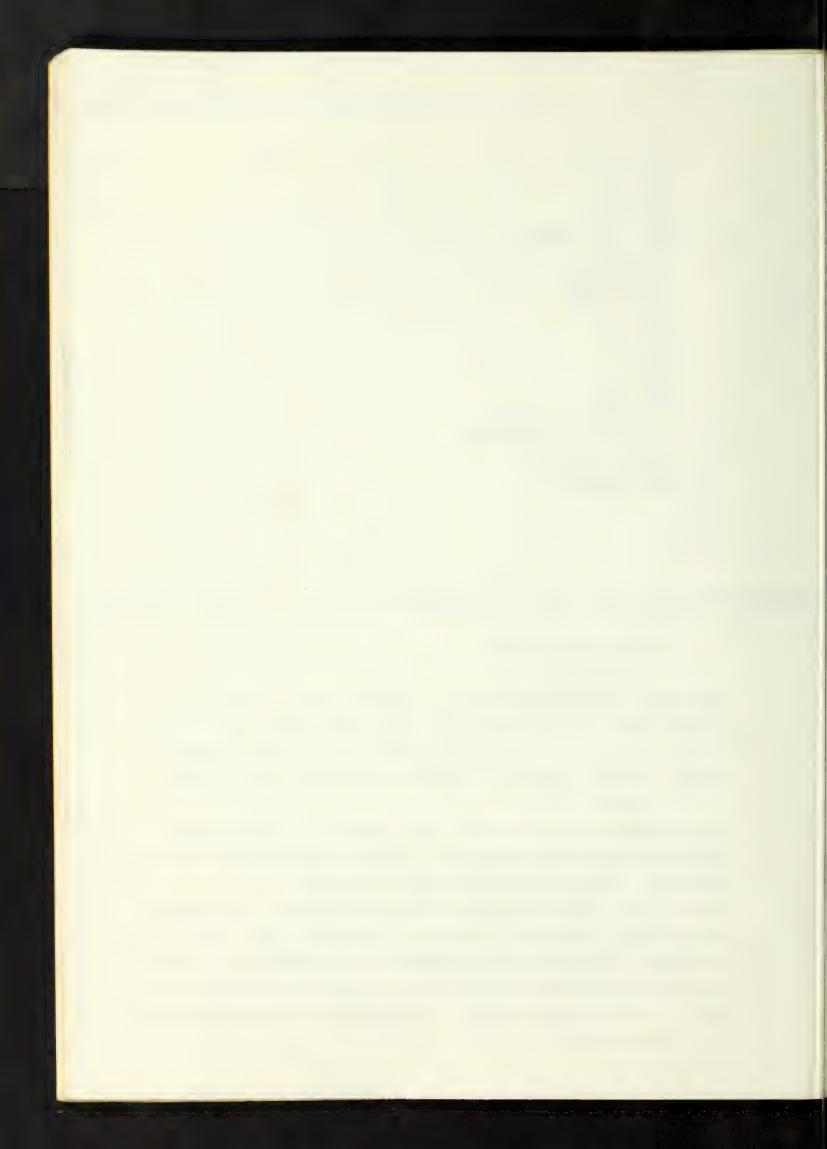
第一節 概 説

外園ヲ包徴シテ匹ノ保護ヲナシ匹ハ之ヲ分チテ子葉、子菜、子菜、子菜(胚軸)子根ノ四部分トス。(第一園)苯スル際水、主トシテ之ヨリ入リテ子葉中ニ吸收セラル大豆粒、大別シテ種皮及匹トナス種皮、跖ノ其一側面ニ際 (Nave)ト称シテ果梗ニ連絡セル所アリテ其下部ニ胚球孔ノ殘跡ナル細孔アリ種子ノ發大豆ノ粒、球形、扁珠形、楕関形岩、長栫関形ニシテ表面平常ニシテ先揮アルモノ或ナキモノアリ、

器二部 子 業

郡二於ラ連絡スル子並(胚軸)ヲ通ジテ其ノ貯蔵セル營養分ヲ幼補物ニ供給スっ 粒尚ホ生育中、隣ヲ通ジテ母體ョリ營養分ヲ供セラレ、之ヲ貯蔵シテ子質ノ發芽スルニ當リテ其ノ下子薬、粒ノ大部分ヲ占有セル所ニシテ二箇ヨリナリ其ノ一側面、暦ニヨリテ母體ノ炎ニ著生シ、子

ノ細胞トナル外面も又内面ト同ジク其ノ外部ニハ一層ノ表皮細胞層アリテ内面ノ同細胞層ト連鎖シ其細胞ト同ジ方向ニ商長形ノ細胞層ラナセドモ内面ニ造カリ外面ニ接近スルニ従ッテ多角形若クハ球形層ノ榴鉄細胞層アリ(第三國)尚其ノ内部ニハ柔既細胞層アリ、此ノ層ノ細狀細胞層ニ接スル所、細状ナス、内面ノ最外部ニハ一層ノ細胞層ヨリナル表皮細胞層アリ、其ノ内部ニコレニ接シテ一層若クハニ・キス、内面ノ最外部ニハ一層ノ細胞層ヨリナル表皮細胞層アリ、其ノ内部ニコレニ接シテ一層若クハニ



第二篇 大豆 / 盤定

五四

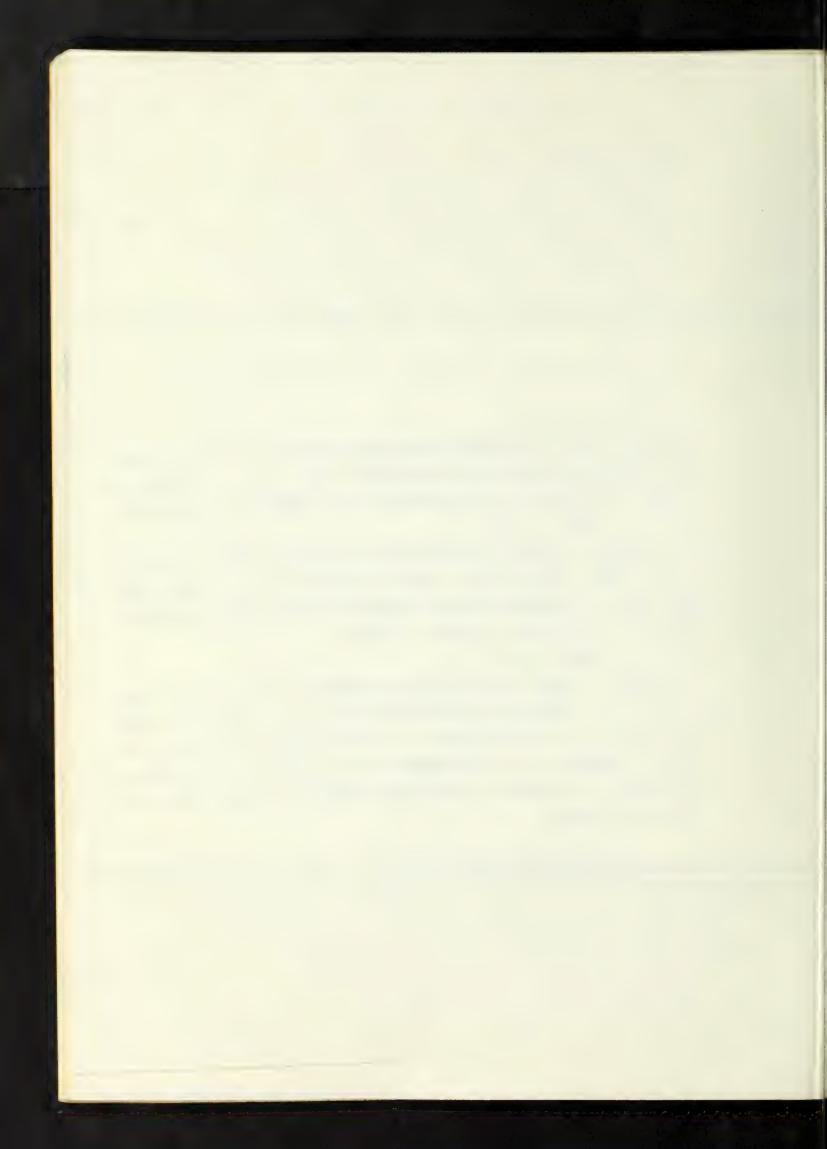
ノ維管束、子葉ノ下部ニ至リテ他ノ子葉ノ維管束ト共ノニ子並ノ維管束ニ連線シラ子芽及子根ニ違ス外面ノ宇囲形ニ平行シテ存在シ其ノ中央部ノ三箇へ内眼ニテモ明カニシテ見ルコトヲ得ル程大ナリ此ノ内部、直チニ内面ヨリ來ル系限細胞唇ニ技績ス(第四國)系版細胞唇中ニ於テ維走セル七箇ノ維管束

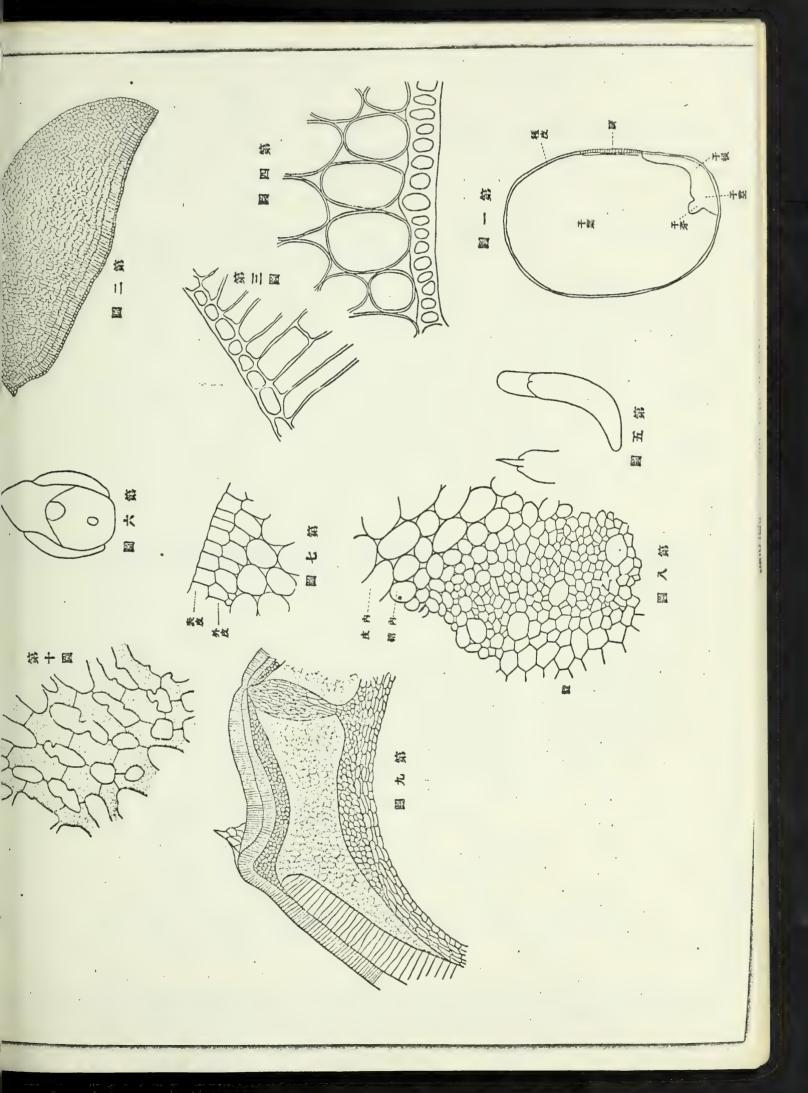
第三部 子 孝

路來二葉トナルベキ薬ノ任合ニョリテ保護セラル。(第六國) 先端ョリ生ゼル二箇ノ否狀突起ニョリ被殺セラル(第五國)子孝、基部中央ニ幼孝ヲ有シ其ノ前後ョリズル所ニシテ側菌ヨリ見ル時、 C 张ラナシ正面ヨリ見ル時、錐狀ラナシ其ノ基部ノ側面ニハ子莖ノ子孝、兩子薬ノ間ニ介在シ其ノ下端ハ子莖ニ接顧ス(第一國)子孝、種子ノ發孝スルャ將來基幹ノ生

第四節 子 根

ノ内部、甑トス。(第八園) 子周園形成暦)ニシラ一暦ノ細胞ヨリナリ内部、維管束ノ靱皮部ニ接ス、靱皮部ニハ道管部アリラ其股細胞暦ニシラ柔版細胞ヨリナリラ多クノ細胞間臨ヲ有ス、心柱ノ最外層即チ内皮ニ接シテ内鞘 (即厚皮ノ最内部ノ暦、内皮ト解シ一暦ノ細胞暦ヨリナリ心柱ヲ園続ス外皮及內皮ノ間ニアル暦、厚皮ネハ二暦ヨリナリ子根ノ最外部ラ包殻シ其ノ最外層ノ表皮ト解シ其ノ内部ノ一届ラ外皮ト云フ(第七國)子根、根冠ニヨリテ保護セラレ其ノ構造、他ノ植物ト略同樣表皮厚皮及心柱ノ三部ヨリナル、表皮







第五部 子 藍

右ョリ状ム、吼ノ突起物ノ先端、二分セリ。(第五國)子根内ノ維管束二接合ス、子並ノ上端子孝二接スル所ニ、左右二箇ノ舌狀突起アリテ子孝ノ基部ヲ左子並、子薬、子菜、子根ヲ相互ニ連絡セシムル所ニシテ子孝、子薬ノ維管束、此ノ所ニテ相合シテ

第六節 種 皮

ト接着ス、此ノ點、頑質ノ爽ト固著セル點即臍下ニ位ス。 頑皮、子葉、子芽、子根、子莖ノ最外部ヲ酸覆シ是等ヲ保護スル器官ニシラ子葉ノ側面ニ於テコレ

細胞唇アリテ恰内表皮ヲ形成スルガ如キモ荊子ノ尚君キ時、此ノ腎ノ内部ニ尙扁平ナル細胞層及真ノ逐ニ、長サ、幅殆ド同一トナル、此ノ唇ノ下部、扁平ナル數層細胞暦ニシテ某ノ内部、方形ノ一唇ノ一唇ノ相狀細胞層、兩端、臍ノ周逸ニ起リテ子粒ノ臍ニ反對ノ側ニ至ルニ從ヒ次第二其ノ長サヲ彼ジ細胞ニヨリテ圍結セラレ臍部ノ中央ニ於テ終ル、其ノ内部ニ於ケル表皮ノ相狀細胞ノ四万至五倍大ノ老成さル和皮ノ横筋面ヲ見ルニ際部、其ノ背部ヨリ肥厚シテ最外部、一唇ノ細狀細胞ヨリナル表皮

スルルナル細胞暦アリ、尚其ノ内部ニハ(第十國)ニ示ス珊瑚樹狀ノ細胞暦アリ此ノ細胞層ノ内部ニハ臍部ニ於テハ他ノ頑皮、異リテ表皮上ニ更ニ一層ノ棚狀細胞アリ亦表皮ノ内部ニハ多クノ色素粒ヲ有内表皮アレドモ子菜ノ成長スルニ從ヒラ賦砕セラレ億二其ノ痕跡ヲ見ルコトヲ得。(第九國)

- 第二篇 大豆 / 歷 定

五五



ノ肩エナル細胞所ト連格セリって一角エナル細胞層アリ本酵部ノ中央部ニハ経走セル卵形ノ細胞群アリチ間皮

第二章 滿洲大豆~分類

ば色、粒色ニョリ分類セラル。大豆ノ分類、有毛種及無毛種ノニッニ分チ更ニ届平種及豊国種トノニッニ分チ的是等ラ粒ノ大小、大豆ノ分類、有毛種及無毛種ノニッニ分チ更ニ届平種及豊国種トノニッニみチ的是等ラ粒ノ大小、

的諸別ニ普通用ヒラルル存類法パ

1 黄 豆(元豆)

- **
- a 白眉 豆ノ酵白ラ黄豆二比シ精大ニシテ格囲形、外皮・白雲色
- 。 企賞 (企元) | 黄豆」比シ小園形、瞬、黄褐又、白色
- 4 黒顔 大黒顔小黒欝ノ二種アリ

日帝日

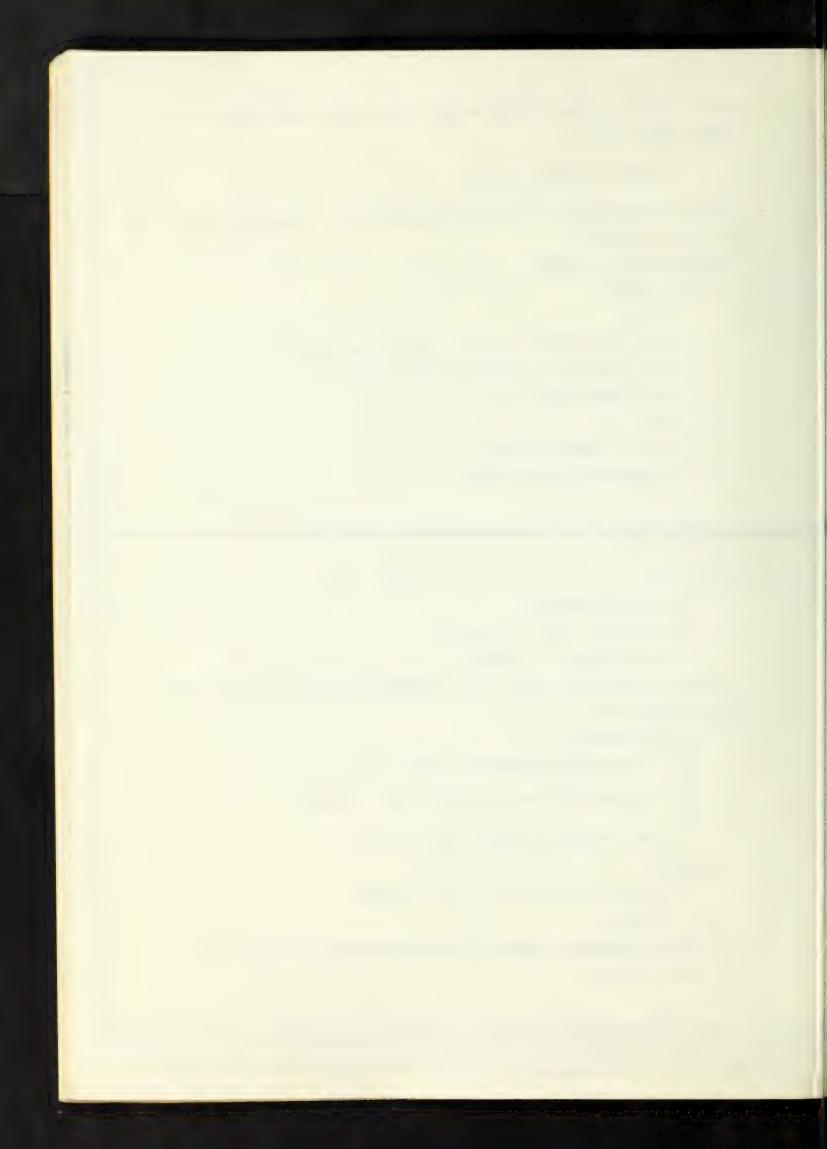
- 1 断ニ白色ノ痕跡ラ有シ外青内質
- 3 断二黒褐色ノ痕跡ラ有シ内外共二青

田殿岡

- ユ 大島豆 外皮黒ク内部青
- a 小鳥豆 前省ヨリ小粒ニシラ外黑内黄
- 3 扁鳥豆 形箱扁守ニシテ外黑内莨

改正スル方道舎ナル可シ。以上ノ矛類、蒋洲ニ於テ商人ノ普通用フル所ナルガ各項目問ノ區別判然をザルガ如と放ったノ如ク

- 1 黄色種 普通黄豆ト帯セラル
 - **ル 白色 普通白眉ト羅シ粒楕圓若クハ球形ニシラ大小アリ**
 - 日 楊色 普通企賞文、会元ト群シ替園者クハ珠形ニシラ大小アリ
 - 、 黒色 普通黒餅ト群と箱園者クハ珠形ニシラ大小アリ
- 3 謀色謹
 - イ 褐色 球形若クハ楕開形ニシラ大ルアリ、子葉緑色)
 - 口 黑色 同
- 第二篇 大豆ノ 艦 定3 黒色顔 | 杏洹黒豆ト罹ス目色皆黒色ニシラ子薬ノ色黄或ハ糕色ノ二種ニ分ツコトヲ得



玉八

- 4 褐色種 目色褐色粒球形ニルナル一種ニシラ一般ニ栽培セラレズ
- ら 常線或色種 普通青豆ト稱スル一種ニッテ共ニ子業数色
 - 三 在到
 - p 褐色/共二粒特圓岩クハ球形
 - い、黒色
- 斑色種 時々見ルコトアルモ一般二栽培セラルルモノアルラ聞カズ
- 鞍掛種 一般こ、栽培う見ぶ
 - 2 田御

 - 路倒

 - 黑色

満朔大豆~品頭

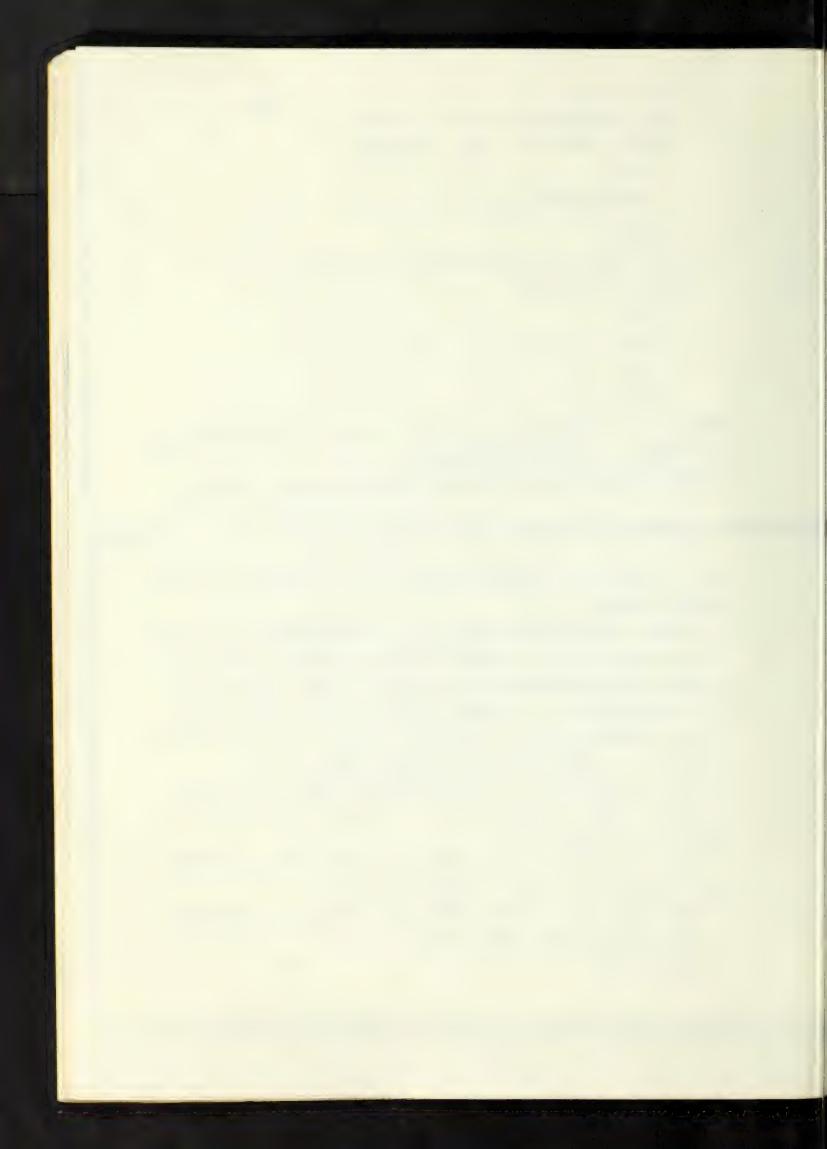
講翎」がケル大豆ノ品種ラ調査セパ其ノ数二百ラ下ラザルモ調査尚未了ニシテ品種名ノ判然セザル そノ多ク逐次説明スルコト能ハズ共ノ一部分ヲ記載セン。

1 率天白眉 奉天附近っ原ク栽培セラルル品種ニシラ草丈二尺五寸餘二達ス、花、然紫色ニシラ

早熟ナリ、成熟スル時い莢ノ色白ク粒形大ニシテ球形、色い淡黄ニシテ光躍少ク目い白色、乾物

中脂肪量一人%内外ナッ。

- 8.黒殻黄豆子「逸陽附近ヨリ雲以南ニ栽培セラルルモノニシテ草丈三尺内外花・白色ニシテ中栽 **夾 4 誤褐色ヲ呈ゝ粒ノ大サハ中ニシテ黄色球形衛光躍ヲ有シ目ハ族素褐色ナリ合油最二〇%内外**
- 3 白花髭子 長春及及主衛附近三鷹ク栽培セラルル品種ニシテ二尺内外、花・白色ニシテ中熱、
- **変ノ色、欲褐色ラ呈と粒、中ニシテ球形色黄ニシテ光深アリ目、茶褐ニシテ合油量一九%内外。**
- 4.四粒黄(角筋測化部ニ汎ク栽培モラレ草丈二尺五寸ヨリ三尺ニ違ス、花六白色ニシテ中熱・莢 、燄陽色粒、大ニシテ黄色球形稍光躍ヲ有シ目、淡茶褐色、合油量二○−二二%。
- 5 餓莢豆子 及主衛附近。中心トシテ北、長春前、昌閻附近ニ及ビ栽培セラル草丈三尺ニ達ス、 花、白色ニシテ鞘晩熟、莢、傷色ニシテ粒、中大ニシテ鷹ニ緑色ヲ帶ピタル黄色、球形ニシテ光
- 摩アリ目、茶褐色、合油量二〇%内外。
- ◆累隣 南湖洲北部二汎ク他種ト混在ス、草文一尺八、九寸紫色ノ花→関ク、淡、微褐色粒黄 色ニシテ珠形衛光躍ラ有シ目ノ形小ニシテ黒褐色ラ呈ス、合油量二一%。
- 大粒青 奉天以南ニ栽培セラン草丈二尺以内花、白色ニシラ晚熟、粒大ニシラ球形子葉緑色ニ
 - シテ光澤ナク目、欲褐色フ呈ス、合油量一七%内外。



- シテ中大、球形ニシテ光躍ヲ有シ子薬青色目、黑色ヲ呈ス、合油量二○%内外。 ○ 黒皮青央 黎天以南ニ栽培セラル草式二尺五寸内外花、白色ニシテ莢、青色ヲ帶ビタル褐色ニ
- 皮ヲ其ノ問ニ炎ハス目ハ黑色ニシテ合油塩一七%内外。タル淡褐色ニシテ粒ハ火、稍珠形ニシテ光躍アリ種皮黑色ニシテ表皮網狀ノ瞭裂ヲ生シ白色ノ下9 猪限豆兒 谷地ニ少量ツツ副宜物用ニ栽培ス草丈一尺六、七寸紫色ノ花ヲ開キ莢ハ青色ヲ帶ビ
- **障ナク目 (黒色) シテ合油量 | 九%内外。** い 非天背皮 奉天以南) 多夕栽培 2 ラレ草丈三尺徐粒大ニシテ渡青色、子葉武色、球形ニシテ光
- 11〇%内外。 ヲ問キ粒稍大ニシラ光磨アリ精関形ニシラ外皮談青色、子葉黄色ニシテ目、※褐色ヲ呈ス合油量口 銀淡青豆 奉天以前逸陽、熊岳娥附近ニ廣ク栽培セラル草丈二尺五六寸、茨黒褐色ニシテ紫花
- ッテ少ク一六%内外。 衛国形ニシテ草丈三尺五寸ヨリ四尺以上ニ蓬ス、花、白色若ク、紫色ニシラ光溶アリ、合油真玉出 株食豆 各地二栽培セラルルモ少島ナリ、コレニ黄色、黒色及褐色ノ三種アリ共ニ扁平ナル長

第三章 大豆 / 特性

第一節 大豆粒ノ大小

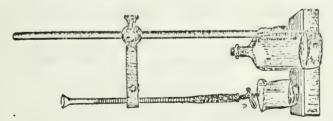
大豆ノ大小、内容物ノ種類及合益ニ關係アリテコレラ表スニ、日測及篩選ニョル場合多ン然レドモ

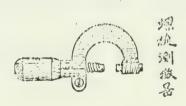
コレラ数字的二表ハスニハ重量ニョル場合ト容量フ以テスル場合トアリ。

今前洲二於ケル大豆ノ大小ヲ見ル」當場ニラ調査シタル百八十七品種中吏ノ百粒重量ノ最モルナル

い一〇五ニシラ最モ大ナルハ三二五三五と及じ一七―一八五ノモノ最普通ナリ。

数松容核計

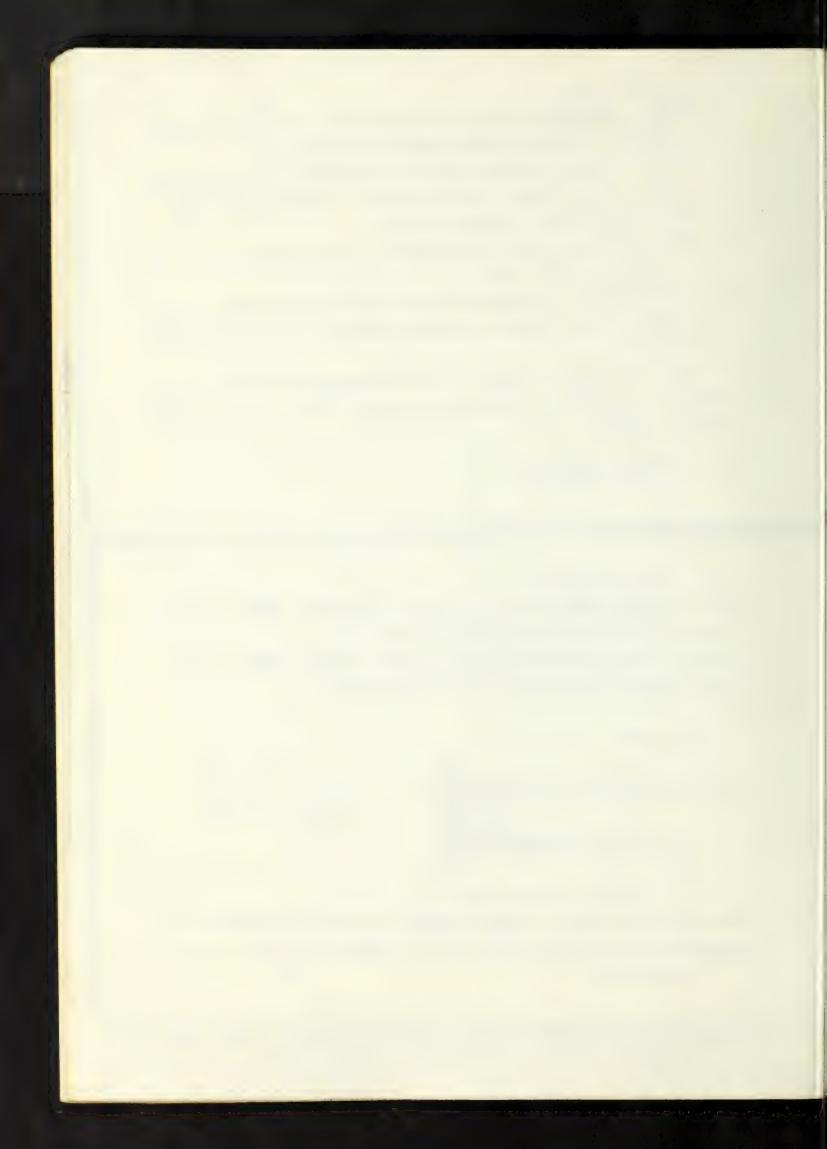




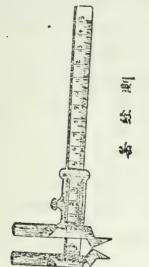
第一項 私ノ大小ト容量トノ間係

螺旋測徴器文、測疑器ヲ用ヒテ各粒ノ長、幅、厚サヲ測リ実ノ相桑積ニ依5コレヲ示スコトアリ庇ノ容益ヲ測定センニ、殻粒容積計ヲ用ヒヲ質際ノ容荒ヲ測定スル法長正確ナリ、容益・又簡便ニシテ

第二篇 大豆 / 歷 定



法、真ノ容前ト必ズシモ平行セザル場合アレドモ大體二於ラ其ノ容積ラ知ル二足ル、又十粒ヲ取ノ総 成、備二一列二密投シテ放べ其ノ全長ヲ測リ得タル數ラ一桁下グラ各粒ノ平均直徑トスルコトアリ此



ノ法、前法ノ如ク正確ナルコト能ハザルト雖大ニ時間ヲ節シ得ルノ利 アリ、容量、又一定容散内二存スル粒ノ数二因テコレラ表、スコトラ 得凡ゝ品種或、成分同一ナル場合ニシラ大豆粒ノ整一ナル時、其ノ大 小ノ如何「拘ハズ一定容積内ニアル各粒ノ總體積ハ同一ナリ、而シテ **実ノ表面積、粒ノ大ナル程ルナリ然ドモ大小不同ナル時、某ノ夢大ナ** ル程一定容積内ニアル各粒ノ馥容積、金々大ナリトス、コレニ佐ル時 い杜整一ナル時二八然ラザルモ混合シタル場合、買手、利アリラ質手 **〜損ナり。**

第二項 粒ノ大小ト重量トノ關係

大豆ノ軍塩ラ表いスニニッノ方法アリ、共ノーハー松若クハー定数 ノ粒ノ重畳ヲ以テ示スモノニシテ他ノーハー定容積内ニ於ケル重遣ヲ

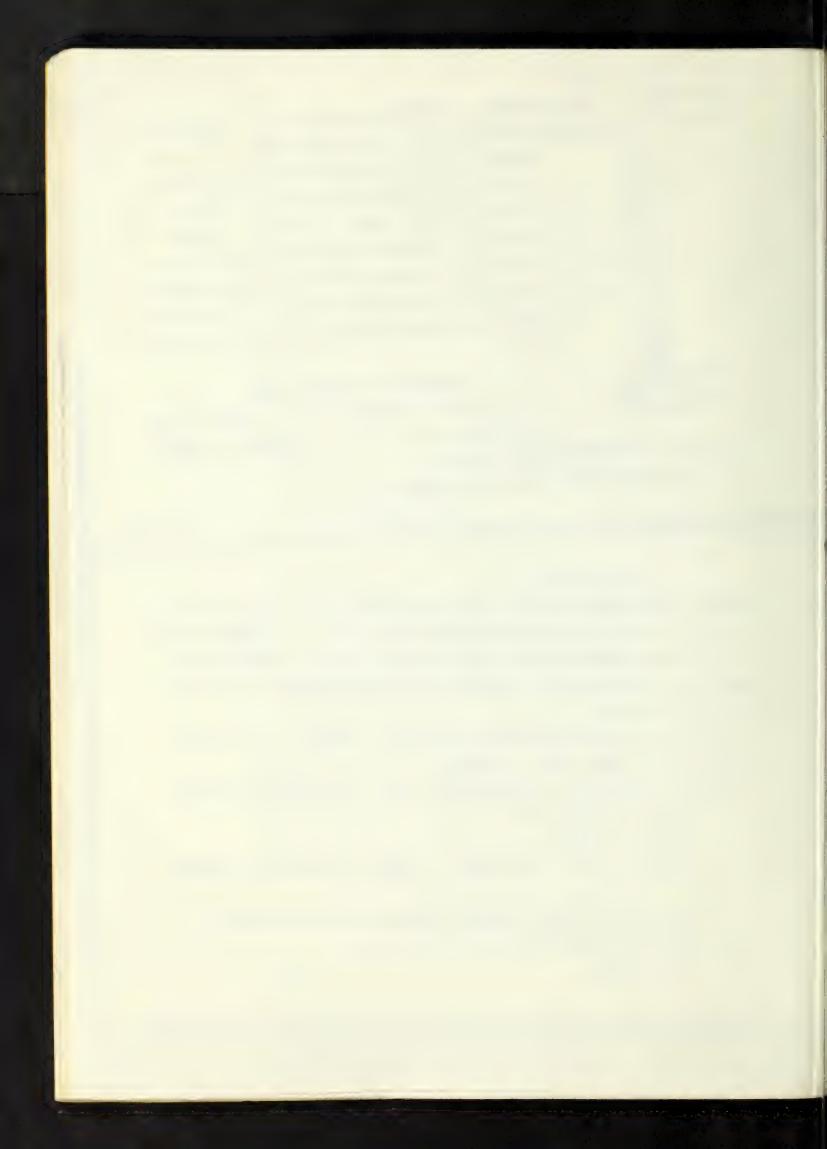
以ラ示スモノナリ前者ヲ賀重ト稱と後者ヲ容重ト云フ。

$W = \frac{4}{3} \pi \gamma \times S. P. g.$

故「實重、其ノ容哉ト正比例スペキモノナルモ大豆ノ質重ヲ秤量スルニ正シク其ノ容額トハ正比例ス ルコトナシ、コレ同一品種ニアリテモ其ノ粗線が整落均等ナルモノニアラザルヲ以テ比重モ多少ノ差 アルコト多ン従う粒ノ質重ト容積トハ必ズシモ正シク相比例スルコトナシ、サレド概数二就キテ其ノ 關係ヲ次ムルトキハ同一品種ノ粒ニアリテハ質重ト容積トハ自ラ相伴フテ増被スルヲ見ル即大ナル子 粒、重クルナル子粒、輕シ。

一定容積内ニアル粒ノ容積、粒ノ大小三拘ラズ常二同一ナルコトハ既二述ベタル所ナルガ放二粒ノ 大小如何ニ物ラズ其ノ總容積ト總質重トハ正比例ス。

- 1一 容重 一定ノ容積内ニ合有セラルル粒ノ重量ラ云フ、例へパー升ノ重ヶ何程ト云フガ如シ容重 い下ノ如き事項ニョリラ差異ラ生ズ。
 - 1 粒ノ質質ニョリラ支配セラル
 - a 粒ノ形狀ニョリテ異ナル、即チ短夕豊国ナルモノい容重大ニシテ長ク届平ナルモノい容重小 ナリ
 - る 粒ノ大小ノ整否、大小粒混合スツ時、容重大、粒形整一ナルモノ、大小三拘ラズ同ジ
 - 4 不完全粒ノ混合程度及其ノ種類 第二篇 大豆 / 星定



5 副定上、誤差、容器、形狀及容器ヲ操ル手加減ニョリテ左右セラル

すし、古地一数テー電子近ノ方法にヘレッカアリ艦シア発動大力メモノ「品質良好ナルゴ加ショ以上」加ク容重「多少、前々ノ原因ニョリテ票レドモ現今買買取引上及品質鑑定上」便利ナル方法

第三項 粒ノ大小ト品質トノ關係

ひ客百載重畳ト其ノ合油畳トノ関係ヲ見ルニ次ノ如シ。必ズシモ小粒種ヨリ優良タル可キコト館ハザル場合アルベシ今満洲ニ生産セラレシ大豆百九十三品種ルモノハ大粒ナリ、品種ハ各其ノ特有ノ大小及品質ヲ省スルニヨリ品種菓ナル場合ニ於テハ大粒種ハ質ニ関係アリテ大粒ハ小粒ヨリ種皮ノ合有セラルル割合少キニョリ同一品種ノ場合ニがテハよ母チスルニョリテ粒ノ大小ニ物ラズ品質、同一ナラザル可ラズ、然ドモ此ノ場合ニ於テモ種皮ノ多少ハ品粒ノ大小品質即油分及蛋白質ニ如何ナル関係アルャヲ見ルニ問一品種ニアリテハ同一ノ品質ヲ有

大豆百粒重卜含油量

22 23 U.P. #F	1	rO.	11	14	1 29	1 38	1 38	31	12	11	က	3 193
23			-									-
22								_				-

	ı													
21		1				-								C4
20						C2	-	C1	C 4					2
19						7	. चा	CJ.	\vdash		က			=
18			-	-	C4	4	9	C1	က	\vdash				21
17			\vdash	П	च्य	9	0	10	23	62	63			41
16			1	C 2	9	9	9	2	4			П		63
15			C ₂ 1	62	1	ಣ	9	4	က	C3	_			24
4				C4		-	က	4	7	က	-			21
13				C3	-	ಣ	-	4		က	1	-		16
12						1		_	4		¢1			00
3						-	_	_	_					4
合油蓝%	23.5	23.0	22.5	22.0	21.5	21.0	20.5	20.0	19.5	19.0	18.5	18.0	17.5	nine.

相關率=+0.151±0.07

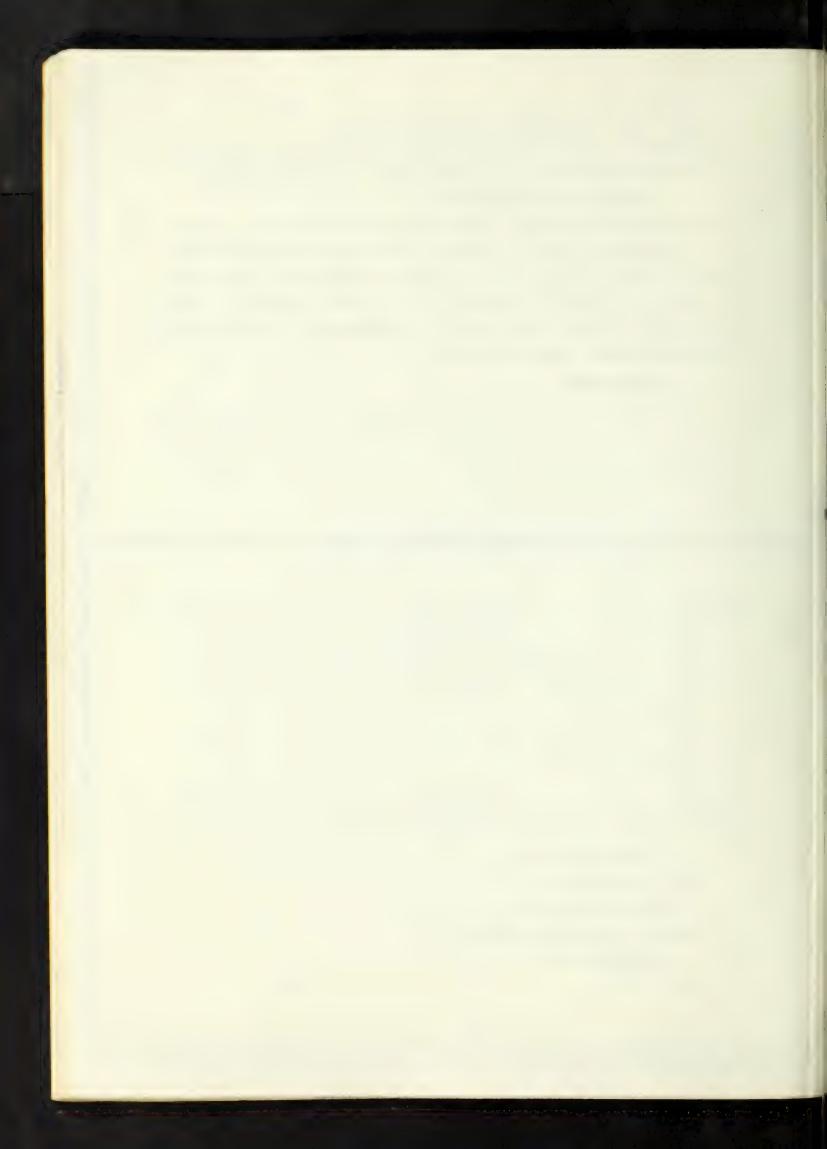
百粒重ノ平均價=16.63±0.18

標準偏差= ±2.43 ±0.12

乾物百分中ノ脂肪量ノ平均價=20.04±0.14

標準偏差=2.01±0.10

第二篇 大豆 / 鑑定



同一ニシテ厚ノルナルモノ特団形、長軸最大ニシテ幅及厚ノルナルモノ長特団形、特団形ョリモ筒長

大豆ノ塩形、品種ヲ労類スルーツノ特性ニシテ各品種、共ノ国有形狀ヲ有シ球形、扁球形、精団形 長衛関形等種々アルニョリテ形狀で亦載し品質ニ影響アルモノチリ、諮別大豆ニ説テ・長衛関形ノモ ノ少クシテ球形、扁球形及特囲形ノモノ多シ球形トハ丘、幅、厚殆ド国ニニシテ扁珠形ハ長、幅殆ド

第二節 形 狀

ノ表面積ノ組和ハ式ノ宇徑ニ反比例ス。 コレニョリテ考フル時へ大粒へ小粒ョリ種皮ノ量少シ之製造工業者ノ生意スペキ所ニシテ小粒種ョ リ大粒顔、稲皮ノ経劉真少キニョリテ推油或ハ豆腐ヲ巡遣スルニ當リテハ殘除少ナキ結果トナル可シ

◆一ツノ粒ラトレバ芸ノ表面積い4m7sナリアトイ粒ノ宇健ナリ又他ノアトイ生定質す有スル粒ノ表面積い 4月7十7故ニ此 ノ南徳ノ表面積ノ比ハ夫々ノ宇復ノ二衆ノ比ニ等シ即ヶ宇徳ノ比ノ二衆ニ等シ其 2 故 **ニーッノ泣、宇健が位ノ粒ノ宇健ノ二倍ナル時、表面積、四倍大ナリ、然ルニ大ナル宇健ラ有スル粒 ノ龍行い小ナル宇座ラ有スル粒ノ쁹積ノ入告ニ當ルニョリテ同一體積内ニ於ケル各粒ノ體積ノ和・前 秀・後寄ノ二分ノーニ當ル、又生復三倍ナル時・其ノ表面積ノ三分ートナル即周一億荷ヲ有スル位群**

実ノ厚サニ厚薄アルコトハ前ニ逾ペタルガ如シ故ニ是等ノ関係ラ簡単ニ説明スルコト能ハザルト雖説 明、復宜ノタメニ粒、球形ニシテ程皮、厚薄ナク一様ノ種皮ト記、論ゼントス。

粒ノ大ナルモノトルナルモノトノ間ニ菜ノ種皮量ニ須何ナル間係ヲ生ズルカヲ見ルニ大豆ノ粒ハ真 ノ球形ナルモノ、至ッテ少ク多少扁球或、格圓形等種々ナル形狀アルノミナラス種皮モ部分ニョリテ

コレニはリテ見ルニ粒ノ大小差異い合油量ト問ジク大ナル開係ナキガ如シ。

大豆百粒面攝下含蛋白質量

支執(去加以上) 中核(共加以上) 小(共加以下) 温皮 140411 14.01

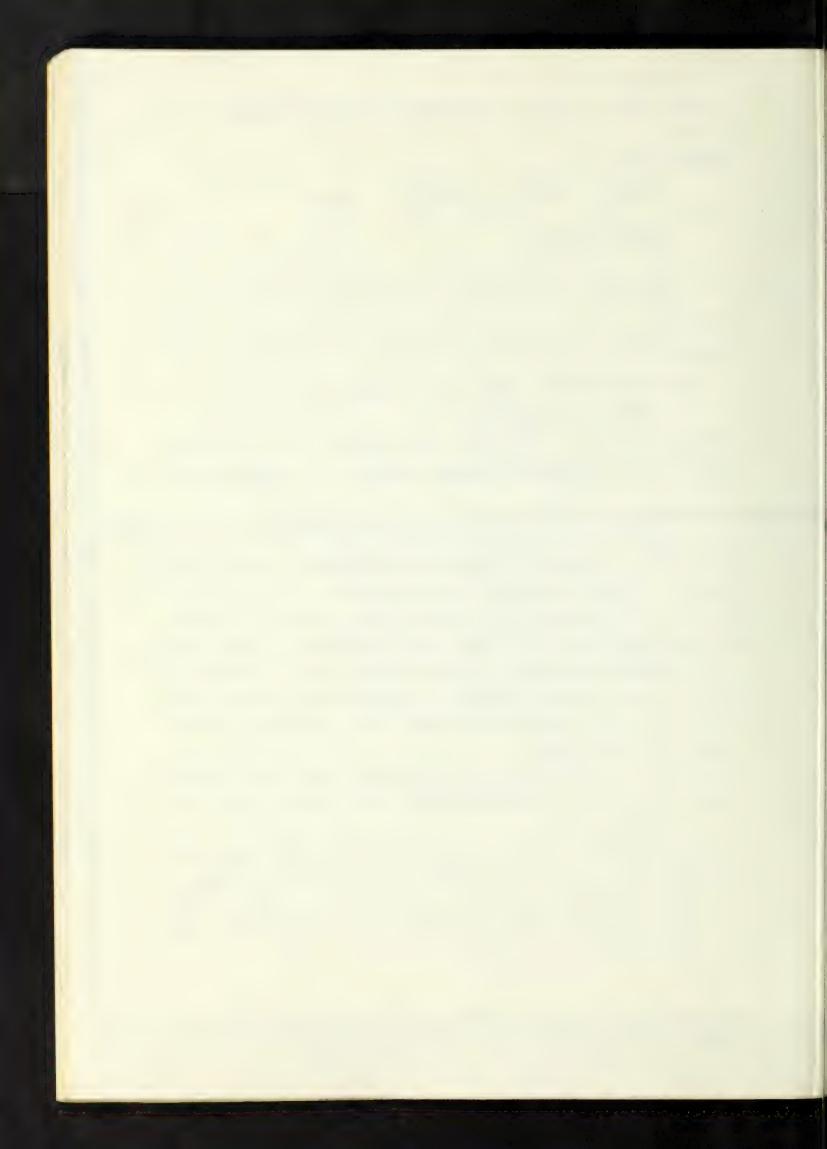
大連飯塚氏ノ研究ニョレバ

トラノルナショ

第二篇 人豆 / 冒 生 コレニ依リテ見ル時ニハ品種間二於ケル粒ノ大小ノ差異ハ其ノ合油塩ニ信少ノ和陶現象ヲ示スニ止

不完全粒

100-10



動ノ他ノモノニ比シラ大ナルモノラ云フ。

_	现形	II ERK	7	H	\		1	111	1.1
---	----	--------	---	---	---	--	---	-----	-----

恭国动	1	B	κ	ž	H	`				11
nia							1	1	1	1

は、形形、品種ニョッテー定ス今大豆ノ各品種、形狀ト其合油量トノ關係ヲ見ル左表ニ示スガ如い

	rile:		-																	15.116.1	
				7	50	11	1 1	* T	29	G G	3	88	or;	10	15	Π	(ഞ്	109	20.037	
だ		E			7	-	-	1	က	α	0	ŭ	. =	;	2	7		62	ŭ O	07	
喧							-	4	C3	7	•	00	4	,	4	. 10		1	30	7	
	形裝			-	4	10	Ć.		24	23		25	17		က	r.			19.4	-	
を推	湖	60	. 23.0	22.5		22.0	21.5	21.0		20.5	20.0		19,5	19.0	18.5		18.0	17.5	ŋin	产金 基章	non.

コレニョレが球形ノモノ合油量多キガ如シ。

松形ト蛋白質トノ關係

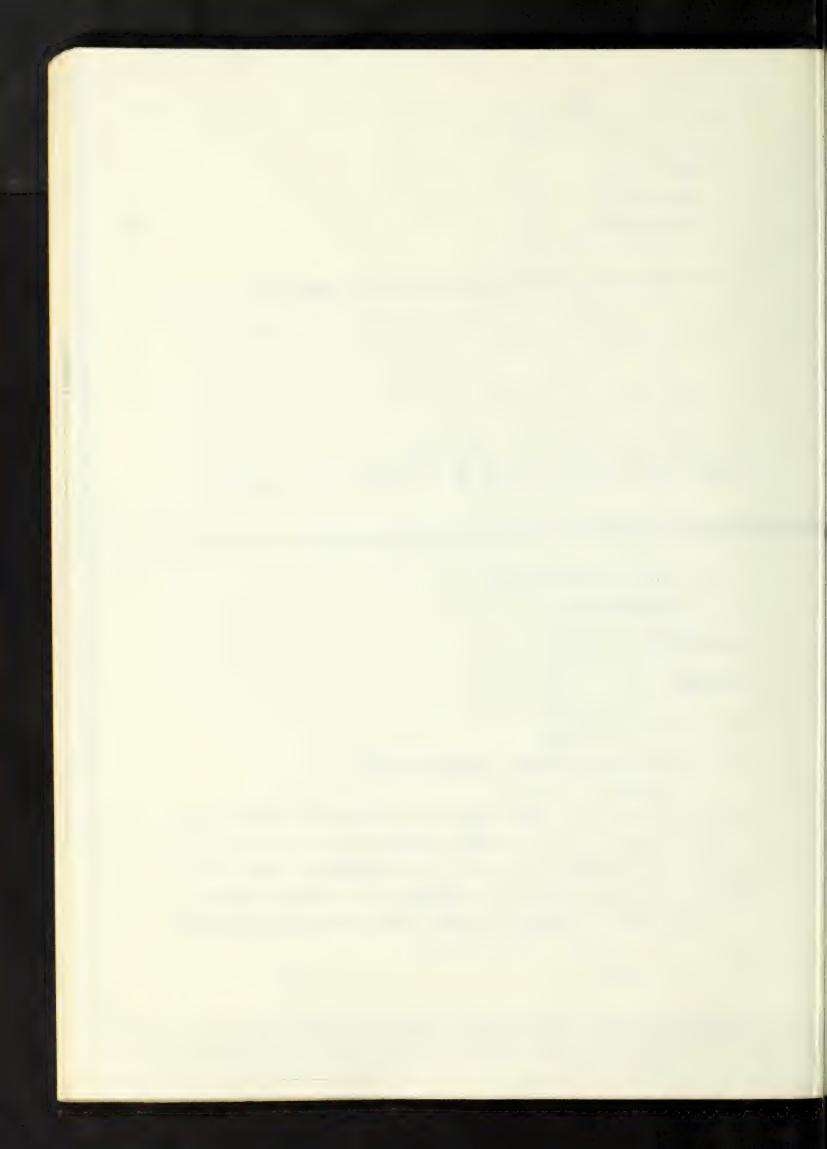
令蛋白	百里	41.715	44.345	43.217	42.687
調查品	種數	63	10	C ₂ 1	26
類	形	松	罝		
**	#	144	1	単	匾

コレニ依レバ蛋白質、脂肪ニ反シ球形ニ少ク特固形ニ多キガ如シ。

深川語 為

大豆ノ色、種皮及子薬ノ色ニョリテ種々ナル色ラ表ハス故二種皮及子薬ノ各色ラ調査セザル可カラ ザルモ普通是等し間分ラナサズシテ表スコト多ク特ニ子薬二顯者ナル色アル時へ別二記載スルコト多 シ、大豆、色、種皮ノ表皮細胞唇 1表、レ、黄、青、黒、赤、斑色及較掛等種々ナル色アリテ各色 1 付職然アルニョリテ是が精細二記載ラナスコトハ並が困難ナルコトナリ、筋洲二次ケル大豆ノ主ナル モノ、黄色若ク、青寅色ニシテ青読黄色ノモノモ又稍多シ、青色、黒色、茶色、斑色及較掛ノ類、甚 300

第二群 大耳ノ 蛭定



令蛋白質量 %	45.550	43.128	40.249	40.419	42.543	#1.811
調宜品質數	C3	C2	14	क्ष	53	ro
数 包	#IP	HE	117	机	Lind.	賞
46 (0	慰	Tiji	HE	仁	W/LIM	Ī

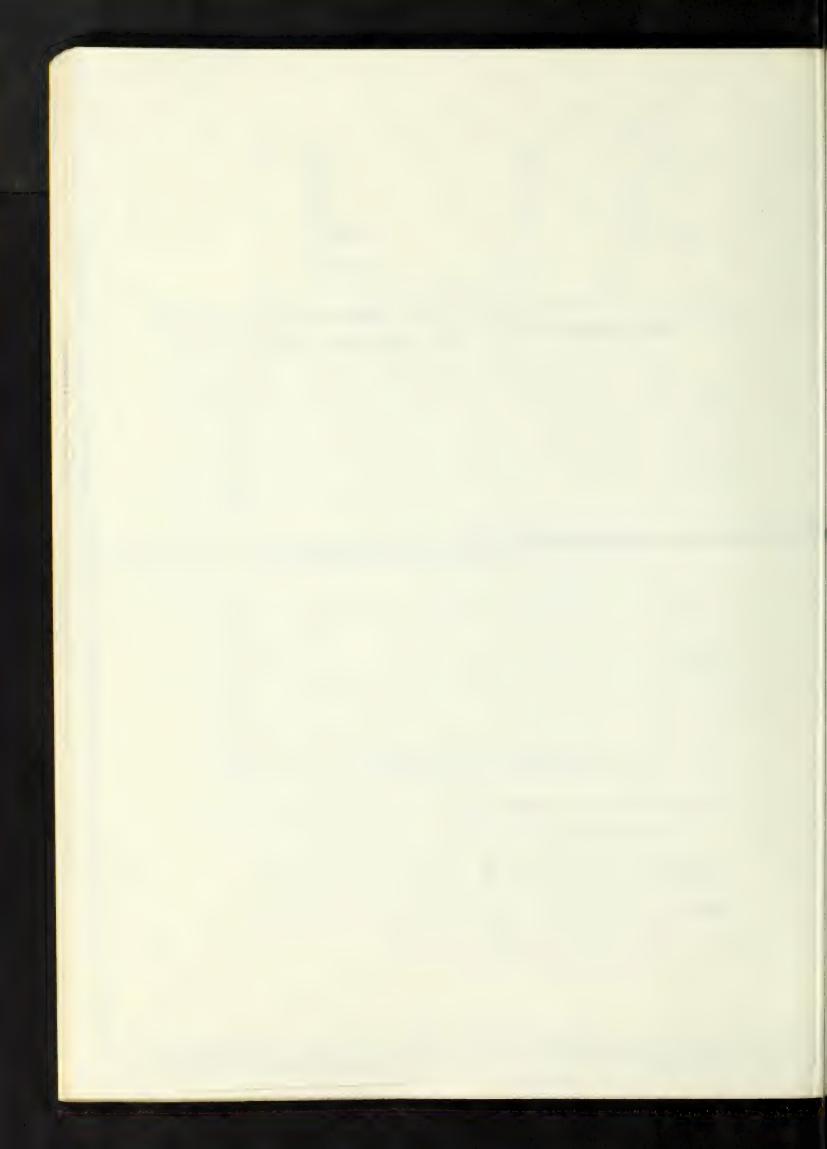
粒色ト蛋白質トノ開係

即子黄色」音味(出タルモノガ合油量多キガ如シ。

把		鼓		C4	П	4	10	14	13	10	4	4	C 3		64	0 19.949 20.879
e)	哲		1		5		12	15	80	15	4	-	-		83	19.880
包布	胡	96	23.0	22.5	22.0	21.5	21.0	20.5	20.0	19.5	19.0	13.5	18.0	17.5	NAME.	10年 12年 12年 12年 12年 12年 12年 12年 12年 12年 12

			1				***	` `	/F-E	H40 ' 94	- m	银名上	・一陸区	ドラ見が	三左	Ŕ
	11/100			10	11	14	29	88	88	31	12	11	က	193	037	1
然	在米	カシ			,	7	,	7						-	19.177 21.	
河		部			-	4	1-	-							301 19.	
超	描	1'-' 7 0		٠						,-			•	C 2	782 20.801	
		i							-		'			1	18.7	

法、天候、收納期ノ適否及貯蔵ニョリテ異ル、今谷品種ノ粒色ト油分トノ關係ヲ見ルニ左表ノ如シ。粒色モ品種ニョリテ一定スルモ空氣ノ乾湿、土地ノ乾燥、乾燥法其ノ他ノ原因即充實ノ良否、栽培



コレラ見か二説育ノモノ最張月贯多ヶ青コレニ次グが加し。

第四征 光 译

、飲ナルモ時トシテ全クコレヲ飲クモノアリ。大豆粒ノ光深い常ニ肉眼ニョリテ盤定と有、飲、無ノ三ツニ国分シテ調査ス結別大豆(多ク、有成大豆粒ノ光深、常ニ肉眼ニョリテ盤定と有、飲、無ノ三ツニ国分シテ調査ス結別大豆(多ク、有成

光	译有	KO)	
122	200	氏人)	1111
匝	嵩	<<	

粒ノ光躍ト各油盘

Tile.	-	ت	11	14	53	88	38	31	13	11	က		193	2.037
祟	1	C 2	5	1	œ	13	22	19	2	ĭĊ	1		84	19.852 20.037
海		1	1	1	9	12	4	ت	C 4	4	1		37	9.85119
柜		63	, Ot	12	15	133	10	7	က	5	1		20	20.365 19
												•		20.

器							C.	1			•		C3	19.765
松 祖 38	23.0	22.5	22.0	21.5	21.0	20.5	20.0	19.5	19.0	18.5	18.0	17.5	spies.	A 位 位 点 点

光澤有ルモノ最モ多キガ如かっ

粒ノ光躍ト合蛋白質量

含蛋白質量 %	41.644	42,331	42.655
調查品種數	38	12	49
光 胜	在	颈	#

合油量ト反對ニ光澤無キモノ蛋白質量多キガ如シ。

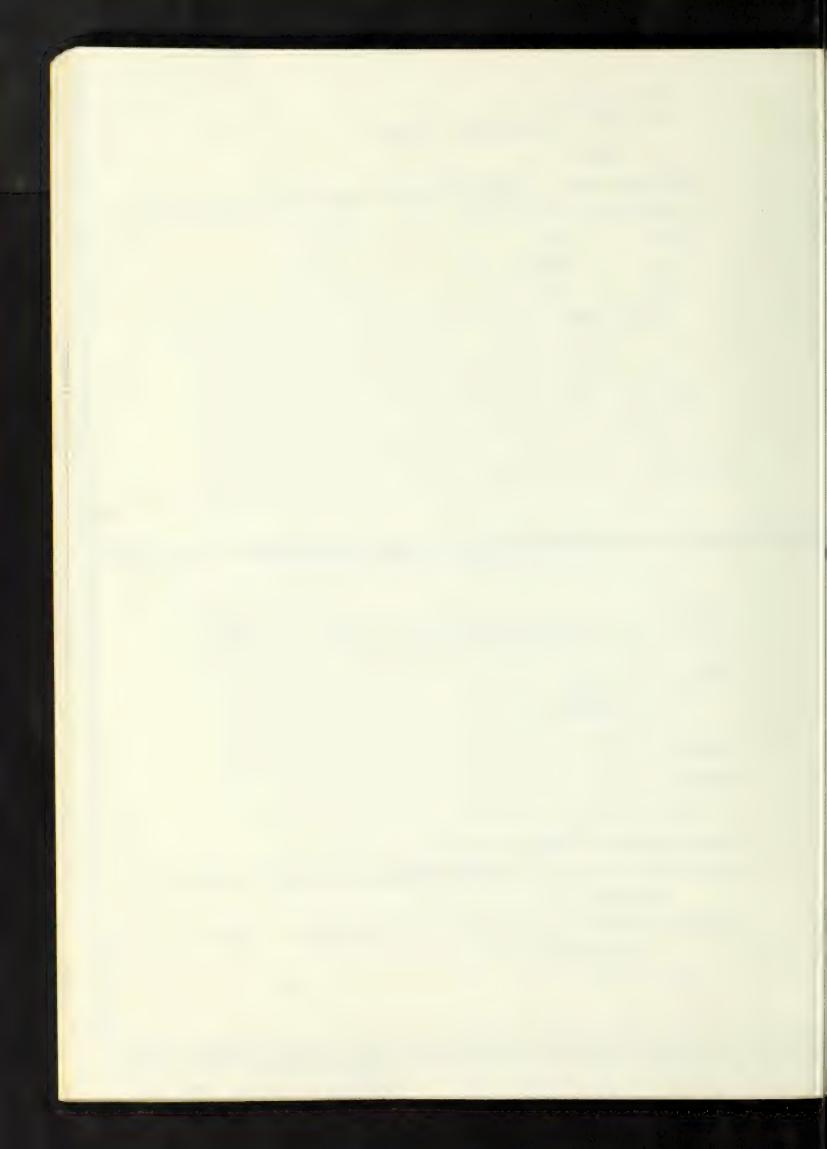
粒ノ光澤、品種ニョリラ自ラ一定スルト雖又天氣、成熟ノ度關製及貯設ノ如何ニョリラ差異ラ生ズ

部附招 聚 8

大豆粒、断色ニハ粒色ニだケルガ如き種々アルノミナラズ東ノ色ノ現っと方ニニッノ方法アリ。

第一項 暦色/表パレ方

第二篇 大豆 / 怪 定



隣色ノ現ハレ方ヲ逾ブルニ先ダチテ隣ノ標造ヲ逾ペザル可カカラズ、隣ハ子質ノ生育中母體ヨリ啓 発物ラ毎取スル道路ニアタリ淡ニ常生と水道跡ニテ其ノ形状、多ク長将囲形ラナス、其ノ長軸ニ沿と 中央ニーは、殺戮アリ近ノ線、白色若ク、褐色ニシラ瞬色ノ表、レ方、 し近ノ線線 ノ 原側 二沿 ヒチ表、レ周囲二至ルニ從ヒテ衛次二競関ラ酸ズルモノト周園二線ク表、レテ中央二至ルニ從ヒテ次 第二該クナル方法トアリ

器二位 原句/同型

色い白色、褐色岩クハ黒色ニッテ各歩ノ濃度ヲユニス即チ

					111 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	
		(23	剧	₹.	É MAN mila	
		₹#		H		111
蓝		(%3	ETE	1		111
		(盟	**	1 14	题 (沒 雕	1
炽		题	袾	IZ	(競 株	1
	**	茶		用回	₩ \ ₩	11.1
岩田		褒然	**	14	類 (総 茶	Ħ
		(類	*	45	\$P\$	1
	III			图代	赤	, ,
				1211 EZ	•	
				\$ ₂ 11£28	1) [1	

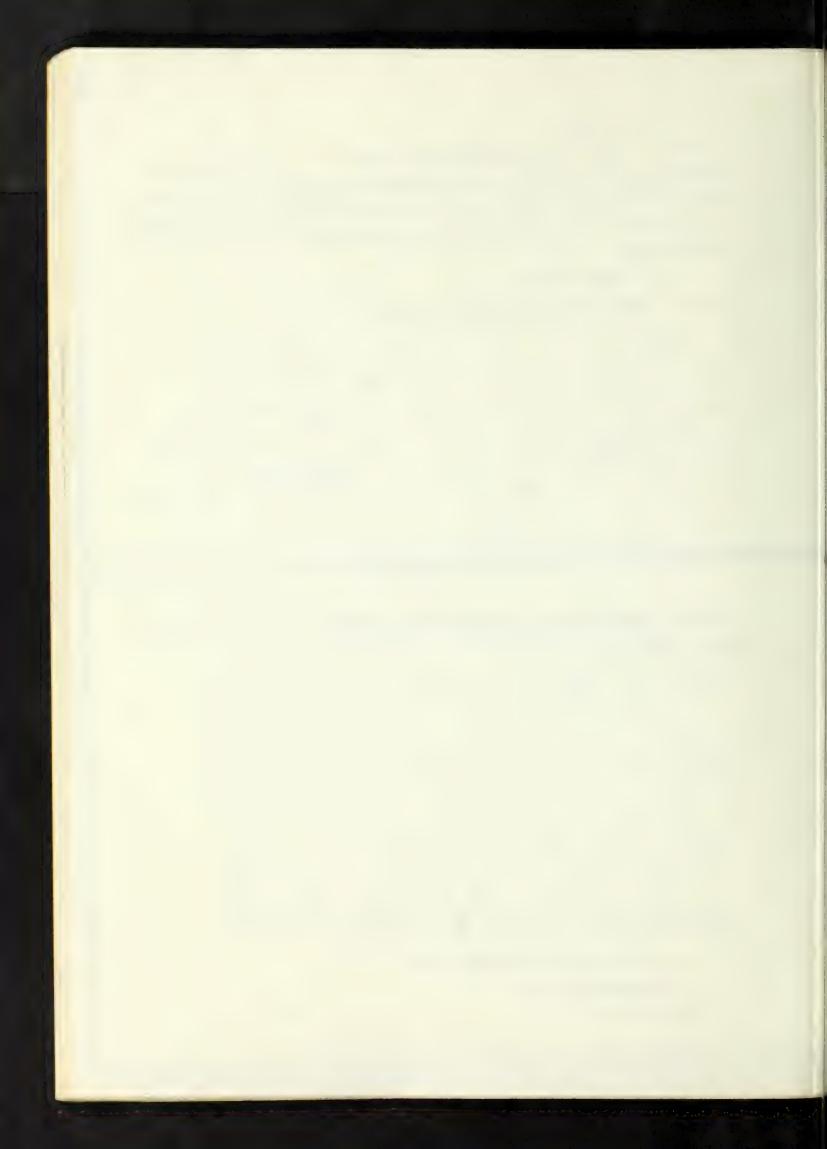
隣色モ氣侵、成熟ノ度及節数ニョリテ多少差異ヲ生ズルト雖然未品種ニョリテ一定ス、今品種ノ解 色ト油丹トノ閉係ヲ見ルニ

	11012		-	4	ī.	11	14	65	38	38	: :1:	13	=	က	.193	20.087
链						7		1	C 7	. [C3			-	œ	19,925 20,087
	H		-	4		C 4	1	C 4	rO.	1	C3				14	19.510 20.635
遊		袾						က	4	10	20	4	64	1	24	019.61
	秋				2	ø	11	18	15	12	14	4	ଦୀ		88	
	Ψ						C1	ಸ್ತ	12	10	00	4	2	1	49	19.587 20.315
如為	はは		23.0	22.5	22.0	21.5	21.0	20.5		20.0	19.5	19.0	18.5	18.0	ine.	4 4 1 1 1 1 1 1

コレニ依レバ呉及茶ノ脳ヲ有スルモノ合油量多キガ如シ。

耐色ト含蛋白質量トノ関係

第二篇 大豆 一盟 定



													7-1	10
1]	is.		ž0	£	16	23	16	12	9	2	2	. 66	2.732	
ij	剧				61	63		1	-	-	1	s	3,166 49	
Ē	Ř					C 1			7			က	42,709 43,166 42,732	
Ş	米		1	_	1	~	ž0	П	C3	C1		14	2.6614	
***			က	70	2	12	9	œ	64	C 7	ಣ	48	1.990 4	
語句			-	-	9	9	20	63	0	C 4	ന	56	42.353 41.990 42.664	
田田 田	1	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	ŋńs.	州 河 河	

コレラ見し、復異、黒ノ附色ヲ有スルモノ蛋白質点多キガ如シ。

第六節 子菜 / 色

知スルコトラ得報色、青色トナルモ補皮器色ナルモノニアリラハコレラ知ルコト能パズ子薬ノ青色ラ大豆ノ子薬、黄色芥クハ青色ニシラ種皮質色ニシラ子薬ノ青色ナルモノハ種皮ラ透シラ表面ヨリ銀

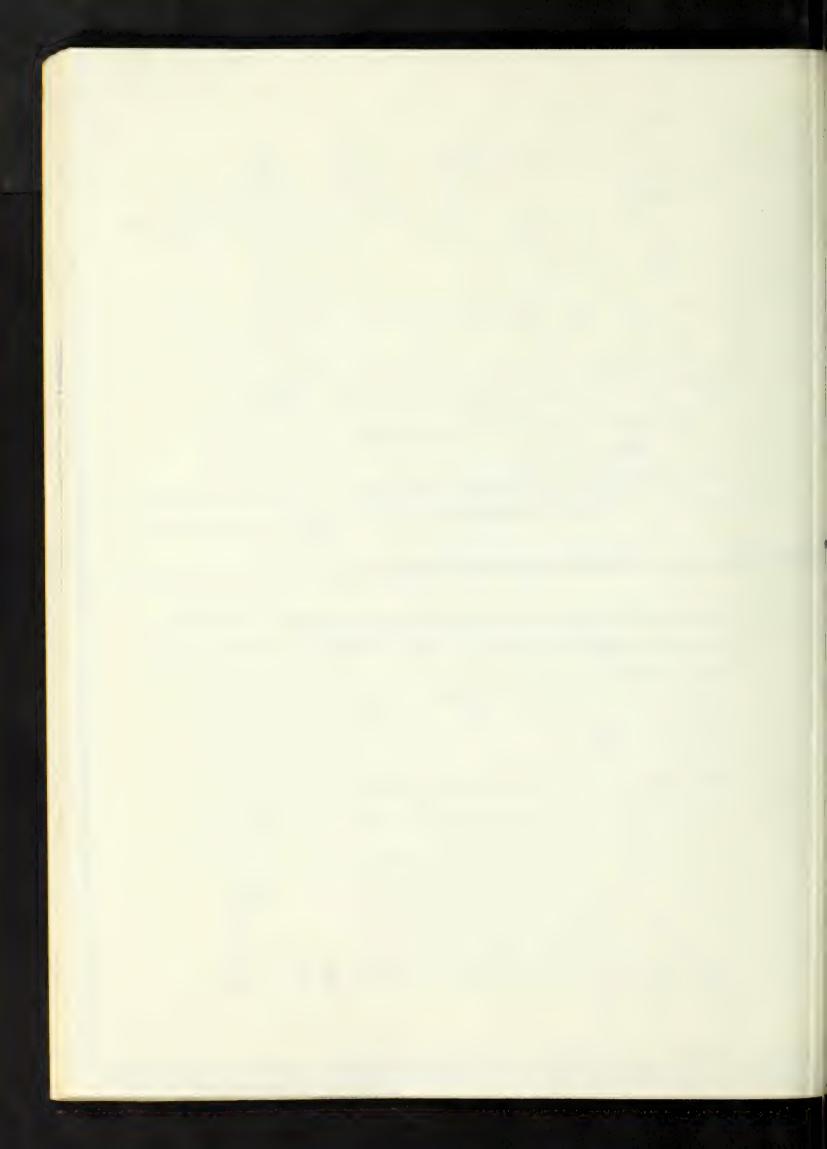
ラ子薬ノ色ニラ芬ッ時、ク大豆ノ大部分ハ子菜黄色ニシテ実ノ程度ニョリテ、題、中、弱ニ芬ッコトラ得今満洲ニ於ケル大豆有スル大豆、粒色ノ青或ハ黒ノモノアリチ他ノ粒色ノモノニ末ダコレラ發見セズ、面ッテ品種至テ少

指		1	彩 莊	1]
説	FE	1 11	#5	北六
ä	描	100		
1712	Ē.	11.1.1		

子薬ノ色モ品種ニョリテ一定ス今子薬色ト合油塩トノ關係ヲ見ルニ

inn.		_).	> =	11	14	53	38	38	31	12	11	က	193	20.037
**	3	۲,		. 6		9	16	17	18	11	9	2	က	90	19.684
哲			70) kč	•	2	13	18	18	18	5	41		65	20.219
5	ž	-				٦,	_	က	C 1	C1	H			11	20.168 20.219 19.684 20.037
合油はの	000	23.0	22.5	22.0	21.5	21.0	20.5	20.0	19.5	19.0	18.5	18.0	17.5	vina.	大
			41.4	4.4											

第二篇 大豆 一 盟 定



せれ

・階級トス語訓ニ於ケル大豆ノ種皮ニ闘シテ分ラパ衣ノ如シ。

Charles a large common and a a a district a street and a

使ニ然青色ヲ帯ビテ北ノ差異甚少クシテ属別スルコト困難ナルモ調査ノ便宜ニョリテ欲、中、説ノ三

大豆ヨリ稲皮ヲ例デ取リ之ヲ彼スルニ褐色、黒色、斑色及談掛ヲ除キテ雲色粒及青色粒ノ種皮ハー

コレニョルト種皮ノ量、質ニ鉛ッテ某ノ一割以下ト知ルベシ

小 粒 10·四七 平 均 九·三0 大 粒 九·三0 大 粒 八·三八 中 粒 九·1四 版坛氏ノ研究ニョレバ十二箇所ノ大豆ヲ大、中、小二分チラ弐ノ平均5見ルニ子 根 皮 八·二 種 皮 八六·七 全 重 畳 100 子 薬 八六·七

本場こ於テ試験とが結果ニョンバ

皮 五·四二七 七·○五六 七·二七四 九四·五十三 九二·八八二 九二·八八二 九二·八八二 作莊 大豆 傳 一子 大豆

二龍キテハ既二進ベタル所ノ如シ、今羅皮ト賞トノ割合ヲ見ルニ湯川氏ニョレバ、張ノ如何ニョリテ起ル盗罪ョリ塩少ニシテ殆ド芳虚スルノ必要ナシ、粒ノ大小及形状ト種皮トノ關係

帝品ノ僧値ラ左右スペキモノナリ、種皮ノ多少、並ノ原常二郎係アリト監厚なノ差異、種ノ大小及形大豆、普通種皮ノ存在スルママニテ商品トッテ取扱ハルルモノナルニョリ類皮ノ多少及其ノ皮分ハ

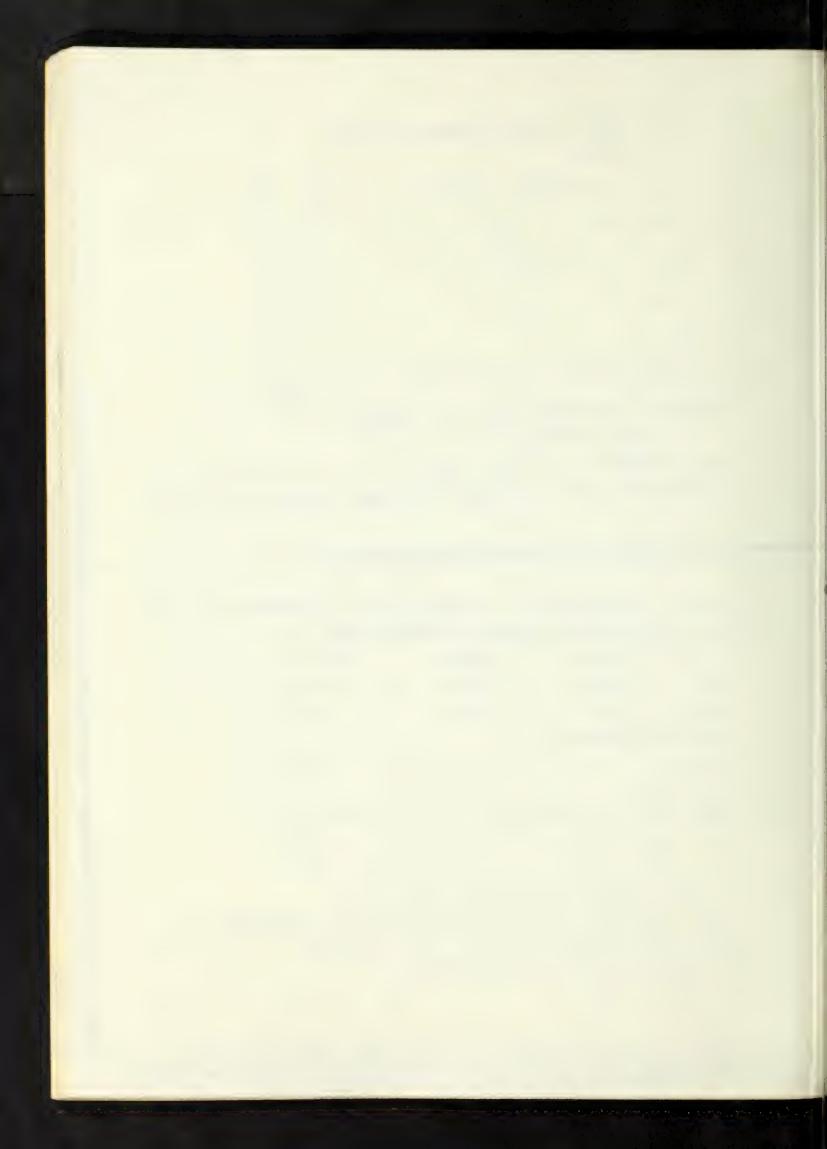
第七節、種皮及領皮ノ色医白質量ニがラハ合油造ニ反對ニ青及黄色ノ欲キモノ蛋白質多キガ如シ。

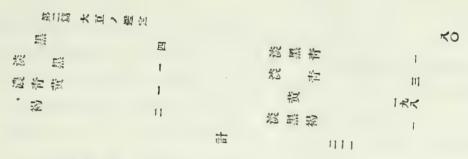
ilin) h	0 7	16	23	16	12	Ľ•	2	œ	101	43,332
战 鼓	C	4 m	, ro	ထ	12	C 1	4	7	4	77	42.6154
† ;5%	er:) 4	11	12	က	G	C 1	က	61	49	41.947 4
超 哲				ಣ	-	1			1	9	42.774
中然也一							-		1	67	45.550
医白斑属 13	88	39	40			44	45	46	47	ijiliz	强力型 蛋白型

子菜色「蛋白質

第二行 大豆 / 區定

コレラ見しい該色該キモノヨリ復キモノガ合油塩一般二多キガ如ショ





第四章 大豆,化學的成分

第一節 大豆ノ普通成分及其ノ分析法

ケ州南氏が氣蛇大豆ノ諸成分ヲ研究セル成績ヲ以テ最初ノ報告トナスペシ先ノ限告ニヨンド大豆ノ化學的成分ニ関スル研究成績、随多数ナンドモ共ノ内ニテー、ニヲ磐グレバマイスル及ペツ

举	***	、ころ、幸をしてつくの近く殺	和コロフィ
	10.0	是 是	%
	三十二年	7798	べ• 0
以 移	₩.•0	24	10.0
コンストランプ	0	サイロース	H-07/F
2 3 6 1		* *	
-	11:0	類 肉)	K+O
		, , , ,	111.0
		アミド化合物〉	11,50

実ノ後ケーニッヒ氏ノ磬ゲタル平均普通成分い

ニシラ是現今普通用ヒラルル普通成分成績ノ表ッ方ナリ。

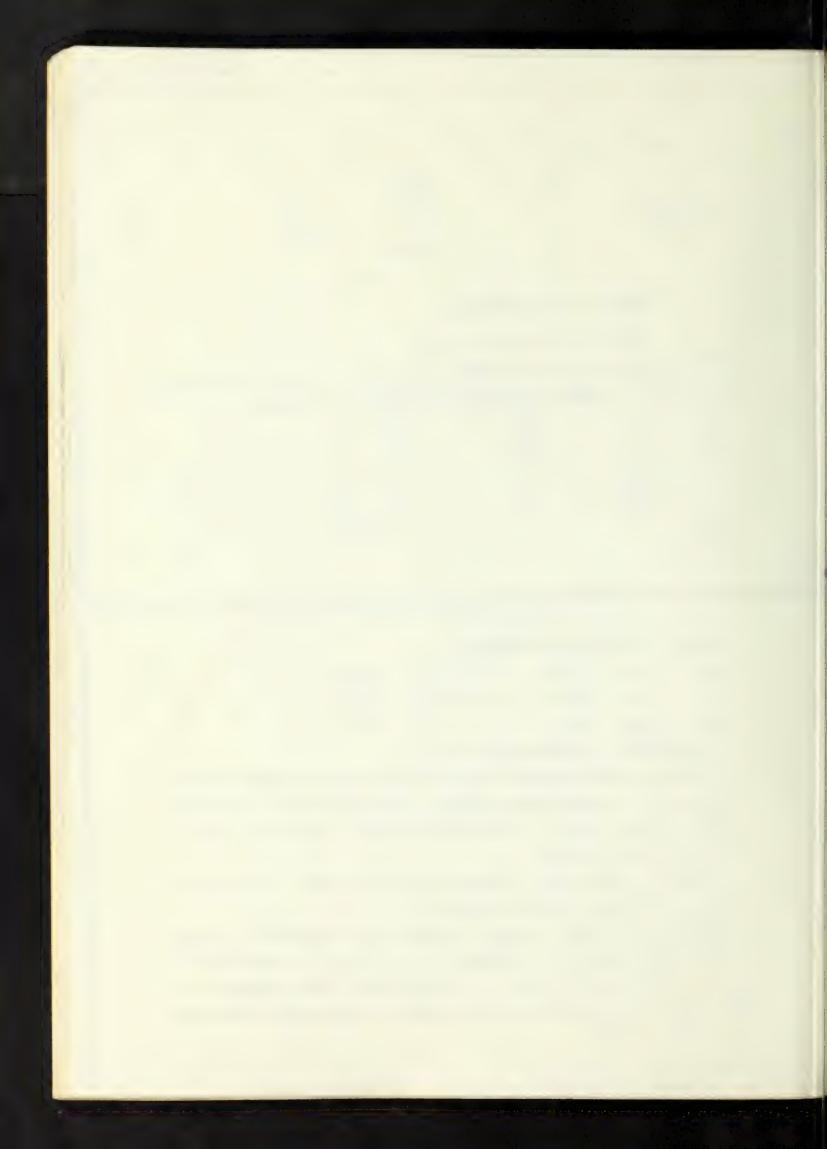
ヲ通過セシメラ試料トスの分析セントスル時へ近ノ試料ヲ上下左右ニョク抱拌シラ均一ト認メラルルキテ粉碎器ニョリテコレヲ粉碎シ直徑○●○五粍ノ篩ニ ラ分チ其ノ殘物、更二粉砕シ テ全部ヲ篩ノ目大豆普通成分ノ分析法、先ヅ分析試料ヲ採集シテ其ノ中二混ゼル土砂ノ如キ大豆以外ノ不紅物ヲ除

ニ至リテ其ノ一部ラ取リテ分析用トス。

水分ラ見ルニハニー五死ノ武科ラトリ孫氏百門ニ於ラ乾燥シテ東ノ恒量トナレル時其ノ差ラ以ラ水

みノ塩トシ、コレラ百分率二枚祭シテ水分ノ百分率トス。

谷上ニテ熱シ「エーテル」ヲ悉ク蒸溜シタル後コレヲ蒸氣谷内ニー二時間置き乾燥シタル後秤量シ浸出ーテル」ニテ約十六時間(脂肪ノ全ク浸出スルマデ)浸出シ然ル後下部ニ裝置セル脂肪定量塩ラトリ水九十五度ノ温度ニテ乾燥器内ニテニ、三時間爆乾シコレラ「ソックスレット」)脂肪浸出器ニ入レ「エ脂肪ラ定量センニ、前記試料フニー五克トリテ上下既脂綿ニテ塩充セル漁紙関筒内ニ入レ是ヲ無氏



前二致ノ秤畳ンにキタル脂肪定量塩ノ重量ラ彼シテ脂肪畳トスク

コレニ係数式・11五ヲ乘シテ相蛋白質ノ量トシ、コレヲ百分經ニ核算ス。 ニョリテ分解シ全ク分解シタル時共ノ一定量フトリテケルダー氏法ニョリ蒸溜シテ窒素ノ合量ラポメ相蛋白質ヲ定量センニハ前記試料ヲ一―11克トリ、コレヲ分解塩ニ入レ設硫酸約11〇8ヵ加へ火力

繊維量ナリっ
波ニテ處理シテ洗漉シ其ノ殘物ヲ秤量と秤量後コレヲ燃燒シテ灰トナシ秤量と前後秤量ノ差、即チ粗粗繊維ヲ定量スルニハヘネベルヒ及ストーマン南氏ノ法ニョリテ硫酸液ニテ先少處理と後寄性加里

灰みヲ見ルニハ粗纖維ヲ燃燒シテ灰トナシ是ヲ秤量シテ灰分益トス。

ラズの然レドモ普通、可容表水化物酸物等ヲ定益スルニ止ム。 味質物、色素等ヲモ合有スルニョリ精密ナル分析ヲ必要トスル時、是等ノ物質ヲ別々ニ定量セザル可有スルヲ以テ始類、樹精ノ如キ可容表水化物及澱粉等、勿論護限類枯質物、酸類「パクチン」質物、苦及古性加里液ニ溶解スル總テノ可溶性物質中ヨリ粗蛋白質、粗脂油、灰分ヲ除キタル龜テノ物質ヲ合
まノ痰量ヲ以テ直ニ可溶無窒素物ノ%量トス。可溶無窒素物ニ、粗繊維定量ノ際使用スル所ノ硫酸液可溶無窒素物ノ定量ニ、通常供試品ノ重量一〇〇ヨリ灰分粗蛋白質、粗脂油、粗纖維ノ%益ヲ減シ可溶無窒素物ノ定量ニ、通常供試品ノ重量一〇〇ヨリ灰分粗蛋白質、粗脂油、粗纖維ノ%益ヲ減ジ

今日本全國ノ大豆ノ普通分析ニョル平均成分成績ヲ見ルニ

粗脂肪 1元·0六七 灰 芬 五·1七五粗 蛋白 質 三人·四四一 粗 纖 維 五·六五七

可容性無望素物 三十六六〇

大豆ノ皮ト質トノ矛折(龍田大豆)(粒物百分中)

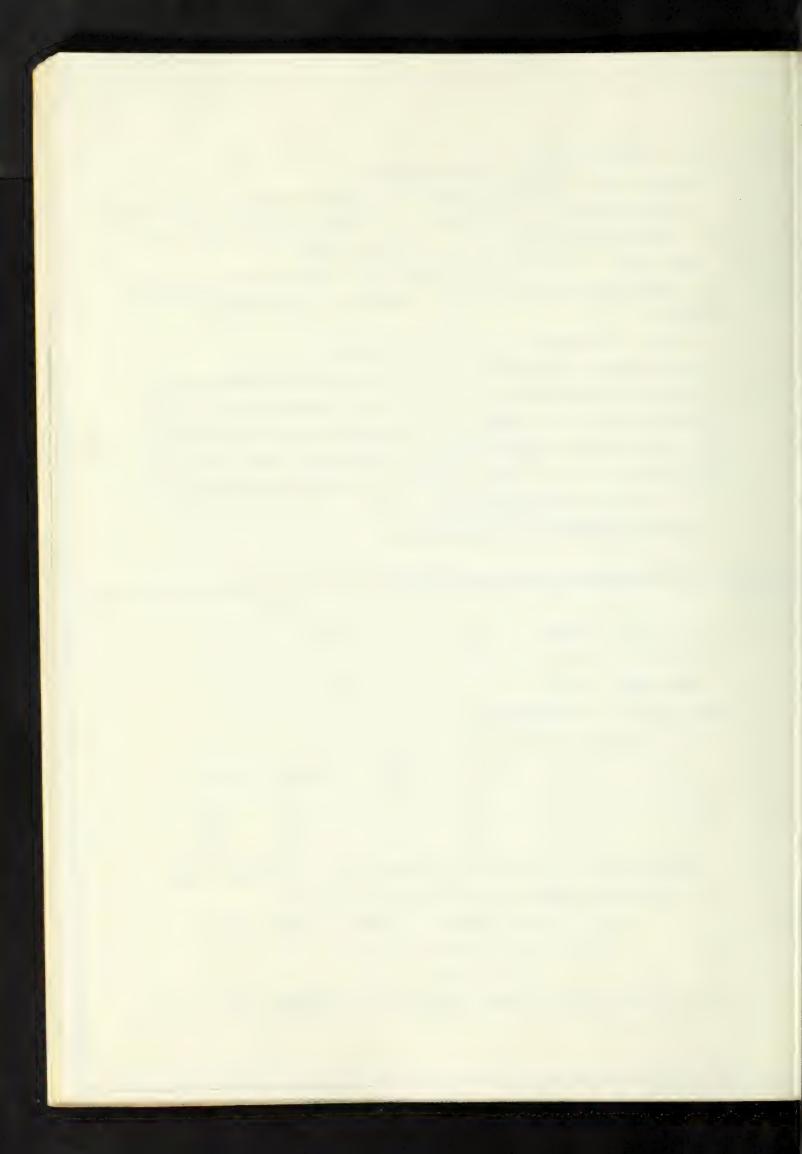
以正式添加油	想微維	粗脂肪	3年 1年	灰 孕		
1114<011111	103+ 1 1 1	110-44	. 第6点型	E-112	拉	KH
三さ・四八	HE-[1]	i •ki⇔ i	111-110	4<-441		皮
川(4.27)	11-10	111・43<	四外科	E-110		

「各マルベキ各成分が其ノ皮及質ノ部分「配在スル割合う骸知スル」足ルベン。 然ル」龍山大豆」皮及質ノ割合、質九四・『七三死、皮五·四二七克ナルラ以子共ノ全粒一○○克中

机器线流电容	粗微雜	粗脂肪	(粗蛋白質)	器一樣	灰 分	
111四0四代	1•47	110•4%	(mini-mini)	144013d	川•紫布	
H•0H	1 • 1 < 14	0.0%	(1.0K)	0.14	Onto	皮

即于大豆全粒ラ構成スル成分中共ノ粗鐵維、皮ノ部分ョリ來ルモノト覧ノ部分ョリ來ルモノト殆に

第二篇 大豆ノ 鑑定



滿洲各地大豆分析成績表 (百分季子子べ) 水 分 乾物量 粗蛋白質 粗脂肪 灰及砂

大豆都實ノ蛋白質ニ就キテハオスポース及カムベル兩氏等ニョリラ其ノ種類ヲ確定セラルルニ至レ

り、即ヶ南氏ニ從ヘパ大豆ノ合有スル蛋白質類ハ「グロブリン」」属スル「グリシニン」ヲ主トスレドモ 結晶「グロブリン」ノ一種ナル「ファビオリン」以外ニ「アルブミン」」脳スル「レグメリン」ノ少量ト「ブ ロテオース」ノ痕跡トニ分類スペキナリ、近ニオスポーン氏等、是等ノ「グリシニンファゼオリン」及 「レグメリン」「就き各別」式ノ加水分析ヲ試ミ北ノ分解生産物ヲ暴ゲタリ、即「プロリン「フェニー

1 筋酸銀ノ淡ラ加ヘコレニ亞硝酸ラ少シ加ヘテ一〇〇度二熱スル時ハ赤色トナルコトラ「ミロン」

<101 \square

ら 强硫酸ト砂糖トラ加フル時、初ノ黄色二後二帶紫黄色トナル。

ルアラニン「アスパラギン「ヒスチデン「チロシングリコロール」等ヲ生成ス。

4 沃度二迅フ時い黄色トナル。

o 强硝酸ラ加ヘテ熱スルト黄色トナル、コレラ「キザントプロテン」/ 反應ト云フ。

ノ反應ト云フ。 or 「アルカリ」後ラ加へ之レニ硫酸銅ノ後ラ加フン時ハ紫色トナル之ラ「ブューレット」反應ト云フo

蛋白質ヲ簡單ニ被出スルニハ次ノ反應ニョル。

花二篇 大豆 一层定 相守パスルモ北ノ他ノ成分二就ラハ殆に置ノ部分ノミコヨリラ支配セラルルコトラ知ル二足ルベン。

第二節 蛋白質

	滿洲各地大豆分析成績表 (百分報子示文)										
-	**	地底	\$	水舟	乾物鼠	粗蛋白煎	相脂肪	及智程決不化物	灰及砂	畲	松
1	N.	E	亞	4-111<0	₹11• ₩110	11/40/11/4/12	14.400	三二•八四五	■• 40		
14	<u>n:</u>	蜡	岩	4+1EH	九二三八五五	E0-141	1441100	114.0411	F-EC	院表育豆	
1	41		N	401 KO	先こさべ天〇	国〇・村北北	元・四大七	144411114	E-EH		
.	K	4	14E	₹•≈ ₩0	AUI-ORO	10K+110K	1444000	1110045144	四• 40		
3	No.		58	4<+11111144	*****	11/4+14/10	1 K+KKIII	11[1]=4:1414	⊵• ⋈47	阿可	
1	Ē			K**<00	₩ 11100	114+4+hE	1 K+10K10	111110日紀111	四•阿北	小金 菌	
1	1	然	臣	べ・中国の	####KO	EO·비누术	14:4:14	11号4代代四	E.EO		
1	100	抵	$\frac{1}{2}\frac{1}{4}\phi$	4 •1100	₹11 • K 00	10K+11CK	110•04:4	HO-HEM	E•ik		
1	K	<u>=</u>	E	K+400	#mi-moo	三七・九九一	14344(1)111	III1•0⊀K	⊡• ₩<		
1		•	经	****	#II•O L∺	11 40+44S	140414	1110+1111E	M+IIIO		
1		Ħ		≪ •E114	क्टाग्र*।वस्माव	1117<-17<)4	142+KOIII	10] *10] 4	E-54		
1		國大家	1-1	€• ₹00	#iii•i 100	同のころれ	I ≮*IIIHO	31尺•先生	¤•KO		
1	1 1	林 檔 花	11	≮• ₩	बदेशा• । । । दश्च	1114-1145	1K+46111	HO-HEK	E•#<		
1	2		E	4-111	先こうべれつ	HIK-KHIK	I #2+1181O	110-E01	E-E0		
1		山井町	能	4<-451314	表記・〇十米	明神中中国	1100世末六	110-1<4111	11/04549		
\$	R	※	丰	∜• E10	O) He (III)	21 • <01	14.440	11K-E04	K• E0		
å	*	原	10 m	₩ 11KO	本いる中国の	## <+1 < ##	1×.0%×	1111-0114	E·HO		
1	芦	19= 203	9.554 West	404010	*III•IIIKO	17年10日間	1 K-Enin	1 [6년-구대]	₽ •40		
:	世帯	別的財政	40%	4.0₩O	九二・北京〇	10十0年代年	1 ***	11111-454	□• ∔ग<		
1	关章	1 縣川油	造	410 ((40)4)	₹ाशाम	西〇・〇八九	14.600	NO.OHK	S-44		
ě	2 4	民、西 神	3	#• o co	4111000	EO-111-142	1K+440	[44:42]	E-EO		
1	E EX	縣南芳木		404444	MOO4II≯	E0-10K	I⊀•IIIGO	11元•四六代	(40 11)		
			丝	十・四八五	H i Hei 124	12(4)-14 [11]	111・411	मामप-।।।।	E1+H4K		
1	<u>হা</u>	14	115	दगाप	大〇のかかだだ	11:40-47-45	14.414	11(O+#11E	图•川长		
1	<	层	英	ו+++k	421 =1[1](4)	三九二九四	140404040	11年11代図	M+00		1
	-	※	: 店	K-1 №0	#1 •KKO	11145-11141-4-	[1<+1]H[H]	114°+740			
	2	東東	£ -	4.000	*II+000 *II+<	EO-K110	144440	ニカ・スを回	E•KO		
	ी इं	油河	然子	4.000 ₩.000	#1 •KHO	HK-HKE	1404411	1144 [11]	OH+MO		
	が	1 4	素	4-E110	#11+HKO	四1.00代配	140414	1110+0⊠4€	E-11H		
- 1		数	が	400116	#11•K#K	E1 • ONO	K**K**(1)	1110-11-111	E-HO		
1.		₩ •M	든	K-141112	451 • 1 45 K	11114-1611114	I r<-mmm	114042411	≅• □#		
	~ {	雙城	**	÷•★III洪	4811+O4X	. EC+1100	1 42-111 1 42	1140-16495	图。1八十		
			X t	K+1 HO	₩1• ₹KO	114+1144	14-11-0	nini•Oni i	€-HIO	()	
-	芸	狹	意	K+1+14	क्टी कटाइस	।।।वर्गन्दवर्	,1 **** !!</th <th>11代•七代六</th> <th>PHH+IS</th> <th></th> <th></th>	11代•七代六	PHH+IS		
	_	7	施	₩-OHK	木〇・北四五	1134-144(11	1-4-01-401	111 I • 1111HO	25 0-{ct<		
	×		114	→• EMO	ALT INHILO	11)<-E11(4)	1<-100	11 •11 4/44	間・代詞		
1	12		*	4 000	**************************************	SII-HHO	14000	11K+KKO	関うべか		
	+		72	42+1111240	老(10米区(1	11140-11110	i Konining	1110-41113	图•长田		
1	_		-								

o 强倍数ラ加へテ熱スルト試色トナル、コレラ「キザントプロテン」/ 反應ト云フo 4 沃度二四フ時へ致色トナル。 ら 强硫酸ト砂糖トラ加フル時ハ初ノ該色二後二帶紫蓝色トナル。 <015 1

第二部 蛋白質

ノ反応ト云フ。

等1年人四人二定

生白四ラ簡単二級出スルニハ次ノ反應ニョルの

相下バスルモ其ノ他ノ成分二就テハ死に覧ノ部分ノミュョリテ支配セラルルコトラ知ル二足ルベシの

大田和置ノ宝白四二就キテハオスポース及りムベル南氏等ニョリ子妻ノ祖類ヲ確定セラルルニ至レ り、即き信氏ニ從へバ大豆ノ合有スル生自宜類へ「グロブリン」」風スル「グリジニン」ラ主トスレドモ 結品「グロブリン」!一種ナル「ファゼオリン」以外ニ「アルブミン」」協スル「レグメリン」)少様ト「ブ ロテオース」、痕跡トニ分類スペキナリ、近ニオスポーン氏等の是等ノ「グリシニンファゼ オリン」及 「レグメリン」二弦き谷別ニ共ノ加水分析ラ武ミ北ノ分解生産物ヲ最ゲクリ、即「プロリン「フェニー

1 衛酸銀ノ波ラ加ヘコレニ亞衛酸ラ少シ加ヘテ一〇〇度ニ熱スル時ハ赤色トナルコトラ「ミロン」

or 「アルカリ」以ラ加へ之レニ硫酸銅ノ没ラ加ァン時ハ紫色トナル之ラ「ブューレット」反應ト云フo

ルアラニン「アスパラギン」ヒスチデン「チロシングリコロール」答う生成ス。

第三部 胎 胎

よが如う。 ヲ数フベキ以外 ニニ•ニ人の内外ノ遊離脂肪酸ト一種ノ「フィトステリン」ナル「ソキステロール」ヲ合大豆ノ脂油成分ニ就キテハ研究少カラザルモ其ノ主成分トシテ「パルミチン」「オレインリノレイン」

脂油ヲ檢出スルニハ、

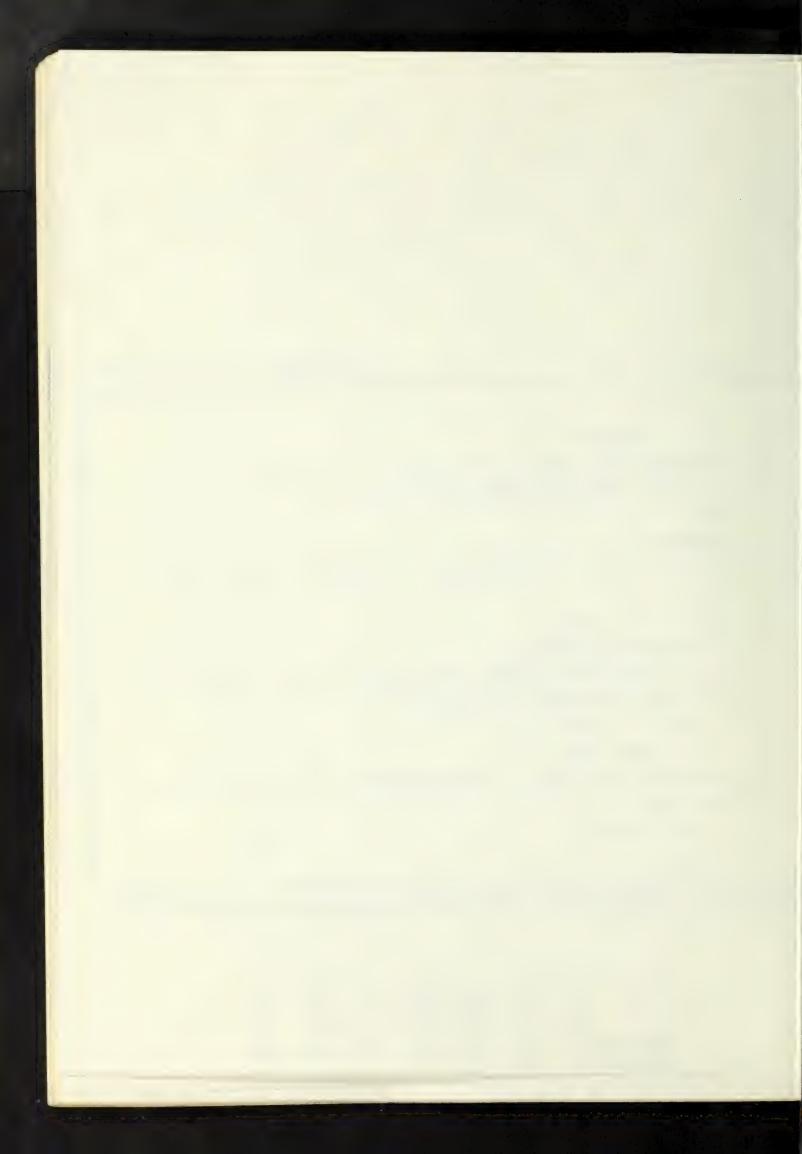
- ナル 「アルカンナチンクチュアー」ノ五〇%ラ「アルコール」 二落シタルモノニテ染色スレバ赤色ト
- の 「クロロキーブ」」」が終けが
- る 「スダン」第三ニョリラ賞色トナル
- ガコレハ水ニテ熱スル時い浴ケルニョリ煮テ取除ケバ可ナリ生 「オスミユム」酸ノ一多溶液ニテ黒褐色トナル然シ「グルプストツフ」モ「オスシユム」酸ニテ築ル
- ら 「シャニン」ニョリテ青色トナル

第四節 炭水化物

ルモノ少キガ如シっ大豆ノ糖類一開シテム多クノ研究アルニモ物ラブ糖類ノみ離ト確定トニ就テム最後ノ決定ヲ與ヘタ

第二篇 大豆 / 盤定

え玉



全族水化的	111:45	全裁水化物百分中
甘 蔗 梅	正・九〇	114.110
スタキオース	111-1411	1 44-1111

糕 雑(粗) 三六五 1セ・七六ヴァラシ タン 四・六二 11・三〇ファラン メン 三・八〇 11・三〇

第五章 大豆 一品質鑑定

第一部 龍光/報信

第一項鑑定者ノ心得

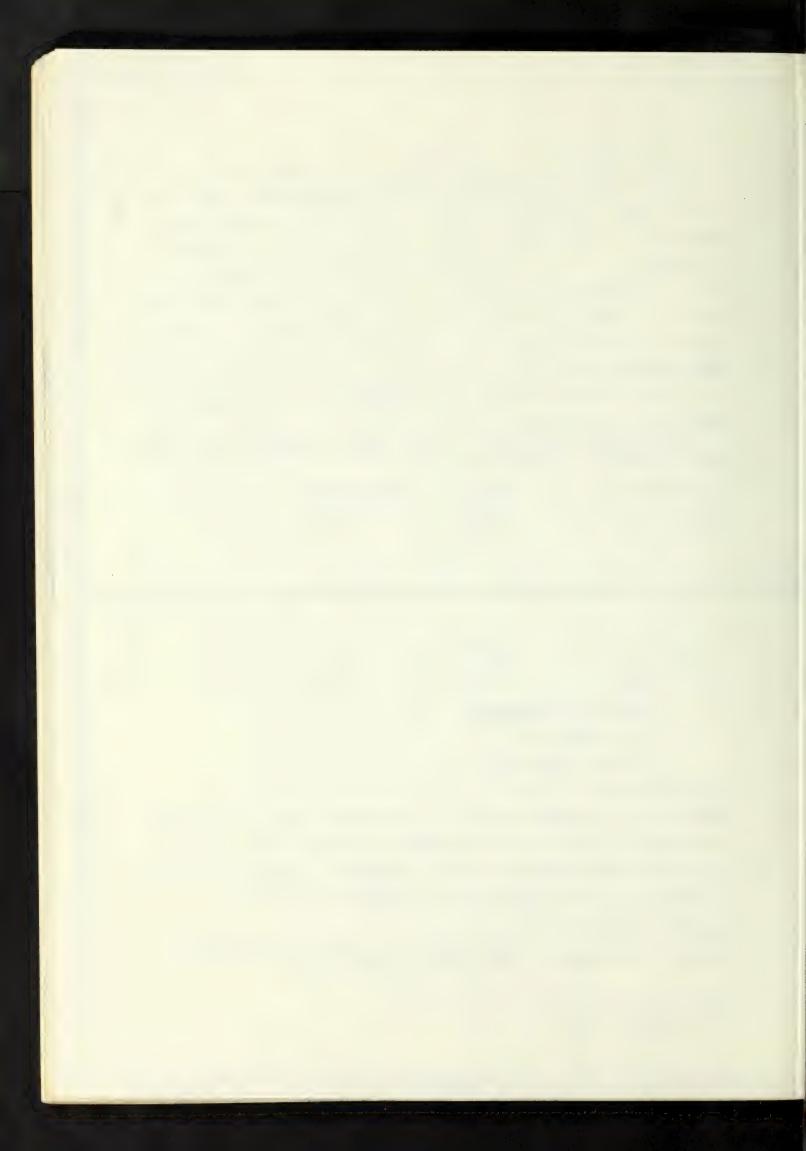
一、鑑定者、品行方正ナラザルベカラズ

二卦ノ係路ニカカリ窓ニハ共ノ身ノ破滅ニ至ルベキニョリ注意スペキ事項トナスペシ。住々不正行為ヲ以テ鑑定者ヲ罷給と関務ヲ高メントス、共ノ際鑑定者ニシテ品行正シカラザル時ハ直格・鑑定ノ如何ニョリテ高下スルニョリ商人、共ノ結果ノ良否ニ頭腦ヲ惱スコト多ク、コレガタメニ鑑定者ニヨラス誰ニテモ品行方正ナラザル可カラザルガ特ニ鑑定者、此ノ必要アリ、コレ商品ノ質

二、鑑定者、及平ナラザル可カラズ。

アリの好商「龍絡とうレ不得止不及平ラナス場合アルガ尚其ノ人ノ不熟練、不款心」ヨリテ及平ラ鉄ク怖鑑定者、常二及平ラ官トシテ其ノ間「偕覧ラ差シ狭ム可カラズ是等へ第一項「闘聯とル問題」ヨリ

三、鑑定者へ熱心ナラザル可カラズ。



スス

鑑定者ニシテ其ノ事業ニ熱心ナラザル時ハ技術ノ進歩7見ル能ハズシテ常ニ不熟練ナルニョリ及平

ヲ飲クノ怖アルノミナラズ鑑定ノ行程砂ラズ放ニ熱心ナルヲ要ス。

四、鑑定者、各品種ノ特質ヲ知ラザル可カラズ。

各品種、夫々特有ノ性質ヲ有スルニョリテ品質ノ鑑定ニハ品種其ノモノヲ知リコレニ從ヒ鑑定ヲ施

行スルノ必要アリ。

五、鑑定者、大豆ト常二親、其ノ特性ヲ識別スル丈ケノ脳力ヲ常ニ養成スルノ必要アリ。

鑑定、特性ヲ標準トナスニョリ其ノ特性ヲ知ラザレバ鑑定スルコト不可能ナリ、特性、他ョリ問き タルノミニテハ、コレラ質除ニ應用シ識別スルコト能ハザレバ常ニ大豆二親ミ熟練ノ功ヲ従ミテ初ノ

子事う全クスルラ得べる、故一鑑定者、新陳代謝ラナサズ老様ナルモノヲ養成スルノ心要アリ。

大、鑑定者、鑑定器具、器械ラ大切二取扱フ可シ。

鑑定二使用スル器械器具、質二鑑定ノ標準ラ上下スル力アルニョリ器械、器具二不正確ナル點アラ ンカ其ノ結果、信憑ス可カラザルモノナリ、而モ器機器其ハクルヒ易キニョリ鑑定スル前ニハ必ズ是

等ノ検査ラナン後ニ行フベン。

七、鑑定者、試料ノ採集法二注意スルコト。

試料、鑑定ノ基礎トナルモノナレバ試料ノ採集、最沈重ノ態度ヲ以テ不及平ナキ樣ニ當ラザル可カ

WKO

入、鑑定スル場所、外閣ノ採況ヲ同一ナラシメザル可カラズ。

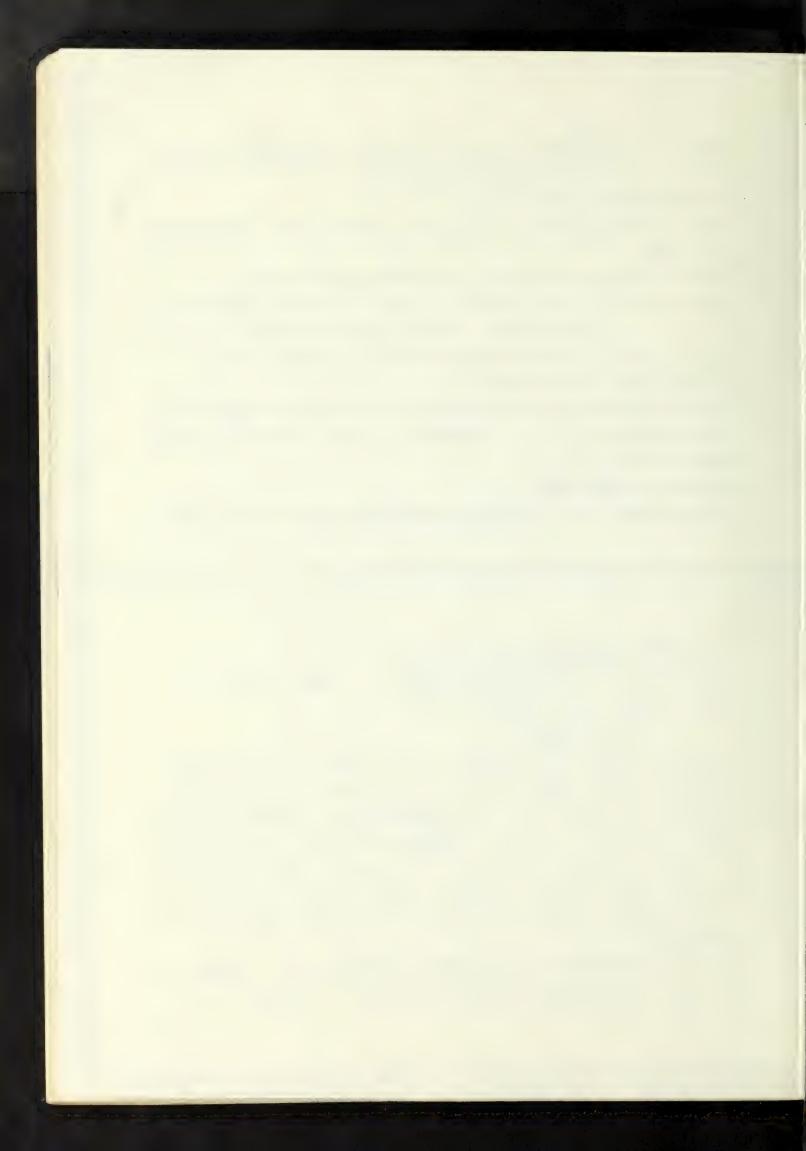
鑑定ニハ目側ニョルコト多シ目測ハ氣候、乾燥及光線等ニョリ大ナル誤差ヲ生プルコトアルニョリ

子是等/事項、出來得が文同一ニシテ鑑定とザル可ラズo

第二項 試料採集法

鑑定ニ要スル試料ヲ採集スル方法ハ犬ニ注意セザル可カラザル事項ニシテ庇・試料ノ採集ニシテ不 及平ナル時い鑑定し結果い全ク額反スルニ至ルコトアリ、ソレ故ニ試料ラトルニい鑑定セントスル大 豆全體3多ク混合シテ平均保護ニアラシノ、是39基ノ設分ヲ採用スコレヲ平均試料・云フ平均試料 ヲ採集スルタメニ其ノ全虚ヲヨク混合スルコトハ理想的ナルモ實際ニ於テ之ヲ行と能ハザルニヨリ簡 單ニコレラナス其ノ方法い種々アルガ袋等ニ人レアルモノナレバ上、中、下ノ三段ヨリ探集ス、然ド そ袋父ハ风等ニテ連撚スル時ハ袋又ハ臥ノ猿動スルニョリ重キモノハ底ニ輕キモノハ上部ニ至ルニョ リ共ノ一部分ヨリ採集スルハ不及平ナリ。又袋ガ多数アル時、其ノ数ニ腹ジテ二筒乃至十筒毎ニ一箇 ヲ試料採集用ニ供スペシ。

斯クシテ試料ヲ採集スペキ袋ヲ定メタル時へ所謂差ニヨリテ其ノ適當ナリト認メタル數箇所ヨリ大 冝ヲトリ是等ヲヨク混合シテ試驗ニ供ス吾國ニ古來ョリ米穀ニ使用セラル、試驗採集器尓「差」ト稱シ



テ竹文、鎧ニテ製シタル国筒形ノ一端ラ沿ニ切り取りタルモノナリ、是ニョリテ差シタルモノ、外部 ノモノラ多ク取ルノ鉄路アリ管通用ヒラルルモノニノツベー氏ノ震物は査用試料探集器フェシトス、 **載ノ標準へ二重ヨリナル内室ノ磁製ノ帯ニシテ前端へ尖り後端へ様ト庇角=取り付ケラレタル柄アリ** テ降ノ揺出ニ使利ナリ、此ノ二重ノ関筒ノ一側面ニ等圧離ニアル五筒ノ周大ノ長方形ノ孔アリ、此ノ 孔、丙側筒ノ同様ニョリテ実ノロヲ開閉ス今先ノ器ニョリテ武料ヲ探集セントスル際へ改メ內圍筒テ 同郷セシメテ集ノロヲ関ケバ穴立ハ雲ノ孔ヨリ関節内ニスル線ル時ハ再ビ内間高ヲ同郷シテ閉ロシテ 引き出ス式ノ間筒内ノモノム就源トナスナリ、コレニ版ルトキム五箇所ヨリ武料ヲ採ル事ヲ得ルヨリ 稍及平下云ハザル可ラズ。

斯クシテ探集シタル試料へ試験二供用スルニハ賞多量ナルニョリ其ノ中ヨリ更ニ少量フトル、此ノ

試料ラ小平均試料ト云フ此ノ方法二亦種々アリ。

- 1 小平均試料ヲ廣キ平面板上ニ臍がテ実ノ幾何學的は置ニ於テ試験ニ供パが大ケノ試料ヲ探槃ス゚
- 3 搭下保集法 コレハ平均試符フロノ質・登二人レテ載ノロフ領ケテ係々ニ位う落下セシノ其ノ
 - 一定時毎二少量ツッ試料フトル方法ナリ。
- B 器械探集法
 - a 稲垣博士ノ平均試料採集器

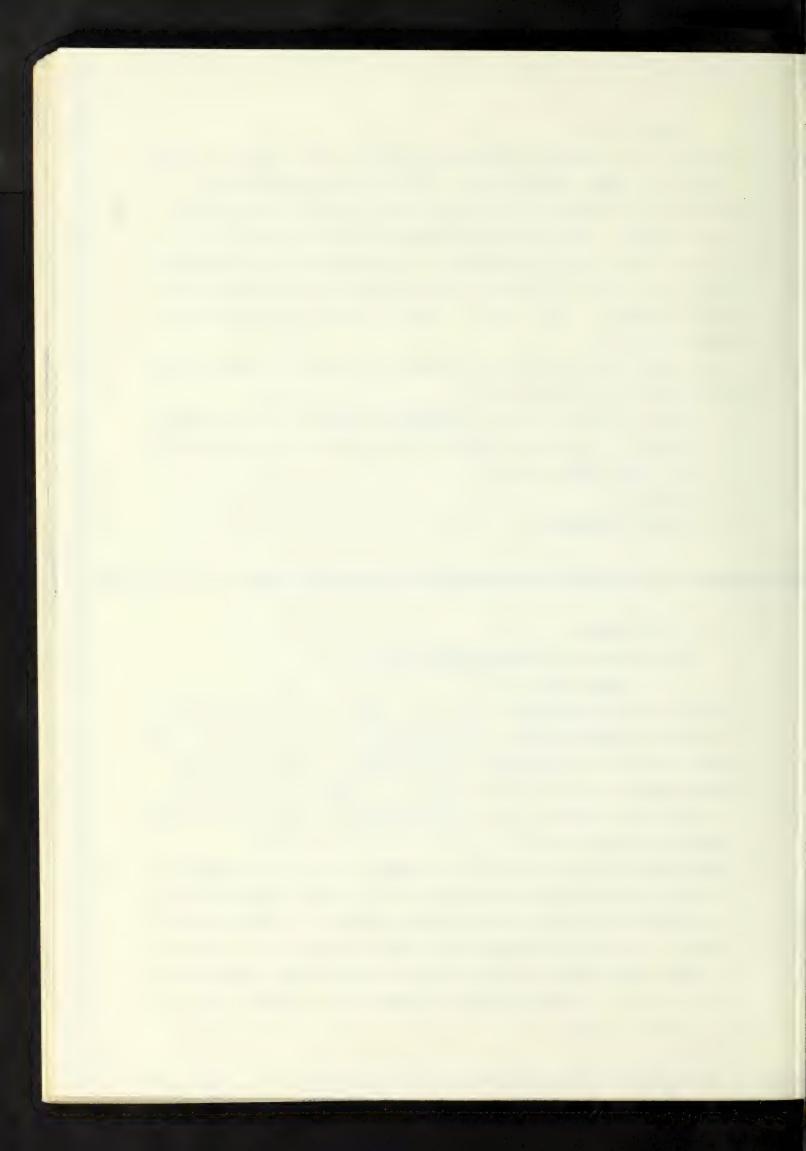
も コメル氏ノ採集器

大豆ノ如キ大粒ニアリテハ此ノ武料ノ採集塩、普通一〇〇瓦トス。

龍三項 競乐原治

品質ノ癌定し、品質ノ良否ノ識別ヲ云フ、品質ノ良否、其ノ用途ニョリテー様ナラズ、即チ製油ノ原 対、豆腐、味噌等ノ原料或、直接食料ニスル場合等種々ノ用造ニョリテ自ラ異ラザル可カラズ、搾油 **ノ目的ニハ合油塩ノ多キヲ貨ビ豆腐味噌等ニハ蛋白質ノ多キヲ良シトス、食料ニハ脂肪モ必要ナルガ** 又蛋白質反衆水化的ノ多キヲ好ム、故ニ品質ノ良否ヲ定ムルニハ是祭ノ用途ニョリテ珪ノ鑑定ハ罪ニ **モザル可カラズ、然じェ請謂ニ於テハ大豆ノ主亞ナル用途ハ捲油ヲ主ナル目的トスルニョリ鑑定モ其** →用途二從フ陸二定メザル可カラズ。

凡大豆ノ市閩ニ拳級ヲ生ゼシムル要素・種々アリ其ノ主要ナルモノノ中ニテ市閩ト共ニ角域スルモ ノ、完全粒ノ重喜及完全粒ノ品質ナリ、指質ト反對ニ母談スルモノ、別品種ノ混合重量不完全粒/重 真、破碎粒(重点、灰窪物ナリ面シテ別品種(混合、農家)智識發達セザレバ品領ノ良否ヲ識別スル コト能、ザルノミナラス医臭品種が農家經濟ニ如何ナル開係アルカヲ和ラザル間バコレヲ旺酸セシム ルコト困難ナリ不完全 粒 政辞 粒 ハ 篩別 1 依りテ之ヲ除夫と得ルノミナラス政辞私ハ謂製法ノ改良ニ **ヨリテ、コレラ迎クルコトラ得、夾雜物ノ多少有無い全の間製法ニョリテ、コレラ欲少セシメ得べシ、完**



シテ又最高キ築級ニシテコレニ他品種混合セラレクルモノ・其ノ混合薬ノ多キ程其ノ等級ノ低下スペラズ、農事試験場ニ於テ多年試験シテ合油最多キ品種トシテ普及セラレタルモノ・最善良ナルモノニ質ニョリヲ其ノ油分ノ多少ヲ鑑別スル、多少困難ナル問題ナリ、然ラバ品種ニョリテ決定セザル可カヨリテ其ノ良否ノ標準ヲ異ニセルガ其ノ用途ノ控油ナリトスレバ今日マデノ研究ニティ外観上ノ或特を払し品質、大豆ノ等級ヲ定ムルニ最モ主要ナル要素タリ、大豆ノ品質、既ニ逃ベタルガ如ク用途ニを払し品質、大豆ノ等級ヲ定ムルニ最モ主要ナル要素タリ、大豆ノ品質、既ニ逃ベタルガ如ク用途ニ

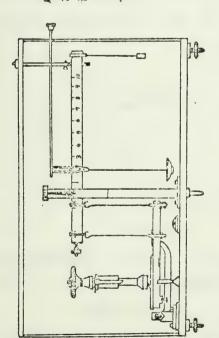
キモノト見ザル可カラズ。

以子比ノ形質ト開係ヲ有スル他ノ形質ヲ目標トシテ鑑定スペキナリ、今大豆ノ品質ニ關係アル特性ヲ大豆ノ品質が共ノ化學的成分ニョルコト無論ナレドモ鑑定スルニ際シテ一々分析ニ待、能ハザルヲ

見ルニ次ノ如シ。 1粒ノ大小 n 當 8] り貯蔵年齢 * 过 粒~形狀 粒ノ剛性 ら子菜ノ色 15 8] 良火 渓 題 宜 ಣ 💥 題 12 02 遊 过 16 34 34 8 粒~比重 松 光 译

ナキト雖本場ニテニ三品種ニツキテ試験シタルモ其ノ間ニ著シキ關係ヲ見出スコト能ハズ尚多クノ研以上ノ諸項中ニテーヨリ七ニ至ルマデハ既ニ述ペタル所ナルガ比重ト品質ニツィテハ十分ナル研究

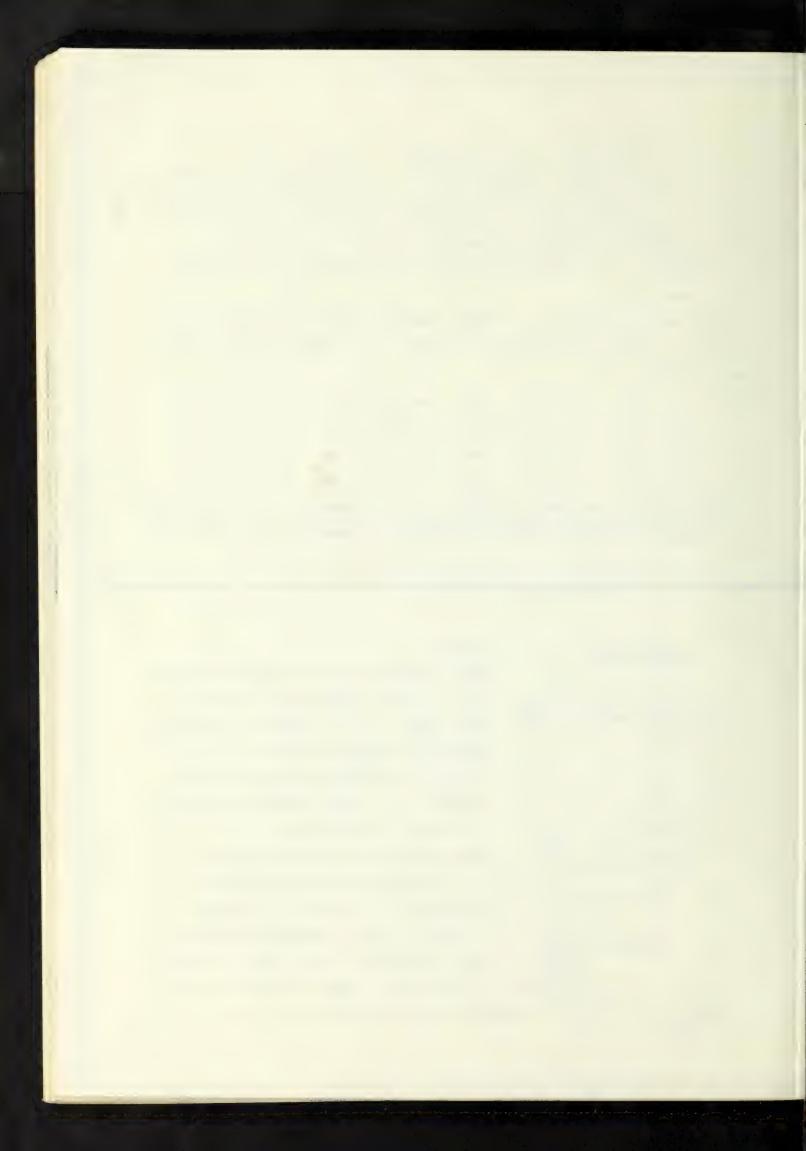
限度剛是當



究ヲ変ス。

一子ス、勢力ト時間トノ問題ナリ、時間ト勢力ニ條格アレッ斯タノ如ク品質ノ鑑定ニ、種々ナル事項アリテ是ラ精粗ルペキ問題ニシラ貯蔵中ノ不注意及貯蔵法ノ不備ニ基クペヨリ精質ノ新鮮ナルモノヲ最ヨシトス、臭氣、貯蔵中ニ起菓ナキト雖貯蔵法不完全ナル時、品質、衝次劣器トナルニ酸年齢、貯談法ノ完全セル場合ニ、年齢ヲ經ルモ大ナル差性ニ関係アルモノニシラ種質ノ脂肪及蛋白質ノ量、成熟セピモノアガガ色、形狀、大小臍色等種々ナル大豆ノ特益ペタル所ナルガ粒色、形狀、大小臍色等種々ナル大豆ノ特に成みノ關係ニョリテ異ナルト雖就中乾燥ノ程度、最硬度テ表、ス、即+乾燥ノ程度及種質新音ノ差及種子中ニ合フラ表、ス、即+乾燥ノ程度及種質新音/差及種子中ニ合フリ別性と、減費、減度

第二篇 大豆 ノ 盤 定、指第二区覆コレラナスラヨシトスト雖實際二於ラハ佐少ノ勢力ト時間トニナサザル可カラザルニョ



ごうとと 致私被変異

り相錯終スル事項ヲ除キテ重要ナル事頃ノミヲ取リテ鑑定スペキナリ。

形狀及大小

一齐重显 0.1

1

3

4 15

是ナリ、是等ノ中ニテ乾燥ハー ニッキテノ盬定法ヲ述ブベシ。

第二節 形狀及大小

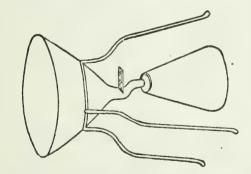
形狀及大小、同一品種ニアリテ い路ボ相似タルモノナリト雖各品

开産量ト相関係セルト壁商品ノ品 質鑑定ニ、重要ナル一項目ナルニ ョリテ特二器グクリ、今是等野項

顔ニョリラ其ノ特有ノ形狀及大小ヲ有スルニョリラ其ノ武料中ニ種々ナル形狀及大小ヲ有スルモノア

リクル時、異品種ノ混合セルヲ知ルベン然シ同一品種ニテモ街完熟セザルモノ遊敗粒及調製或、貯蔵 ノ際ニ南線ニョリテ膨張セルモノナドハ固有ノ形状ニ表ハスコト能ハザルニョリ是等ノ有無ヲ識別シ **粒ノ豊国ニシテ整一ナルモノヲ選ブベシ、此ノ鑑定、普通肉眼若クハ篩選ニテ行フ。**

温中菜



第三節 一升重点

粒ノ一升重量、ブラウェル圧製粒檢查器或、能子掛ラ 用とう行う、一定ノ容器ヲ以ヲ殺粒ヲ量ルモ共ノ入レ方、 誤差ヲ生ズルコト大ナリ此ノ點ヲ改良シラ容器ノ形状其 ノ使用法ニ因う起ル誤差ヲ除去スル様ニナセル方法ナラ サル可カラズ。

斑田譚 句

大豆ノ色澤、品種ニョリラ特有ノ色澤ラ有スルト壁不

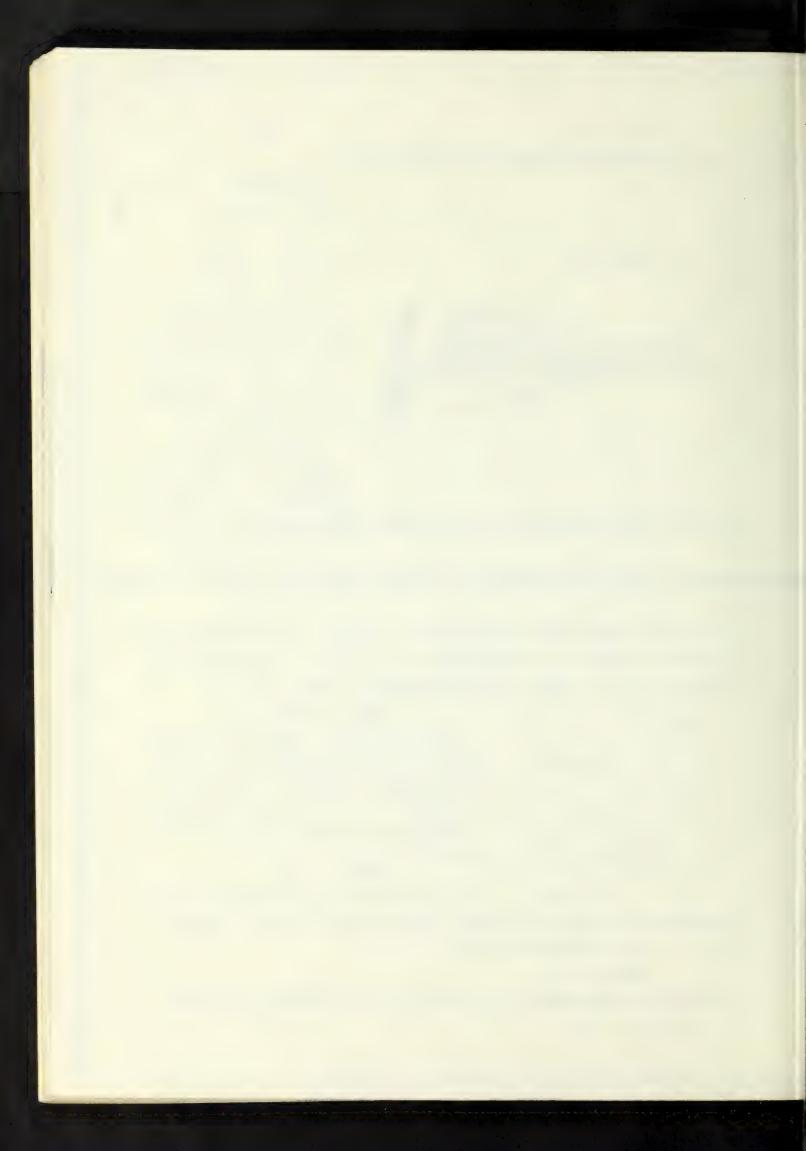
完熟際敗粒及貯蔵ニョリテ異ナル、故二各種固有ノ特色ヲ具へ光澤美ナルモノヲ良トス、尚際敗シテ 臭気アルモノアルニョリ此ノ有無ヲ鑑定スペキナリ。

第五節 乾 壁

大豆乾燥ノ度、韭ノ重量二影響スルノミナラズ乾燥不十分ナルモノ、貯蔵中腐敗シ威、品質變化シ

第二篇 大豆 / 鑑定

九玉



普通子闘反衛ニ子順ミテコレヲ領ル° 又、蟲喰ヲ生ズルニョリ乾燥ノ十分ナルモノヲョシトス、大豆ノ乾燥、硬度計フ以テナスコトアルモ

海大經 篇 對外路

ノ夾雑物ラ無機夾雑物及有機夾雑物ノニッニみッコトラ得買はモラルル大豆中ニ、種々ノ夾雑物ヲ混ズ夾雑物トハ大豆以外ノ物質ノ混合セルモノヺ云フ、此

ヨリラ定よっまが尚好南好農ノ故意ニ混合シラ共ノ敷置う増シ不正ノ利ヲ貪ルコト又多シ、夾雑物ノ多少ハ種度ニ豆等他作物ノ浦子、莢、並及不完全子質等ナリ、夾雑物ハ大豆ノ収穫及調製ニ際シテ混合スルコト多無機夾雑物トハ魔芥、土塊、石片、企風等ニシラ有機夾雑物トハ雜草補子、大麥、小麥、小豆、綠

タル試料ノ重量ノ差、夾雑物ノ重量ナリ。ル大豆ヲトリ混合物ヲ付製若クハ角製ノ館ニテ一々選づ其ノ後種良トナリタルモノノ重量ト初メトリツベー氏ノ「スプロイフューゲ」ニテ他夾雑物ヲ盗風シテ吹キ除そ然ル後ニ白紙又、青紙ノ上二残留セ大豆ノ補度ヲ見ルニハ既ニ述ベタル如クニ平均試料フトリテニ一掛ケ、小ナル土砂、塵埃ヲ除キノ

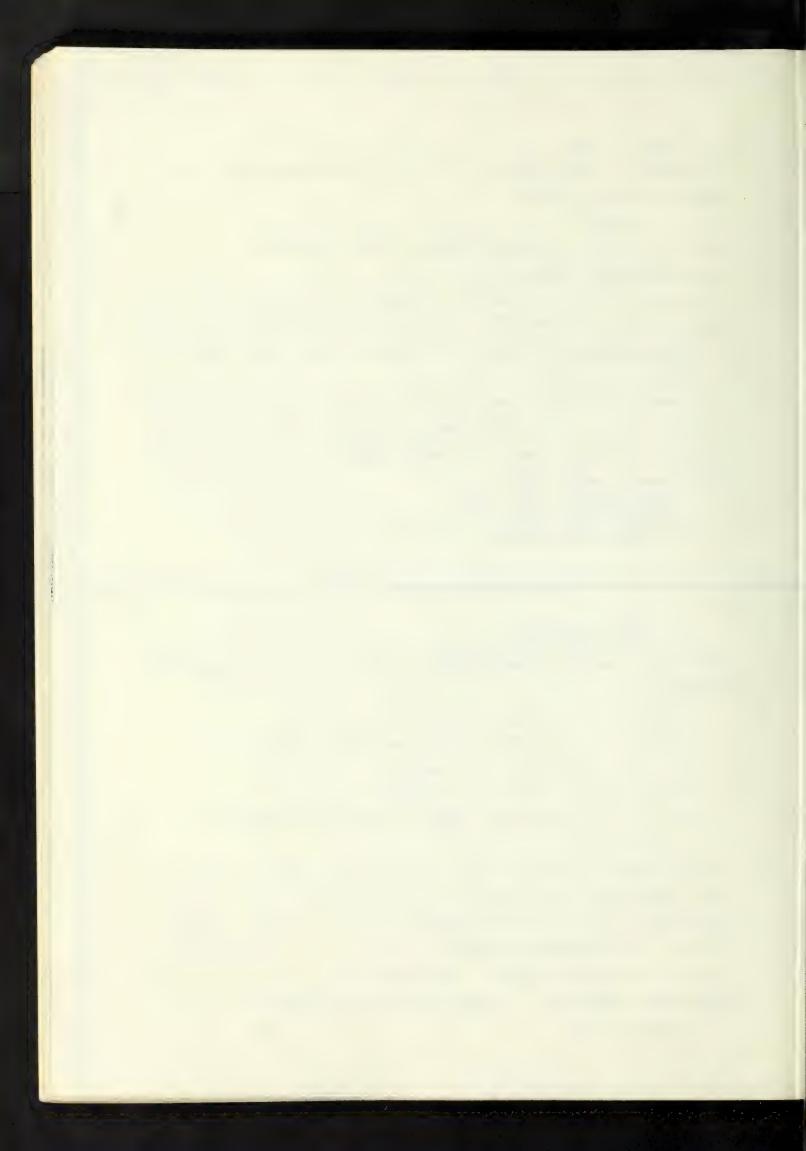
第七節 鑑定/成績

監へ次ノ如う定よ。以上ノ谷節ニョリテ鑑定シタル結果ニ採點ヲ施シテ其ノ等設ラ定メザル可コラズ、谷陰定事項ノ採

- イ、形狀及大小 一玉 一等ノ説ズル毎ニー・五ラ徳ズ
- P、一 尹 重 量 一〇 三五〇久以上ヲ協點トシ五久ヲ歳ズル毎ニー語ヲ欲ズ
- い、色 降 一五 一殺ヲ被ブル毎ニー●五點ヲ被ズ
- 三、乾 堤 二五 一殺ヲ彼ズル毎二二・五點ヲ彼ズ
- ま、罰 型 三五 純度九五%以上ヲ腐點トシ五%ヲ減ズル毎ニニ●五點ヲ減ズ

市 100

乾燥スルト雖大夏ノ重畳ヲ増加セシムルノ目的ヲ以テ故意ニ混みヲ與ヘラ乾燥ヲ不良ナラシムルコト點ヲ多クセリ、次ギニ改良スペキハ乾燥ナリトス、満朔ノ氣候ハ秋冬ノ候ニ於テハ晴天打于顔キ比較的悩ナル點アルニ白ルト雖倚好商ノ故意ニ疾維物ヲ混合スルコト少シトセズ、コレヲ以テ特ニ調製ニ得攻維物ヲ混らまとキニ至リテハ三○%以上ノ炎維約ヲ混合セルヲ見ル、コレ満洲ニ於ケル農業法ノ不い調集ナリ滿洲ニ普通取引セラルル大豆ノ罰製ハ至ツテ不良ニシテ最良好ナルモノニテ一〇%内外ノ満洲ニ於ケル商品トシテ大豆ノ改良スペキ點多々アリト雖先び第一二改良二若平セザル可カラザル



スベキ事ト信べる

小、一升重量、色澤等モ又注意セザル可カラザル事項ナリト雖以上ノ諸項二比スレバ尚務來ニ於テナ現今ニ於テハ乾燥モ又十分ニ注意スペキ事項ナルニョリ得點ヲ多クセリ、其ノ他ノ諸項即チ形狀及大遠路連搬シ長ク貯蔵セザル可カラザル場合ニアリテハ特ニ其ノ品質ヲ劣惡ナラシムル怖レアルニヨリ殴々アリ。乾燥不十分ナルモノ、貯蔵及運搬中腐敗スルコト多ク殊ニ大豆ノ如キ世界的ノ商品ニシテ

■リー○○點マデラ一等トン是ョリー○點ヲ被ズル毎ニ二等、三等等ニ順大等級ヲ被ズ。ニテ品質鑑定ノ採點標準トシテ適當ナルベン此ノ標準ニョリテ等級ヲ分ツニハ左表ノ如ク得點九○點ノ發達或ハ道億心ノ向上ト共ニ次第ニ改訂ヲ重キザル可カラザルモノナルガ現今ニ於テハ以上ノ程度財クノ如クシテ採點標準ヲ定メタルガ此等ノ標準、時代ノ進連即チ農業家商業家並ニ工業家ノ知識

劉定事項 號	1数元(0	二級状の	三数八〇	四級大〇	五級五つ	大統領の	十級型O UII数中	入数三つ	北級二 〇	10010
形跃及大小	140	l pl-a	111-0	10•3	₹-0	र्क- न	i:-0	四-法	C-1/1	1-:
一件篮盘	10-0	इन	<- 0	4-0	K-0	H-0	E- O	C-N	11:0	1:0
② 赞	1#-0	100-8	111-0	10-3	₹-0	가- %	K-0	至-第	11-O	1-2
20 森	11#-0	1]1]-#	170-0	14-3	1#-0	111-14	10-0	±4.2	C-#	11-2
E K	ทส-0	101-4	11べ0	1]필·류	गान्व	14.4	12.0	12-4	4- 0	11-14
na na	150-0		₹0:0	40.0	%0.0	K0-0	E0-0	0.011	110-0	10-0

第六章 滿洲大豆ノ等級二就キテ

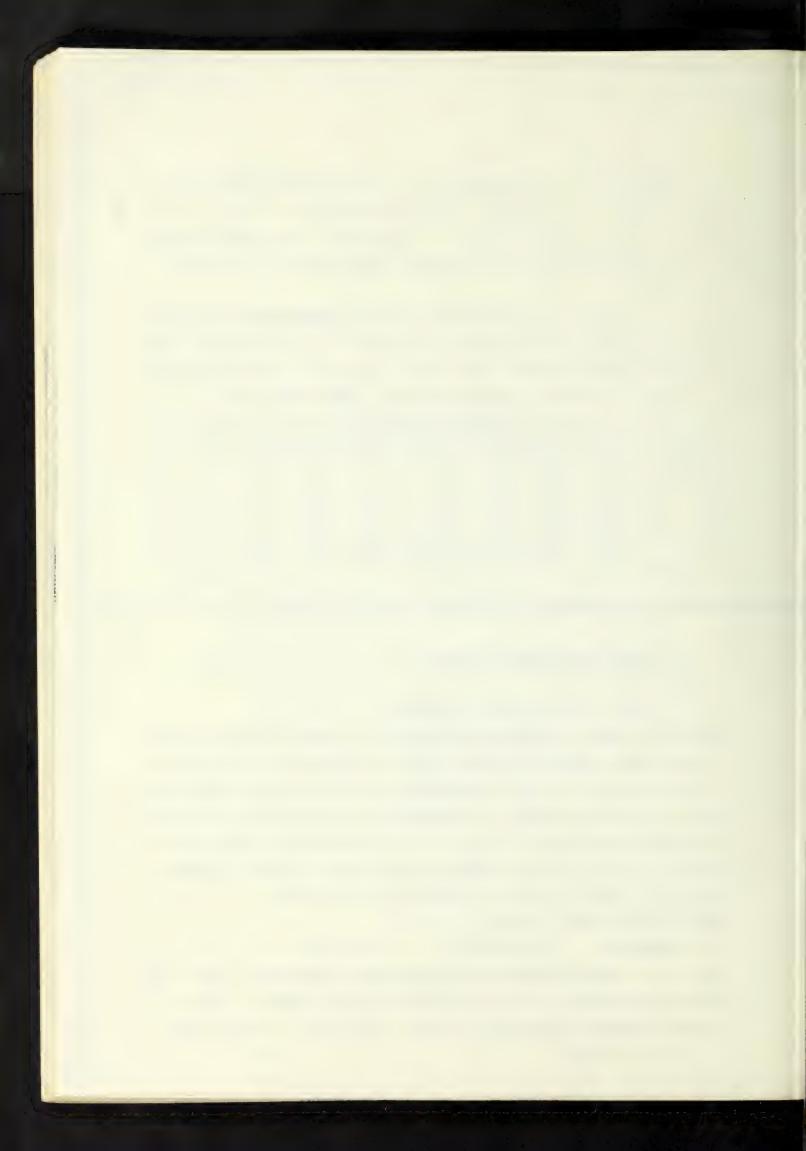
第一節 現今二於ケル流洲大豆ノ等級二就キテ

だヲ死レザルニョリ自他共ニ大ニ研究シテ是ノ効果ヲ金々大ナラシメザル可ラズの窓ル 死と たった ルモノアルベシ、然リト雖此ノ制度タルキ突送ノ間ニ質施サレテ日尙後クシテ其ノ鉄陷ア発ラナス 會社 二 於テモ大ナル便金アルコト少ナシトセザルモ其ノ制度二 缺陷アランカ 幣水其ノ影響 ラ等級ノモノ ラ夫々混合シテ該當ノ等級トス、凡混合保管ノ制度ノ質施、商品取引者ノミナラズ是 が輸り、而シテ其ノ等級ヲ分ニ用ユル標準、各主要地ノ種々ナル見本ヲ集メ是等ヲ以上ノ階級ニみチ同品、不合格ノ四階級ニみチ尚特ニ優良品は「荷主ノ申出ニョリテ除外品ト郡スルモノ一階級ヲ加ヘア用ウ済湖ニ 以クル品質ノ等級、滿鐵混合保管ノ制度質施ニョリテ全高別大豆ヲ特等品、普通品、格下

品質上ョリ混合保管ノ利金アル主ナル點ハ

ユ 夾雑物/混合 の他品種/混合 の 乾燥/不良

り。然ナガラ其ノ缺陷ニョリテ尚其ノ希望ラ十分ニ質現スルノ困難ナル情勢アリ其ノ缺陷ノ主要ナル物及不良品ノ混合ヲ幾分カ防グニ至リタルニョリ滿洲大豆ノ品質ハ次第ニ改良セラルルニ至ル可キナヲ防グコトニシテ、生産者ハ勢と栽培法、關製法及貯滅法等ニ法意シ前猶來壓々耳ニセル奸商ノ夾雑



噩		原	-	C 2	က	4	70	9	7	8	6	10
以	411	验		-	C1	ಣ	4	ಸರ	9	7	00	6
蓝		卷		H	62	က	4	70	မ	-	00	G
阻	14	海			-	C4	ಣ	4	. 10	9	7	တ
mII.		25			-	C2	က	4	ಸಂ	9	7	∞
超		海		H	67	က	4	ro	9	7	00	6
粉		K				П	C 2	က	4	10	9	2

各地一些標準大豆ノ同格表ノ例

	₹	н	67	က	4	70	9	7	80	9	10
1		m		63	က	4	20	9	2	∞	6
	ı		U	-	67	က	4	20	9	7	\$
		•		a		C1	က	4	70	9	7
			,		田		C21	က	4	70	9
				,		[_		C4	က	4	52
					'		ای	-	C2	က	41
						'	_	田	-	C3	က
							,		H	-	6.1
									•		

みす各品種ノ同格ナルモノヲ横列ニ配列スレバ左ノ如シ此、場合Aハ及主領ノ一等標準大豆トス。今例ニョリテ述ブルニ及主領ニAョリニマデノ品種アリトシテ其ノ品種ノ品質ノ鑑定ニョリ等殺ヲ甲乙附地ノ標準品ノ關係モ知ルコトヲ得ベン。

等人標準品定マレパ甲地及乙地ノ一等品ヲ比較シテ乙也ノ一等ハ甲地ノ何等ニ相當スルカヲ定ムンパ甲品種ノ二等ニ丙ノ一等ハ甲ノ四等ニ相當ノ價値アリトシテ美ノ地力ノ標準ヲ定ム從テ某ノ地方ノ一地方ニ集散セル品種ヲ精細ニ罰査シ其ノ結果ヨリ品種問品質ニ等差アルベキニョリテ乙品種ノ一等ハ然ラバ如何ニシテ是等ノ鉄陷ヲ除クベキカハ標準品ノ採り方ヲ改善スルニアリ即テ各地ニ於テ其ノ

第二節 路來」於ケル商品ノ等級「就キテ

阻害スルノミナラス外ニアリテハ高朝大豆ノ整假フ慰グル能ハザル可ひ。

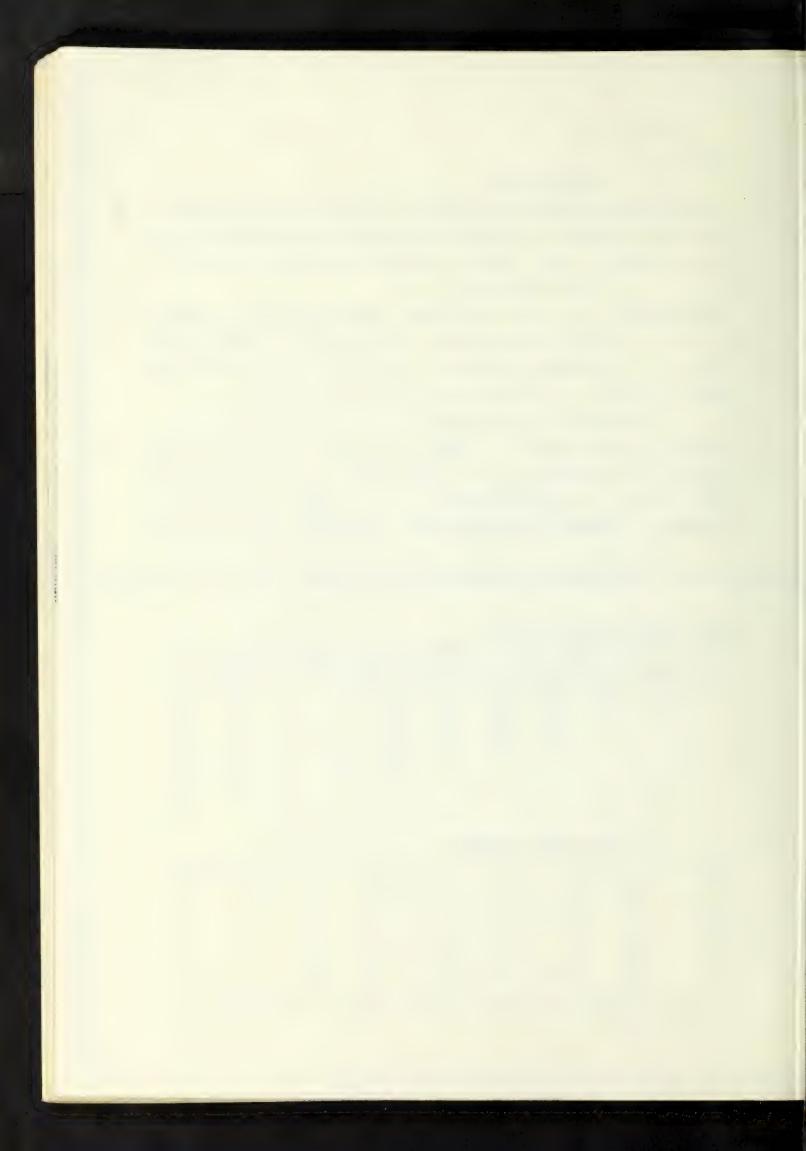
二記スルコトアリ、即ヶ折角優良ノ生産品ヲ器鏈セシメラ取引上ニ出スハ内ニアリテハ農業ノ發達フニョリテ共ノ中ニ不良品ヲ泥ジテ品質及品位ヲ低落シテ乙坦ノモノト同一ノ品質、品位トナシテ保管概準品ハ谷地同一ナルニョリテ甲地ニシテ常ニ概率品ョリ品質上はニアル場合ニテモ同一價格ナル

a 各地ノ同等級品ラ同格トナセル語

準品・同一ナル品質ノモノヲ得ルコト不可能ナリ、是標準品ノ作リ方ノ鉄陷ト云ハザル可カラズ。レバ共ノ地方ノモノト他地方ノモノトヲ混合シテ其ノ地方ノ標準品ヲ作ラバ其ノ地方ニ於テハ其ノ標各地大豆見本ヲ採リ常セ是等ヲ混合シテ等級ラ作レリ、凡作汤ハ各地方ニョリテ特有ノ品種ヲ有ス

1 標準品ノ作ッ方

エノニットッ。



ニ品種ノ統一ヲ計リ得亦栽培及調製法ノ改善ニョリ テ品質ノ向上ヲ期ス ル ニ至ルコト勿論ナリトス産品、下級品ョリ上級品ニ漸次改良セラレ亦農業者ニ於テモ品質ノ優良ナル品種ノ栽培ヲ心シテ自然各地標準品ノ調査ニョリテ是等ノ格付表ヲ調製シタル時取引上ノ便宜甚大ナルノミナラズ尚各地ノ生

第三節 混合保管上等級

スル場合い格付同ジキモノ即日一等D二等O大等A.入等、混合シテ及主衛標準大豆ノ入等ノ格ラ付ススル場合い格付同ジキモノ即日一等D二等O大等A.入等、混合シテ及主衛標準大豆ノ入等ノ格ラ付スニ産出セラルル品種Aョリニマデアリトスレバ其ノ中ニテA.O、D、日、互ニ大小、形狀等が相類似と同格品、相混ズルモ商品トシテモ亦工業用原料トスルモ差闘へナカル可シ、今前ノ例ノ如ク及主衛既ニ逾ベタルガ如ク各地ニ於テ各品種別ニ等殺ヲ附シタリ其レ等品種ノ大小、形狀等相類似セルモコトト信ズルガ然ル時、混合保管、非常ニ原雑トナリテ混合保管ノ目的、達セラレザルニ至ル可シっかサントセズ其レ故ニ理想トシテハ各地別ニ各地ニテ又品種別等級別ニ夫々保管スルガ長正當ナル場合ニハ何等ノ不都合ヲ見ザルモ乳ナル場合ニ於テ其レ等ノ混合ニョリテ大ニ商品ノ品位フ低下スル即・折角是等ノ概準ニ等差両別シタルモノガ混合セラレタル場合ニハ苦まび等ノ粒ノ特性ブ間一ナル財グノ如キ標準品「選定法ヲ用ユルニ至ラ、現今内

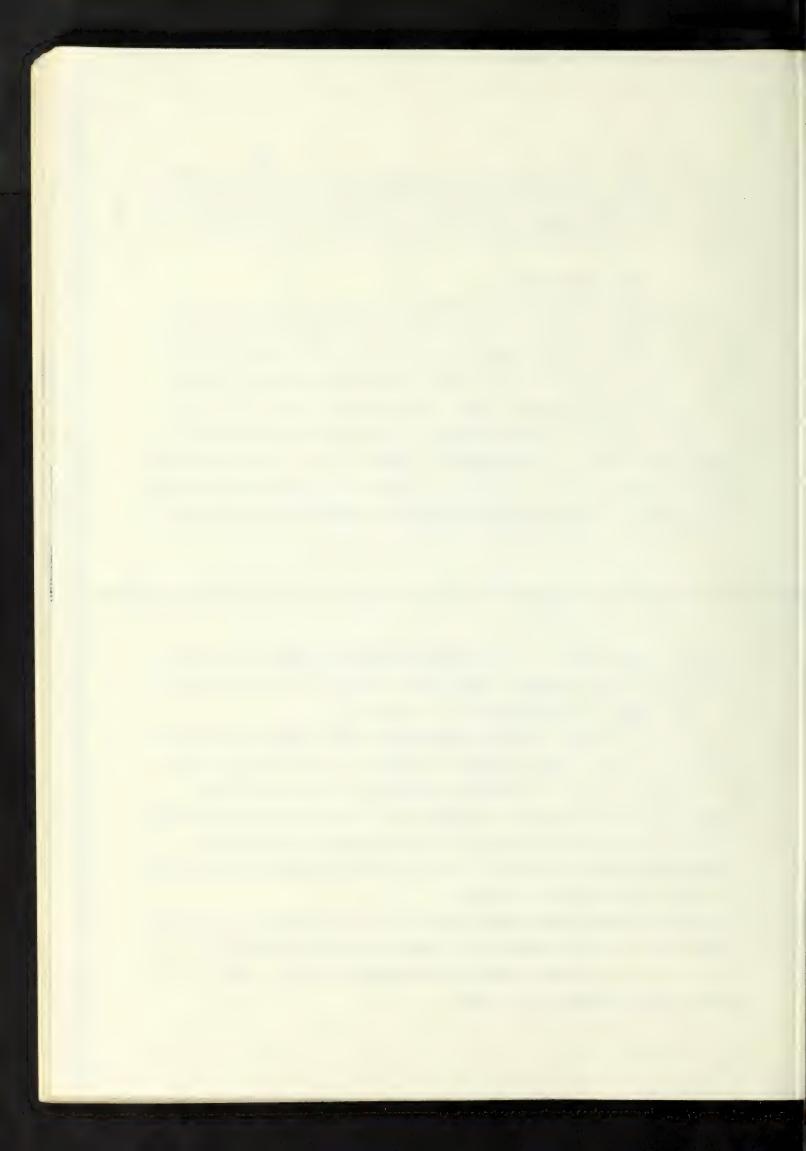
ルコトヲ得べク尚商品トシテ價値、何等高低スルコトナカル可シっ地ノ日品種ト同様ノ形状、大小等ヲ備フレバ相互ニ混合ス、斯クノ如クシテ其ノ區別ノ範圍ヲ縮小ス各地ニ於テモ同様ノ混合ヲナスノミナラズ各地相互ノ間ノ品種モコレヲ調査シテ甲地ノB品種、乙

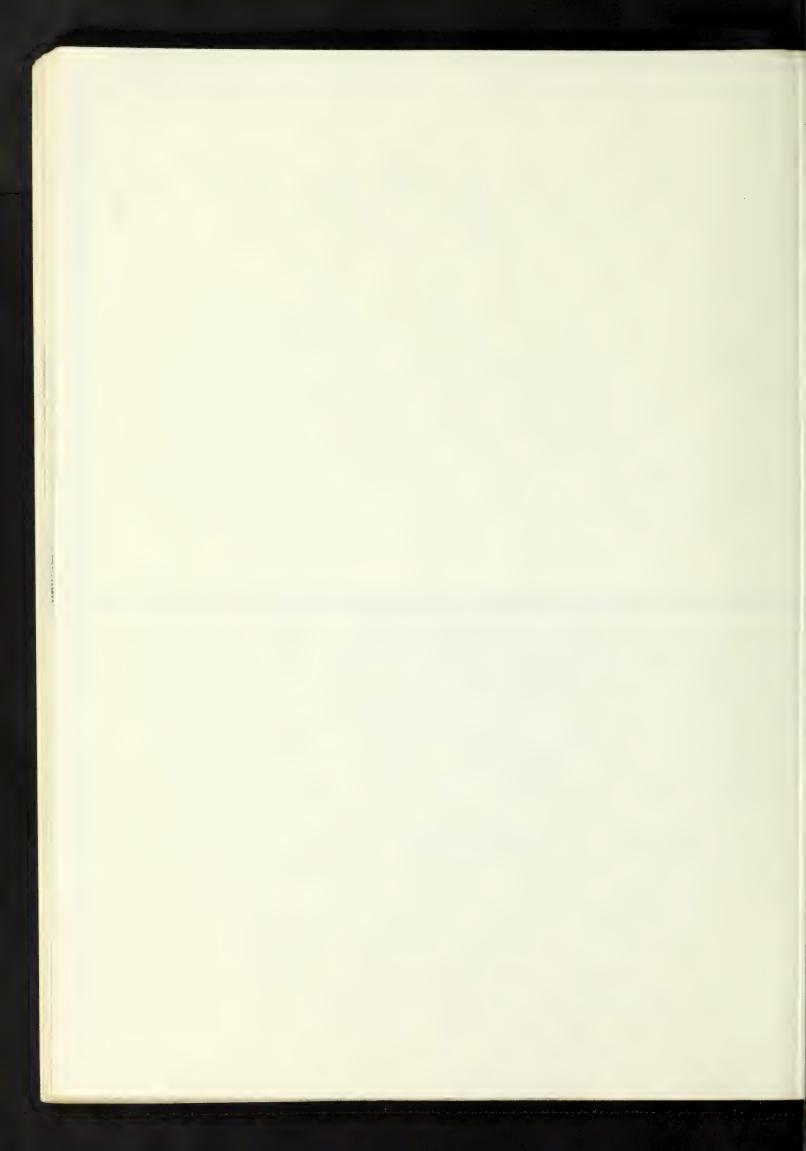
可シ、從テ比等級格付法ヲ以テスルモ混合保管ノ方法、將來ニ於テハ簡單ナルモノトナル可シ。第二限定セラレ優良品種ノミ市場ニ出デ劣等品種ハ共ノ影ヲ認メザルニ至リ品種ノ數ハ大イニ被少ス斯クノ如クナストモ的複雑ナルヲ免レザルガ然シ世ノ進連ト共ニ智識ノ發達スルニ従ヒテ品種ハ太

標準品種ノ選定ヲ行ヒ其ノ品種ノ混合如何ニョリテ等殺ヲ定メ同格品ハ相混合シ保管スルコトハ過彼メテ因難ナル狀勢ナランモ此ノ間ニ尚大體ニ於テハ品種ノ差異ヲ幾分認メ得ベキニョリ是等ニョリテ質隊各地ニ産出スル生産品ノ現狀ヲ見ルニ他品種ノ混合スルコト並シキニョリテ標準品ノ選定ハ極

場セラルルニ至ルベキニョリ是等ノ事ニ関係ス州諸君ハ理論及實地上ョリ金々コレガ研究ラナシテ斯ク制度ノ改善セラレクル曉ニ於テ龍洲大豆ノ品位、品質共ニ金々改良セラレ其ノ名其質共ニ尚一層後以上逾べ求リクル標準品ノ選定及等級格付ノ方法ハ威ハ云フベクシテ行フニ難キナランモ斯クノ如時代ノ現在トシテハ止ムヲ得ザルコトナル可シ。

業ノ盆々發速スル様二努力セラレンコトラ希望ス。





満洲大豆ノ生産状態ヲ逃ブルニ先チ、世界的ニ生産概況ラ一瞥スルノ必要アリ、世界ニ於ケル大豆 ノ重要産地、古來殆ンド東洋ニ限ラレ、中ニモ最モ多額ノ産出アルハ勿論支那ニシテ、之ニ次イデハ 日本、朝鮮ヲ舉グザル可ラズ、南洋各地ニモ住古ョッ之レガ栽培ノ事質アルガ如キモ風土開係ョリシ テ版、ズ、歐米諸國が近世東洋貿易?開始シテ以來並ノ種子ヲ輸入シ各々其ノ本國文、植民地ニ於テ 之レガ試術ラ行ヒタルハ巳ニ久シキ以前ノコトナレドモ未ダ新産地ノ出現セルラ耳ニセズ、獨り北米 **| 各衆國、近年稍々成功シッツアルモノノ如シ、殊ニ歐洲大戰中當局、之レガ裁培獎勵ニ努力シ、成監**

第一章 大豆/生產狀態

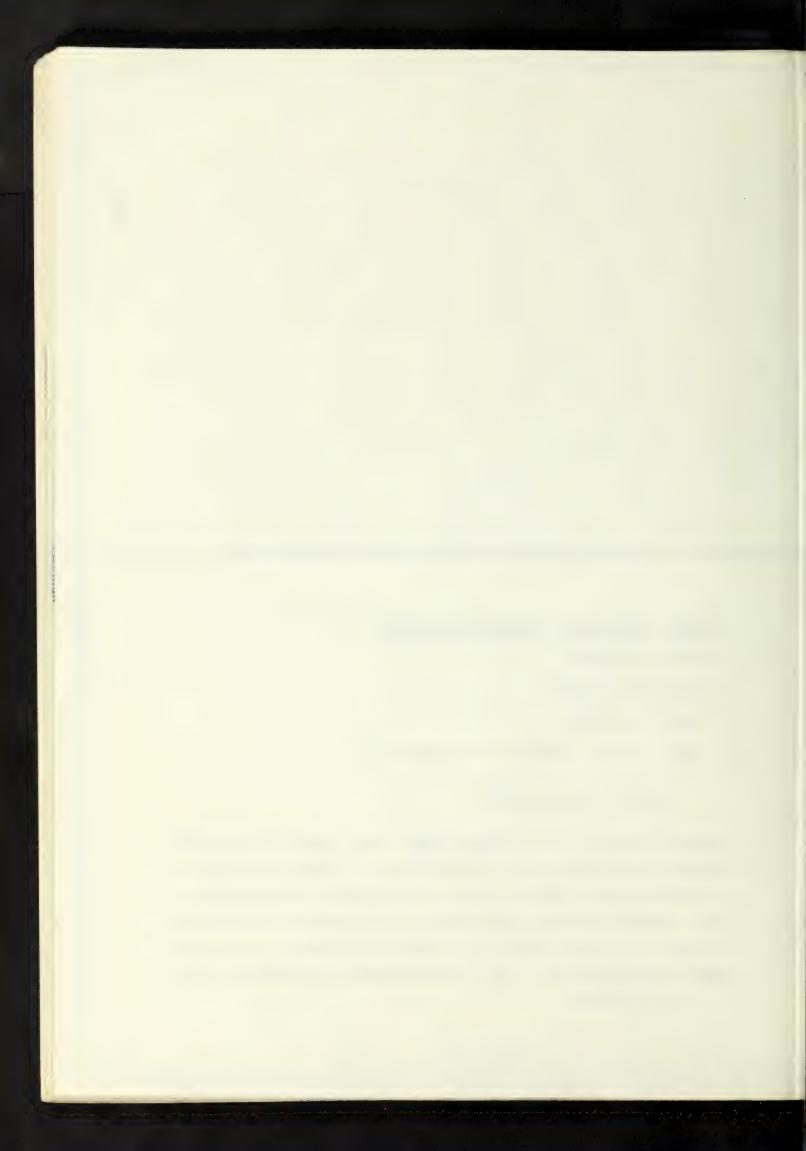
第三篇 滿洲大豆ノ經濟事情(《蝶聲識略)

第一章大豆ノ生産状態

第二章 大豆,分配及消费

第三章 大豆/取引習慣

附言 一、斗量 二、制錢ト吊文 三、大豆檢查了質例



珠三醇 臨洲大豆經濟事情

五、交通貿易~開發ト共ニ世界市場~需要ニ刺散サレ、且ッま~原價ヲ以テ競爭上優勢ナルコト。四、移民ノ家庭上ニモ食料トシテ將夕燈油トシテ大豆ノ不可飲モノナルコト。

7 n ~0

三、大豆作、翰作上、個短上、其ノ他彼等移民ノ農業上有利ナルノミナラズ舊情上行、ザル可ラザー、部部・オイノアニュ語作・ロアー正書を、

二、簡別ニ於ケル大豆ノ試作、山東、直隷等ヨリモ好成績ヲ示セル丈ニ風土氣候ノ好適ナルコト。ルコト。

一、山東、直隷ノ移民い古來大豆作ニ經験アリ、彼等い良種子ト技術トラ腐洲ニ移植シタルモノナ事由アリトスペシ。

前朔大豆。繭朔ノ如き新開地ニ於ラ斯クマデ大豆ノ大生産ヲ出現スルルニ至レルハ恐ラク衣ノ如き上ノ如クナルガ故、世界的産地トシテハ支那ニ如クモノナク、支那各地中ニ東三省ニ如クモノナシ。ヲ日本ニ移出シッツアリ、尚ま今後トモ此ノ均殖ノ情勢ハ額行サルルナラン、大豆生産ノ大勢ハ路ポ以近似スルノ故ヲ以テ一段ノ刺戟ヲウケルノ結果ト見ルベキカ、従ヒテ鮮内消費ノ剥除ハ殆ンド悉ク之大豆作ノ頽勢ニ頃キツッアルニ反シ、韭ノ需要金々増進シッツアルガ放、且朝鮮大豆ノ北海道大豆ニ侵ナガラ衰退ノ形勢ニアリト見ルベシ。太ニ朝鮮近年狀況ハ順調ニ増殖シッツアリ、蓋シ日本本國ノ

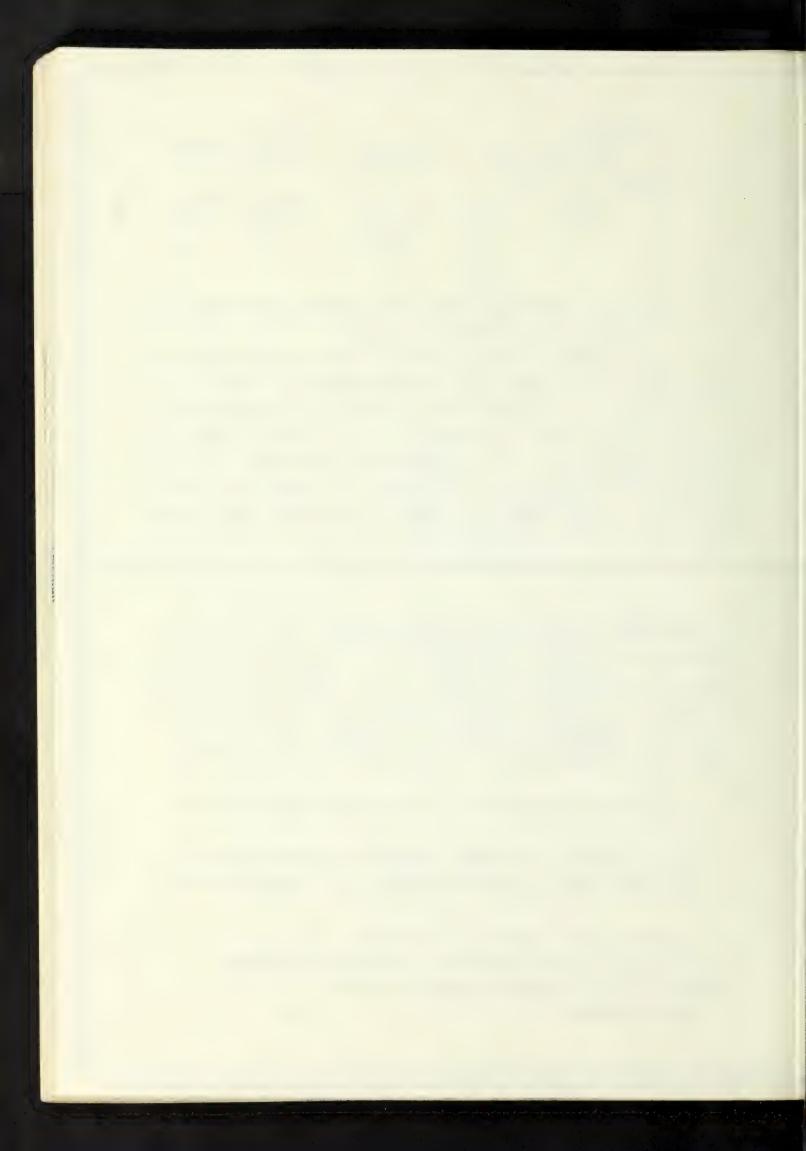
毎農作物ノ隧道 ヲ カ ケ 又害蟲ノ傳播ノ為ニ少シク衰勢ヲ示セリ、斯クテ吾ガ邦ノ大豆作・一般ニ経近來稍々頹勢ニ傾キ、又北海道モ此ノ大戰 マ デ ハ 年々増殖セルモノナルモ戰時ニ入リテョリ他ノ競ハ關東、東北」諸縣政北海道ヲ嬰グザル可ラズ、從前關東東北地方ハ逐年產出增加シタルニトアルモ北海道ニ至リ、大豆ヲ産セザル處ナキハ他ノ東洋産地ニ異ナラザレドモ、稍々觀マリタル産地トシテ今後尚未婚殖ヲ繼續スルナルベシ、就中東三省ニ於テ韭ノ然ルヲ見ルベシ、次ニ日本ハ南臺灣ヨリ北ハモ産出多ク全國ノ入割ヲ生産シ、東三省ハ全國ノ六、七割ヲ産出ス、近年骸シテ奢シク増殖シツッアリ支那ハ他ニ猩シデタル大産地ニシテ前記総産額ノ入削餘ヲ占ム、東三省ヲ始メ山東、河南ノ五省長定セラルベシ、今此レ等ノ産地ニ於ケル生産極況ニ就ラ少シク巡ベン。

即・現今主要産地」がケル大豆作付總面積、約五万四十萬町、まノ總産額、凡ソ三千六百萬石ト推

图	別	作付面旗	姓 出 恒	図 記	作付面甜	產出高
芸	展	티스티네 라이네	こ人人の〇	北米合衆國	· 《本	COM 以中
ш	*	ana	CONTR	na na	K'EON	11!K'000
	新	四六九	111,000			

積砬共ノ産出高ヲ掲グレバ凡ソ次ノ如シ。ノ見ルベキモノアリ、將來新産地ノ出現スルモノトセバ蓋シ北米ナラムカ。今重要産地ノ最近作付面

104



10元

01/161

北流地方、之三反スル状況ニアルガ如シ。

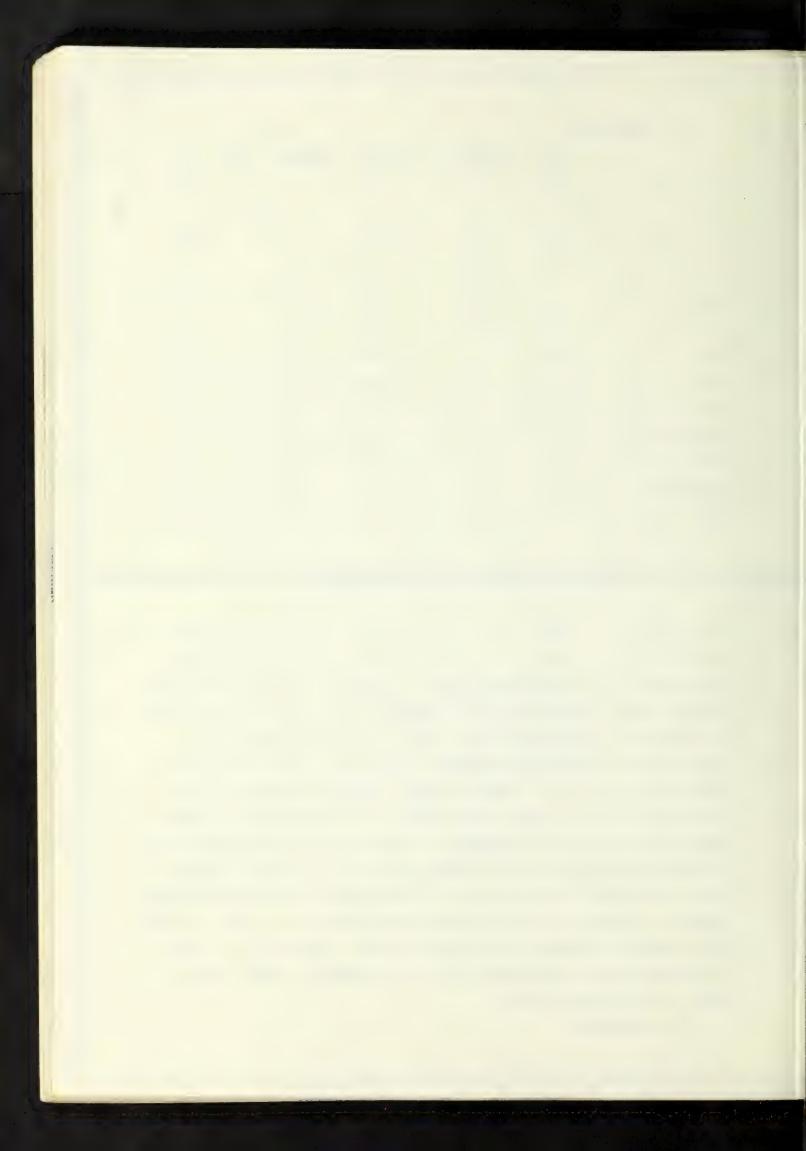
級 閱 道 / 1/

	,部	[11]	谷		10,440		11<-111		11'041	' 0		7s(#.(\$	1	₹ ′1144	1
		十	名全部	型100m	へ七〇千四	2~图1	<•II)	0,11	、 〇 元	川中宣	(大豆)	作作に	ン、芸	\11	三步
	平均	收穫量	六万	ニュッチ	民们种意识	以最(一	八一	五五五	-12-	アジュト	ラボセ	り、花	はく結婚	類が	最近
	即十	昨车度	ン段想	ニシテ庇。	/ 内南流流	5ト北部	第一川	分チャ	() 足 :	ン六分ト	四多く	北约-	トナナッ	* キカ	0
•	*	※ ~ 官	にい数	シ、今後こ	- 逐年大豆	エノ生産	増加ス	74:	経とよ	トセメル	ッ、旧	シテキ	大く音楽	4 : 44	~ »
	予団	録~護	果ナル	द वाचार है।	ブモナシ、	化茶罐	関ノモ	「豆作っ	開幕に	回線在 m	り語式	出温々	テノか	よ光	汚へ
	村温	地方マ	デ造人	ツタブジロ	巡ラク目部	起江、大	豆作ノ	유절수	1774	十六八百	少館水	岩潭 (五京文字	(国酒	起く
	距際	徐祖被	ガラズ	、乾中序	图、影片,	医指数	最正多	49 C K	師グテ書	E語二於	产毛饵	洗鈕浴	二人延星	鉄く	沿道
	地方	並更多	恒常规	地方共ニを	多大ノ法非	が地ラ有	シ現今	-圧ン /	四時	h W フシ	シアリ	、欲。	~~. 鈴欢	大豆	作~
	野海	1721	伴ヒラ	設牾スル	コト佐茶。	一路米回	様ナル	. 7 4 3	、推測・	三難カラ	ズ、盆	ボノ出	国型と存	汎政	展部
	へ端	一程等」	恋シキ	推算ラ試・	4 关 11 1 1 1 1 1	固年ノ平	均指確	治数:	約四十	下流石内	外ナル	モノノ	、智?、	街本:	生産
	出恩	\< >-	注意ス	てキハ人!	し増殖ス	な説が、	据压市	で招い	ア田は	製いつつ	派少ラ	※スコ	トナコ	、原	令し
	が報	天省※	海河型	方ノ如キ	、生産最	る変額ナ	グー地	ジスト	入口比談	灰石蓝铅	ナッド	故出酒	だいり宴	イで	かれ
	4 71 1/20		43 . (4)	4 > 11/12		7 \ 0									

1<.0

111140

	統川	既 概差	大互积资事情		-	104	
			掛 型	作付步合	大豆作	不均收量(町)	選 類
成	K	₹ ₹	四、光光七	े. १ मरे• हा	九五一•六千百	K•X	スニンロー
湖	施	海	H'EIK	110.0	트록메 ⁽¹⁾	42-111	E, E + E
民	ى	謹	1,041	110-0	nturn	*1	1401
器	mII	河	∉an)	114.0	1444	K• 0	1 men
噩	长	零	181	1110+0	EC'E	K•O	11144
扣	於	\$ ∓	m ins	1K+0	五代三'O	4 •K	E'#1#
#III	原菜	河	17681	14.0	二九四十	14,011	H'EEK
海	Ħ	淵	1/1408	14.0	111144	नी । इंट	الخبذا
以	扣口	润	미국	140	EIK	4°°C	MIE
袞	超	道	144	14.0	11147年	K•M	140
押し	1 7 1	ר א]	10744	150	K 'E	K•0	HI
THE THE	Ħ	~	비나	1 K•K	不同七八	K •ti)	四、元六二
16813 1000	Ħ	独	11056	1400	· 11110+K	4•K	14111



第二章 大豆,分配及消費

出スルノ除利ヲ有セリ、今職入國、須ラク措イテ記カズ輸出國クル朝鮮誠滿洲ニ就テ少シク述ベン。産額ヲ超過シ、存該輸移入スルノ必要アリ、唯朝鮮及滿洲ノ生産、共ノ消費額ヲ超過シテ、毎年輸移己ニ述ベタル谷主要産地ノ支那本部、日本本國及北米合衆國、就レモ國内ノ消費量多クシテ造ニ生

「近日本内地」移出サルルモノ八九十萬石=及じ衝大共ノ領ヲ増加スルノ傾向ヲ示シッツアルハ蓋シ這他ハ荊子、家畜ニ用フルモノト見ルベシ、斯クラ消費シタル殘餘ハ凡ソ一百萬石ト算出サルベク、最食物トシラ米変トノ混炊、副食物トシラ味噌、贊油、豆腐、モャシ、豆粉、燒豆等ラ第一トシ、其ノ消費ニ掛ルモノモ人口増加ト共ニ衛培シテ最近凡ソ二百萬石ニ及ブモノノ如ク、韭ノ主タル用途ハ土朝鮮、近年朝鮮ノ産額、漸次増加シッツアルコト前述ノ如ク、最近凡ソ三百萬石ニ途セリ、內地方

石、地方的「消費セラルルモノナランカ、サスレバ総産額一千八百餘萬石ョリ地方的消費額四百餘萬人2大差光が)並油房用(地方常数チ型物料の1代)トシラ約三百餘萬石、種子用トシテ約一百餘萬石合計四百餘萬葉・内谷地方「放テ消費サリルルモノ亦勢カラズ、即チ余ノ指算スル所ニョレパ、家庭用(訴問、輩供)、諮測、請酬、滿洲ニ放ケル最近ノ總生產額ラ一千八百餘萬石ト推測セルハ已ニ述ベタル ガ 如シ、而シラ

ヲ得ベシ、今之ヲ省別ニ示セバ左ノ如シの石ヲ素引キタル殘餘凡一千四百萬石、最近滿洲重要市場ニ出廻ハ7得ベク亦出廻ハレルモノト見做ス

			基	地方消费	进 引
₩	K	5 4	人ミナ盟	11、11、八二	六、〇九二
扣工	*	か有	四九一九	1、1年か	加特代目
副	體出	4	四、九六二	代代因	四二九八
	vines.		一八二五五	ETION	1回、1月11

即于流洲ノ重要市場「出廻ハル総額ラー千四百餘萬石トシラ更ニ之レラ地方別」概算スルニ凡ソス

ノ如キモノナランカ。

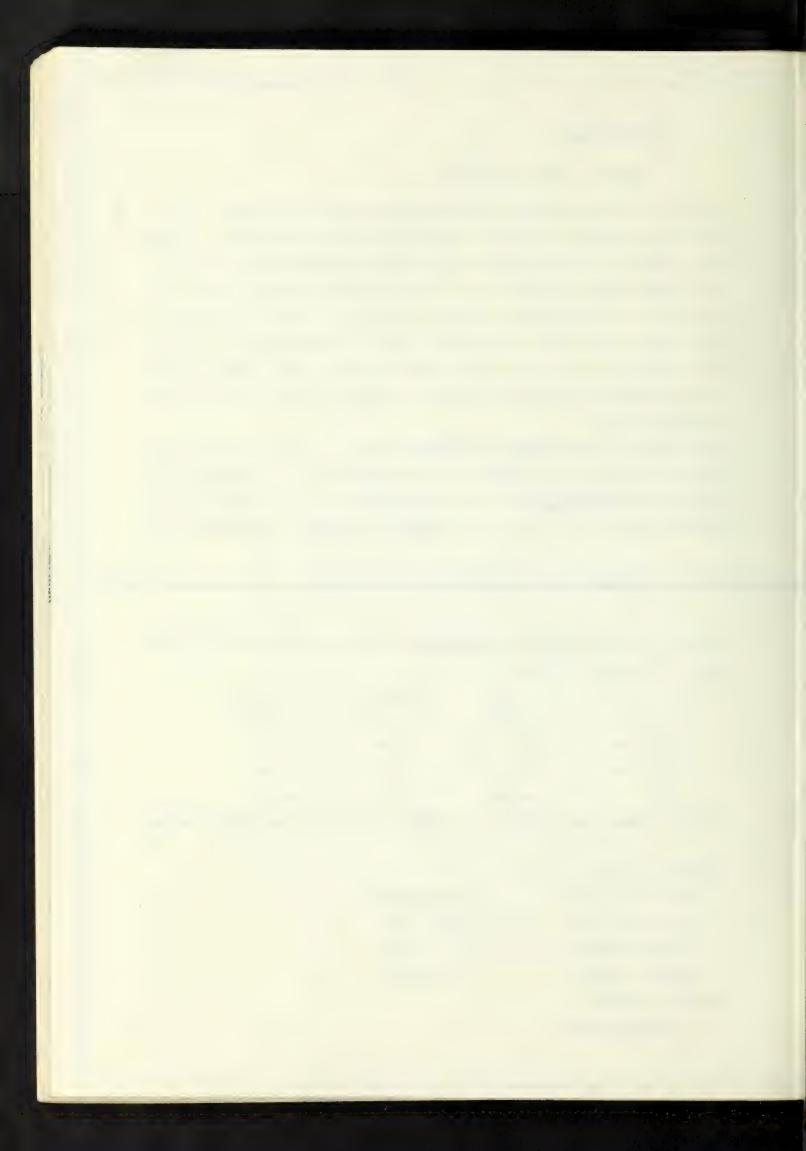
南流洲 八百五十萬石

役ノ数益ラ淡ルモノナリ。

选束字 局,重要市場 二三十萬石明統江流域,重要市場 二十萬石豐祖巡, 重 要 市 場 三百五六十萬石邊 遊 巡) 重 更 市 場 四百五六十萬石

北阔朔 五百五十萬石

菜三糖 疏洲大豆起游冰馆



宿江近ノ重要市場

一百五十萬石

歐個體一重要市場

回加超后

えとナリ、今夫レ等ノ近前ヲ能示スベキ左表ヲ揚が。シ、一、之ヲ大豆ノ臨中外ニ輸移出スルモノ、一、鈕道治線ノ都市ニ然ケル油房ノ製油原料トナルモ

み配 満洲重要市場ニ出廻、ル所ノ大豆ノみ配如何ニトイフニ、之レヲ二途ニ大別スルコトヲ得べ

ill.	13	1	*	大豆ノ塩鈴移出	製品原導トナルモノ
K	별	111	4	因(11人()(四型%)	大 、 1 (C (五六%) ***********************************
122		Ŧ	4	四、四五〇(三五%)	七、九七〇(六五%)
匝		4	年	四、八三〇(三四%)	人、四四〇(大六光)

ドモ、最近、英ノ大宇ヲ日本二英ノ餘、支那本部竝ニ歐米、前洋等ニ向ケッッアリ即テギザリシ鯨田額、現今四五百萬石ニ改増セルモノナルガ、武ノ任何先キ、年二由リテ著シク異動アレ今右表中ノ大豆ノ儘ニ輸移出セラルルモノニ就テ一言センニ、今ヨリ十年前頃、二百萬石内外ニ過

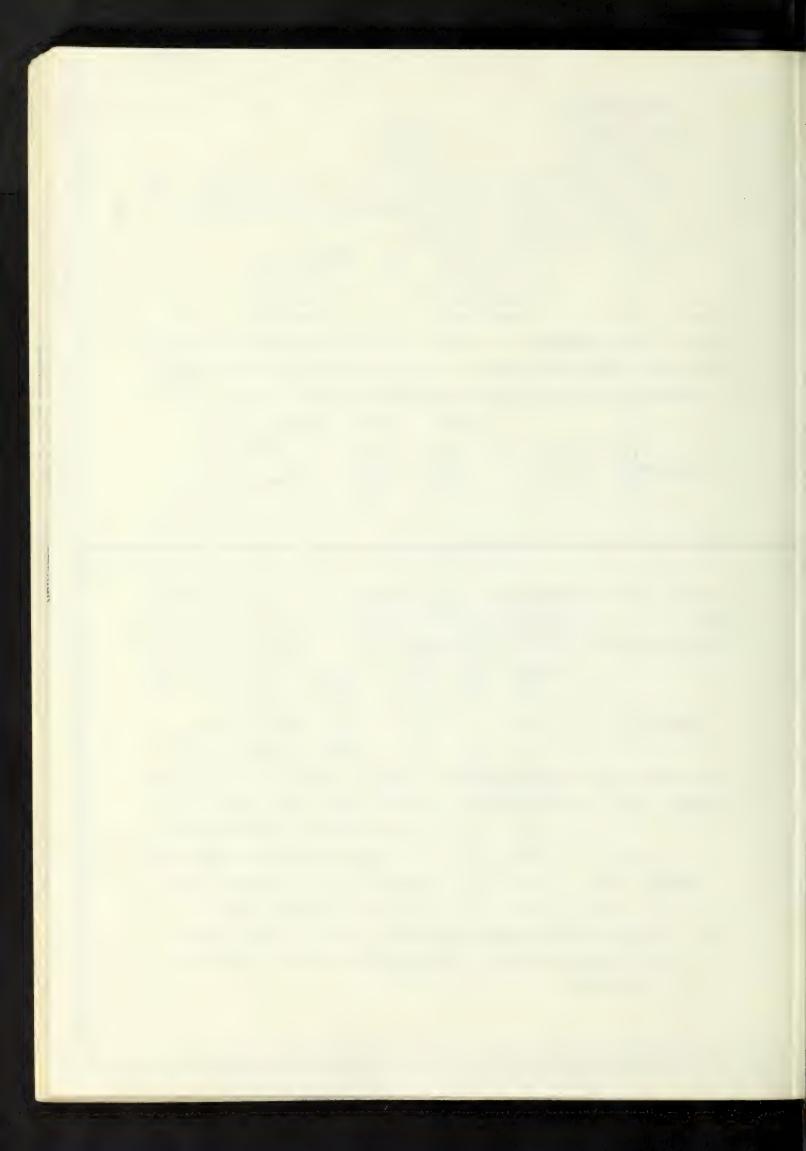
			日本向	支那向	與米包	其 他
大豆仕向先/同(大	별비	4H	H0%	114%	11118	
大豆住向先}同	Ħ	111	110%	1110%	1117%	111%
(正	4	स	44%	140%	4%	

ネ又中外ニ翰移出セラルルモノニシテ、其ノ地方ニ消費セラルルモノトテハ甚グ勘ナシトス、今大連増加ノ比ニハアラザルコト前掲ノ表示スル所ナリ、而シテ製油原料トシテノ大豆ハ粕ト油トナリテ樹水ニ油房ニ仕向ケラルル所謂製油原料トシテノ大豆ハ逐年増加シツッアリテ、前掲ノ大豆盛ノ韓出

	工場数	联链	對哲	並態道治線ノ油房製及夫レ等一日ノ能
(七 垣	(v)	10100000	대(라[라 표	力ラ示セパ上表ノ如ショ
油房-能力/共 4	11140	111 @	11°KOM	掛クテ是等工場ョリ産出セラレタル
ina ina	11110	 ⊀00	K'HIII	互相及互油ノ輸移田極況ラ述ペンニ、

少ノ異動アルモ平均シテ九〇%内外、吾ガ日本ニシテ共ノ除、支那本部ト見徴シテ大差ナカルベシ、豆粕、十年前国ニ、四五十萬噸ノ輸移出ニ過ギザリシガ、最近一百萬噸以上ニ迄シ、共ノ仕向先、多

テ、大豆、豆粕、豆油ノ形體ニテ出グル處ノ一千三四百萬石、如何ナル徑路ニテ何ニ消費セラルルモ消費 大豆、豆粕並ニ豆油、何處デ如何ナル用途ニ向ケラルルモノナルキ、滿洲 ヨリ 中外 ニ向ツ



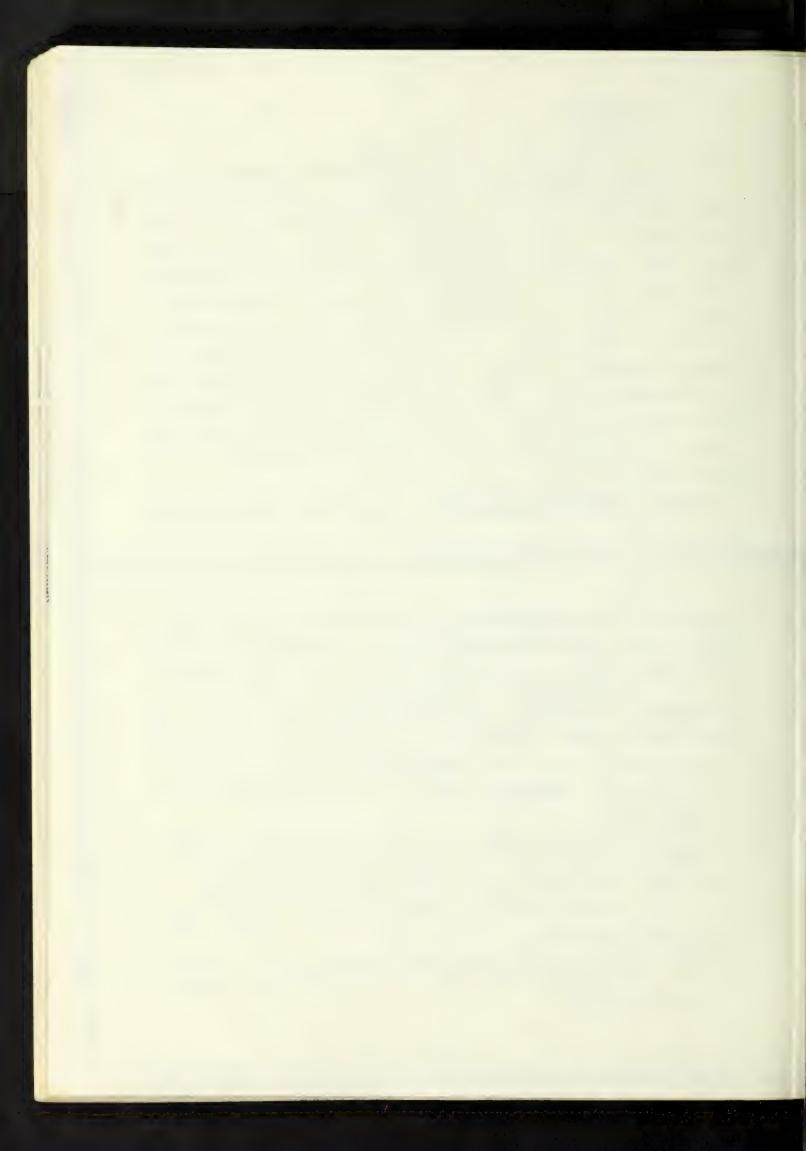
ノナルヤ乞フ少シク之ヲ追ベシメョ。

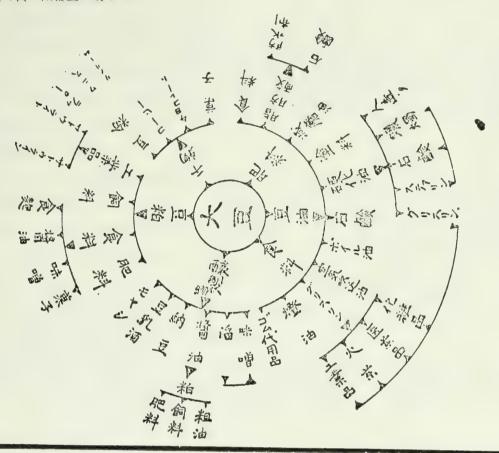
大二部別産豆粕ノ輸出先二於ケル消費状況ヲ逾ベンニ、己ニ陳ベクル如ク、豆粕ノ大部分、吾ガ日

得ズト監羅資的利用法ニハアラザルペシっことう、心園ニテハ生トシラ家畜ノ飼料ニ用ユルラ常トス、之レ蓋と吾ガ園情ノ致ス所ニシテ己ムラ々之レガ商用ヲ増進スペキハ疑ヒナキ所ナリ、本來豆粕ヲ専ラ配料ニ供用スルハ殆ンド吾ガ日本ノミ治ノ甘蔗、米作ノ如キ蜂近年時ニ北ノ協用ヲ増加シッツルヲ以テ今後農産債益ノ御路ト北ニの+金ズ、各工藝農産物例セン関山、商島ノ附革ノ如キ、徳島ノ塾盛ノ如キ、各地方、相補ノ和キ、治シクハ茲生命トモ辞スベク、米殊ト蠶絲ノ増建一ニ豆粕二歳ルト謂フモ過言ニアラザルベシ、又是レノミナラモ有利ナル肥料トシテ熱迎セラレテュリ窓企之レガ能入ノ激増ヲ且タルガ、今ヶ豆粕ハ吾ガ邦農業ノ居ヒラレ、共ノ他和々ノ用途ハ衞ク近年ニ至り講ゼラレッフルノミ日清戰役以來吾ガ北ノ農薬上最本二酸出サン、美ノ一部ヲ支那本部共ノ他ニ疫出スルニ過ギス、吾ガ北ニ於テハ豆和ハ主トシテ肥料ニ

國ノ用途ト大差ナシト見像スヲ得ペシ。ト言フマデモナシ、吾ガポニ於テモ表ダ人造「バク」)製用二供シタルヲ耳ニセザルモ韭ノ他、概未来避づ、ク」)製造之レニ亞ギ、途将用亦之ニ亞グ、韭ノ他省クモ普通植物油ノ諸用途ニ代用をラルルコ於テ、相實油韭、他ノ植物油代用ニ供セラレ、即ナ石陰類ノ製造ニ用ヒラルルモノ最多甚ヲ占メ、乙次ニ諮溯豆油、輸出先キニ於ケル消費採況ニ號ラー言ヲ試ミンニ、最近多長ニ送出スル所ノ米國ニ

ベタリ、絵リニ、大豆並ニ加工品ノ現ニ消費サレッツアル又、用ヒ得べき各般ノ用途ラ一見瞭然タラリ上、諮詢大豆並ニ加工品タル箱、油ノ総出先きニ於テ、如何ニ消費セラレッツアルキノ蘇況ヲ巡





第三章 大豆~取引習慣

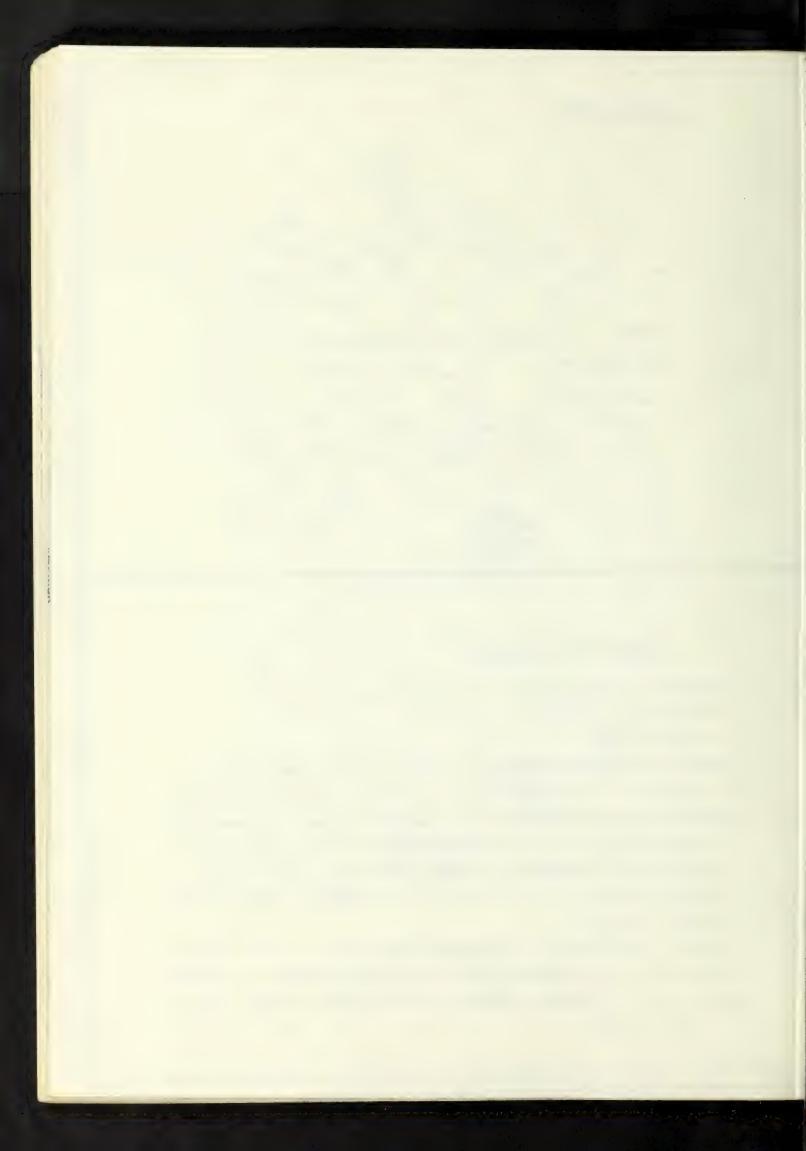
現今満洲」於ケル穀物取引ノ方法ハ、之ラ大別スレバ左ノ二種トナスラ得べる。

一、吾が取引所法二依が取引方法

二、協訓在索ノ取引方法

一部子路逃スルニよメントス。
 、、関今是等、法規二準裁スルコトトナレリ、當籌二於ラハ之レガ鉛逃ヲ除キ、高洲在來ノ取引習慣ルガ昨大正八年末前令「開東州取引所令」並ニ開東題令「開東州取引規則」ノ發布ヲ見ルニ至リタレッテ、開東都督ノ定ムル所ニ依ル」ニ並ヅキ開東都督府取引所規則ノ發布・ナリ今日ニ至レルモノナニ年發前令「開東州及南高洲鐵道附屬地内二設立スル重要物產取引市場」於ケル取引方法及於保ニ関・人他ノ一般高洲ニ於テハ在來ノ取引智慣ニ由ルコトハ言ファデモナシ、吾才邦ノ取引所法規トハ大正開東州並ニ南高洲鐵道株式會配鐵道附屬地二於テハ吾才邦ノ取引所法規二準載シラ取引セラレ、其

園スルモノト謂フベク、即于商訊現在ノ穀物取引ニハ舊式ト新法トガ述行セラルルガ故ニ、中外ノ商子世界最新ノ方法ナルニ反シ、高調在來ノ取引ナルモノハ種々ノ點ニ於テ甚ダ幼稚ニシテ願ル質式ニ音が法規ニョル取引所ノ取引ナルモノハ多少高翔事情ヲ酌甚シタルモノナルハ論ナキモ、大鶴二於



人相互ノ不便不利多キい言フラ須タザル處ナリ。

法ニ就テ路道スペキノミ・こ及ブベシ、尤モ各連権省ノ取引方法ハ各地夫々規定アリ、愛ニー々進ブルノ造ナキニ依リ一般的方司及モ多クシテ文都々見ルベキ發達ノ點ナキニアラズ、之レヨリ先が現物取引す途ベ、次ニ先物取引動モ門副ノ取引門はよヨリ配ルニ、元次理的取引、先物取引共ニ行ハルル所ナルモ、鑑シテ現物取

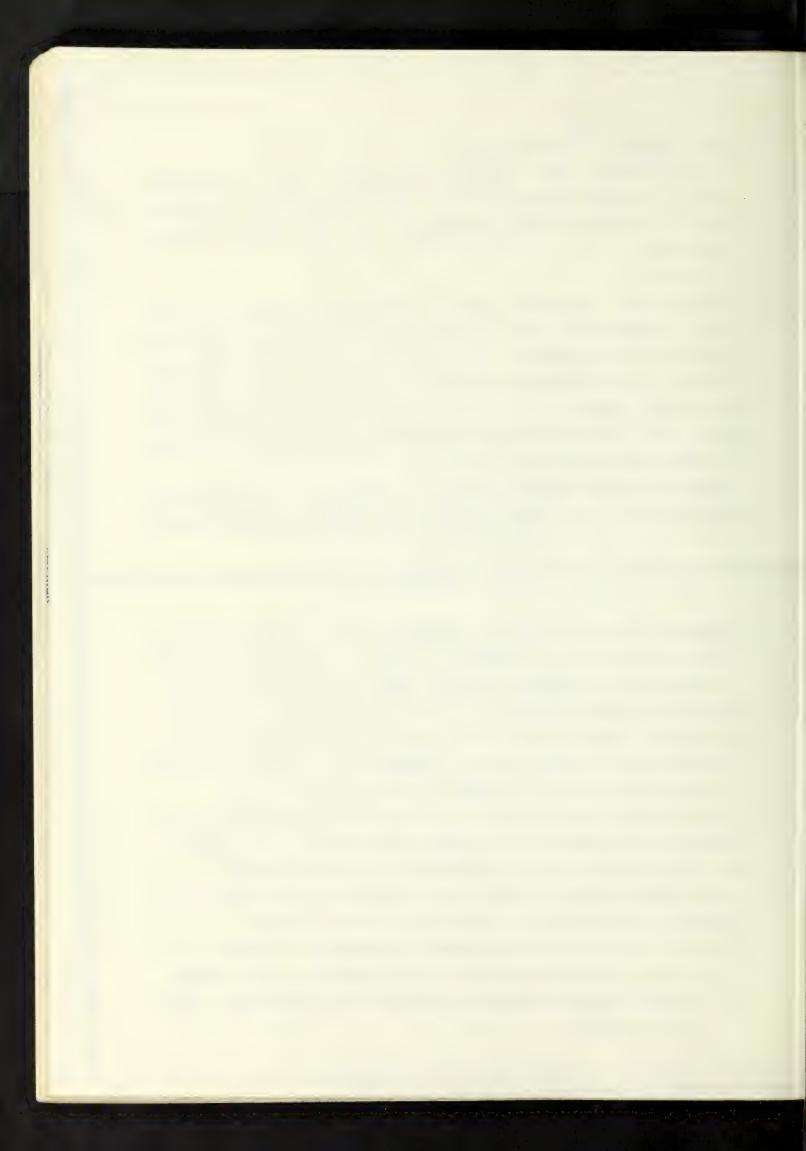
「金売店

強、新民屯、錦州等共ノ他数多ノ都市ニ於テ見ルベシの既買スルモノ多シ、前者ノ例ハ贊口、玄東(温味い時7分/香者)等ニ之レヲ見ルヲ得ベク、後者ソ例ハ餓引スルモノ即チ、直接取引ノ行ハルルモノナキニアラザレドモ、能シテ楓核又ハ粮車店ニ據リ、依託ニ向ケ奈ルモノ漸ク多ク、陰腎護末ニ近ツキ最モ旺ンナリ、地方ニ由リテハ荷主度チニ集市ニ於テ取(訓輯)と名ツク、諮問ノ所謂結氷期ニスレバ遠近ノ生産地ョリ穀塩ヲ重数セル数頭曳ノ荷局車、集市集市ト孫ス面シテ集市、党ケチキ地方ニテハ各糧核ニ於テ質買ス、集市ニ於テ集散スル設防ヲ集市併・請削内火小・都市ニシテ穀物ノ集散スル所ニアリテハ、便宜ノ地ヲ選ビ市場ヲ関クモノ多シ、之ヲ

廣*内庭(院内ト称ス)ヲ設ケテ箭馬車ノ曳込、粮穀ノ貯積、計量及荷造リ改造等ニ便シ、多数ノ程粮だ、自ラ宜買業ヲ當ミ又宜買兩者ノ問ニ仲介ノ労ラトリ、客商ヲ宿泊セシメテ彼等ノ便宜ヲ闘リ、

車店「同業組合規約ヲ喪ケ同業ノ統一、取締等ヲ律シ、客商ノ利便ニ努ムルモノアリ。レパ之亦々集市ト通孫シ又取引少ナキ地方ニアリテハ隨意街路ニ行フモアリ之ヲ撤市ト帝ス超梭又福定シ、其レ以外ニハ實買ヲ禁ズルモノ多ク、又一定ノ集市ノ設ケナキ所ニシテ或粮役ノ院内ヲ充用ス即・質防ノ取引、直取引ニシテ延取引・ナルコト都レナリ、各地ノ集市ハ規約ヲ設ケ場所ト時刻ヲ一ヲ挑へ集市ニ参加シテ引合と賈買請済ノ協議決定ヲ待ヶ現物ヲ閏干ノ許ニ逕と引渡ノ労ヲ採ルナリ、ルガ如キモ實際、貨主ノ為メニ勢ラトリ便利ヲ國ルコト福行ニ類セリ、粮投ノ經紀ト同樣愛物ノ見本知等頭ヲ役使シテ潔務ヲ終ムヲ本業トスルモノ、粮車店、複数ヲ載セクル馬車ノ即チ馬車宿ニ過ギザ

作き子冠金ヲ徴党シ地方韓国入共ニ該産記ヲ紅ザノ、賈関シ得ザラシメ、殷稅ヲ防止スルノ一方法トニョリ其ノ設ケアリテ共ノ程記、官斗使用料トシテ一斗二付、二成ヲ徴スルモノ多ク、又地方稅局ニ府ョリ官斗益ニ戸部帖トヲ發給シ所在地方ニ於ヲ計眞スルノ特権ヲ附與セラレタル程記ヲイフ、地方際競分中高ニ或、山盛リニ斗カルモノアル等決シテ珍シカラザル所ナリ、官斗鑑紀ナルモノアリ、官七八合又一升位大ナルニ梁シ、在々買入用トシ資料トシテ格ニ私製ノモノヲ用フルガ如キ又、斗益ノ股命へ、「糧後ニ於ケル受変シニ際シ買料ト資料トヲ兩用スルモノアルガ如キ或、所謂官斗・一斗二件移動多ク斗掛ニ、珠ニ弊害多キヲ見ルベシ、官府限々之レガ統一整理ヲ囚レドモ、共ノ質臨ヲ得ズ、各地、集市ニ於テハ各々通用ノ貨作、斗材、一定スルモノアルガ如キモ實際受変ノ節貨幣、相場ノ



河毎豆ヲ取扱フ市場、古來管ロヲ以テ第一トナス、之ニ次イデ鐵銜、安東、通江口、馬峰滯等アリ

川、河 岸

敏経ノ依託ラウケタルトキ運貨以外保険料フ徴スルモノアル如キ続り。

備考 以上ノ負擔ハ一般ニ道ズル費目ニシテ、比ノ以外特別ノ場合ニ夫レニ負擔スヘキモノ少ナカ ラズ、例介へ、問尾、質買者ノ希望ニョリ院内間指シテオクトキハ一定ノ倉敷料ヲ徴スル如キ、

150		衙{	拉		H+	4 -/-1		***		註	JII &	1000		#	线	菜	纽	Ę	¥	14
						数		*2		Ħ	川泰川屋		长公		缝	1	1	€3	1	題はコ
		(豆	正	4	П		(佐耳)		記れ	110ts 11-10依	三	屋	Ī]	27	知	K	-	110m
麻		悉	九		団		===	133		訊	干务九	FA				乾	H	H	:	11012
"		12		压器		原批		帶		D 2	11位	税:	压錢	対策	2 11	嚭)	位	23	:	11位
			NI.		¥⊀		說	织		Ħ	140	FAL				1	KII	拉		11==
製	•	1X1		#	#	数	菜	1		K	11100K	平衛祖	指作	∯ ±	以製	他科	1	如不	ļ	1分1月
		1	温				#	恕		白	千分ノ九	-	444	T	31	拍	1	\$\frac{1}{4}		111112
布	静 :	黎 {	PP/				段	1		R	1100%	五代王	1世域	설(<u>소</u>	- H	(3%)	絃			11 点
1-	Mer .	ME)	丰				二	\prec	15%	*	大郎以上元0次正郎以下100次	恒	はは	4	3	TATA		石石石位		1100支110支
岩		/压{	mn	展	1		23	1		H	11COX	=	TI-	T .	i Li	57.72 67.73	1	7 17		MOOK BOOK
43.)	哥		程		稅	恕		E	1余	FFT.				111	1	77		NOHII

量		47	11.4		Hi		4145			7	· #}•		桦	-
			H	皿	础	郼	#	5 1	数	व्य	E4	\$1	R	155
额	民	奉	周屋手	新花	1	2/		医癌	肥 哦	手数於	1	計		11148
		-1	田産	税	贫	Ħ		王川	표	產 稅	纸	百		用置
(24)		-:\	問屋字	数款						手遊似	1	計		五成
題		海{		数款	1	क्री		115	六 期		1	2		11位
			田 煜	数	定	a		100	国人	旗込载	1	21		11142
母	派	₽		日数	就	章		14	間屋	日銀	紹	章		140
1	***	(田産	乾	钦	喜		14	PPT .	力 棋取料)	1	क्री		OK

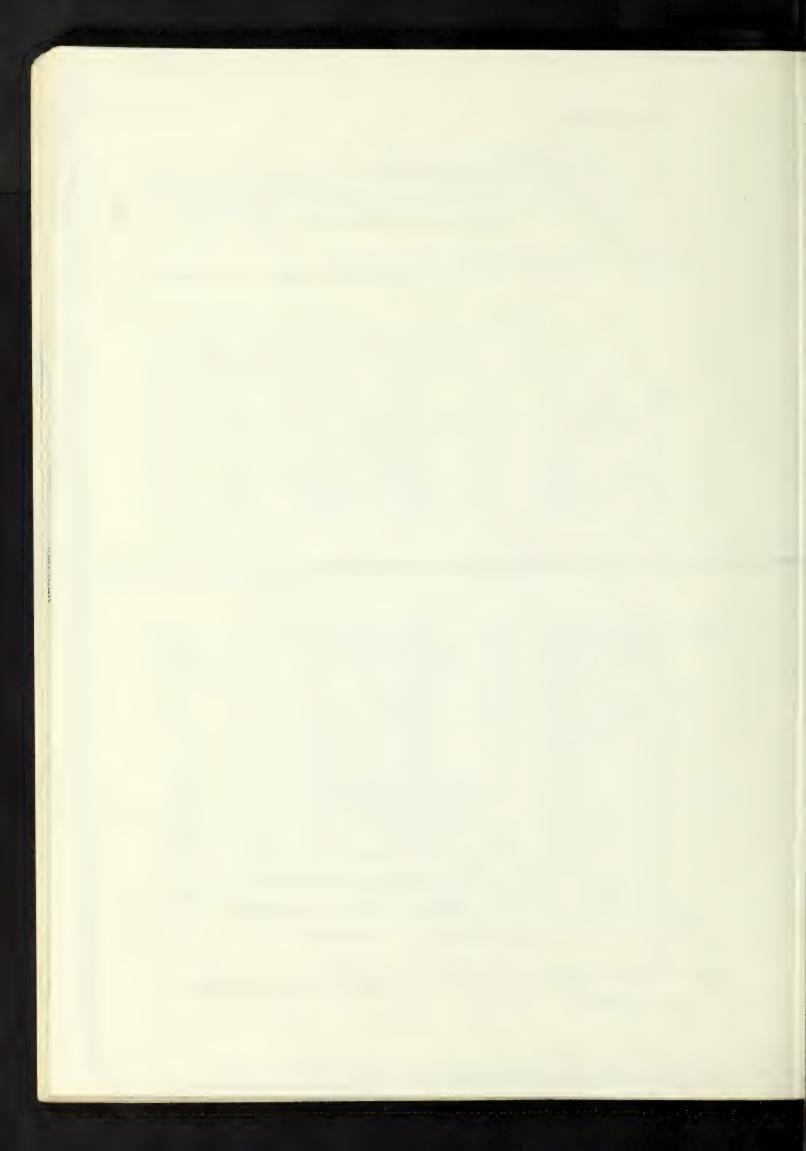
形もり。

今谷地築市二次ケル質は雨者ノ負擔トナルベキ費用ノ概要ラ推知スル為質例トシラ左二数箇所ラ表

二流布セラルルラ常トセリ。

集市ニ状ケル日々ノ相等、引取人ノ格タル類技、粮車店、又油房等が該笑ノ間ニ協定スルラ常例ト スルモノ多ク、之ヲ組市行市ト罹ノ、賈関兩者、各々其ノ日ノ相場ヲ問イテ進退ヲ決シ、見込ニョリ テハ滯在シテ時宜ヲ待ツモノアリ、毎日ノ相場ハ韭ノ他ノ商務會ニ報告セラレ夫レヨリ直ニ市中一般

スルモノアリ。



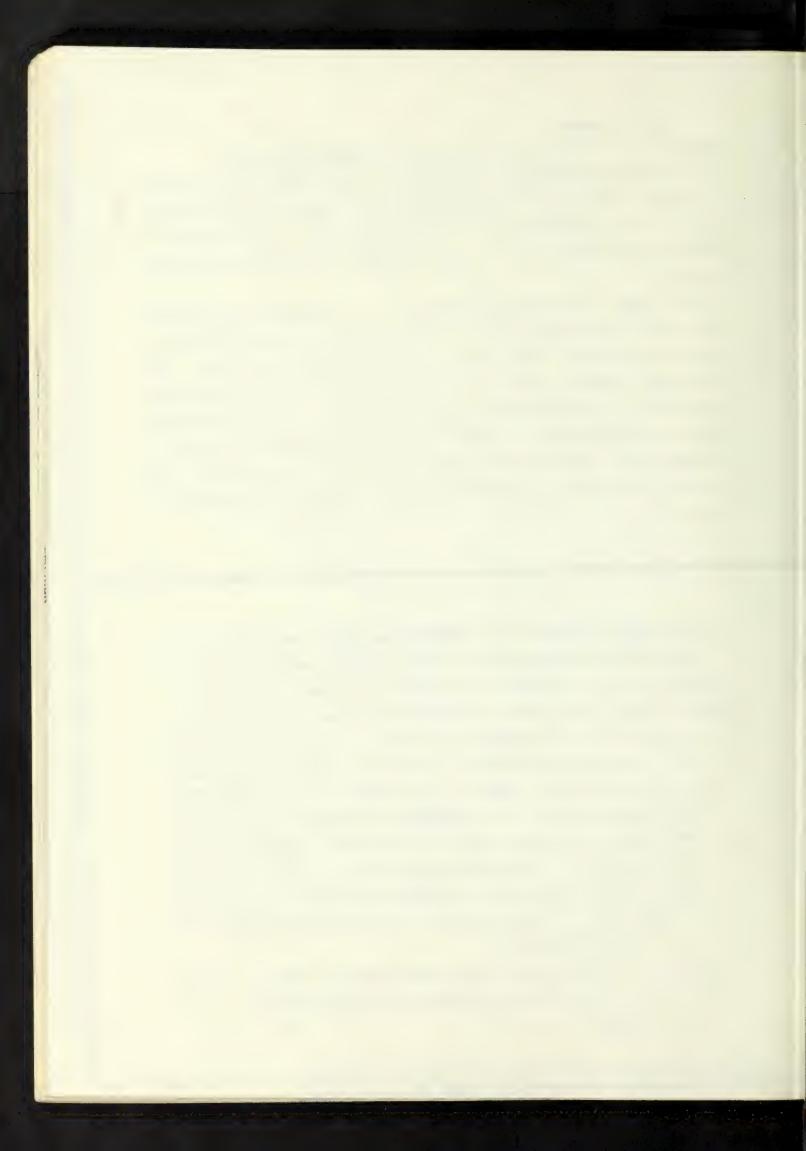
ト壁を同日ノ談ニアラボ、松二渓ニハ雲口ノ河傳見上説テノ取引借習ヲ逃ブルニ北メン。 然日ノ水連、添、所謂卻永期三月下旬ヨリ秋ノ結氷期十一月中旬、問ニ行ハレ、恰カモ陸連ノ監時 、結氷期。苑マリ節氷期。稔ハルト和区セリ、六十石乃至八十石龍ノ槽船又ハ牛砲ハニ三十隻相塗イ テ流ラ下リ、多キ、淡百隻ノ業港ヲ見ルコトアリ、近年南部臨道ノ影響ヲウケ、河上ノ船数佐來ノ一 高数子隻、四五千隻「微談セリトセラルルモ幣口ト沿岸諸市邑ト、古來經濟的開係ノ觀常ナル一朝一 夕一陸セラルベキュアラズ。

一、賈賈 河傳豆、普通營口又沿岸地方ノ商人が四付ケタルモノラ線送シ來ルモノ多ク、營口市街 ノ鶴岸ニ旋泊シ、毎日都陸ニ街岸ニ潜行ケレバ、罷犯ハ各種ヲ訪ヒテ見本ヲ徴集シ、河岸ニ來集スル 程行、油房等ノ外位ト引合と、能え二時間位ニテ結丁シ、真具ノ約成立スレバ直チニ受災ラ丁シ、何 你ノ相場、石建、造爐銀價トナス貯蔵スルモノ、陸揚セシス、光能和スルモノ、辞ニ珍ス、比ノ田迅速 ノ魔能ラナサザレバ、樹夫等、耕目ヲ臨著セン為メ、河水ヲ撒布スルノ炭レアリトス、當日取引ノ出 ボザルモノ、再ビ当岸 1 移り碇泊ス、之と碼頭ノ思難・風向ニョリ県防ノ衝突破損ヲ避クルニアリ、 河傳、長途ノ水運中二、降南其ノ他ノ為メ自ラ鎮分ヲ合ミ又殊二根程ナルタメ故意「微水スルモノ珍 シュラズ、ヨシ故意二撒水セザルモ、多少不敢娘ナルヲ免レザルガ故他ノ大豆二比シ幾分低腺ナルラ 常トナスの

一、福店(曽初官協ニー萬吊文ヲ上約シテ、櫓店開業ノ鑑札(贈票)ヲ受ケ代々株トナレルモノニ **シテ、製物取引高百石ニ對シ、郡金五吊文ラ飾ム、穏店ニハ多数ノ羅紀ヲ使役シ、賈買スルモノハ必** ズ比ノ經紀ノ手ヲ巡ザルベカラズ、掌徴、共ノ下ノ外植数人アリテ非ニ受買ニ從事ス、近ノ外糧店ニハ **概節庶務ヲ扱フ内型アリ、財取スル過斗アク、尚管後、接待ボーイ等アリ、一戸少ナキハニ三十人、多** キハ六七十人ヲ役スルモノアリ、而シテ禮店の賈買ノ命介ヲナシタルトキハ、百石ニ付資主ョリ四十 吊文、買生ョリニ十吊文、外ニ質生ョリ斗量質トシテ十吊文ラ徴ス、斗量ニハ皆清斗ト郷シ斗殺ニ均 ラン式ノ一石ハ三〇二―三〇五斤アリ、郡関ニテハ一石ヲ三原計算トストイフ。(後日本東位之の日源)

一、船店 河流沿岸を頂」船店ナルモノアリ客商ノ依頼ニ應ジテ船舶ノ雇入、貨物ノ線送、場面、 質買ノ紹介、納稅等其ノ他一切ヲ代辨スルヲ業トナス、沿岸ノ宮街ニ出版シ、營業ノ店票(鑑札)ヲウ クルラ聖シ、店票二二種アリ、一、店票ト北二官秤ラ流付セラルルモノ、干二百房ノ税ラ朔ノ、栗面 一個官秤一程」ノ文字アル店頭ラ下附セラレ、質買窓物、自店上次ヶ部量シ、徴稅シテ之ヲ報告 上的スルノ韓権ヲ有スルモノ、一、店頭ノミヲ下附セラルモノニテ八百宿ヲ勃ノ秤甚、地方ノ官秤ヲ 用ルコトトセリ(本質の学杯説局に同出テ百旦)

斯クテ衛店へ河上ノ荷穂が何レノ所有タルヲ問ハス替集ノ手ヲ鉱由セシメ、所管ノ皓ニハ語夫ヲ屋 入レラ流下シ、途中ノ損失、船店ノ責任トチャル、表面ニシラ其ノ實際、他夫ニ嫁スルモノノ如ク、



随う其ノ渥スレノトキハ相當ノ保證人ヲ立テシム、船店、概シテ穀物問屋、輸出入品ノ銀質、依託販 質響ラ業トスルモノ多シの

一、荷土美ノ他ノ負擔 左記百萬石當テノ負擔數日並ニ豊額ヲポシタルモノナレドモ悶養ウシク古 キニ依り唯参考二供スルノ…の

:		+11	i	`	Ø.	***		rice Visit	411	_	€ ₹	標
타		\$2H	载		1	○・○○○ス	· K	8		松		## (0.000
201		亞	200		. 11	H-1100	H	7		寛 / 売金)		O·玉:元
		型 (日			H	O.EOO	4		载 (_{行局難用} 、		⊀•000
	•	(す (損火ラ	、衛月		H	00E.0	ਸੰ	+		级心局難用)		O•ã00
		戸米(一般夫人	(年)	1 1	E-ROO	1	作义:	部 图 :	E CONTRACTOR OF THE CONTRACTOR	1	H•元00
公		(河野野	是 乾)		11	1.400	Ta.	型	短音	(总地主:)		1.400
b-7 (w)		112				1.00K		ī	ing.	(代表刊に)	104	4.KCK
12.6	₹ W \$	新联	1 1 1	た。	額トナ	不造						
	围	П	多		EC	D•000	KE	(±1)	五百本。チョムル)		± €000°
#	I		AND		110	0.000	類			ў Фф:		1.000

2 既 40.000 前 1100.000 アンベラ(下数川、百石三) 14111-000

以上集市併取ニ河偁、取引慣智ノ大要ラ述ベタリ、而シテ此ノ外書道ニ車毎、火車俑、圓佰文、棧仰 **ノ語ヲ耳ニスベシ、車仰・所謂馬車豆ノ間ヒニシテ、集市併ノ項下ニ巳ニ述ベタルガ如ク、生産者自** ラ 書 ジク 、地方 商人 が 馬車 ヲ 駅 リ 集 市 又 、 穏 後 ニ 般 出 ス ル モ ノ ヲ 指 ッ、 火 車 何 、 所 間 貨 車 豆 ノ 謂 ヒ ニ **シテ銀道治線ノ主要市場ニ於ヶ糧後、油房ノ間若シクハ糧後ト老客又特産菌ノ間ニ於ケル取引ニ用ラ** 2、殊二北湖二於テ、剪貝者ノ間一貨車前契約ノモノ多キガ故此ノ語ヲ用ヒラルルコト随テ多シ、大 **4 国研文、後毎ト・糧核义・油房ノ院内ニ同群ミセル大豆ノ謂ヒニシテ街キ糧梭、油房間ノ産取引ニー**

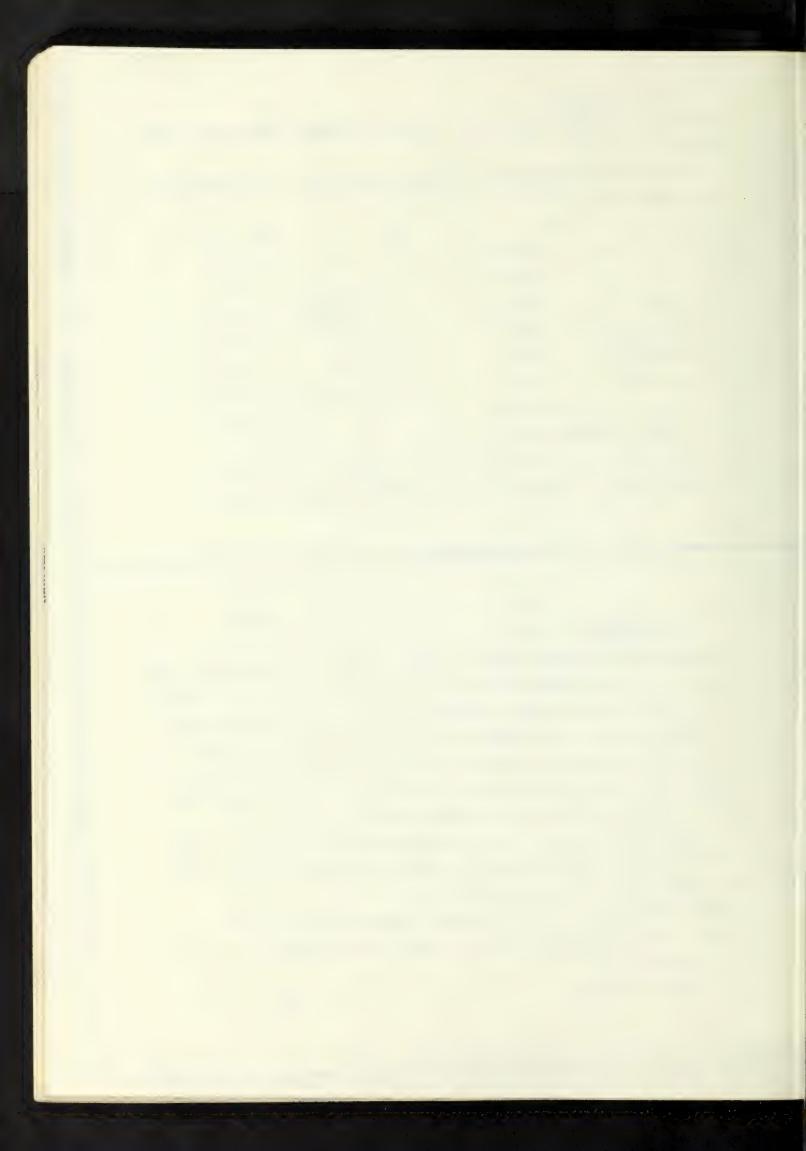
供セラレ、鐡道治線ノ主要市場ニ於テハ往々先物取引ニ供用セラルルコトアリ。

借う現物取引二就テハ是レニテ止メ、之レヨリ先物取引二就テ少シク逃ブル所アラントス、元本商 洲ニがケル大豆取引ニハ現物取引最生普通ニ行ハレ、先物ノ取引ハ比較的少ナキハ墓ニ陳ブルガ如シ、 **粛領ノ先物取引、左ノ二種ニ區別スルコトヲ得ベシ。**

批賢は、賈钊問者和約シ、一定ノ價格ヲ以テ或期日ニ一定益ノ現品ノ受護ヲ行ヲ取引。 期、湿、質買所靠カ、價格、數量ヲ相約シナガラ、現品ノ受渡ヲナサズ標準相場ニョリテ其ノ耄領

ノミノ受彼ヲ行フ取引。

苏三篇 精洲大豆程序事情

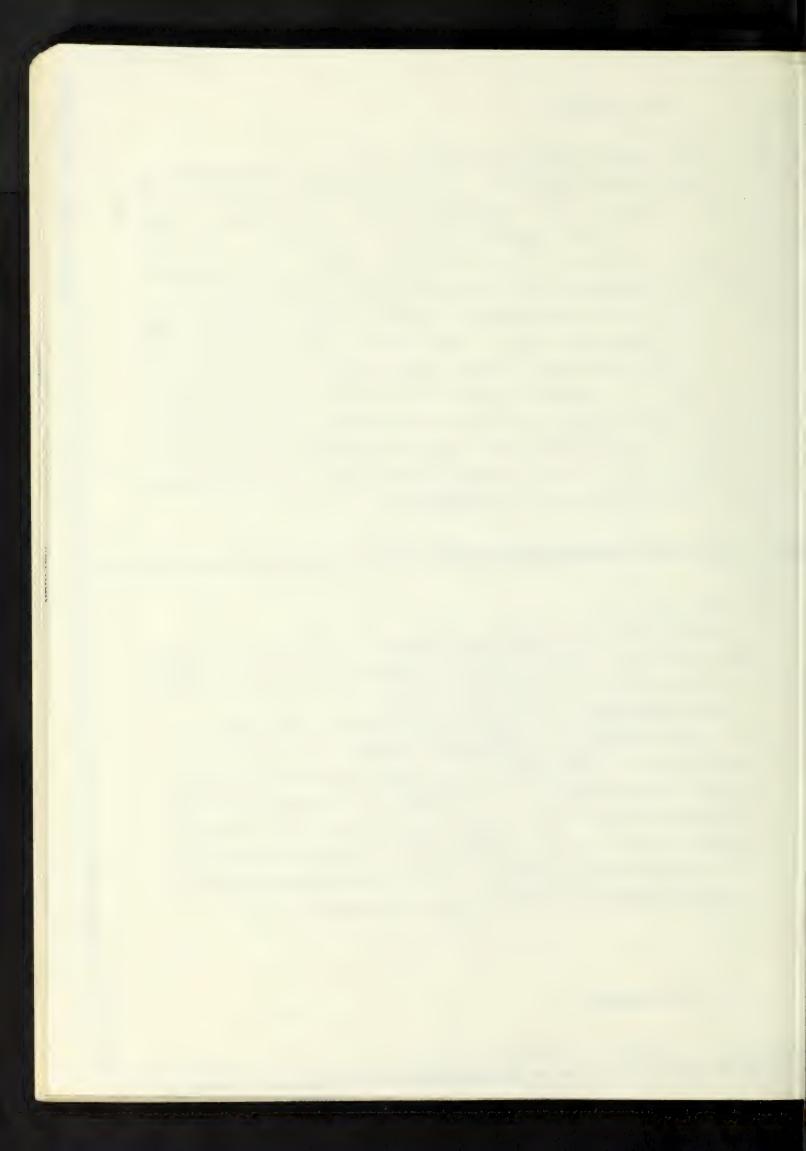


三批时四日

四、邦區

一起リシモ流レラ突ニ至レルモノノ如シ、今共ノ大雲ラ記カントス。 場ニョリテ武ノ差領ノミノ受護ラ行フ取引ラ指シ、殆ンド空買買ニ均シキモノナルガ、元、現例受賞期福ト、既エ述ベタルガ如ク、質買雨者が倒裕、敷品ラ相約シナガラ現品ノ受護ラナサズ、標準相

常ニ苦情百出、忍と難キモノアリ、官窟途ヒニ之ヲ禁止シ、今ヶ及然之ヲ行ノモノナシ。マル、即于純然タル投稿業ニシテ何等世金ノ件、ザルノミナラス徒ラニ世ノ投稿心ヲ獨動シ又取引上却、福市ニョリテ一定シ、此ノ朝日ノ福準相切ニ非キテ計算シ、差額立ヲ決済シテ直以兩者、損益定告、買得我佔ヲ互ヒニ交階シ、投告、又称々質買セラルモノアリ、之ヲ然ズル也方ョリ即類即テ決済ケ取引シテ口錠ヲ得、立合時間地方ニョリ一定セリ買買交為成立スレバ組合侵落ニ記スサレ、資電式四十、二決済、所謂即期ニ限ルコト、三卯期標準相場ニヨル差額ノミノ決済ナルコトノ三盟ニアリ、却組予批買買同樣先物取引ナレドモ彼此相異ナル要點へ、期禮ニ於テ、一代会ノ前被絕對ニ之ナキ



((室 鑑))

一斗量 南流銀道各附屬地三於ケル支那桝一斗ノ大豆3日支戶畳二換算スレパ左ノ如シ。

					- 1 / 1 mm 1		11.1.2	1 , 400	イイロンセツ。
		型	支那秤	日本秤	170	E	=======================================	支那秤	日本秤
当	-	占	EO	. 111.15 庄	驗		海) IIIO	# N = -
瓦	E.	语	E0	11/40	噩		選	nia	
相		*	IIIK	tuto	=1		運		111 1
烂		以	1014	1111	生べ	優	<u>+</u>	n/i<	11114
樹		===	IIIO	1140				EO	HI
14	派	臣	1111 1		旦	计	筢	ដ	IIIK
瓡	* 1.*	豐		114	₩ <u>₩</u>	溪	扫	四川	lılı<•ld
##			hini	।।द	核	44	ijā.	四川	III/ < •}4
गाय'		K	1145	114	ग्रापृत्		春	11148	1 ≮ + 4

リー斗ニ付二斤以上ノ差アルモノアりって子ニカニアの「百斤、吾が九十斤乃至九十三斤年ナリ又大豆、其ノ地方ノ普通品ヲ標準トセルモ其ノ良否ニョ備考 支那斤トアル、該地方ニテ使用スル秤ヲ以テ秤塩セルモノニシテ地方ニョリ差異アレドモ其

本則ナリシガ如キモ、現今備洲ニアリテハ次ノ二種ノ計算法ラ用フ。二、削銭ト吊文 削銭計算ハ文、成、吊ノ稱ヲ用ヒ、十文ラ一成、百成ラ一吊トスルハ支那古來ノ

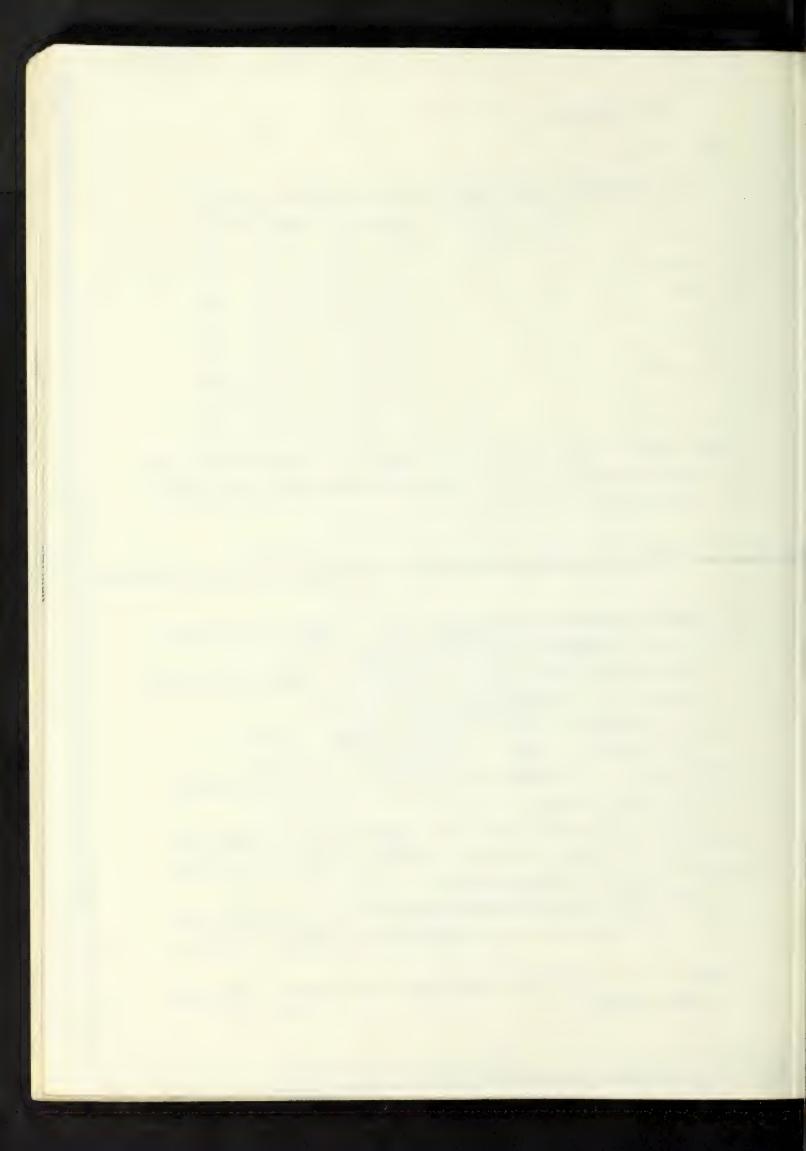
セラレ、端数ラ生シタルトキ、四格五人と處理ス、質例ヲ示セパ左ノ如シの(其一)削錢百六十箇ヲ以テ一吊トスルモノ―主トシテ恭天省ニ行ハレ、削錢一箇ハ六文二五ト計算

「百六十四箇ラ一吊文トスルガ如シ。大體右ノ標準ニョルモノナレドモ同省ニテモ地方ニョリ一定セザルガ如ク、例へ、舊奉天府内ニテ大體右ノ標準ニョルモノナレドモ同省ニテモ地方ニョリ一定セザルガ如ク、例へ、舊奉天府内ニテ

窗ノ多少アルガ如ク、長赤、四百九十四箇ヲ一吊交トをり。、制銭一箇、二文ニ當ルヲ以テ十交、五箇トナルペシ、之亦地方ニョリテ同一ナラズ一吊文ニ付三四(其二)削銭五、箇ヲ以テ一吊文トスルモノ、十主トシテ吉林省ニ於テ行ハル、此ノ計算ニョルトキ

とりり見ルノミ、茲ニ之ヲ 詳説スルノ 眼ナシト雖、兩者ノみ類等級拉ニ其ノ標準ヲ逾ペテ参考ニ供スペラ見ルノミ、茲ニ之ヲ 詳説スルノ 眼ナシト雖、兩者ノみ類等級拉ニ其ノ標準ヲ逾ペテ参考ニ供スペニニ、大豆檢査ノ質例 舌が邪ニ於テ大豆檢查事業ヲ粗糠的ニ質行スルモノハ北海道及朝鮮ニ於テ之

第三篇 諸州大豆經濟事情 北海道||特等、一等、二等、三等、四等、五等ノ六階級トン特等、「俵裝完全ニシテ規定ノ容量重



ĸο

庭 良) 交クモノ 答答 三 次クモノ一等二 噿 十 公 頂みノニナ 以内ノモノ百分ノナ 떒 百分ノモノ百分ノ三十 運 区内ノモノ百分ノニ 以内ノモノ百分ノ三 以内グルン 夾雑物

等級 1 辦 - 11 湖 一川 嶽 項目 盟

但シ此ノ外包装、容量ヲ規定スレドモ於変省略ス

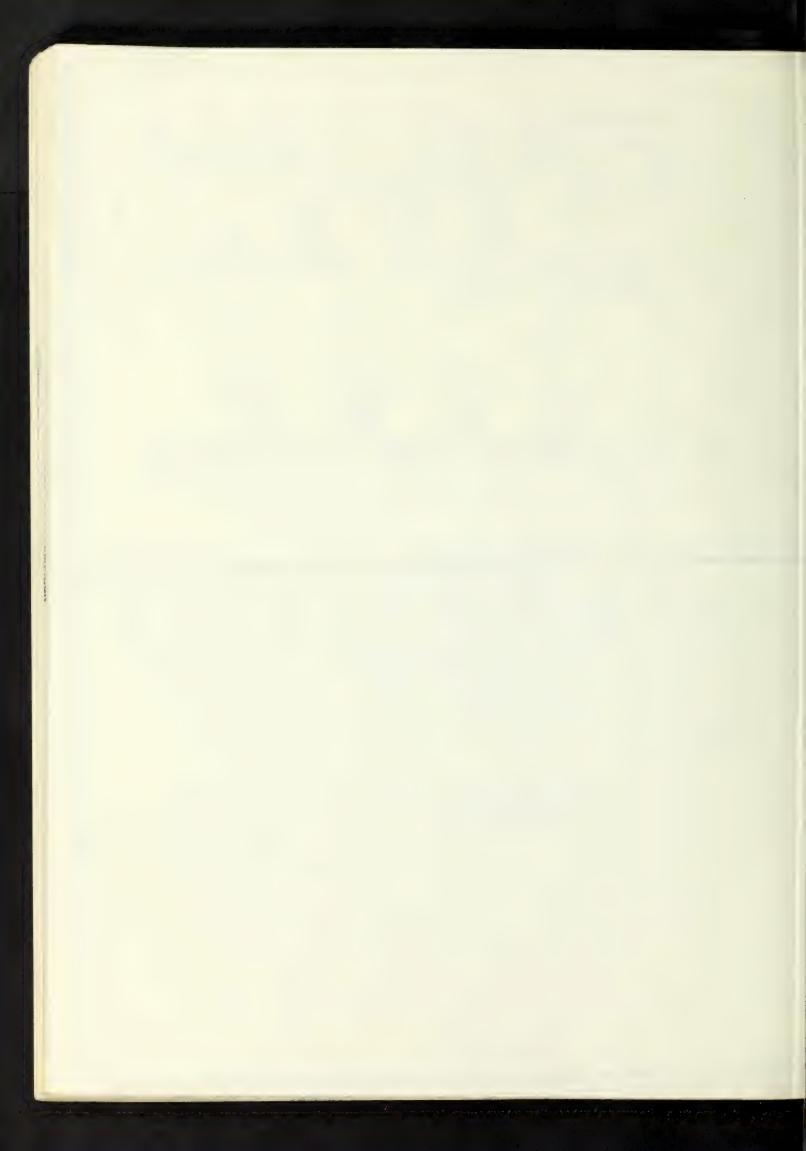
朝鮮=韓出、移出夫ニ檢査ヲ施シ、官ノ指定地ニ於テ行ハレ、檢査ノ項目、標準、等殺左ノ如シ、

備考 品質トハ粒ノ大小、粒揃、色澤、外皮ノ厚薄蟲喰等ニョリ、乾燥ノ程度、標準大豆ヲ以テ決

乾燥— 1100 品質—mo 包添-10 麗默--110 形狀-10 华龄-100 1 # -- RO 11年一大0 11137-40 四等一ko

標準品資定會二次ラ決定スルモノナルガ、共ノ際ノ採點法、左ノ如シ。

显っ適シ、品質、色澤、形狀、乾燥、調型善良ナルモノ」トシ、以下ノ等級品、倭裝、容量、重量 、特等級同様トシテ夫ノ他、箱々劣ルニ陸ヒテ低下スルモノトセリ、毎年各地ヨリ新物ラ徴集シ、



大豆混合保管條件

第一條 受容及出庫ノ取扱、別二定ムル驛所二限リ之ラ為ス

第二條 當記者、當記申込ノ際出席縣所ヲ指定スルコトヲ要ス

出庫解所ノ指定へ之ヲ變更スルコトヲ得ス

口総絲及口総方法、別二定ムル標準以上タルコトラ翌ス第三條 品質及実人包裝廳袋、合意所定ノ大豆実人他檢查規則二載ル檢查「合治シタルモノ二限ル

ス郎四條 衛託者ハ一袋毎二番記者名及改裝ノ牟月日ヲ記職シタル會班所定ノ診累ヲ指入スルコトヲ要

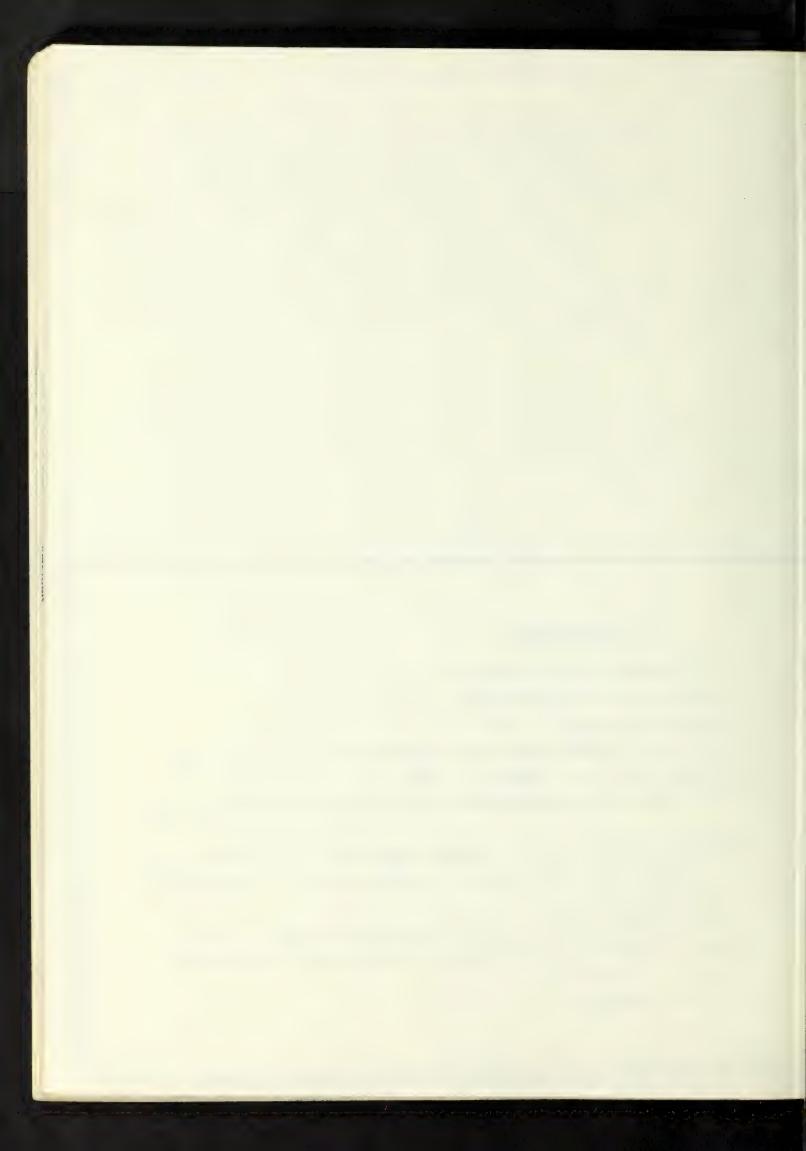
管大豆ノ受容ヲ停止スルコトアルヘシ合一が、写容ヲ停止スルコトアルヘシ合っが、答託者ノ故意又、重大ナル過失ニ因ルモノト會社ニが、認メタルトキハ一定ノ期間混合保窮五條 前條ノ證票カ布入セラレサルカ又、不良品書、交雑的カ混入セラレタルコトラ設見シタル場

第六條 保管、生産年度ヲ第ニスルモノ毎ニ區別シ出席、受託物ト国一年度生産ノモノニ付之ヲ行フ

第七條 入庫ノ際核金二件スへき袋敷い客託総数ノ約一割トス此ノ場合三於ヶ紅替妻ノ他特ニ平数ラ

要シタルトキハ北ノ我用ラ申受ク

附 餘 大豆混合保管规则



比り限り 1 在ラスノ混入り 5 カス 2 カボハ 1 百二十数ノ重量四萬五千四百四十斤以上ヲ有スル場合ニ於テハ益ニ付テハ三十数ノ重量四千二百六十斤以上(此ノ內六袋迄百四十一斤以上百四十二斤未滿ノモノ第八條 一日ノ袋敷ハ三百二十数トッ各袋、風袋共百四十二斤以上ノ重量ヲ有スルコトヲ要ス但シ重

荷銀」付テい三十類フーロノ重塩ト看做ス

發素子敷料合算領ト同領ノ料金ヲ申受ケ會直ノ都合ニ依リ臨時之ヲ為ス第九條 受容解所ト毘凡解所ト男ナル場合ニ於テハ北ノ兩驛所問ノ荷線ハ當該兩驛所問ノ破道運宜及

前項ノ荷線「付テ、會社の道道発規定」依が

第十條 會社 ハ保管中庫内保管ト同一ノ莨ュ圧ス

損害ノ闘査完了セサル問ニ貨物ノ出庫ヲ請求セラレタル場合ニ於テハ相當ノ擔保ヲ提供セシメ又ハ現品ヲ以テ割當テ難キトキハ會社ニ於テ適宜處分ノ上之ヲ割當ッルモノトス前項ノ損害ヲ受ケタル貨物ハ會社ノ認ムル所ニ依リ答託者又ハ證券所持人ニ割當ツルモノトス但シス、預證券若、倉荷證券 (級トロロ/mm)所持人ニ於テ其ノ持分ニ按分シテ之ヲ負擔スルモノトス任任者不明ナルモノハ其ノ損害カ發見セラレタル當時ノ同一生産年度ニ屆スル總混合保管大豆答託者第十一條 保管中(第九條ノ荷線中ヲ含ム)發生シタル會証ノ置メニ歸スヘカラサル損害ニシテ其ノ責

入セシムへシ之ヲ提供セシメスシテ一應貨物ノ引渡ヲ為シ調査完了次第會社ノ指示スル所ニ依リ損害み擔領ヲ納

「代り実ノ権利ヲ行使スルモノトス テ其ノ損害ガ発見セラレタが當時ノ同一生産年度」届スル嶽混合保管大豆ノ客託者又ハ龍祭所持人第十二條 保管中(第九條ノ前線中ヲ含ム)發生シタル損害ニシテ其ノ責任者明白ナルモノハ會社ニ於

用ス前項ノ権利行使ニ閖シテ生シタル費用又、権利行使ニ約ラス生シタル損害ニ付テ、前族ノ規定ヲ準前項ノ権利行使ニ閖シテ生シタル費用又、権利行使ニ約ラス生シタル損害ニ付テ、前族ノ規定ヲ準

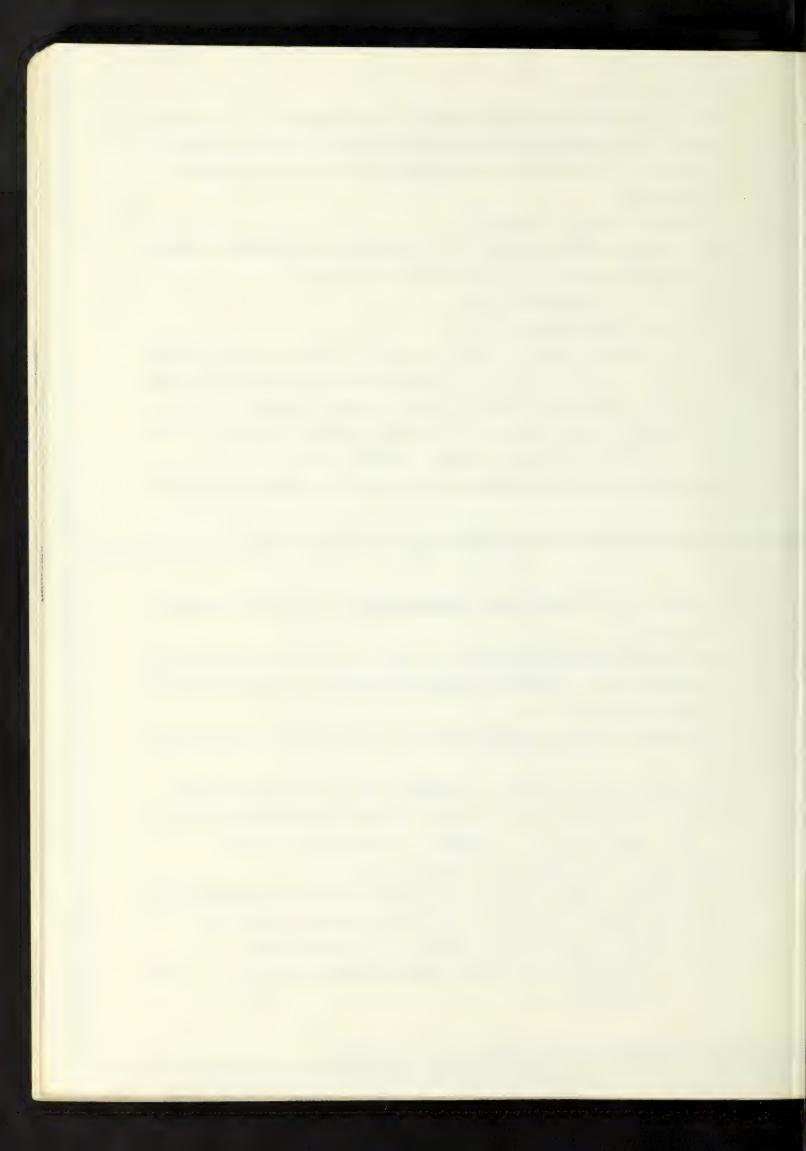
第十三條 第十一條第二項二低リ創當テラレクル被告貨物ハ通漕ナク其ノ出庫ラ為スコトラ要ス

トキ同一ナル場合ニ於テハ何時ニテモ指定出庫驛所ニ對シ出庫ノ請求ヲ為スコトヲ得第十四條 受容驛所ト出庫驛所ト第ナル場合ニ於テハ貨物預書义ハ證券ノ發行後十日間ヲ經過シタル

前項前段ノ場合ニ状テモ共有開係、受害ト同時ニ發生スルモソトス

前項一場合ニだテハ倉敷料、受害ノ當初ヨリ普通類タリシモノト看做シ之ヲ計算ス・・3萬ゝ得ル、會社ヵ同縣ニ於テ之ニ該當スル在庫品ヲ有シ直ニ返還ヲ為ゝ得火場合ニ限ル第十五條 受容疑所ト出庫禪所ト男ナル場合ニ於テ出庫謀所ノ指定ヲ取指シ受容疑ニ於テ出庫ノ請求

第十六條 天災時變其ノ他已ムコトヲ得サル事由ノ為第九餘ノ皆緩ヲ為スコト能ハサルトキハ一時出



唯ヲ停止スルコトアルヘシ

前項ノ場合ニ於ラ生シタル損害ニ對シテハ合社の共ノ賞ニ任セス

トラ得ス第十七條 出席手録総アシタルトキハ直ニ引取ヲ為スコトラ変シ以後發送預又ハ普通預ニ變更スルコ

保管期間部了後、正部スルコトラ得ス

前二項ノ規程、第十五條第一項ノ場合ニハ之ヲ適用セス

トラ得第十八條、答託者又、證券所持人、出庫ノ際所定ノ平數料ヲ支糖ヒ品質又、心量ノ檢査ヲ請求スルコ

前項ノ子數料、會社ノ査ニ語スへキ變質又、減量アリタル場合ニ於テハ之ヲ返還スヘジ

第一項ノ場合ニがケル檢查ニ付異議ノ中出アリタルトキハ別ニ定ムル所ノ會社及關係同業組合ノ選

定スル特別委員之ヲ決定ス

託者又、證券所持入ノ反證アル迄、受寄物ノ性質上減量シタルモノト推定スッラハ千分ノ十五又前年生産ノモノ、四月一日以降出席ノみニ對シテ干分ノ二十五以内ノ減量、寄第十九條 會証、各袋ノ重量ニ件ラ責任ヲ負フ但シ毎年生産期ノ始ヨリ翌年三月末迄ニ出庫ノみニ對

第二十條 會証、出庫ノ際等級、異リタル麻袋ノ引渡う為スコトラ得

第二十一條 第九條ノ前線料、出庫ノ際之ヲ支糖フコトヲ得前項ノ場合ニ於テハ別ニ定Aル所二依;格差相當ノ金額ヲ受授スルモノトス

大豆混合保管取扱手鐵

除一海 皮 附

記入セシムへと第一條 大豆混合保管(別作用「混合、)ノ申込アリタルトキハ答託申込書條約事項棚「「混合保管」変記」。

第二條 一答託申込管上ノ欽显ハ一ロラ以テ限度トス

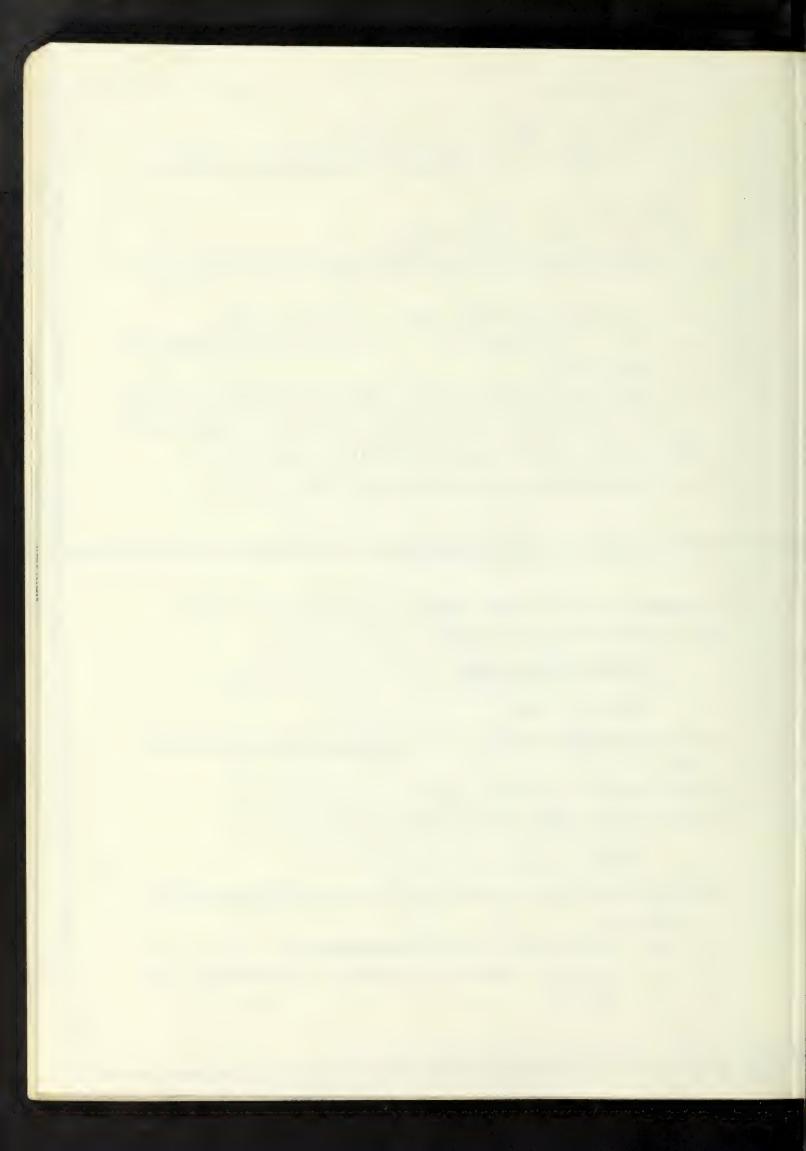
第三條 受附ノ番號(一般受労物ト區別と受附ノ順序:従ヒ之ヲ附スヘシ

房二章 檢 查

共ノ等級ヲ定ムへシ第四條 受告物ノ提供アリクルトキハ檢査人へ別ニ定ムル所ノ梭査規則ニ佐リ先ヶ届套ノ検査フ寫シ

發見シタルトキ、同一等級ノモノト交換セシムへと若と交換セサルトキ、其ノ全部一對シ之ヲ混入第五候 厳窓、一口全部同一等級ノモノヲ提供セシメ檢査ノ際等級ノ累ナルモノノ混入シアルコトア

開 餘 大豆混合保存规则



品中ノ最低級ノモノト看版スヘジ

- 第六條 前二條二依り龐茲ノ檢查鎮等殺ノ決定ヲ終リタルトキハ別二定ムル所ノ檢查規則二依り品質 ノ險宜ヲススンシ
- 第七條 品質ノ檢查、寄託中込一口ノ中少ナクモ三十袋ヲ選出〉各共ノ口縫絲ヲ解キ同轉差ヲ用ヒテ 各袋ョリ一定ノ丹直ヲ所定ノ容器ニ楠出シ檢查ヲ為シ共ノ等級ヲ定ムヘシ
- 第八條 受寄物ノ敬蛮、敬查規則ニ依ルノ外口縫絲及口縫方法ノ適否ヲ檢查シ不適當ト認ムルモノハ 之ヲ交換セシムヘシ
- 第九條 大豆混合保管條件(以下單二條件ト稱ス)第四條二依が證票ヵ 挿入ナキヵ其ノ他條件第五條二 該當スルモノアルトキニー應答託者に警告ヲ與へ直ニ其ノ事由ヲ具シ大連管理局長(大連埠頭事務 所っ於ラ受容ノモノハ同所長)ノ指揮ヲ受クヘシ
- 第十條 本章ノ檢查」合格シタルモノハ其ノ急部ニ對シ各袋毎二別二定ムル所ノ檢查人番號ヲ刻シタ ル左記様式ノ検印ヲ押捺スルモノトス此ノ場合ニ於テ旣ニ押捺シタル不要ノ検印又ハ紛ラハシキ記

跳等、不合格宜ニ對スル檢印ラ代用シテ徴レナク之ヲ抗消スヘシ

聚 数 钟 级 大豆豆質 檢印形狀 新品、苍一等、拉二等 世 辦 떒 0 础

岩田	風			印茶色、	術的、	開発
结	ب	臣臣	\circ	=		

믒

第十一條 第四條及第七條ノ檢查」合格セサルモノニ對シテハ各数毎二左記様式ノ檢印ヲ押捺シテ融 別三便スヘシ

品質不合格 赤色) × 品 麻袋不合格 黑色

第十二條 麻袋及品質ノ檢査ニ合格セザルモノニ對シテハ別ニ定ムル所ニ依り檢查料ヲ申受クヘシ

第十三條 檢查人ノ配置驛及其ノ員數位配置ナキ驛ニ對スル檢查受持驛、別ニ之ラ定ム

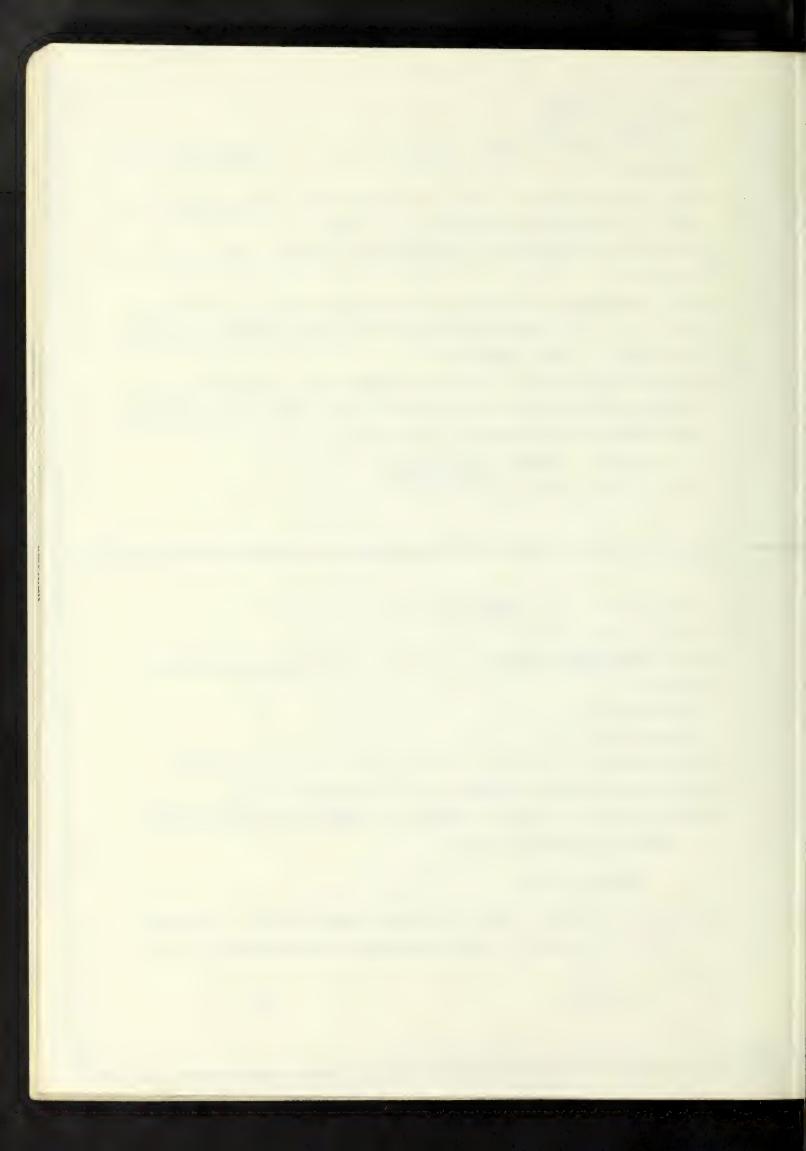
第十四條、検査人ヲ常はセサル驛ニ在リテハ常治驛ト打合ノ上受害物カ相當ノ數量ニ達シタル都度又 ハ一定ノ期間ヲ定メ派出檢査ノ取扱ヲ受クベジ

麗三章 後 星

第十五條 前章ノ椒查手類ヲ終リタル受告物、告託者立會ノ上至都一数年二枚斤スルカ又、受害物中 ョリ随宜三十袋ヲ選出シテ敬斤スヘン後段ノ場合ニ於テ會阻若ハ荷主ニ於テ必要ト認メタルトキハ

組役斤了為スコトラ得

附 餘 大豆混合保管規則



「CKは、前後、内なとのと、同ととして、「これには、自己なる」が、「なった」とは、「はり」道セサルトキ、受害スへカラス

第十六條 前條ノ塘合ニ於ラハ別ニ定ムル所ノ梭斤料フ申受クヘシ

第四章 人 座

康内二收容と雖き場合二限り野莊ト為スコトラ得第十七條 檢查及檢查ノ手續ヲ終リタル受容物、還滯ナクス庫ノ手續ヲ為スヘン但と倉庫充滿ノ為メ

前項ノ場合會進、原内保管ト同一ノ査ニ任スルモノニ付損害防止上韓ニ注意スヘジ

第十八條 受告的、可成品質、生產年度及嚴茲等級ノ同一ノモノ毎二區別保管スヘジ

害防止ニ努ムへと第十九條 保管、荷線ノ張湾ラ抜シ芸ノ長期ニ友ル見込ノモノニ對シラハ保管上特別ノ手配う為シ棋

出庫報告用紙片ヲ指定出庫離所ニ送附ス第二十條 受寄靡所ニ品テ入庫ノ平額終了シタル時、直ニ入庫報告ラ大連管理局營業課ニ入庫通知及

総因體 拖 凚

第二十一條 受客驛所,出原驛所問一荷銀(製工職工物),為又へ本數量及品質二付テハ大連管理局營業

課ノ指定ニ依ルヘシ周一品質ノモノハ可成受労ノ順序ニ從と荷録スヘシ

機報告ヲ大連管理局營業課ニ前線通知ヲ指定出庫驛所ニ現品ト共ニ發送スヘジ第二十二條 交答驛所ニ於テ前條ニ伐リ前線「指定ヲ受ケタルトキハ直ニ其ノ手配ヲ為スト同時ニ荷

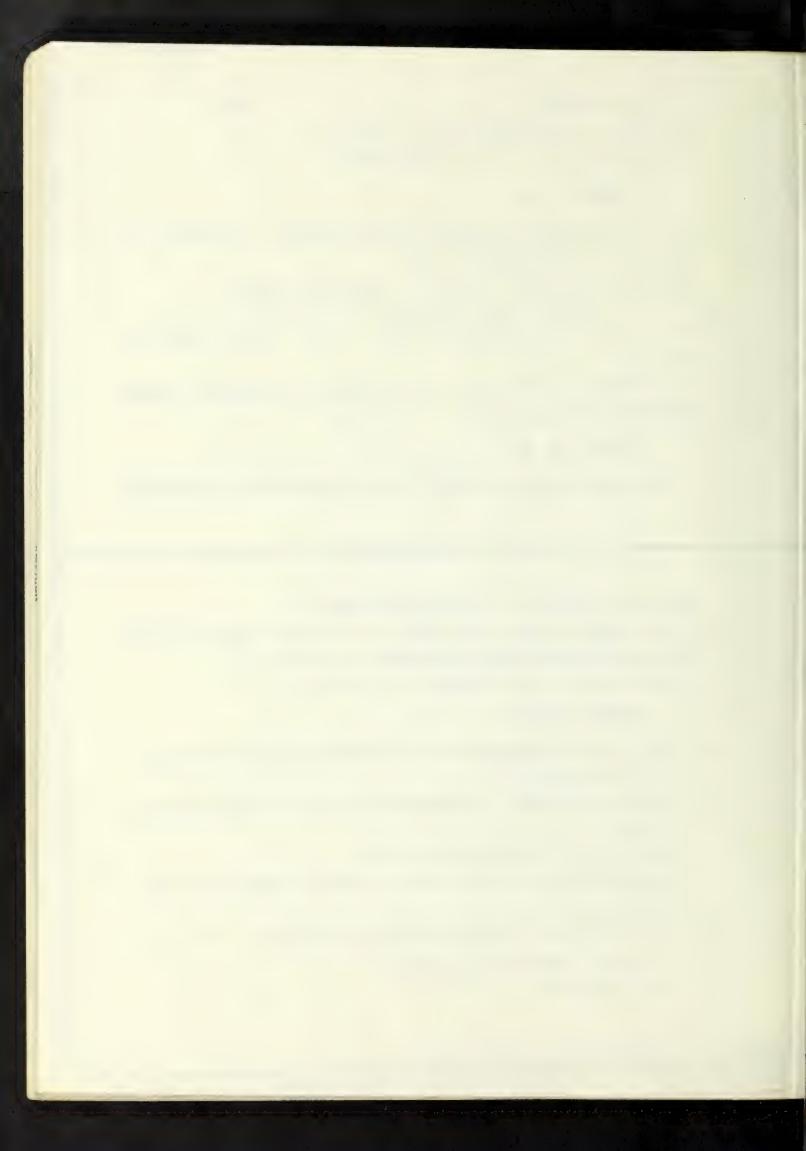
第二十三條 荷銀、本手額二依ルノ外一般貨物ノ手額二準シ取扱フェノトス

第六章 到警告二次ケル受容。

- ルトキっ左ノ各総二仮リ取扱フヘッ第二十四條 受容器以外ノ驛及聯絡戲道線發大豆ニッテ出庫驛所到著後混合保管ニ寄託ノ希望申出ア
 - ス」ト明記セシムへシー、受託中込書文、記送書記事制・「到著後混合保管委託、之力為メニ生スル費用、貨主ノ負務トー、受託中込書文、記送書記事制・「到著後混合保管委託、之力為メニ生スル費用、貨主ノ負務ト
 - 二、前號ノ伐物ニ對シテハ別投手数料ヲ申受ケサルモノトス
 - 之ヲ負債セシムへシ三、指定出庫解所到薪後ノ檢法ニ當リ軍員ノ過不足ニ對スッ補充又、引取及麻袋ノ交換等、貨主ニ
- 第二十五條 前條ノ場合ニ於ケル素體運貨及後落手數料、受寄ノ際之ヲ申受ケナルコトヲ得

第七章 専用支線二於ケル取扱方

明 餘 大豆混合保容规则



第二十六條 専用文線一放テハ受労ノ取扱う為ササルモノトス

(シ 前項)場合二於ラ韭」應二應スルコト能ハサルトキハ別二定ムル所ノ料金ラ印受ケ積扱ノ上廻入スルコトラ得此、場合取削、貨生ノ負擔トシ荷線料中ヨリ一口二付金四開五十銭ノ都戻ラ為スヘシラハ直二叉受容解所以外ノ解發送ノモノ二在リテハ物介ノ上該當貨物ノ到著ラ侍チラ之カ需二應ス第二十七條 指定出庫即所二於ラ専用支線二廻入ノ申込ラ受ケタルトキハ受容解所受労ノモノニアリ

第一項一場合二於子補換ヲ為サスシテ廻ススルトキノ入換料、専用文線規程二依ル

第八章 出 庫

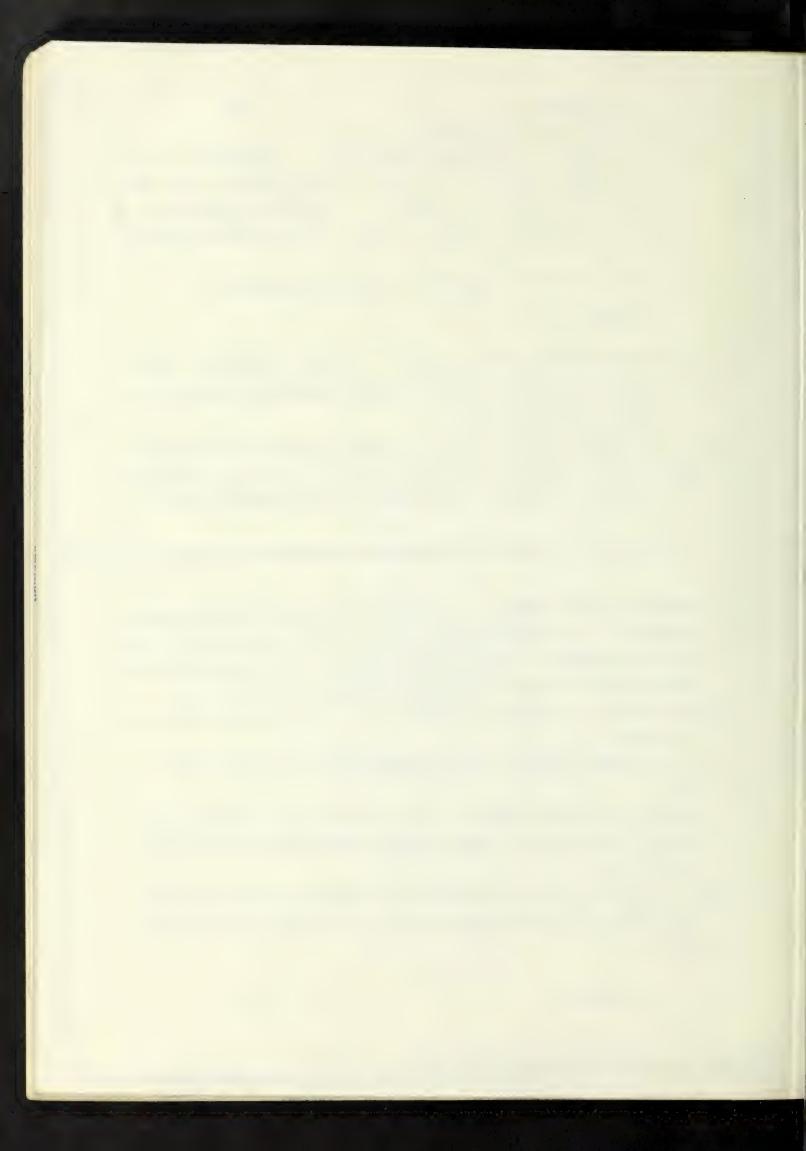
- ルコトラ確認シタル上之ヵ請求ニ隠スへと在りラい直ニ之ヵ請求ニ隠シュノ異ナル場合ニ於ラい諸龍勢發行後所定、期間ヲ經過シタルモノナ第二十八條 指定出庫驛所ニ於テ出庫ノ請求ヲ受ケタルトキハ受答驛所ト出庫驛所ト同一ナル場合ニ
- リラハ其旨ヲ明記シタル上荷線報告ヲ大連管理局營業課ニ荷線通知ヲ指定出庫驛所ニ迄付スヘシ請求ヲ受ヶ之ニ應シタル場合ニ於ケル帳表類ノ整理、普通預貨物ニ準シ取扱ヲ為スヘシ此場合ニ在第二十九條 受容驛所・出庫驛所ト異ナル場合ニ於テ出庫驛所ノ指定ヲ取消シ受容驛所ニ於テ出庫ノ

一放ラ、既二逐付ヲ受ケアル書類ニ「年月日受告驛所」於テ返還濟」ト記入>置クモノトス倣ス」ト明記>關係若類ノミラ大連管理局營業課及指定出庫歸所ニ送付スへ>此場合關係課、驛所出庫報告用紙片ニ「年月日第號貨物受容驛所」於テ返還ニ付本書類ヲ以テ該貨物ニ劉スルモノト看。前項ノ場合ニ於テ受容物ヵ荷機後ナルトキハ次ノ該常貨物ノ荷線ニ劉ッテハス庫荷線報告及通知並

- ノモノヲ引彼スヘシ第三十條 康炎、該當スヘキ在原品ナキトニ限リ等級ノ親ナリタルモノヲ引変シ得ルモ可成同一等級
- ヲ得第三十一條 一部出庫ノ中込ニ劉シテハ船舶程込ノ際敦基開係必要トスルモノニ限リ之ニ應スルコト

際之ヲ変付スヘシ合荷無料ハ其ノ全部ニ對シ最初ノ一部出庫ノ際之ヲ申受ケ混合保管疑嗣金ハ最後ノ殘存貨物出庫ノ合荷無料ハ其ノ全部ニ對シ最初ノ一部出庫ノ際之ヲ申受ケ混合保管疑嗣金ハ最後に物と使用する。前二項ノ場前項ノ場合ニ於ケル殘存貨物、衛外機出ノトキニ於テモ出庫ノ請求ニ應スルコトヲ得、前二項ノ場

数料ヲ申受クヘシ、被益ノ事實ナキカ芥、其ノ變質又、被益力會阻ノ査ニ論スヘカラサル場合ニ於テ、所定ノ檢查干第三十二條 寄託者入、證券所持人力出庫ノ際品質又、數益ノ再檢查ヲ請求シタルトキ、其ノ變質又



第九章 脲炎格差金 / 受授

ヲ為スヘシ 第三十三條 條件第二十條二依り等級ノ異ナル施袋ヲ引渡シタルトキハ別」定ムル所ノ格差金ノ受授

前項ノ場合ニがテハ麻袋格差金原簿ヲを行整理スヘジ

第十章 獎勵金/交付

管験師金領收證ニ受領ノ訟印ヲ求ムヘシ所定ノ緊闘金ヲ変付スペシ許項ノ緊闘金ヲ変付スペシ前項ノ緊闘金ヲ変付スペトキハ寄託者又、罰勢所持人ニ對シ大豆混合保第三十四條 鐡道ニ依ヲ到著セル會赴ノ混合保管大豆ニシテ大道祭口ニ於テ出庫スルモノニ對シテハ

乾) 右大豆混合保管獎勵金交付方ノ件、大正九年十月三十日受省ノモノニ限リ之ヲ廢止ス(社告第百四

第十一章 即极手数料,微吹

第三十五條 白眉大豆、黑豆、青豆、金元豆及白花子以外,大速及營口到著大豆(東荷線略爾質及其

對シラ、所定ノ別扱手数料ヲ運賃ト同時ニ申受クヘシノ以送ノ聯絡辟資ノ大豆及大道又、貸口捺外徴人大豆ヲ除ク)ニシテ混合保管「客託セサルモノニ

前国二依ノ別設平数料ラ中受ケタルトキハ諸料金切得フ發行整理スヘジ

手鎖ヲ**あスヘシ**劉シテハ別扱手数料ヲ申受ケサルモノトス此ノ場合ニ於ヲ現物設ニ係ルモノニ在リテハ之カ額及ノ裁ヲ為サスシラ到等後混合保管ニ容託と放査ニ合格セルモノ及ハ品質ノ檢查ニ合格セサリシモノニ第三十五餘ノ二 受容謀以外ノ聯及聯絡銀盜繳發大豆ニシテ第二十四係ニ依ル到等後混合保管委託手

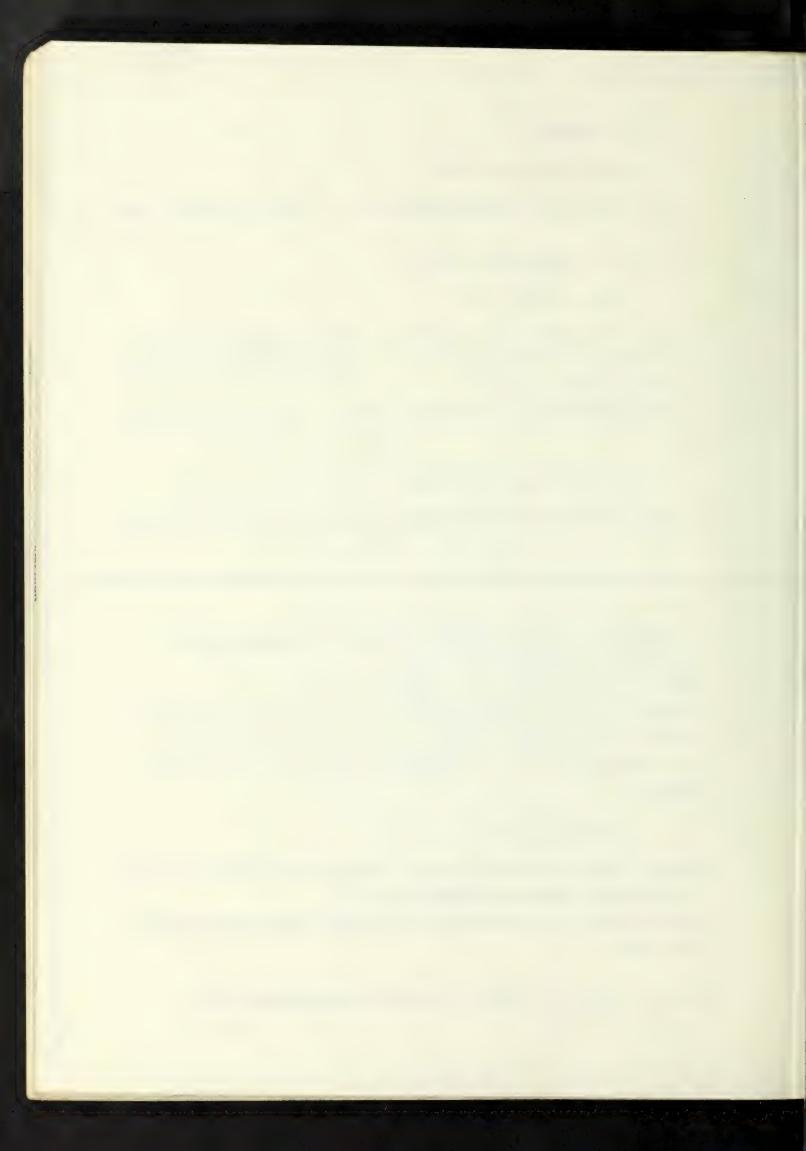
第十二章 號 告

シタル数量及残畜ラ大連管理局登業課及出庫障所ニ電報スヘッ第三十六條 受寄驛所ニ於テ毎日午後六時ヲ期シ當日ノ入庫及荷線並出庫驛ノ指定ノ取消ニ腮シ返還

楽器・報告スヘッな三十七條 出尾摩所・於テハ毎日午後六時ヲ期〉當日ノ荷經到著、出扉数益及殘高ヲ大連管理局營

密 宝

開 住 大豆混合は客長川 第三十八條 本手額二規定セサル事項二闘シテハ倉庫啓業取扱細則竝貨物運送取扱細則二依ル



大豆其人他檢查規則

スル旅炎(劉林畹元)ノ松澄ノ請求ニ聴スルコトアルヘシ第一作 今証、必要ノ祖ニ检查人ヲ留キ大豆、豆油、高粱、包米、小米及豆粕就混合保管大豆二使用

※ 準組合ヨリ立合敬意人ヲ選出メルコトヲ得 は合保守ニ付スへキ火豆及並ノ麻塩ノ敬意ニ付ラ、會社檢查人ノ外告託地及出庫地ニ於ケル關係同

前項ノ立會檢查人、檢查二付會社檢查人、同一ノ責任ヲ有ス

読多數決ニ低リ之ヲ決定シ可否同數ナルトキハ台社檢査人之ヲ決定ス會社檢查人ト立合檢查人トノ問ニ異就アルトキハ會社檢查人告託地及出席地立會徵度人各同數ノ會

第二條、検査人、標準見本、依り検査す行と之、同品質又、同品質以上、モノラ以テ合格トス但シ大第二條、検査人、標準見本、依り検査す行と之、同品質又、同品質以上、モノラ以テ合格トス但シ大

衛所ニ綿へ置クモノトス・トン協立のようとス・トン協会人力一則ト認とルモノヲ貧一等トン支ノ他使用ニ塘へ得がモノヲ貧二等トン之ヲ敬査施行市以付強見本、常みノ内大豆、体學品、普通品ノ二種共ノ他(普通品一種トン麻袋、新品ヲ標準可格下品、摂準普通品以下ニシテ品質ノ摂敗义、炎難物ノ混入ナキモノヲ以テ合格トス

出レクル兄本三仮り之ヲ行フ第三位、依在「侍天」は大「幸食物組改約」割「相當スルモノノ内ョリ前第三條、依在「特別ノ請求アル場合ヲ除キ依在「侍天へも食物組改約」割「相當スルモノノ内ョリ前

麻袋ノ伯佐ニ限り抱数ニ付之ッ行ン

辺印ヲ又麻袋・乳レク、類品(赤色、代一等、香色、代二等、魚色ノ道印ヲ押法スルモノトス一次分・身等品を對レク、四形、普通品・對レク・四角で、格子品・對レク・六角形ノ松奎合格ノ信内体 現合保管を作えへも火災・品別及麻袋ノ松生は計社「合格レクルトキ・別」定とル所二依り前二項ノ出合っ於ヶ根姓人必要トロノクルトキ・解案、改覧、配替又、規替ヲ為サレムルコトヲ得

衛五株 食は、食な、食え、北ノ母果の因うク生レタル相称に對と致任う負フェトナレ

第六体 依在井、位在北の均数在の對し花一部合と以う位在前次人ョラ中受クルモノトス

衛作。な三郎一、見本負出政ノ「別ノ場合「日三十國(混合保管を付えへき大豆を付きへ三百二十数)又へ其ノ未一、見本負出政ノ「別ノ場合「日三十國(混合保管を付えへき大豆を付きへ三百二十数)又、其ノ未

但と基準の一日一年校文の武ノ東部従三金一田

二、見木損用数カ危数ノ「割五分以内ヲ増ス毎三前項ノ三割増

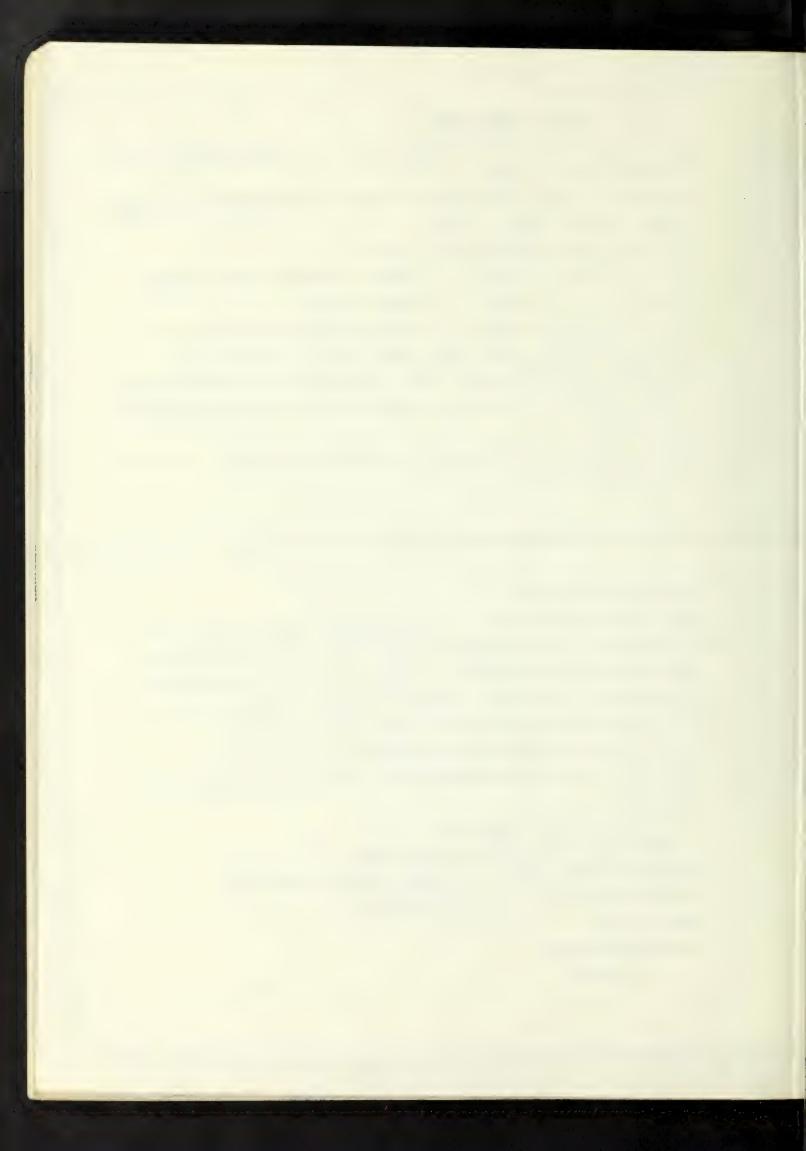
三、沈存保你大江。使用メル旅袋。対レクハーロ(三首二十袋又ハ非ノ未謂母。金一田)

四、沈存保管大豆位产子政科一口三体。「第(三十袋)依斤金三叫

各階級戶 金十四

五、配合保修证和位厅事政科

門 魏 大豆锅介品等的时



124

贯 테 大豆混合保管规则

在部位厅一枚三件金三厘 末作ノ検査料へ混合保管三付スへキ火豆並原復、豆油、豆粕ニシテ検査ニ合格シタルモノニ付き 「常分ノ中之フ中受ケス但シ広島、品質、圧量ノ内一部ノ松荘ニ不合格トナリタル為受害シ得す

が特合い合格セル芬三野と生命ノ位在科フ中受ク

第七條、混合保管大豆出席ノ際三於ケ州檢查子数料・前條ノ二倍+ス

- 第八條、併物得造事数料集ノ他在ノ道リ定ノ位推請求人ヨリ申受クルモノトス
 - 1、 罪疫荷油平數料一級三件企門發
 - 二、配替及辯侍事敗料(別三定々と所三依と)
 - 三、混合保管豆粕荷採料一枚三件金三厘五毛
- (四、混合保管豆粕ノ期間留了後」於ケル特別投料一枚一付金七厘
- 門正、混合保管豆粕不合格品ニ對スル特別投料一枚ニ付金三厘

難 三

就告第九十九號(大正八十一月十一日) 武告第九十八號。依州大豆混合保管受害及田即辟所,在了通指定入

大連集頭事務所及造助、焊益、蘇家电、华天、新發子、鈕茲、問展、昌國、雙顏子、四年任、郭 一交俗邱所

- 炎唐、次王は、出家市、長非二**巻日、**塩原ノ存財

一田山江西

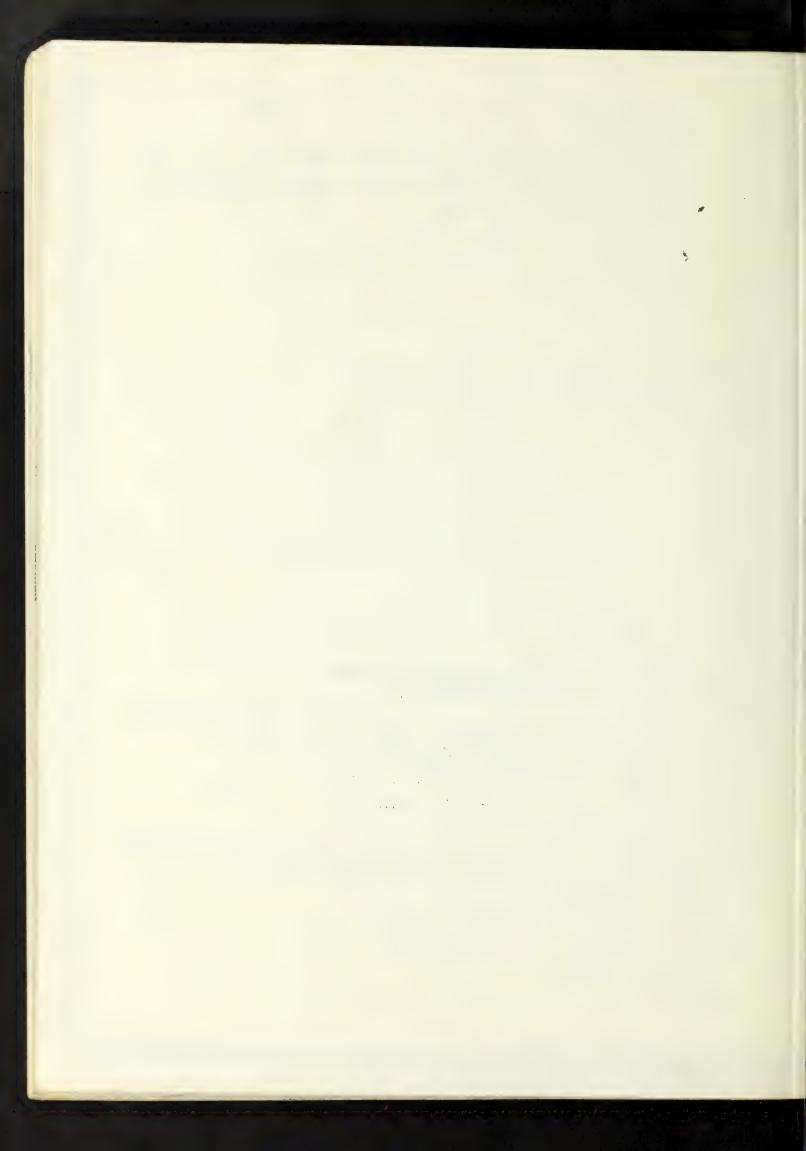
大連臣原事臣所、卷刊

存述所定。大豆混合性性性作品工工性第二項、原次、格定、存述所定。大豆混、他位金規則第二位。 就在你有一些(天工人年十一月十一日)

節録。依り管外ノ自治ノ道之ヲ定よ

一一作一体除於八百品二針之一次二代金 拾 沒在引 二、数三等形式へ同 同 金巻存款は引

就告你九十三號(大正大都大月九日)



えヲ施行ス大正八年十一月社告第百一號混合保管大豆麻袋裕差金ノ件中左ノ通改正シ大正九年度生産ノモノヨリ大正八年十一月社告第百一號混合保管大豆麻袋裕差金ノ件中左ノ通改正シ大正九年度生産ノモノヨリ

- 一 舊一等臟袋、新品三對》一袋二付金 入 錢值引
- 也一替二等脈袋、新品一對シ同金式拾錢低引

祖告第百三十六號(大正八年十一月二十八日)

不合格大豆、此ノ限リニアラスセラレサルモノニ對シラ、別扱手数料トシラー喃ニ付金貳圓ヲ運賃ト同時ニ申受ク但シ混合保管品質とラレサルモノニ對シラ、別扱手数料トシラー喃ニ付金貳圓ヲ運賃ト同時ニ申受ク但シ混合保管品質自用大豆、黒豆、青豆、 金元豆及白花子以外ノ大連及營口到著大豆ニシラ會証ノ大豆混合保管ニ常託

ス大豆=對シティ當分ノ内之ヲ申受ケス前項、的爾貧及共ノ以遠ノ聯絡驛藝大豆及大連又、當口精外機前項ノ別扱平數料、輸出聯絡大豆、東浦線、哈爾賞及共ノ以遠ノ聯絡驛藝大豆及大連又、當口精外被

祖告第行六十九號(火正九年一月十六日)

祖告第百三十九號(火正八年十一月二十九日)大正八年十一月二十九號「金元豆」ノ次ニ油豆ヲ追加シ大正九年一月十七日ョリ之ヲ施行ス大正八年十一月祖告第百三十六號「金元豆」ノ次ニ油豆ヲ追加シ大正九年一月十七日ョリ之ヲ施行ス

混合保管大豆倉庫料金特定率(1口11付)

推	îń.	13	田敷	1]	(本	战 庫庫		411.7		*******	} #
		-	结	Ħ	100 mg	HE		#64		***	
混合保管大豆	同 上 第三十一日ョッ六十日間	41	18/4	\$ #	22	4	包		Ħ	*	
	同 上 犹九十一日ョッ九十日間	4	45	结	200 100				111	- Ada	-

社告第万二十八號(火正八年十一月二十五日)

リ之ヲ遺行ス但シ當外ノ内大連埠頭事務所以外ニ於テハ混合保管大豆ニほり検査スルモノトス大正入年十一月社告第百二號共ノ他依在規則ニ佐ル放在随行箇所ヲ左ノ通定メ大正入年十二月一日ョ

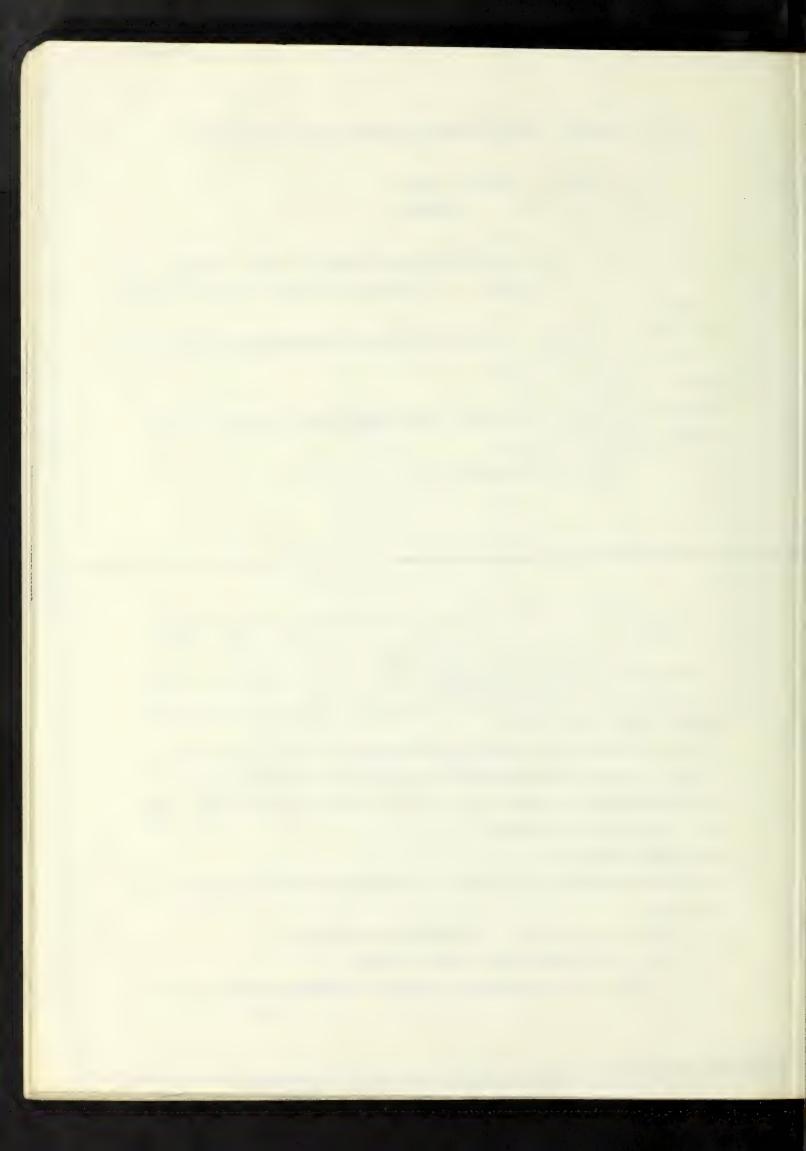
次主部、范宗屯、長春、貧口、無順ノ各際大連埠頭事移所及造陽、煙壺、蘇家屯、奉天、都臺子、鉞嶺、開原、昌國、孽廟子、四平街、郭家店大連埠頭事移所及造陽、煙臺、蘇家屯、奉天、都臺子、鉞嶺、開原、昌國、孽廟子、四平街、郭家店

社告第十四號(大正九年四月十二日)

リ之ヲ施行ス 大正七年度以前生産大豆(舊豆)ニ對ッ左記令項ニ依ッ混合保管ノ取扱ヲ開始シ大正九年四月十五日ョ

- 一 本社告ニ規定セサル事項ニ付ティ一般大豆混合保管ニ閖スル規定ニ佐ル
- 11 受労期間、之ヲ大正九年四月十五日ョリ同年十月十五日迄トス
- 三、品質、普通品ノ一種トン特等品及格下品、之ヲ別扱トス但と特等品、貨主ノ希望アル場合ニ限

3



1811

器 言

、 依在料、修察品及格下品一對シテ、別投上為し除外スルモノ二低り之ヲ申受ケサルモノトス

品ト同一取扱う委託ストト記入セシメラがヘシ、

別扱事數料、等通品ニシラ本取扱ニ答記セサル場合ニノミ之ヲ申受クルモノトス 特等品ニシテ普通品ト国ーノ収扱ラ希望スルモノニ数シテハ等託中込む特約事項間ニ「普通

イ 取扱上ノ信捷ヲ闘ル為韓等品及格下品ハ之ニ別扱トシ別投事数料ハ之ヲ申受ケサルコトトセ リ文母等品ニシテ佐生ノ希望アルトキハ普通品ト同一ノ取扱う為スコトトセルハ佐生ノ利便ラ 問か趣匠ニ外ナラス

一品質、管道品ノ一種三段定シタルコト

木日龍告第十四號。依り大正七年度以前生産ノ大豆(哲豆)混合保管収扱方定メラレタルカ右、目下収 地三次ケル街豆ノ在荷多岳アリ是等、背別扱トナル為自然輸送強滯と真主ノ背箱のカラサルモノニ盤 "北ノ級和軍トシラ制定ラ兄タル次第ナリ、<</p>
び立当到スル取扱方
大部一般大豆混合保管
同スル 定ニ須はスルモノナルカ取扱上二三ノ制限アリ注意ヲ要スへキ語ヲ最クレハ左ノ如び

管立品合保管収扱開始二畝子

大道典则耶診所及於口譯

は経営部

一致辞职所 大連埠頭耶部所及及主衛、范家屯、長非、然日

徒告第十五號(火正为非四月十二日)

ス 火正八年十一月社告第百號大豆混合保管疑問金、之ヲ交付セサルモノトス

係告第十四號。依々大正七年度以前生産大豆混合保管受容及出庫器所ヲ左ノ通指定ス

七 品質原炎ノ檢查試許供」合称シタルモノニ對シ押捺スへキ数印载式、左ノ道トス

30 日音 8]

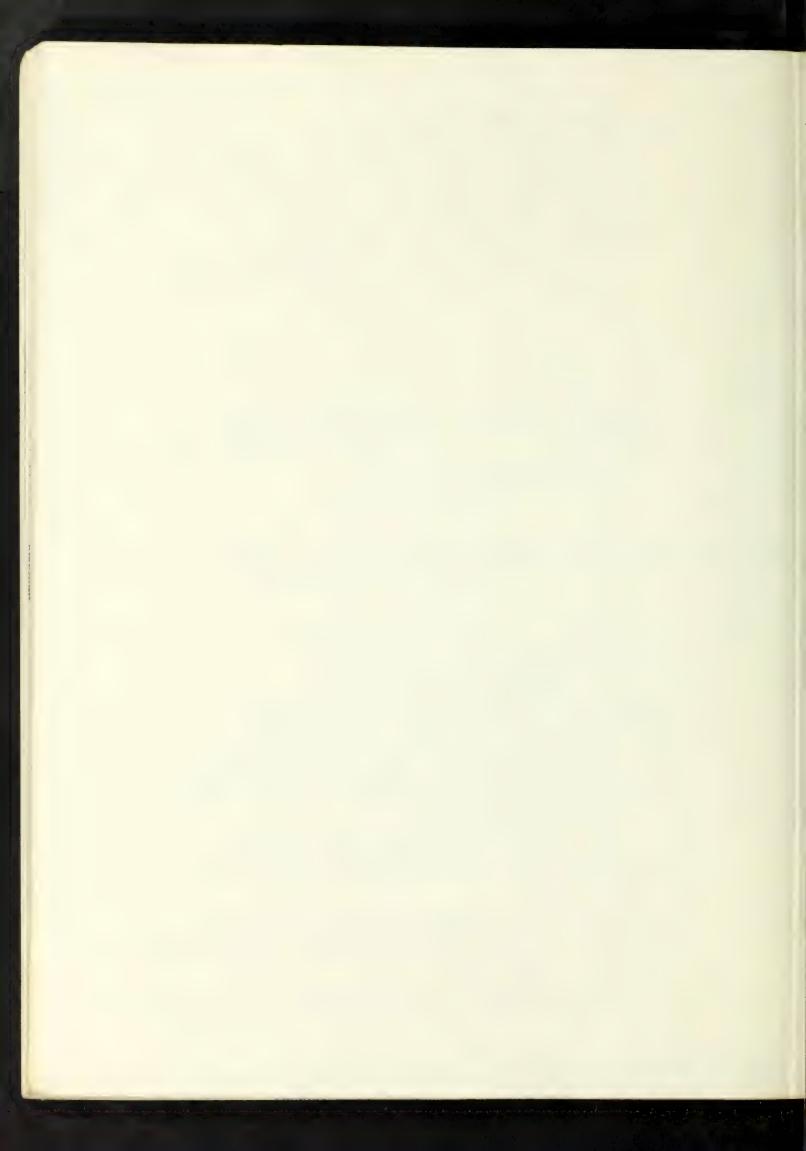
所数等数 设印形联 の数型の影響

五、肺炎、新品、苔品ノ二種トレ第一等、新二等ラ以子番品トス 六、前項距炎ノ格差、者品、新品・對品一数三付金珍拾錢值引下ス

四、牧我ノ結果侍嫁品又、格下品トナリタルモノニ對シテ、大五法ノ他検定規則第六條第一項第二 跳ノ協強料ラ印受ケサルモノトス

り管道品ト同一ノ取扱ラ為スコトヲ得 前班ノ即扱ニ野シテ、別扱事数料、之ヲ申受ケス

I HO



但シ門翁仏在科及仏庁平敷料政師教室、紋庁ノ内一部ノ位在ニ不合格トナリタル為交寄を得す ル場合、松花科欲収害。付き、一般、場合。同》(証告第十四號第二第三項及火正入年十一月 **庫告第百三十六號別找字数料・開スル規定数大豆まノ他な在規則第六條参照)**

- 二、施袋、新品質品ノ二種三股定シタルコト 是亦取扱上ノ前便ヲ問ノ趣冒ニシテ新品ト哲品トノ格差ヲ金差拾銭ト定メタリ
- 三、松雀及計量「合格シタルモノ」對シ押捺スへき松即ハ一般ノ場合ハ色三佐り靡穀等級ヲ臨別と ルモノヲ烈ニ仮り同別スルコトトセリ此、新豆ト竹豆トノ識別二便スル為ナリ
- 四 保管へ部立ト国別スヘキモノトス
- 五 既即金、之ヲ交付セサルコトトセリ
- 六、前部立、取引所三於ケル定期取引ノ目的二供セス型ニ現物取引ノミニ限ルコトニナリ居レリ 就性第百二十二號(火正九年十月十五日)

大正人年十一月龍告第百三十六號批合保管大豆以外ノ大豆「對スル別找不數料、作中「一順」付金成 四」ラ「一車扱一頭」付金五四、小口投百斤」付金数拾数額」」改ノ大正九年十一月一日ヨリ之ヲ施行ス

火豆別扱手敷料改正三酰チ

(配告第十四院郭四郎五项及大豆混合保守條件第二十條卷照)

本自在告節百二十二號二依り混合保管大豆以外ノ大豆二對スル別投字数料ラ改正セラレタリ元次本字 飲料例定、題目、之二因テ大豆混合保管制度、普及發送ヲ促進セシムルニアリタルモ之ヲ客年十二月 該前民門始以家ノ政統二就スルニ本事數料過述ノ結果別扱ニ託送セラルルモノ相當二多ク經テ大豆取 引ノ明治ヲ阻害スル成アルニ依リ一般真主ノ希望モアリ合社ニ於テモ亦混合保管制度ノ選用上述ノ必 要うは人盗ったり改正う見ルニ至りタル水館ナリ

大豆混合保管取扱手鎖中左ノ道改正シ大正九年十月二十日ョリ之ヲ雄行ス

第十條中数印線式ラ左ノ如ク改ム

رد	国品	Unand					
7	174 75	E	为五八年成 大平极 印 形	长	基	袋 龄	設
				用品品工力车项	海温	海上時	を二巻
417	\$7	뎚	0	©)	,		
岩田	烟	28			赤色	海到	Proceedings
特	je-	pro dina hos proj hos proj	0		13-42-540	मृह्य द्या	票句
12119	A 1.1						

◇印鑑式、大正人牟茂産品用、大正十年度産品用ニ大正九牟茂産品用、大正十一年度産品用ニ之ヲ欧 用シ部後一衛非領三部張スルモノトス

P.154 MISSING FROM THE ORIGINAL ARL Chinese Center

大豆混合保管條件第十四條但當二依从出原了請求日時就出席數益ヲ左ノ道定ノ大正九年十一月一日ョ

社告第百二十八號(火正九年十月二十六日)

谷 閱 店、 安 東

大正人年十一月社告郎九十九郎混合保管大豆、受容及出軍師所中左ノ道改正シ大正九年十一月一日ョ 出印即所三左ノ如ク加フ

社告第百二十七號(大正九年十月二十六日)

第二十二次等門接入課以子行入シイラサル直衛及馬三後入数次及第入該ノ西班子有七十七倉不合榜上為りました前の正治十分之子都

但シ有能と於予必要と認みルトキハ出版ノ請求日時は近ノ出所致然及近人他ノ制限予問ストマトアルへジ 第十五於第一項宋尼三左ノ但片子加フ 但シ際袋三付子、第二十姓人規定ノ道用予約ケス

第十四條第一項三左,如ヶ加フ

昭入族他が中「ナ省スルカ者の三百二十数」ノ下三「全殺人以怨共百囚十一戶以上タルコトナガス)」予加フ

同一年政定治ノモノス依代人機治見水子翼ニスル場合ト述之五保管以出床子監別セス

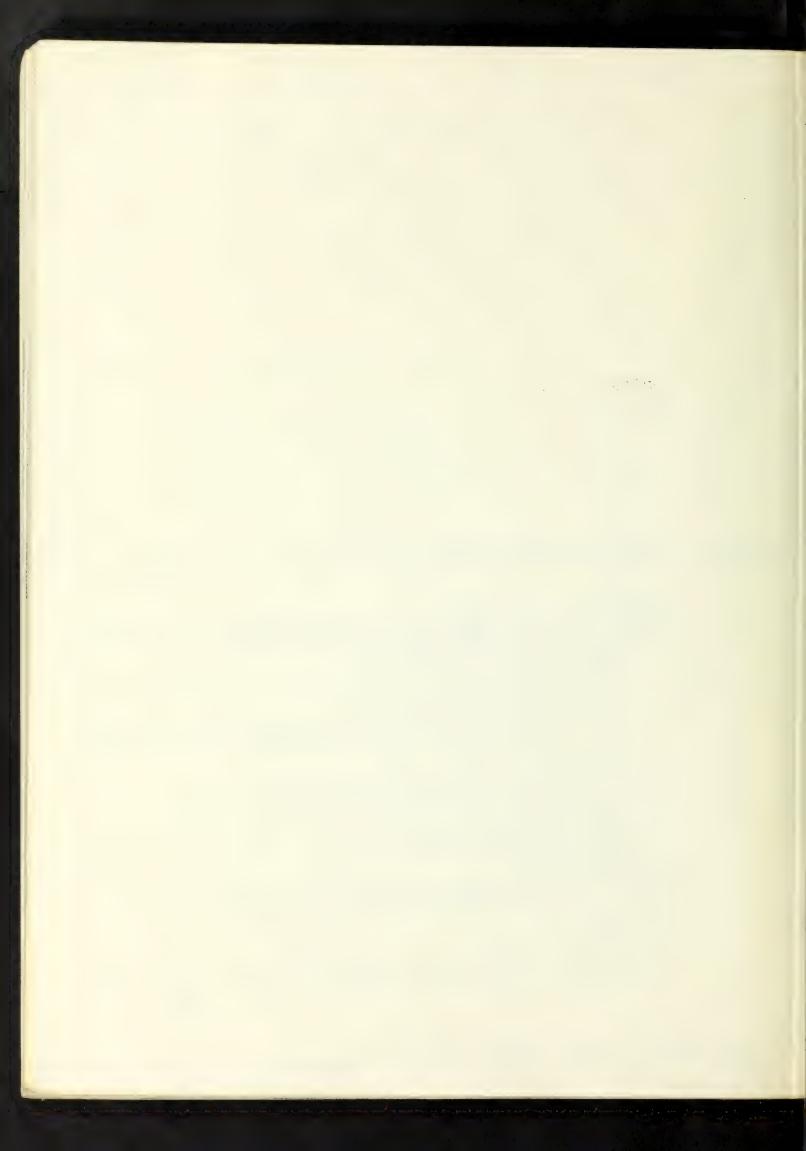
前項但其一樣定人因更多為サムトスルトキハ於該縣所二貨物所含义ハ縣等于提出シャ之內侵並ノ申込子のスコトナ党又近ノ恐 合三於テハ津縣勢提出ノ日日午七日子經過シェル後(如何ナル場合二次テモ非誤奏祭行ノ日ヨリ十日チ下ルコトナ得ス)出屋ノ 数大條第二項。左ノ如ク加フ

IV 短近即三次ケル他,官分ノ出所三支除ナ生セサルコト

関連もよりスルトキニ印り之二四スヘジ 一、以近照所三花成品ナ省スルコト

出版即所ノ指定へ二型所以上之子のスコトナ得ス 出版即所ノ指定へ之子提直スショトチ得ス但シ出席ノ際左ノ後作于其領スル場合三於子他ノ出所關於又へ即三定ムル聯ニ之子

社告第百二十六號(大正九年十月二十六日) 大正人年十一月祖告第九十八號大豆混合保管條件中左ノ道改正シ大正九年十一月一日ョリ之ヲ諡行ス 第二條等記者の等語人所用所即所入得定于為スコトチ要ス



リ之ヲ就行ス

1、你因而時

1、出席ノ清水日時、賃券所書文へ改象提出ノトキョリ五日・経過シメル後担シ設勢委行後十日ナ下ルコトチ得ス。 日 「「」

二、一日了出席歌盘 经劳託委员罚》三十日以内

作。貨物治統列等ノ上、武三出庫スルコトテ要ス出庫政引取認廷ノ為生スルー切り招害(食主)資籍トス 湖 第 第二

一、出味ノ清求日時 芥間店三周シ

二、一日ノ出席欽は 総答託各三劉シ五日チ下ラサル範閣内三於テ出席ノ請求三題ス

社告第万二十九號(大正九年十月二十六日)

大豆混合保管條件第二條第三項但書「依り出庫驛」越更と得い驛ヲ左ノ通定メ大正九年十一月一日ョ

長珍、 公主は、 四午街、 田原、 飲食、 滋悶聲

社告第百三十號(大正九年十月二十六日)

大正人年十一月社告第百三十六號混合保管大豆以外ノ大豆ニ對スル別扱手数料ノ作中左ノ通改正シ大

第一項由「大班及你口」「土大連、炒口、特別店及安東」三致4

第二項中「以違、顆粒耶弦大豆」、下、「及」,削!「大道文、作口標外組入大豆」、大三「此幹間店及安東原著交份縣所以外、職餐送大

社告第万三十一號、大正九年十月二十六日)

大正入年十一月社告第百二號大豆式ノ他檢查規則中左ノ道改正シ大正九年十一月一日ョリ之ヲ猶行ス 第二條核介人、想消見水、1次、放注を行と之ト同品宜及、同品宜以上、モノテ以テ合格トス但シ大豆格下品、類独普通品以下ニシテ

南坂ノ穏池丸木(常分)内大豆(株等品、参道品)二種共ノ他(竹道品一種トッ施袋(海品・穏地ト)絃礁人カー町上記4ルーツ モノチガ一なトシまノ他使用ニ耐へ得ルト認Aルモノチ茲二なトシ之チ核治症行所所ニ倫陀クモノトス 在數年民生產品ノ植物見水へ適當ノ時期二於テ之子決定シ其ノ決定訟へ前年氏ノ標準見水二依り救致スルモノトス

大正九年十月二十五日印刷

府協洲鐵道株式會社埠頭事務所

母照识别路

題尊者 題 黑 聖 11

大逛市京公园町十七號地

母 章 物 美 些 雅

大班市东公园町十七號地

裝取落望日日楚照点 品层版



UNIVERSITY OF ILLINOIS-URBANA SB205.87K3 C001 Manshu daizu no kenkyu

3 0112 031614446